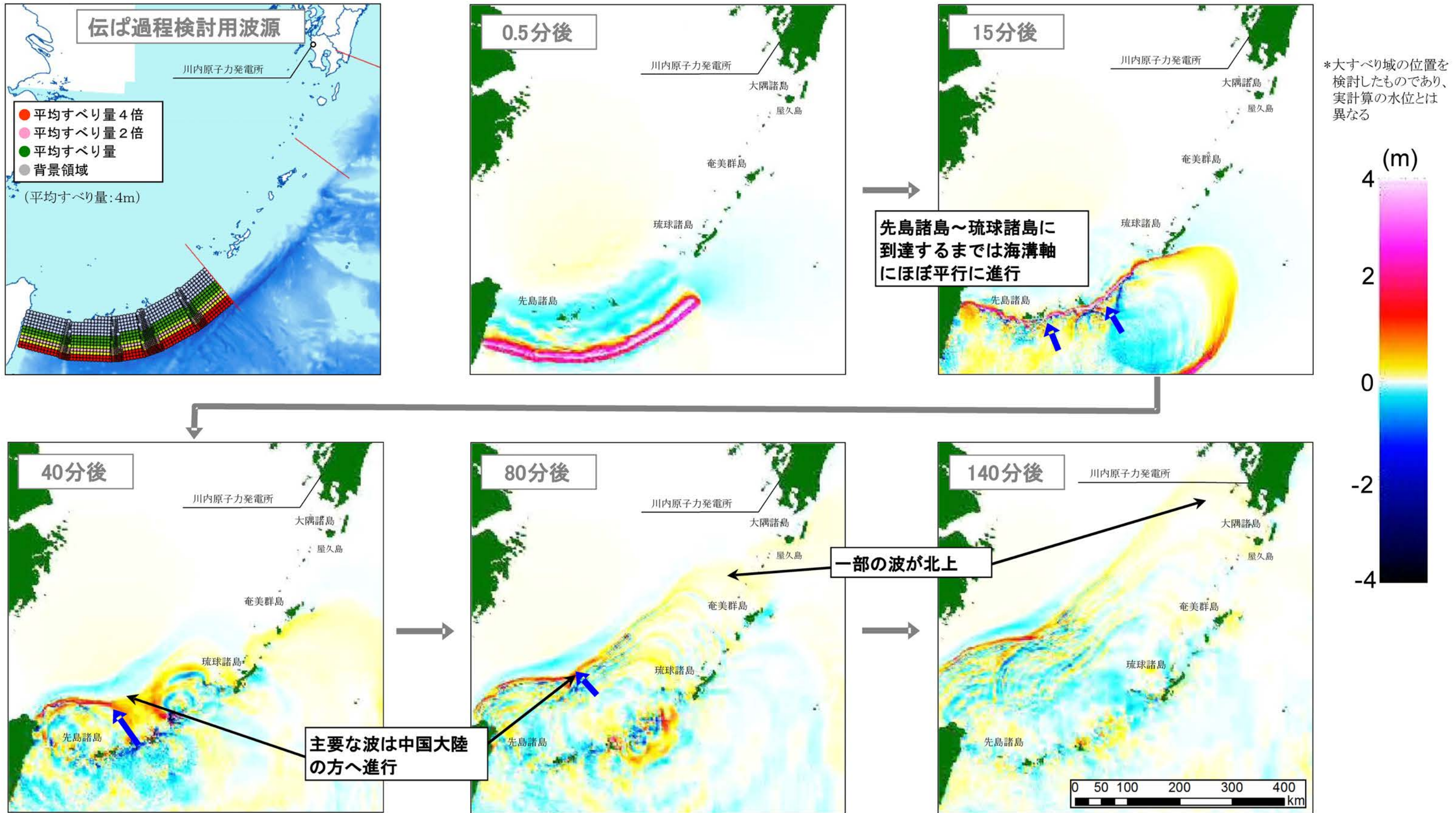
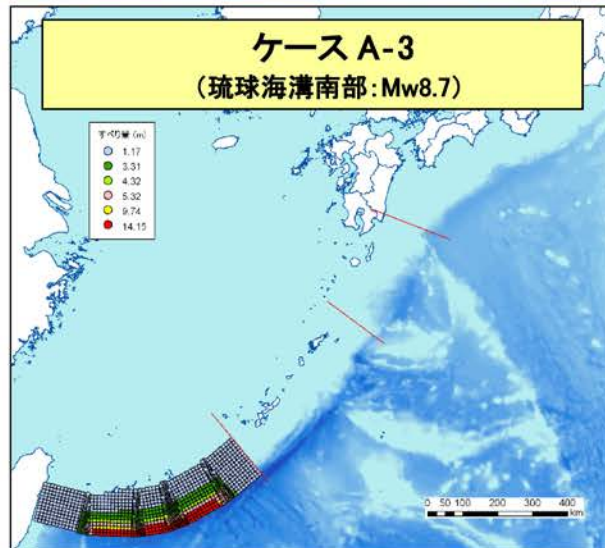
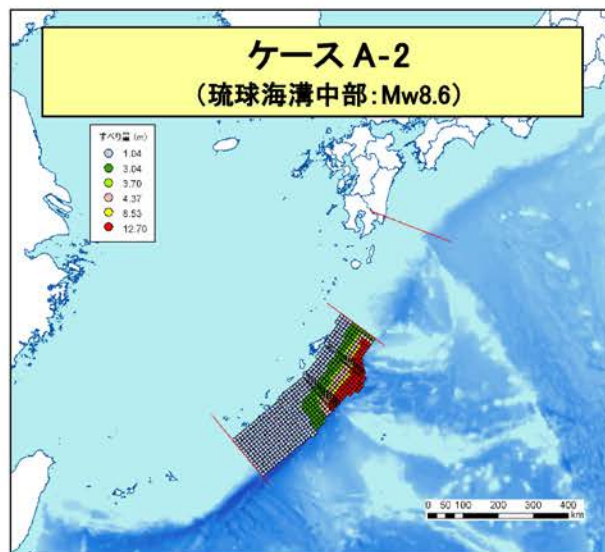
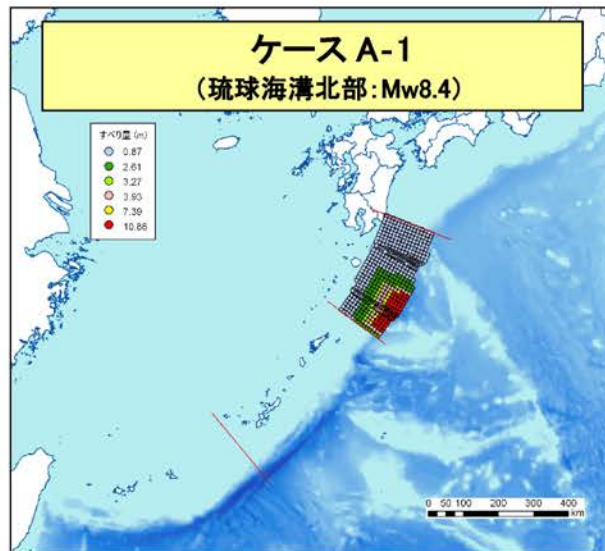


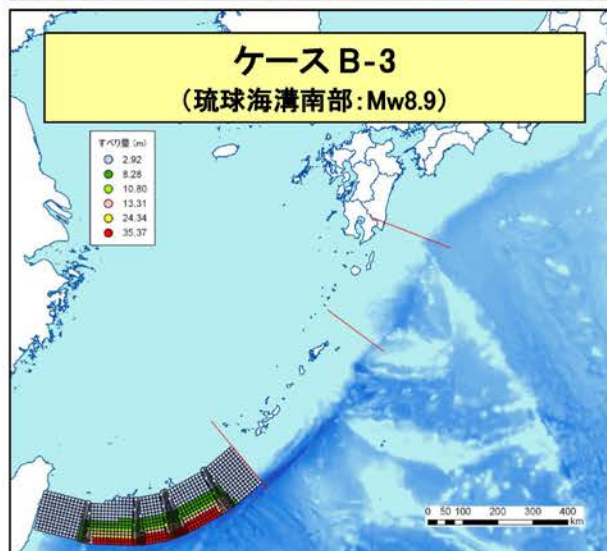
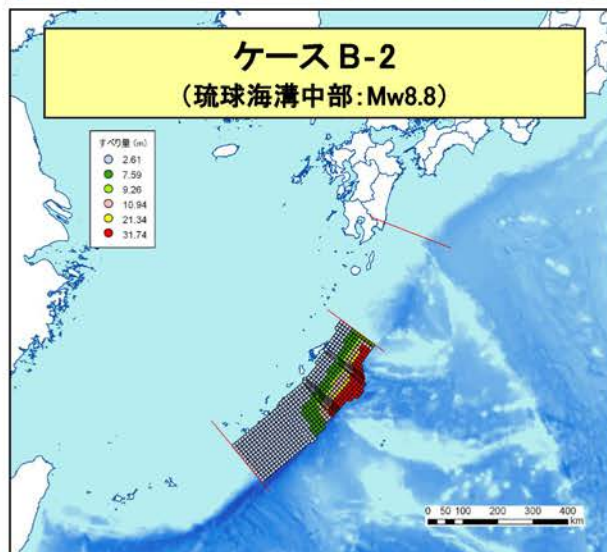
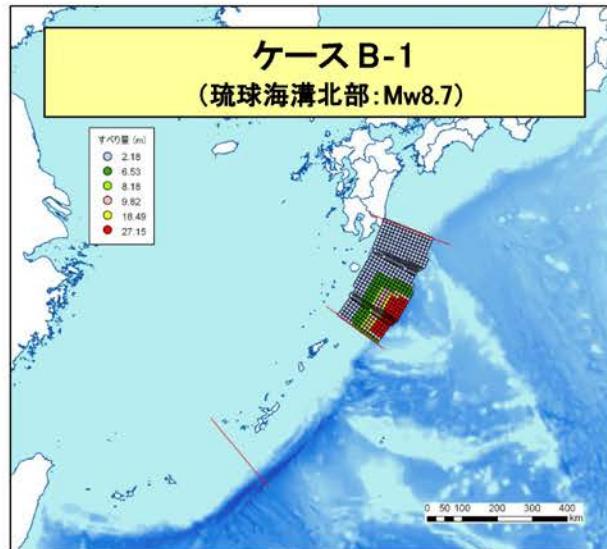
第1.2-6図(2) 琉球海溝中部を波源とした津波の伝ば過程



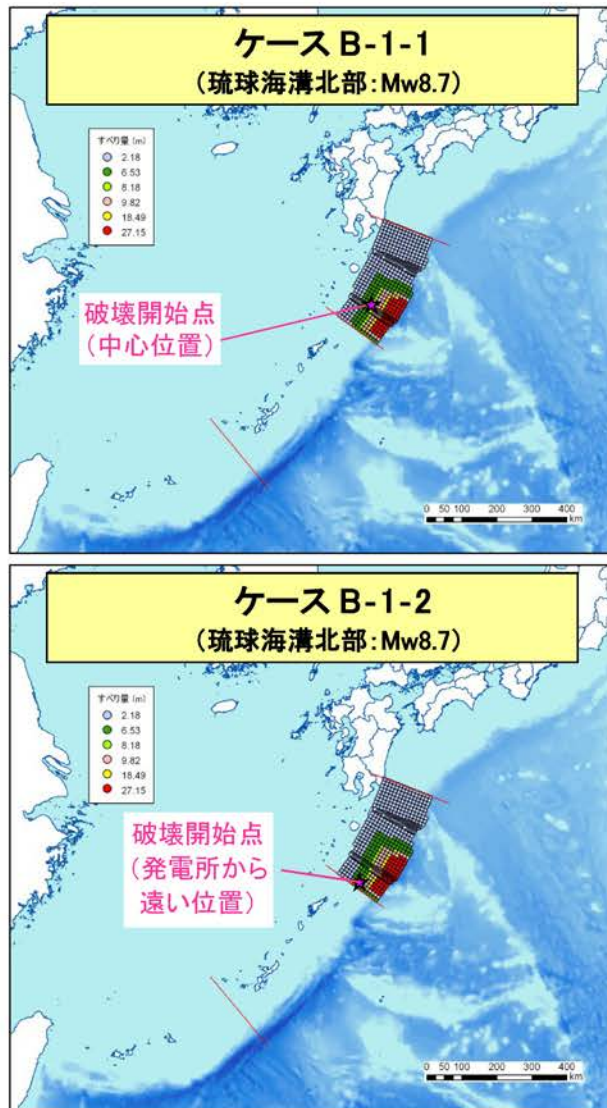
第1.2-6図(3) 琉球海溝南部を波源とした津波の伝ば過程



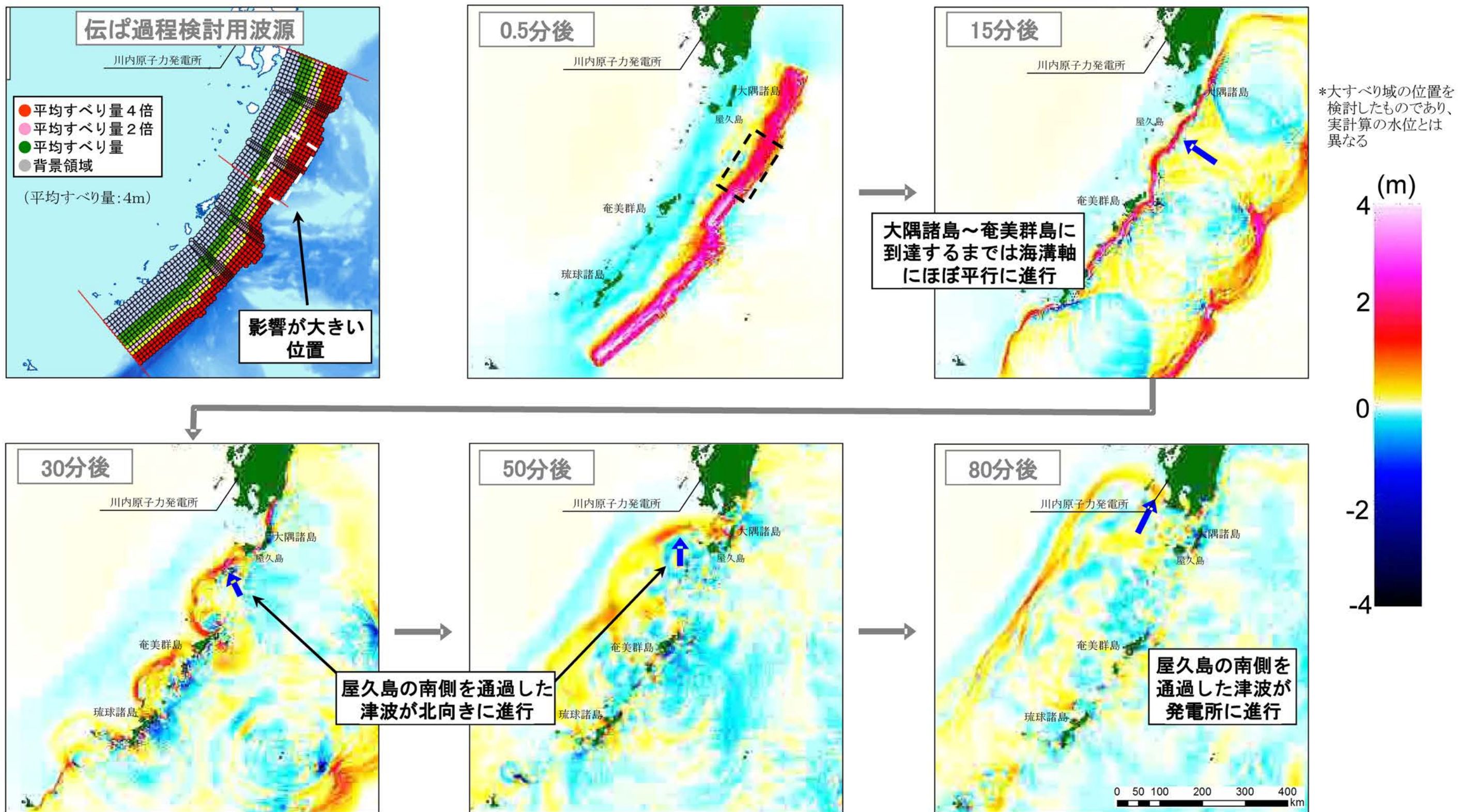
第1.2-7図(1) 琉球海溝の津波波源
(分析結果に基づく津波波源: 基本ケース)



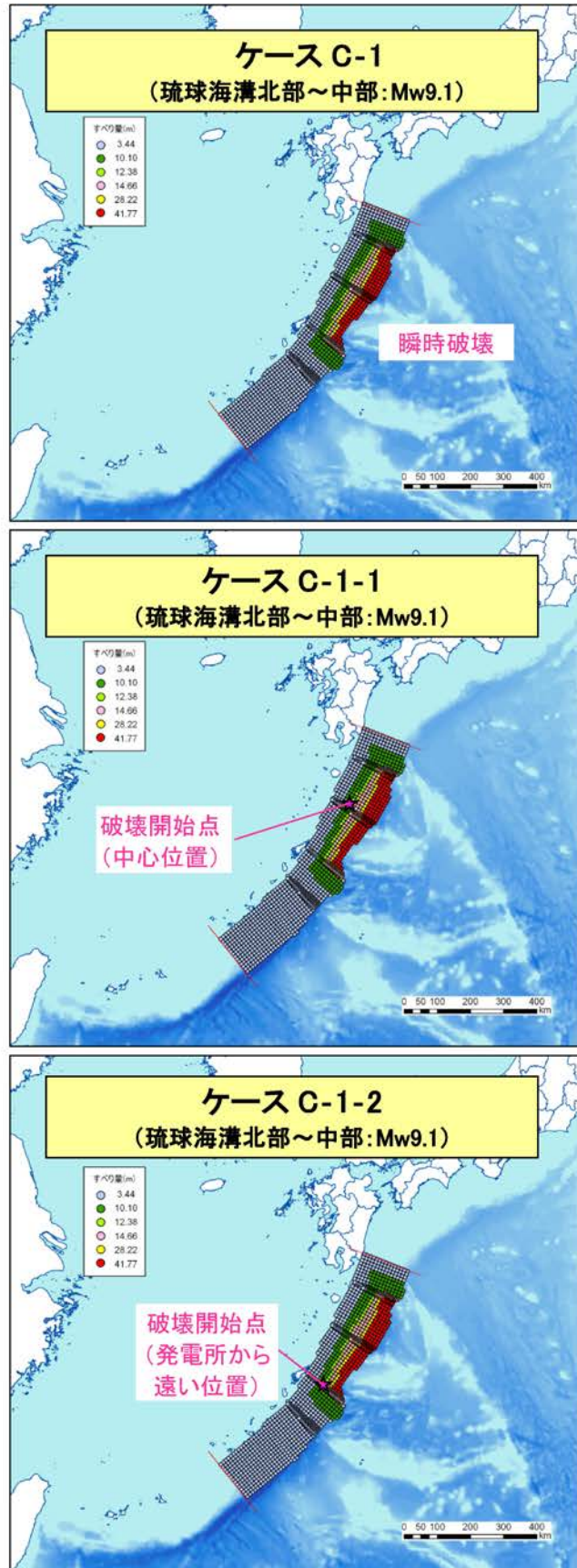
第1.2-7図(2) 琉球海溝の津波波源
(分析結果に基づく津波波源:不確かさケース①)



第1.2-7図(3) 琉球海溝の津波波源
(分析結果に基づく津波波源: 不確かさケース②)

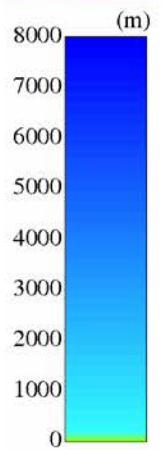
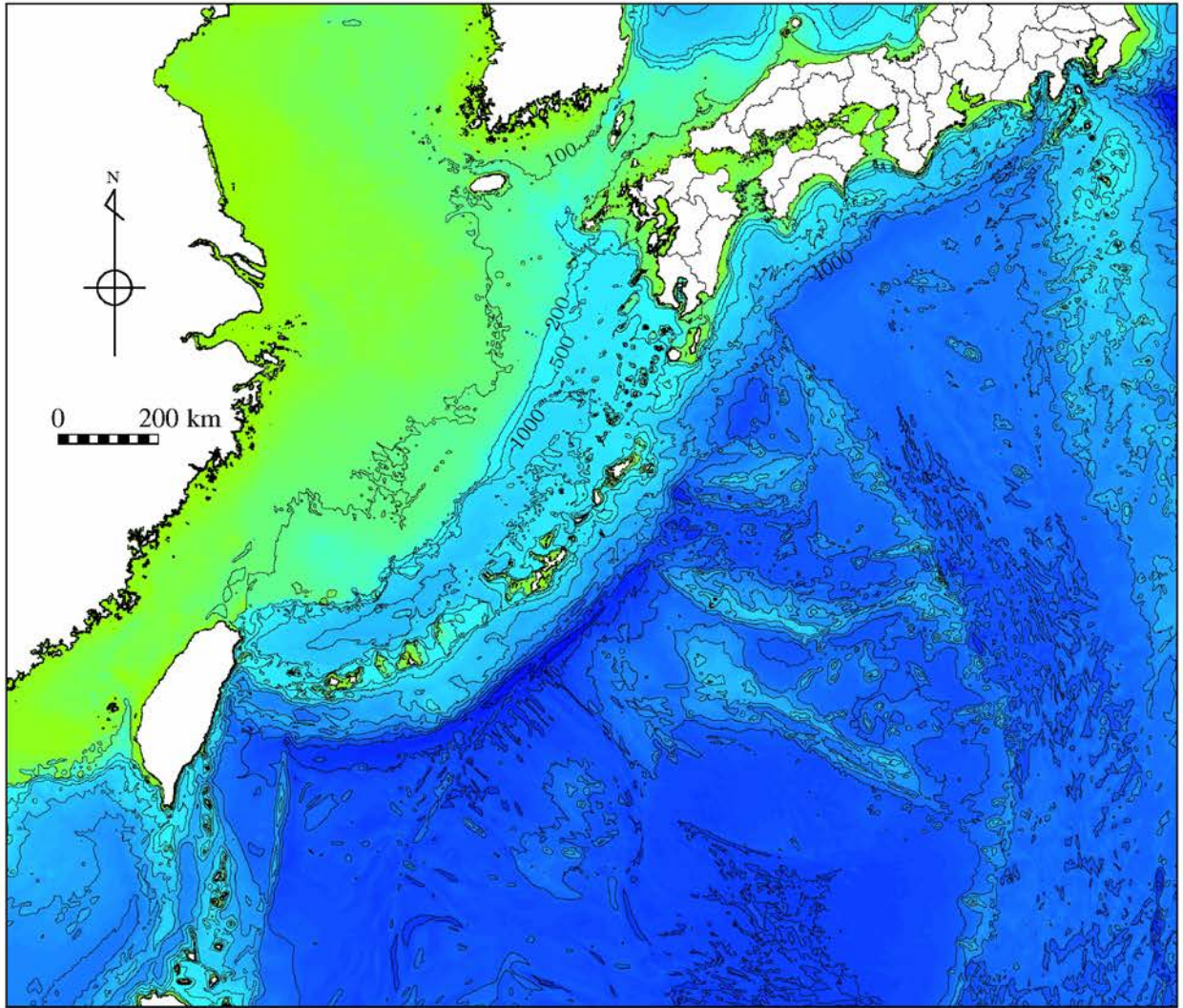


第1.2-8図 琉球海溝北部～琉球海溝中部を波源とした津波の伝ば過程

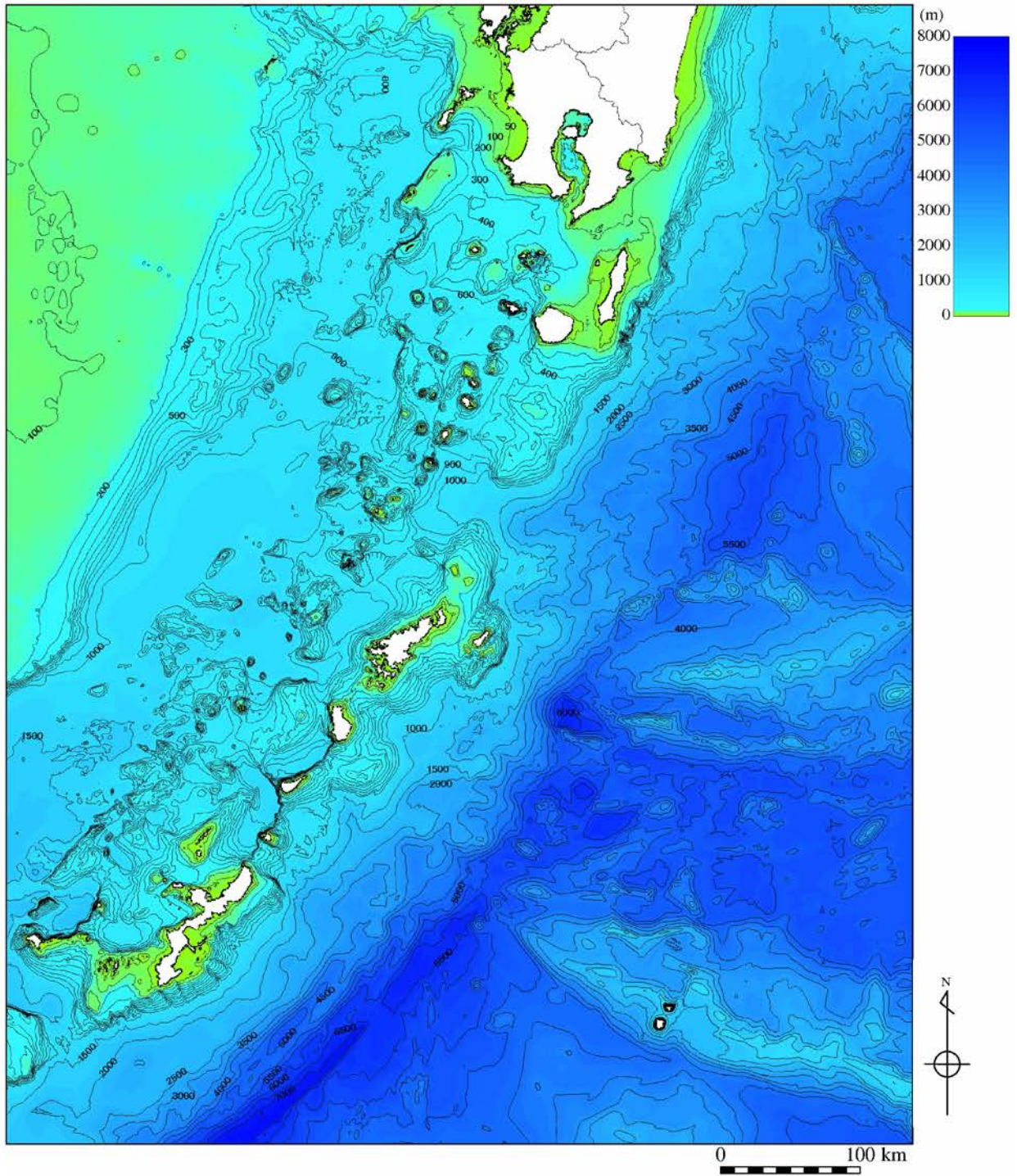


第1.2-9図 琉球海溝の津波波源

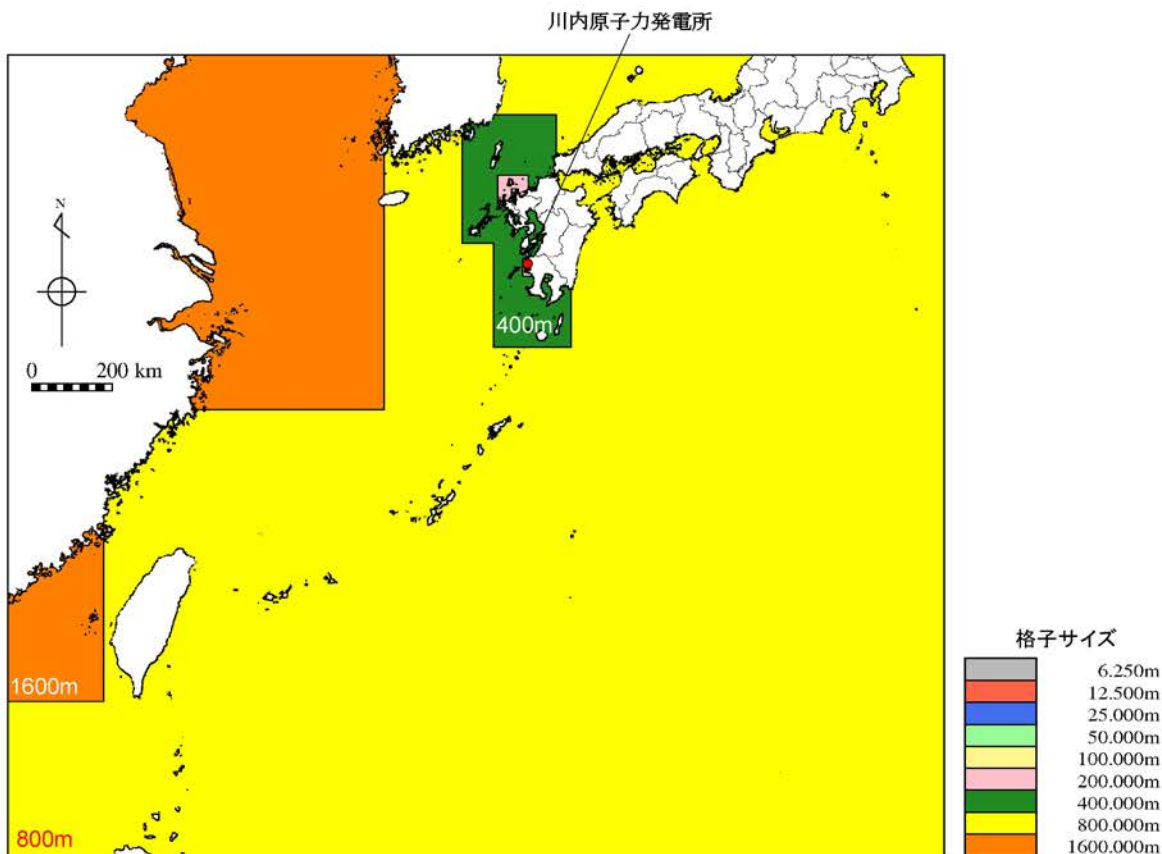
(領域境界を越えて固着域が破壊する津波波源)



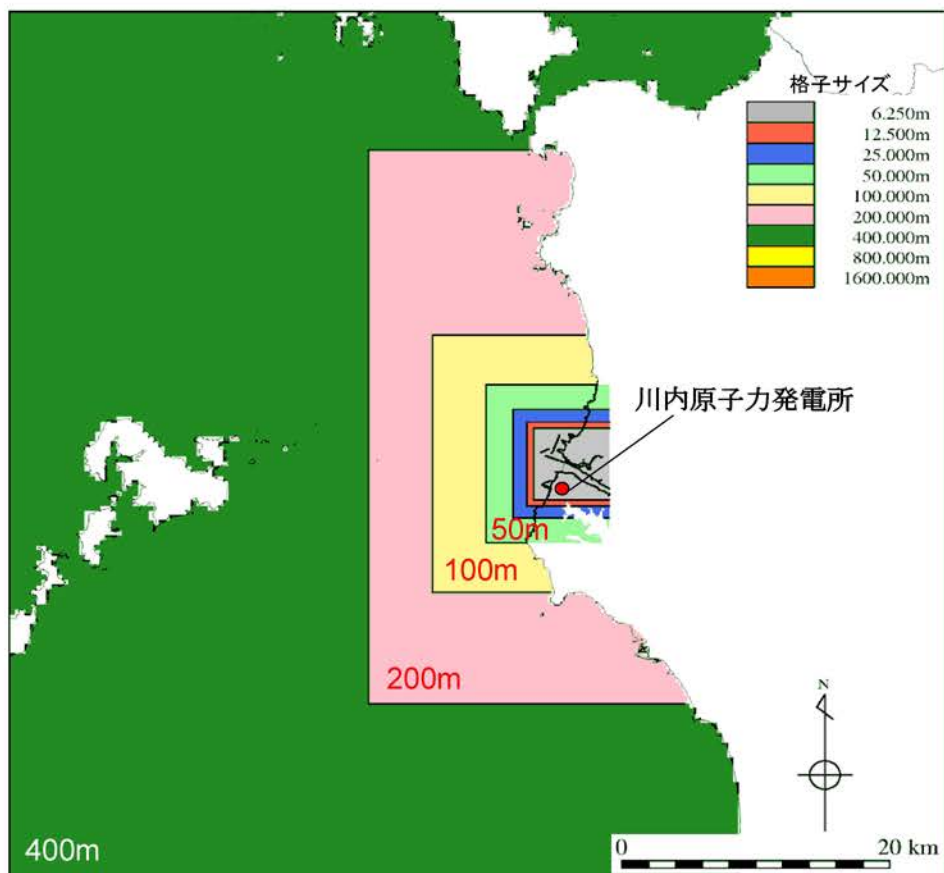
第1.2-10図(1) 海底地形(計算領域全体)



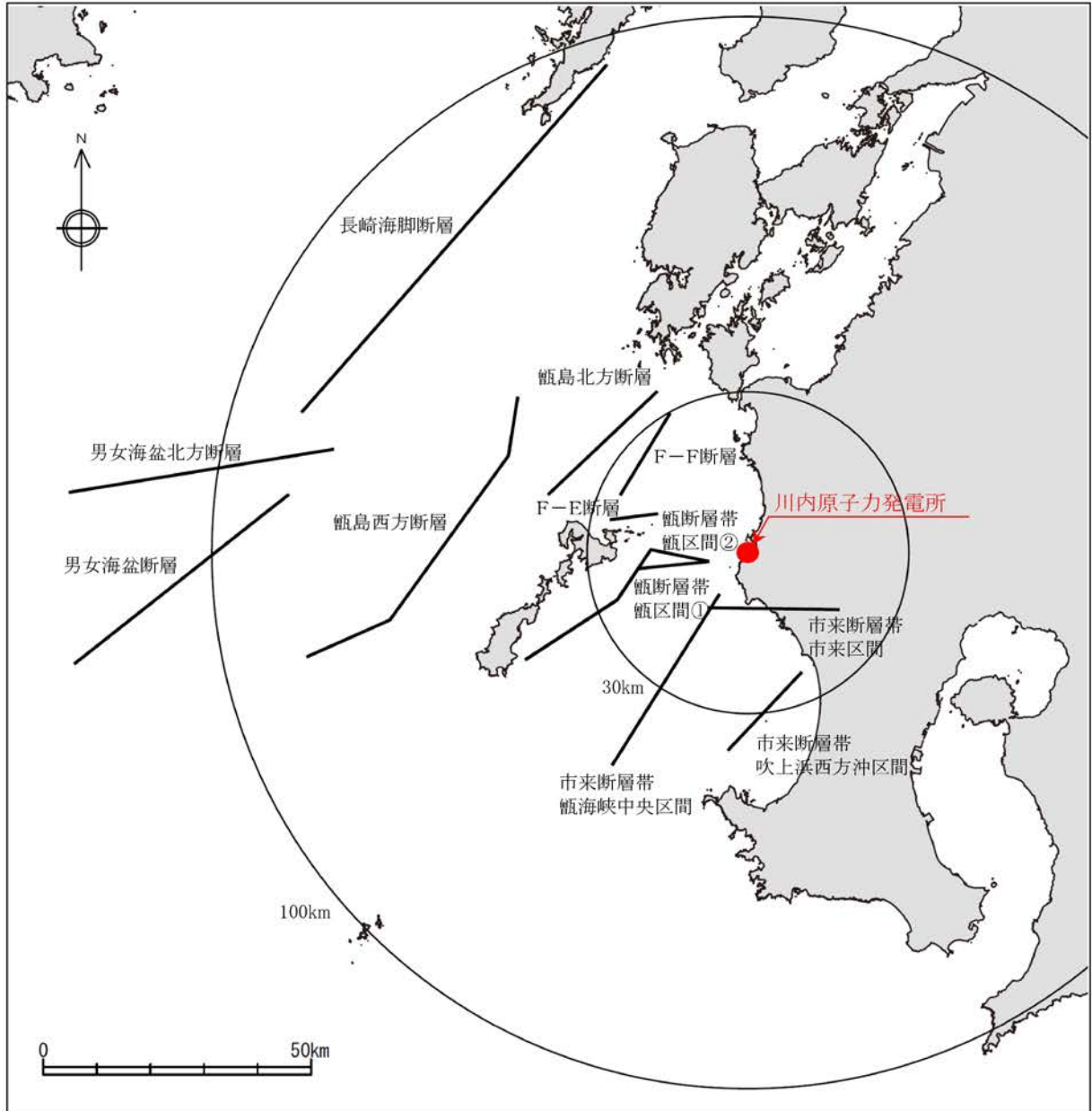
第1.2-10図(2) 海底地形(琉球海溝北部周辺)



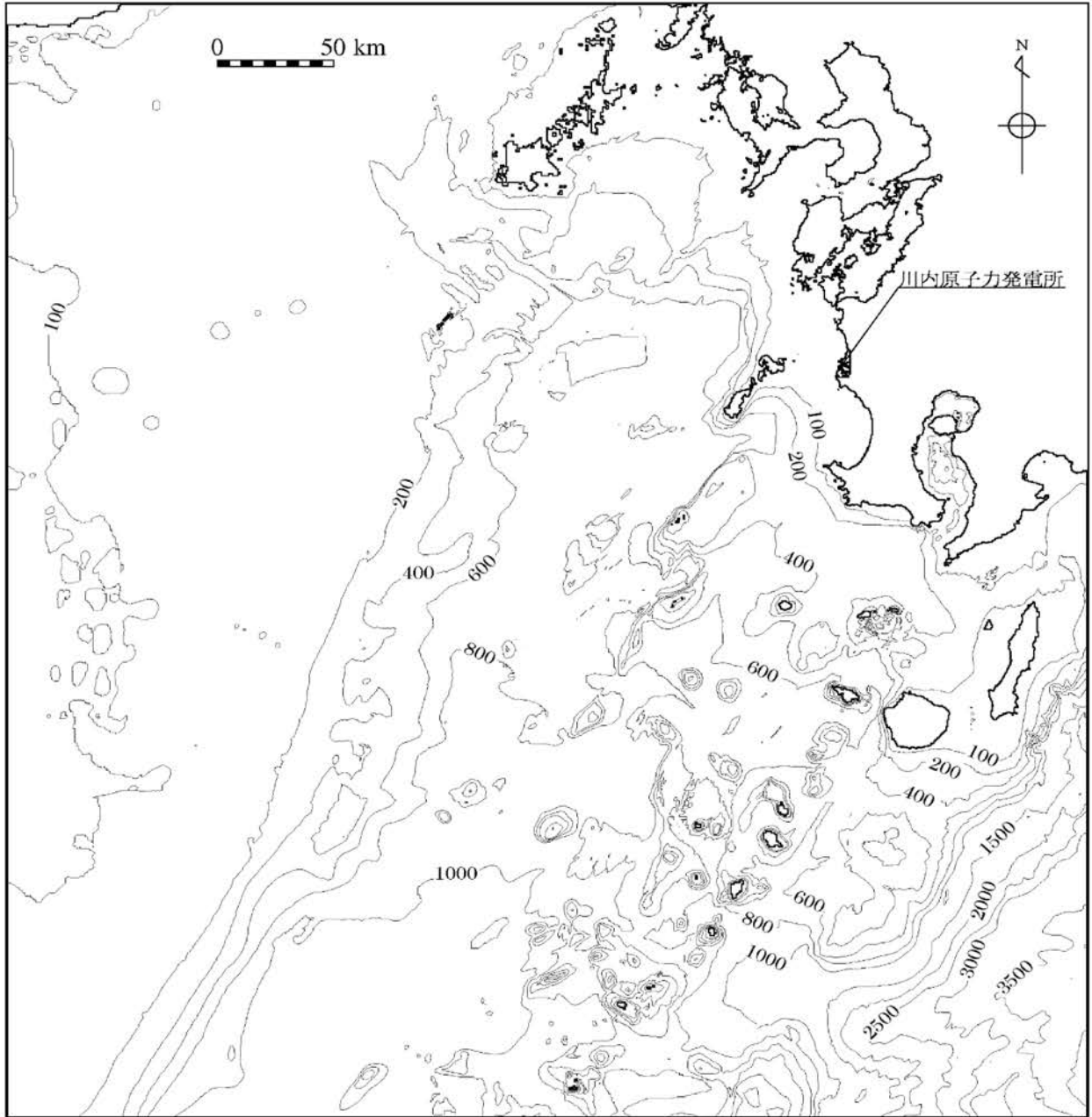
第1.2-11図(1) 計算格子分割(計算領域全体)



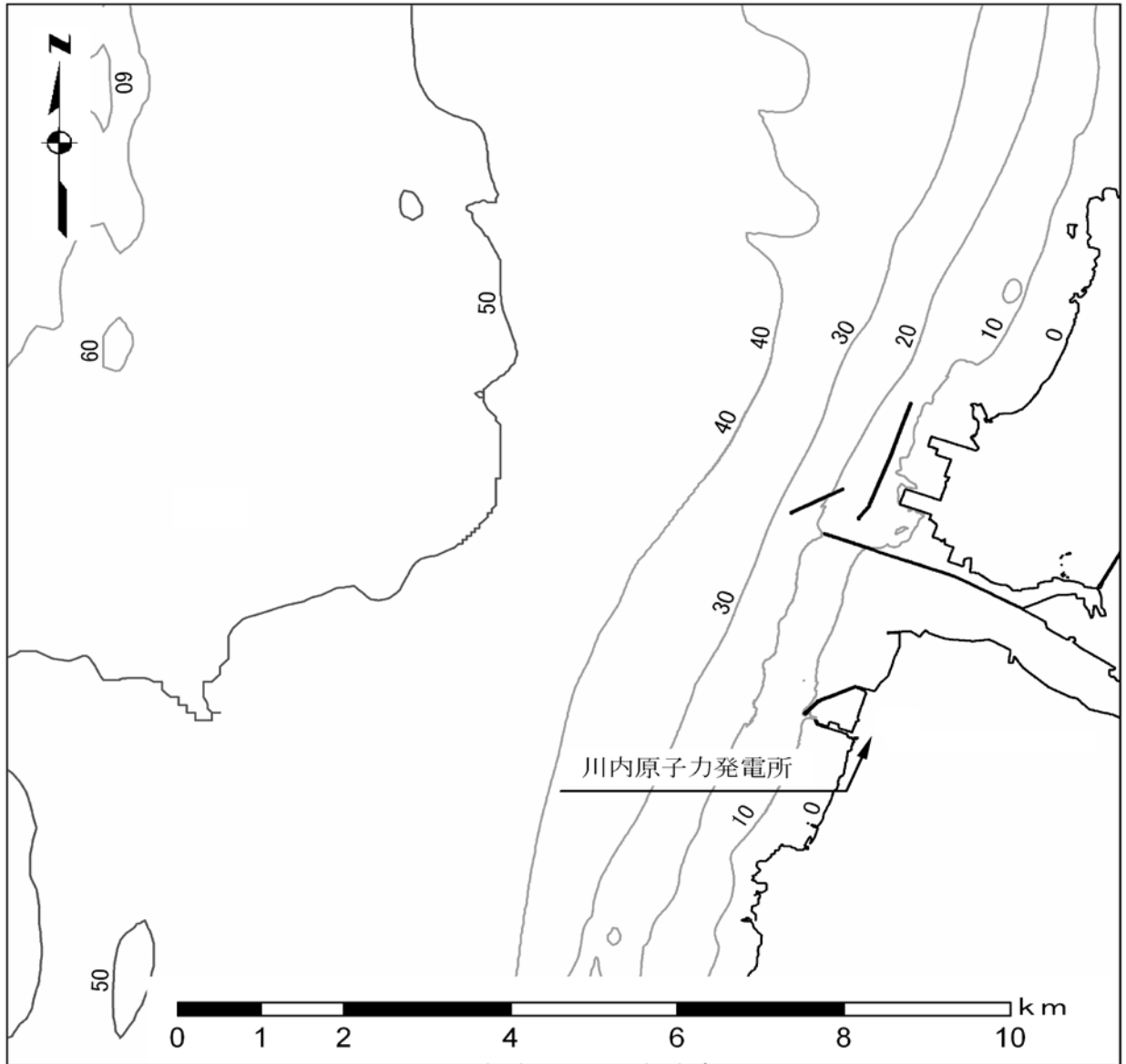
第1.2-11図(2) 計算格子分割(敷地前面海域)



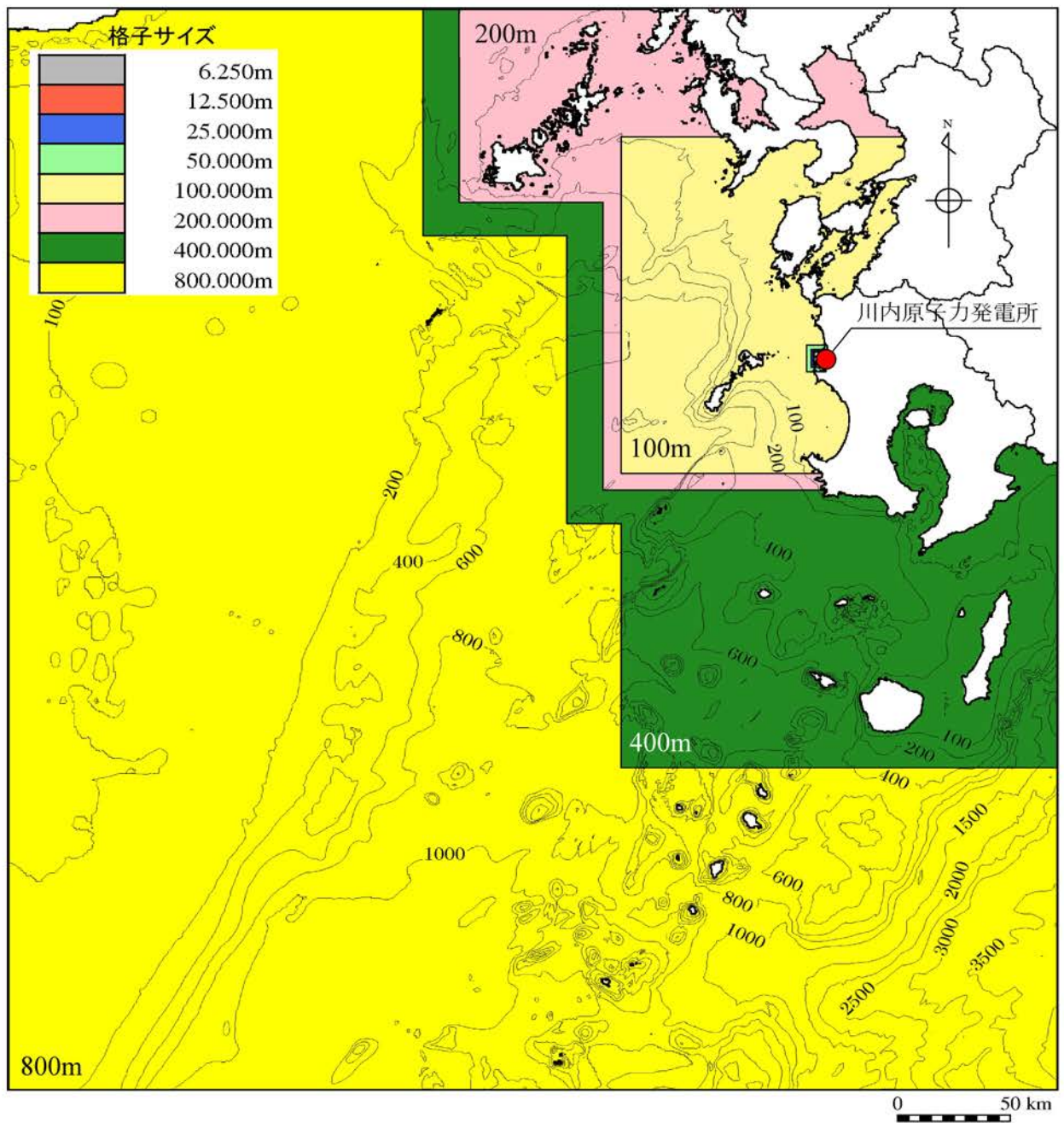
第1.2-12図 敷地周辺の海域活断層の津波波源



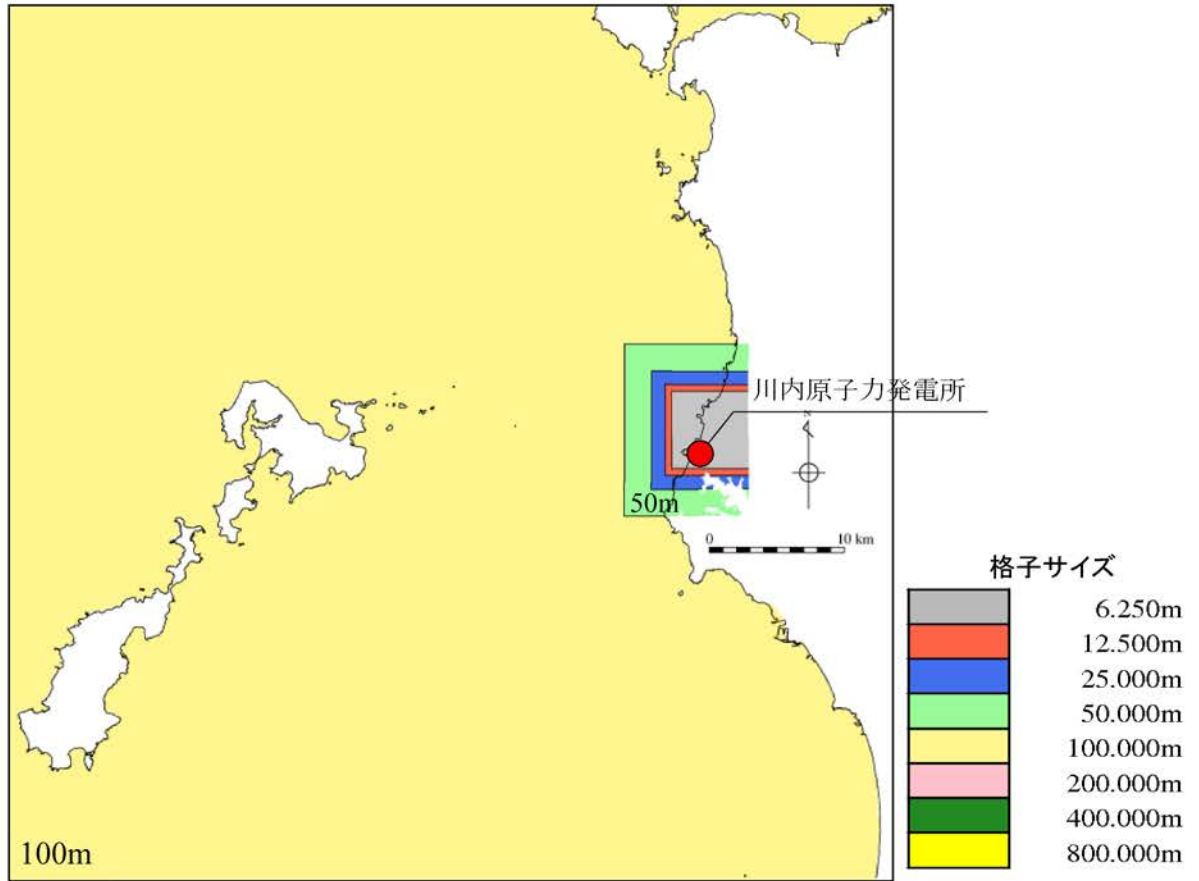
第1.2-13図(1) 海底地形(計算領域全体)



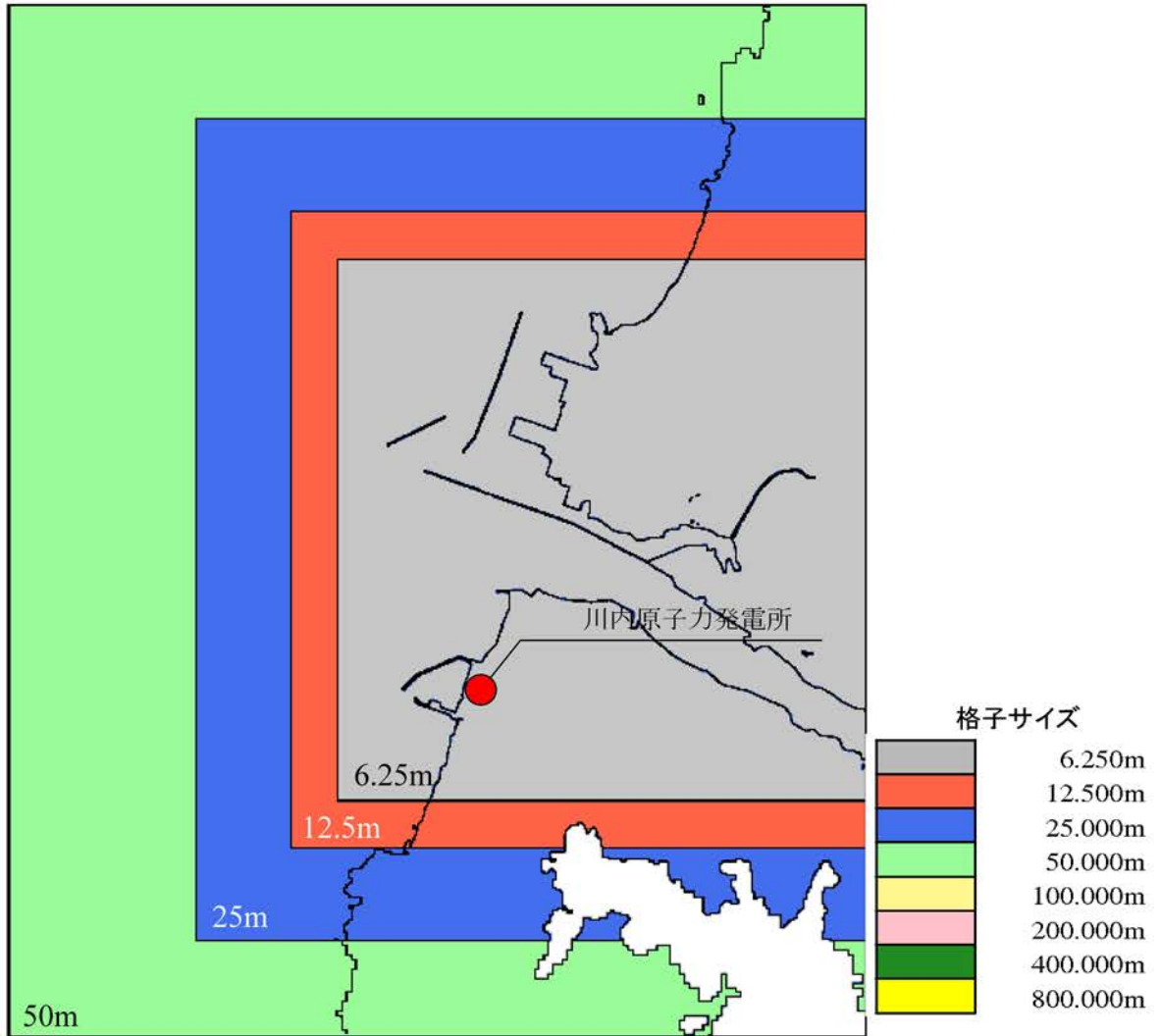
第1.2-13図(2) 海底地形(敷地近傍海域)



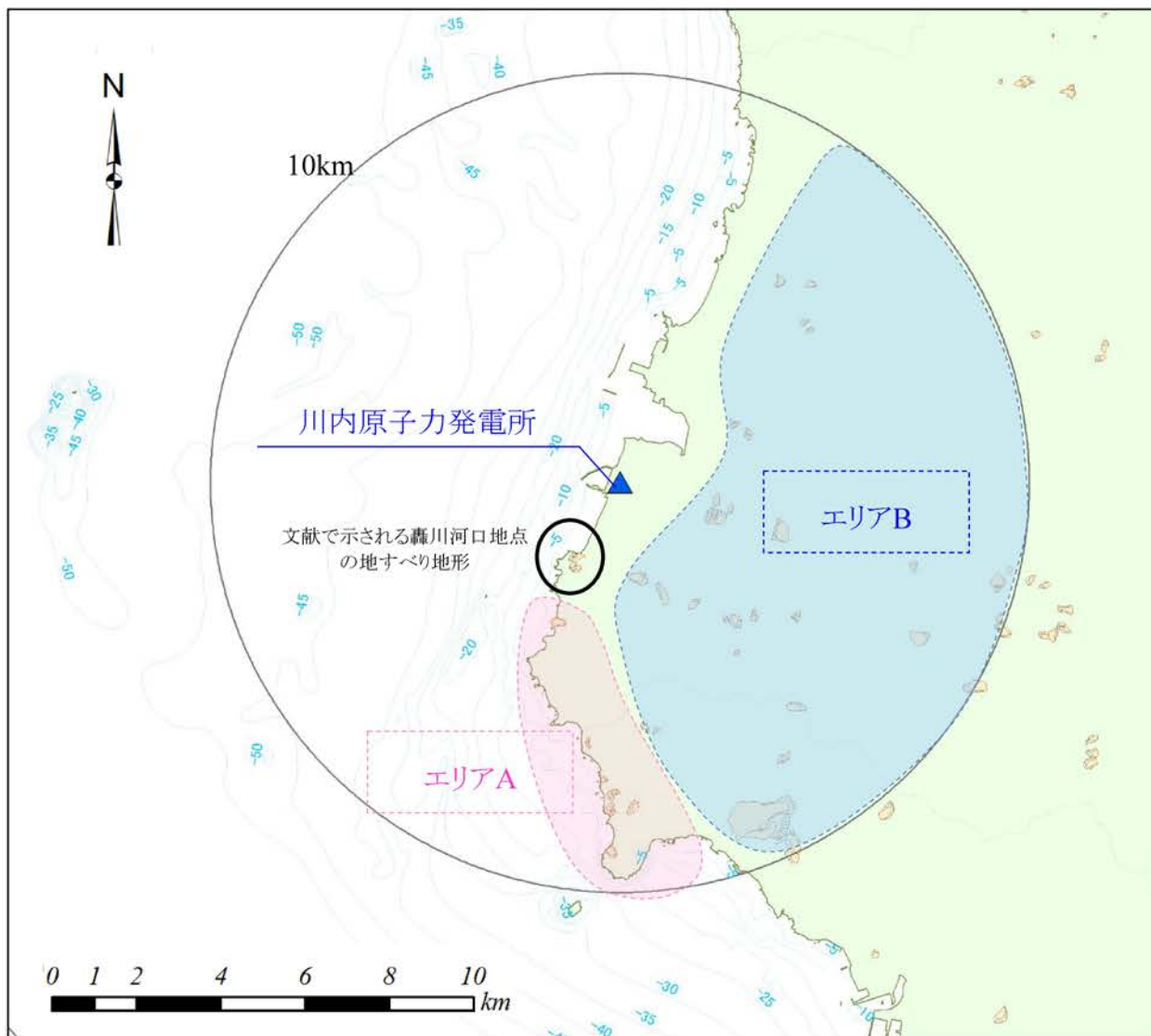
第1.2-14図(1) 計算格子分割(計算領域全体)



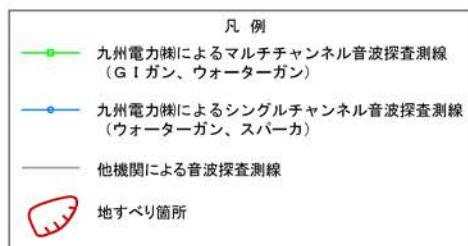
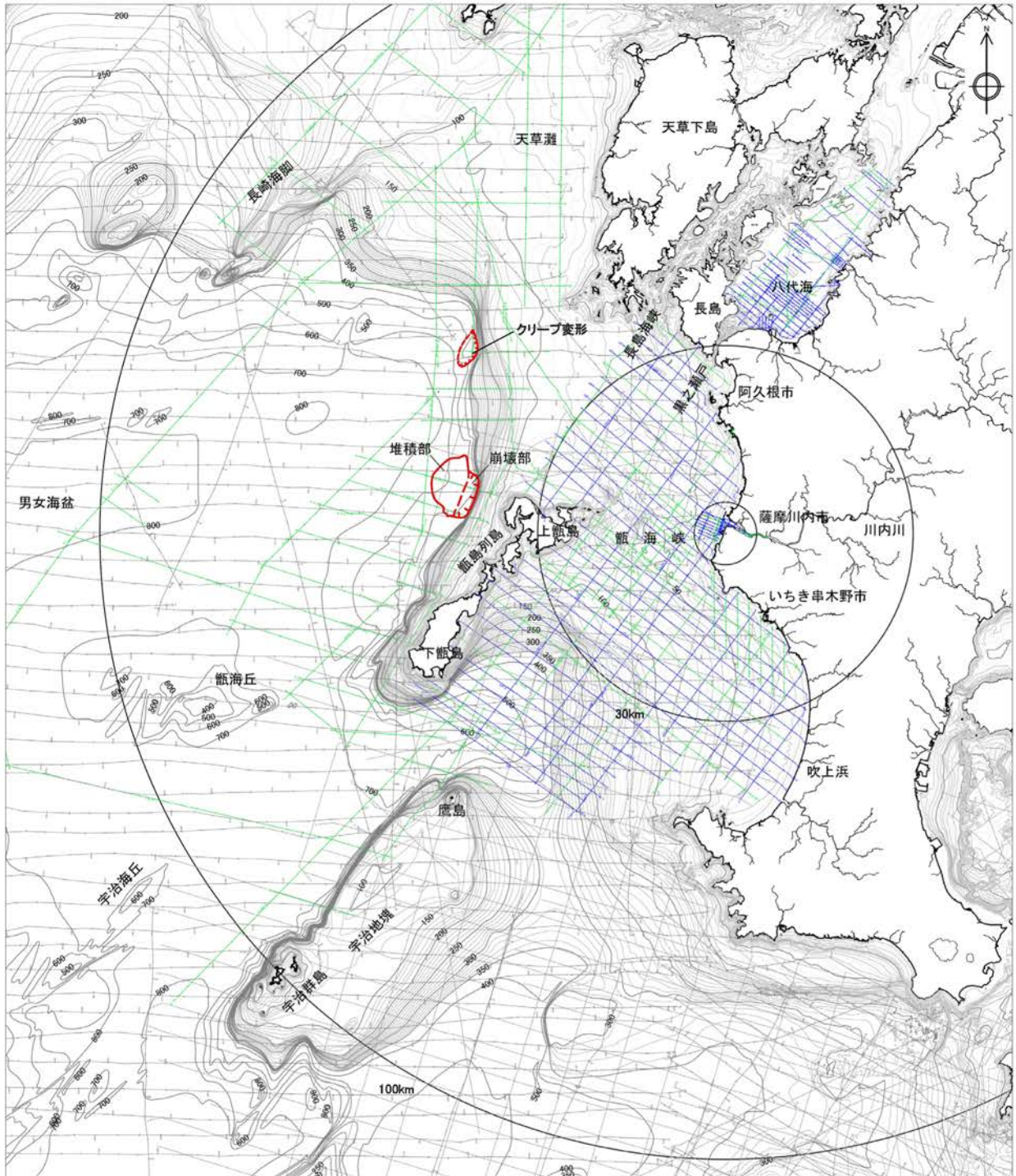
第1.2-14図(2) 計算格子分割(敷地前面海域)



第1.2-14図(3) 計算格子分割(敷地近傍海域)



第1.2-15図 沿岸陸域の地すべり地形の位置

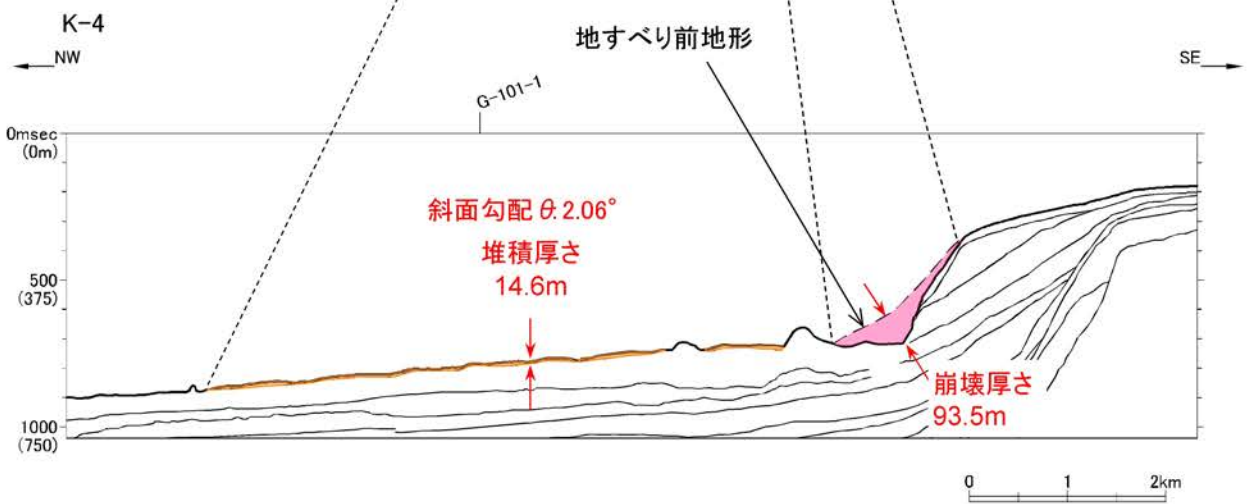
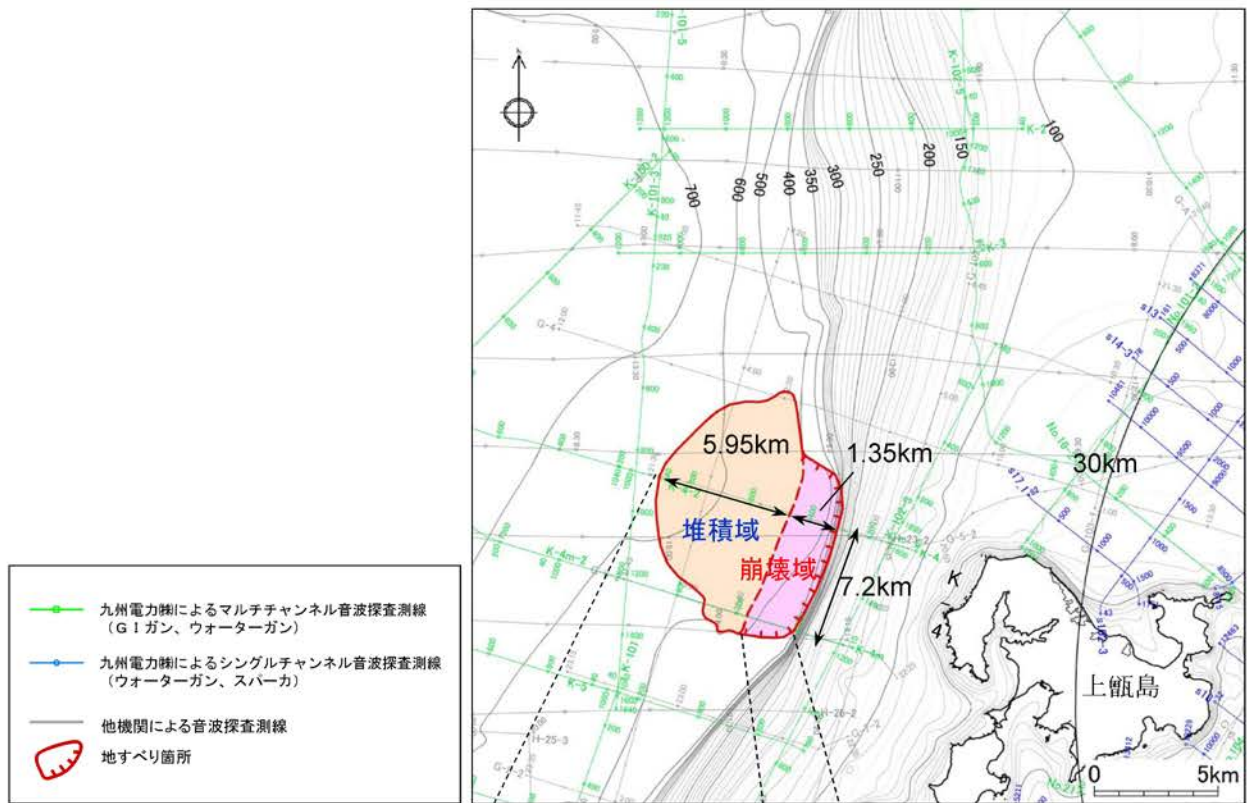


水深線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。海域の地図は、国土地理院発行の2万5千分の1沿岸海域地形図(水俣)他・海上保安庁発行の5万分の1沿岸の海の基本図(串木野)他・20万分の1大陸棚の海の基本図(天草灘)他を編集したものである。

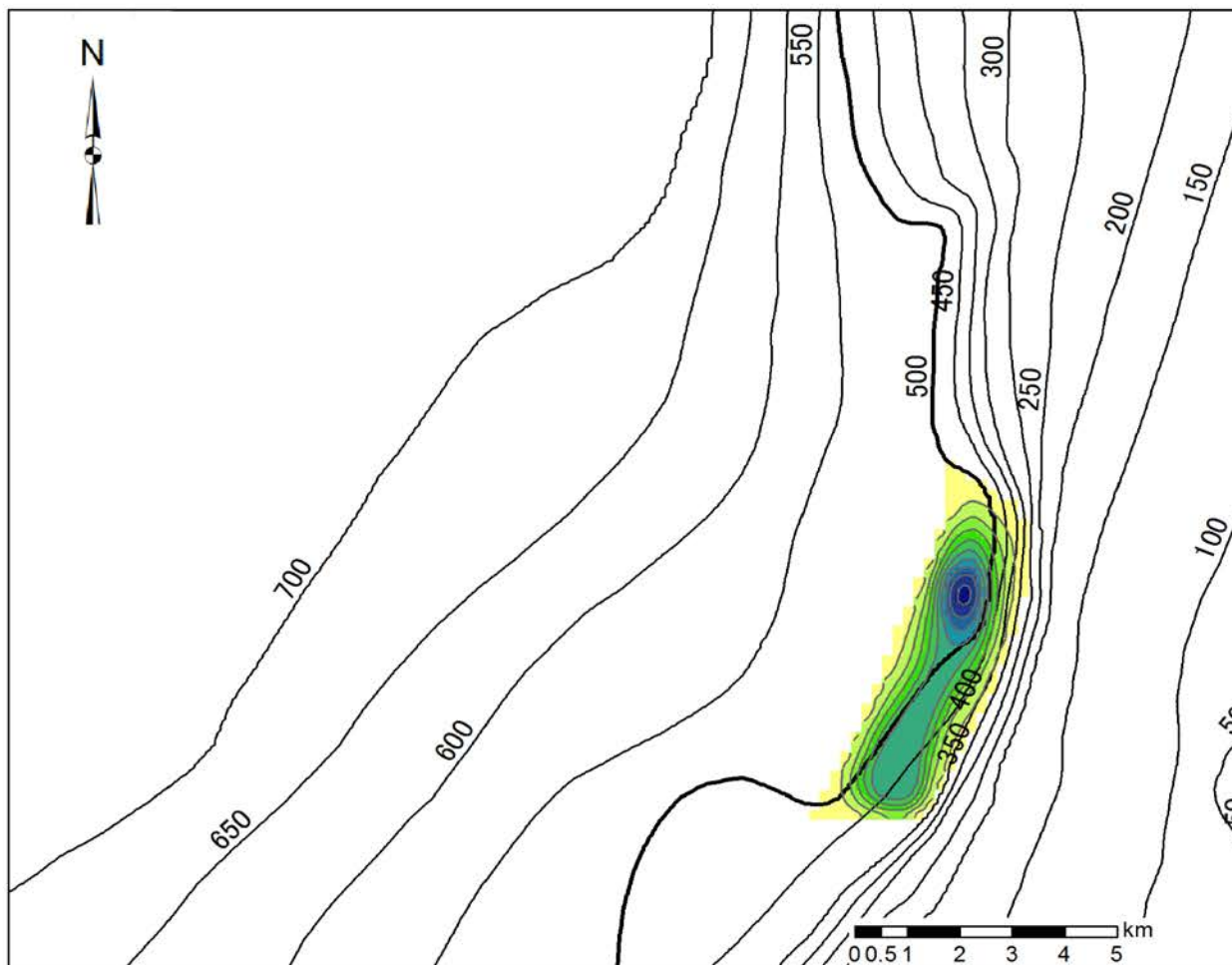
(注) 海域の地形コンターの数字は深度を示す

0 10 20 30km

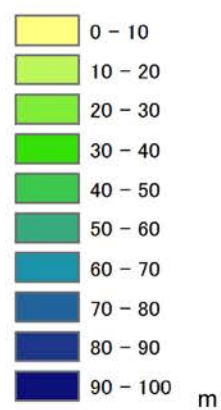
第1.2-16図 海底地すべり地形の位置



第1.2-17図(1) 海底地すべりモデル
 (Watts et al.(2005) の予測式に基づく手法)

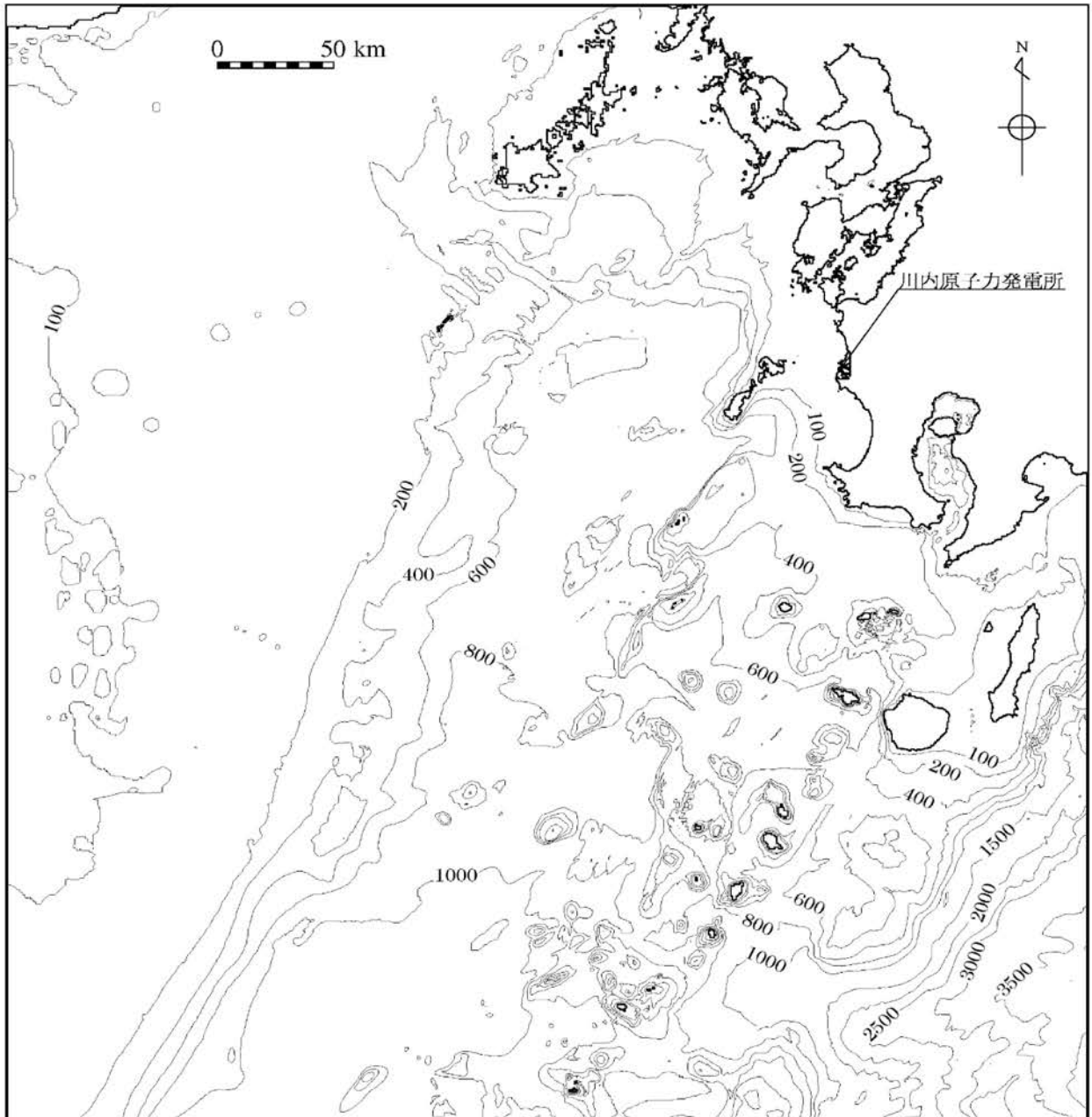


地すべり地塊厚さ

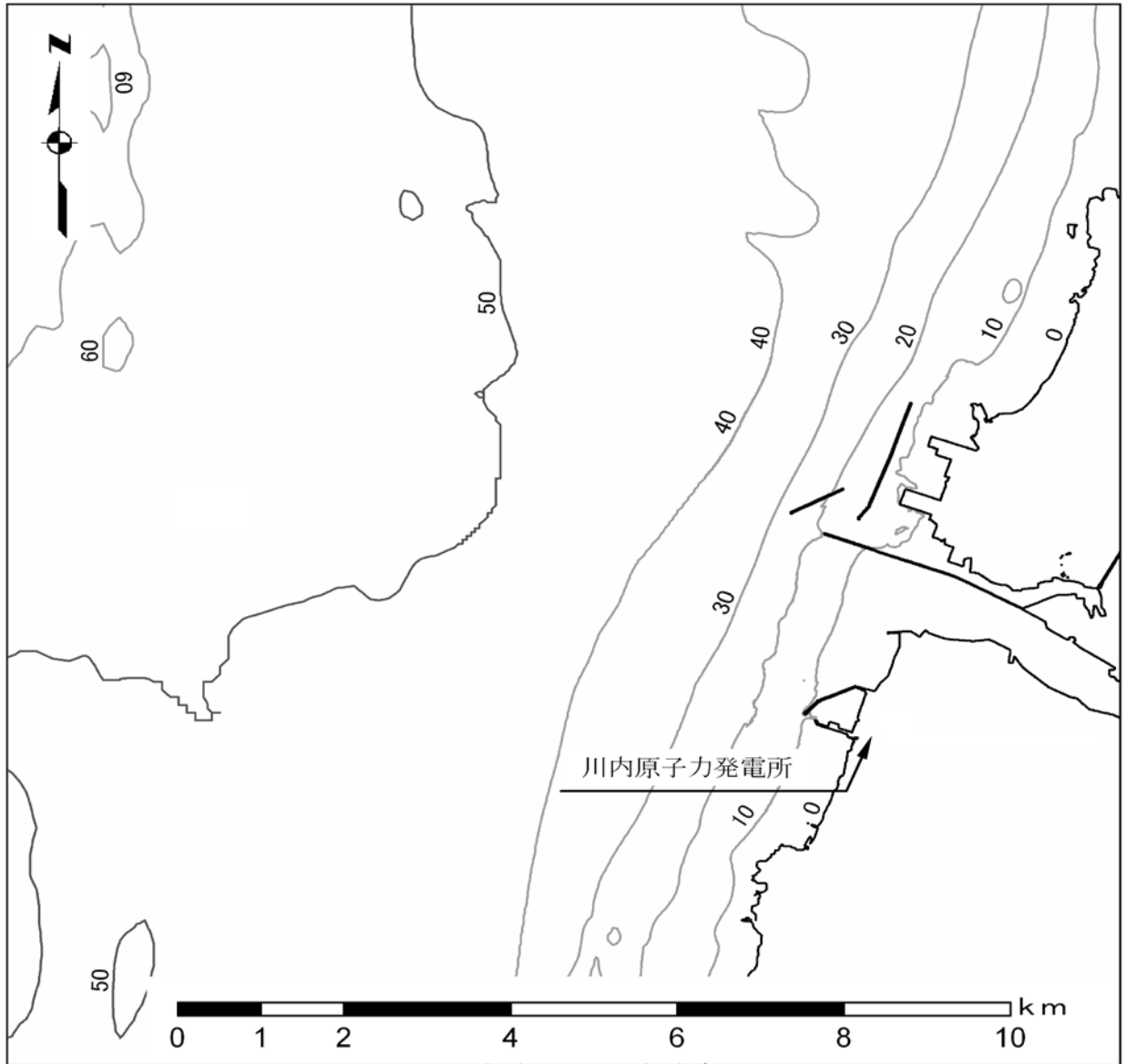


第1.2-17図(2) 海底地すべりモデル

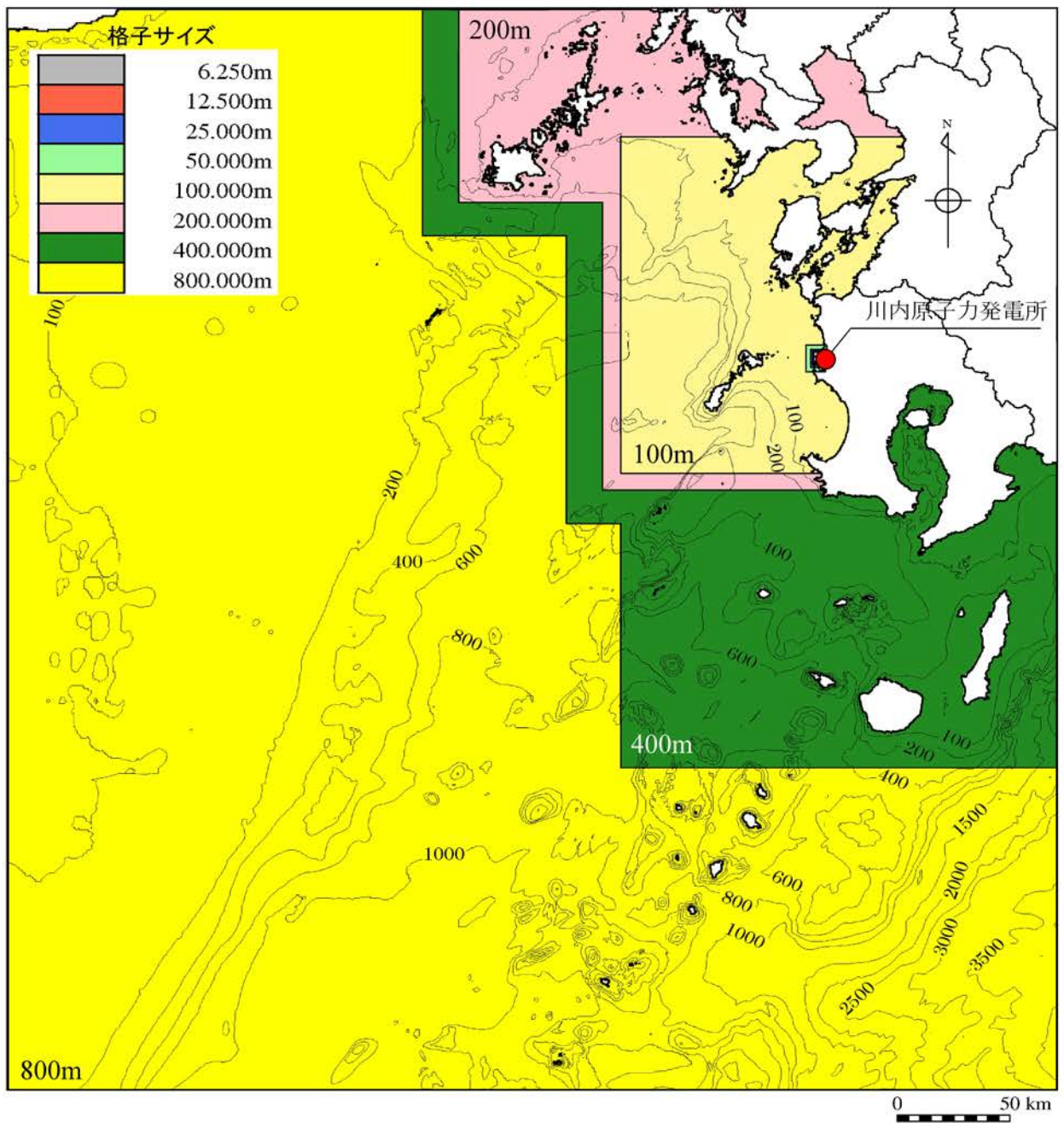
(二層流モデルに基づく手法)



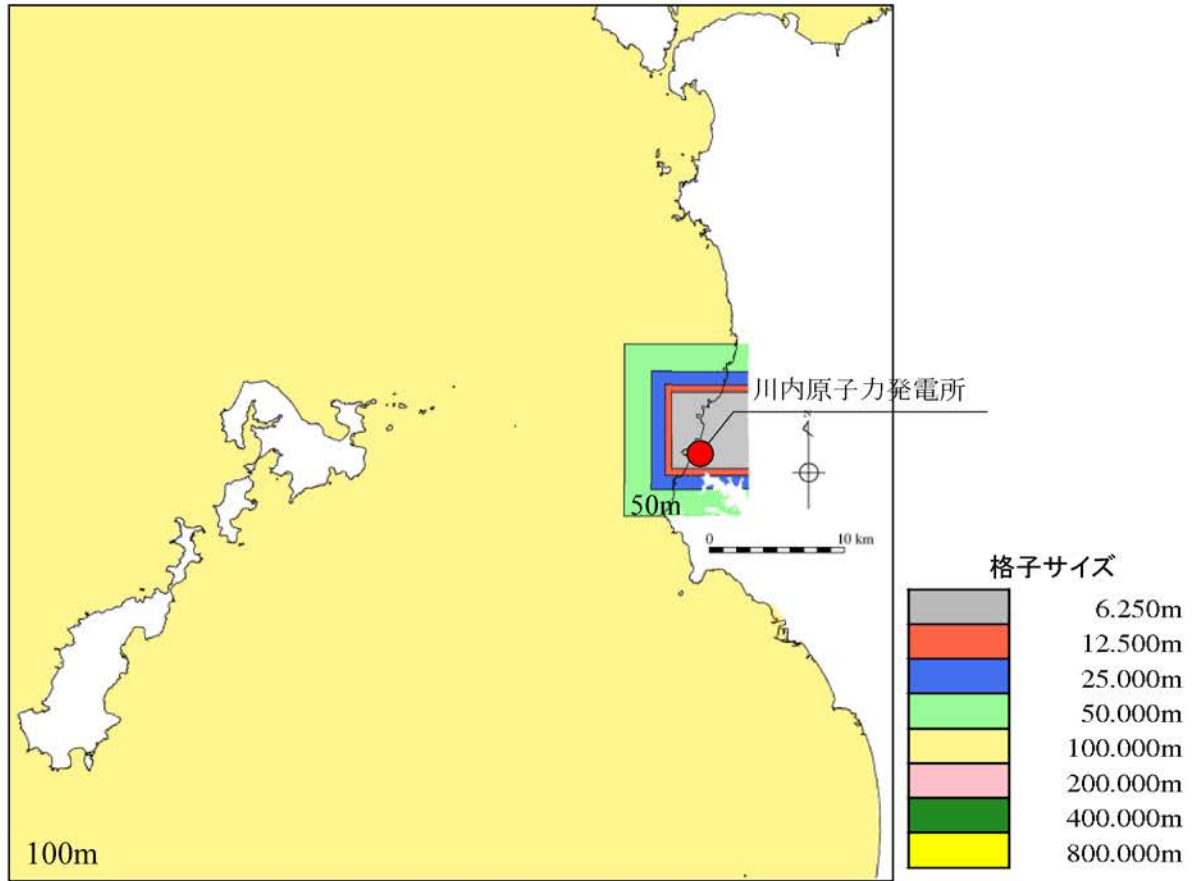
第1.2-18図(1) 海底地形(計算領域全体)



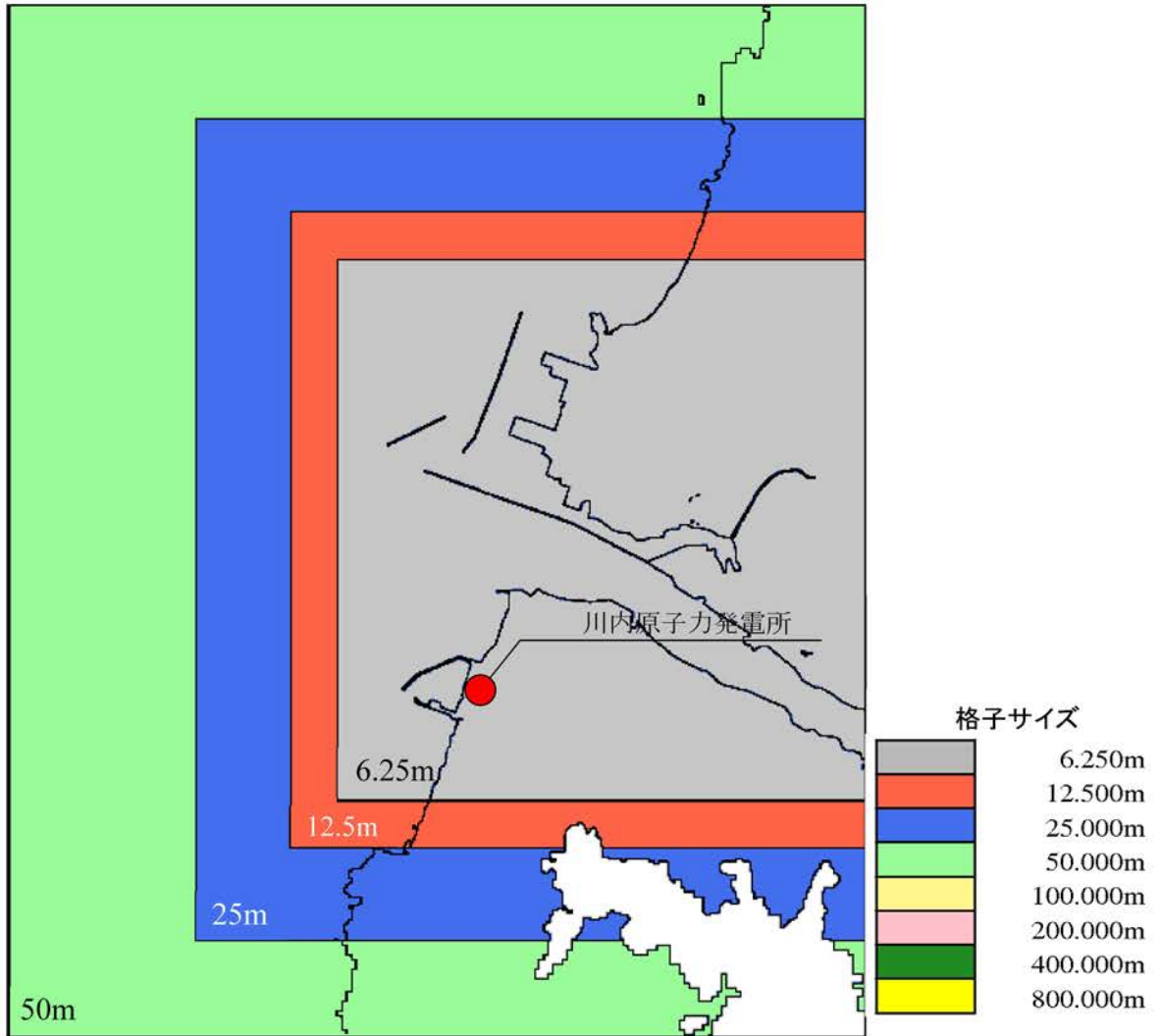
第1.2-18図(2) 海底地形(敷地近傍海域)



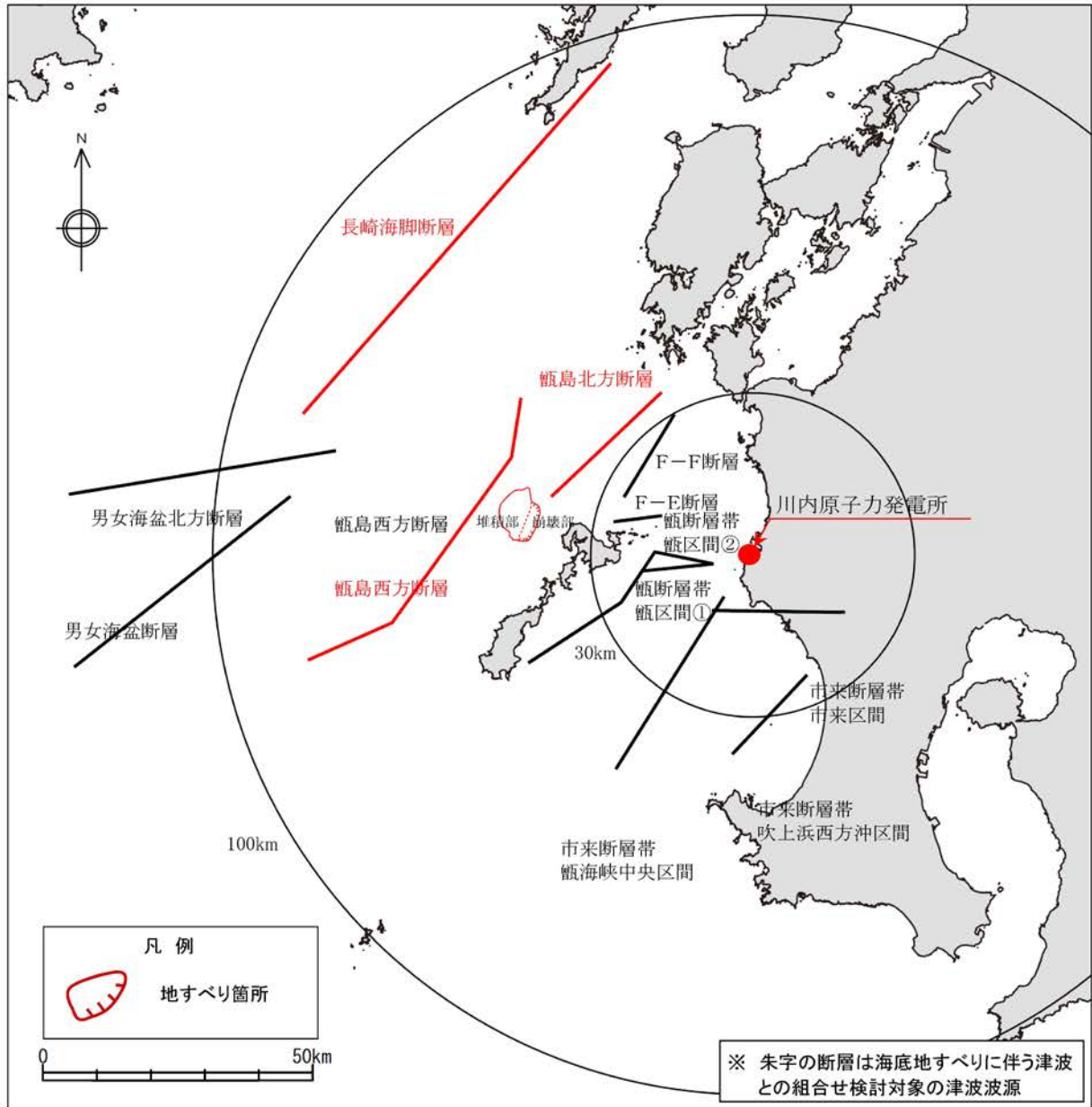
第1.2-19図(1) 計算格子分割(計算領域全体)



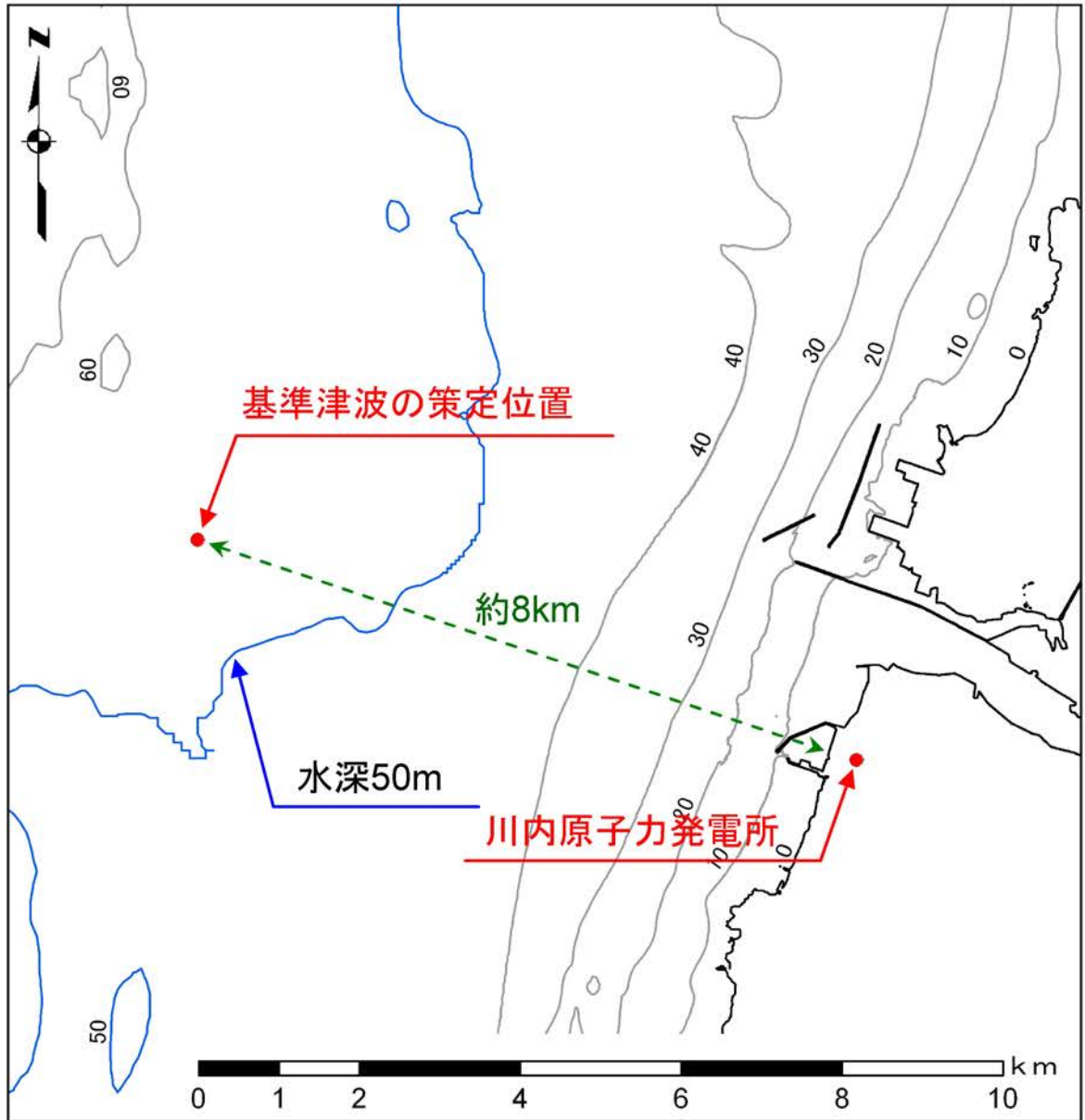
第1.2-19図(2) 計算格子分割(敷地前面海域)



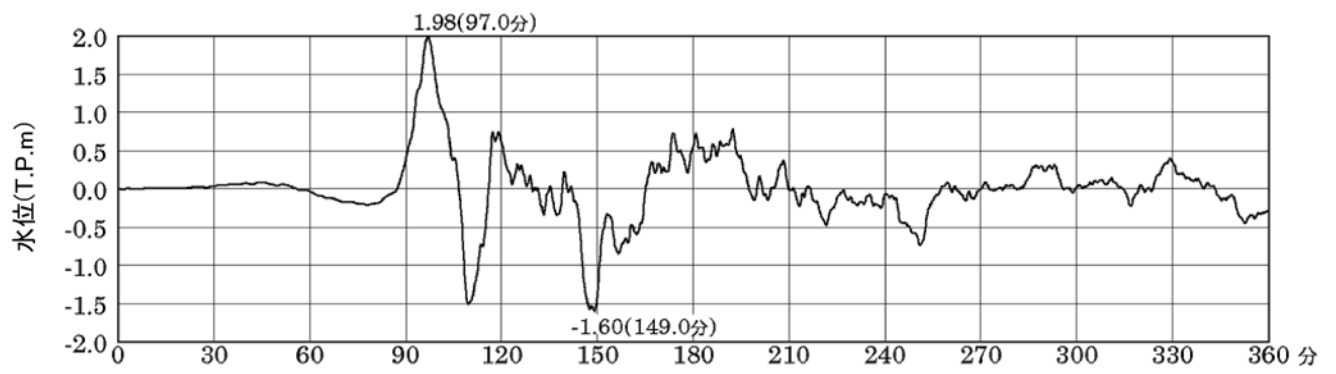
第1.2-19図(3) 計算格子分割(敷地近傍海域)



第1.2-20図 敷地周辺の海域活断層の津波波源
及び海底地すべりの位置



第1.2-21図 基準津波の策定位置



第1.2-22図 基準津波の時刻歴波形(初期潮位:T.P.±0.00m)



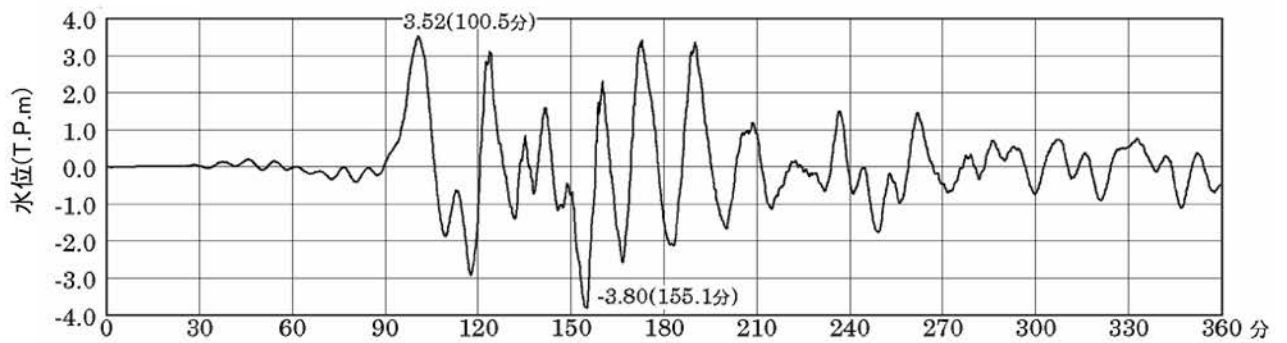
第1.2-23図(1) 基準津波の最大水位上昇量分布

(初期潮位 : T.P.±0.00m)



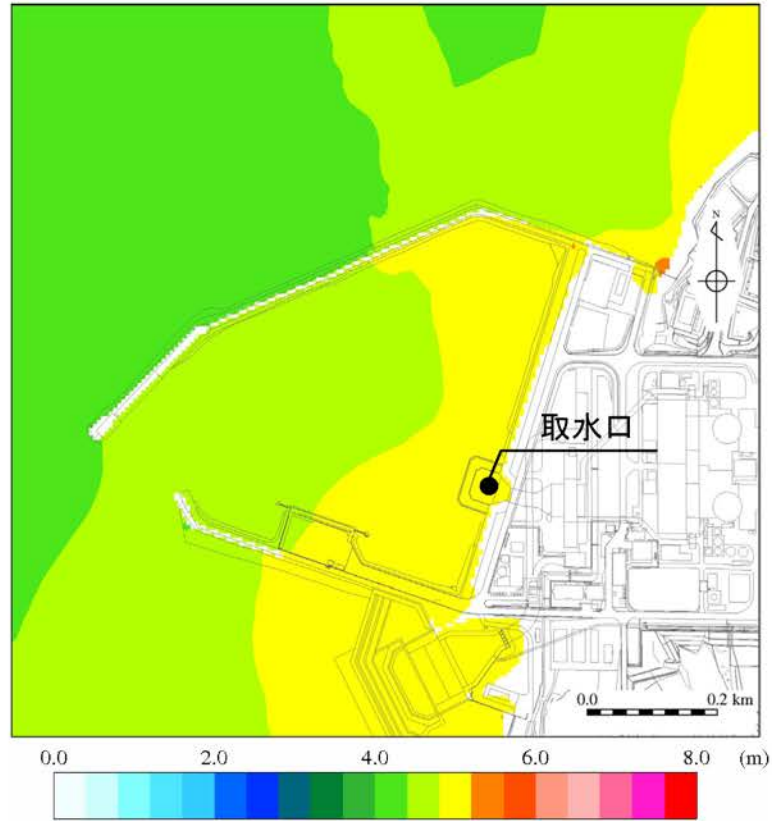
第1.2-23図(2) 基準津波の最大水位下降量分布

(初期潮位 : T.P.±0.00m)

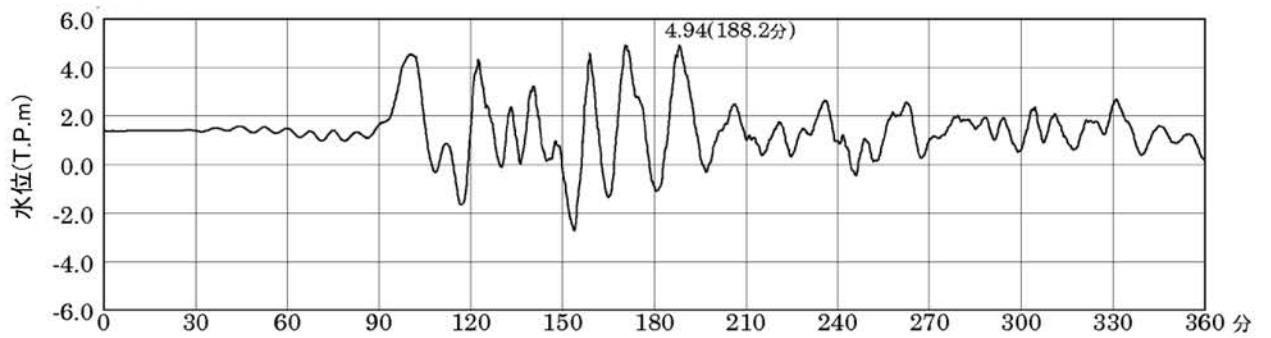


第1.2-23図(3) 基準津波の取水口位置での時刻歴波形

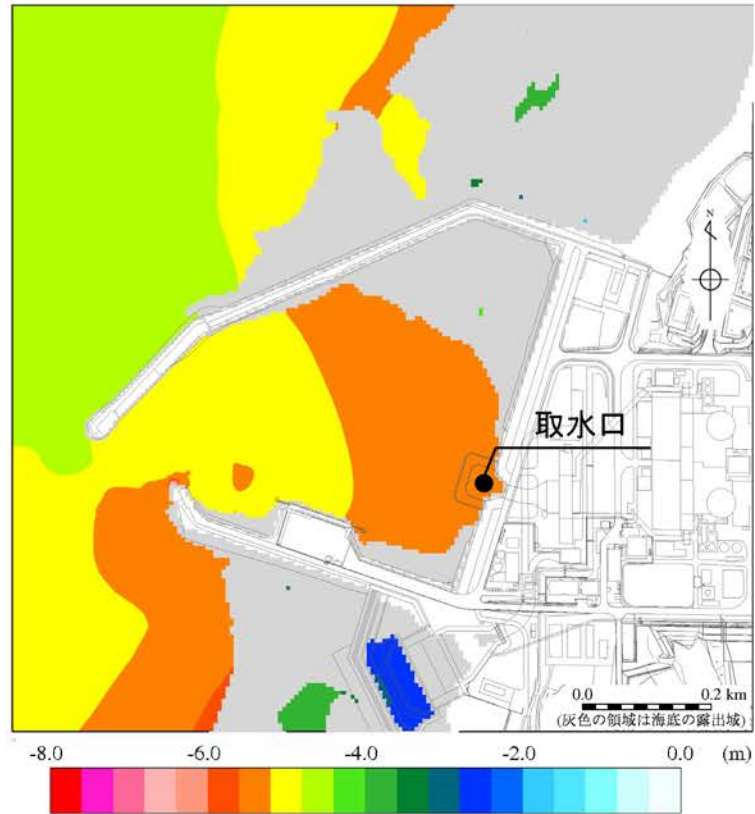
(初期潮位 : T.P.±0.00m)



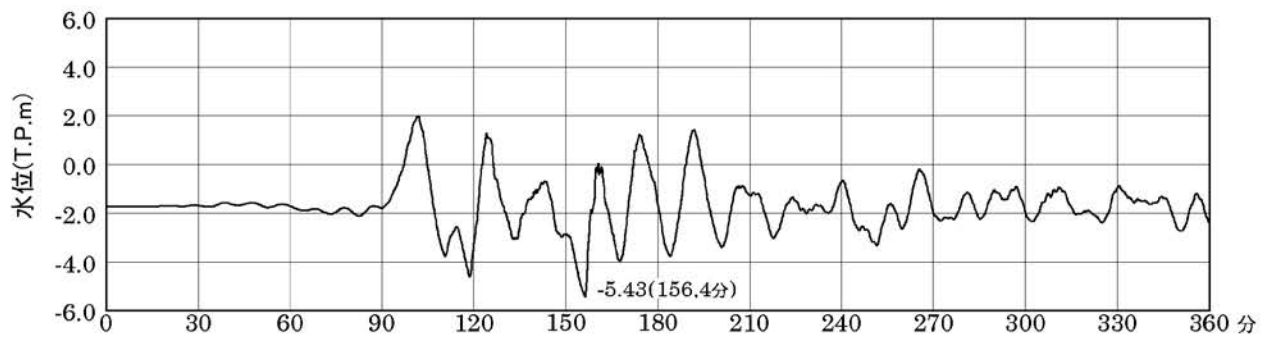
第1.2-24図(1) 基準津波の最高水位分布(朔望平均満潮位を考慮)



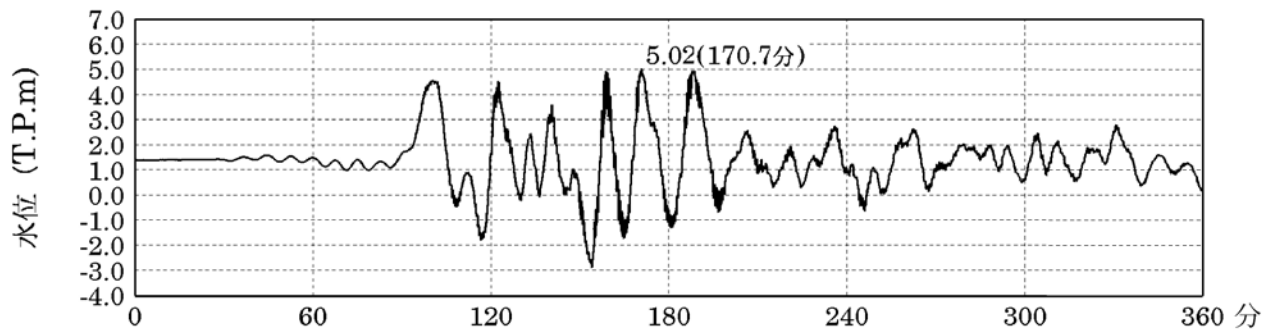
第1.2-24図(2) 基準津波の取水口位置での時刻歴波形
(朔望平均満潮位を考慮)



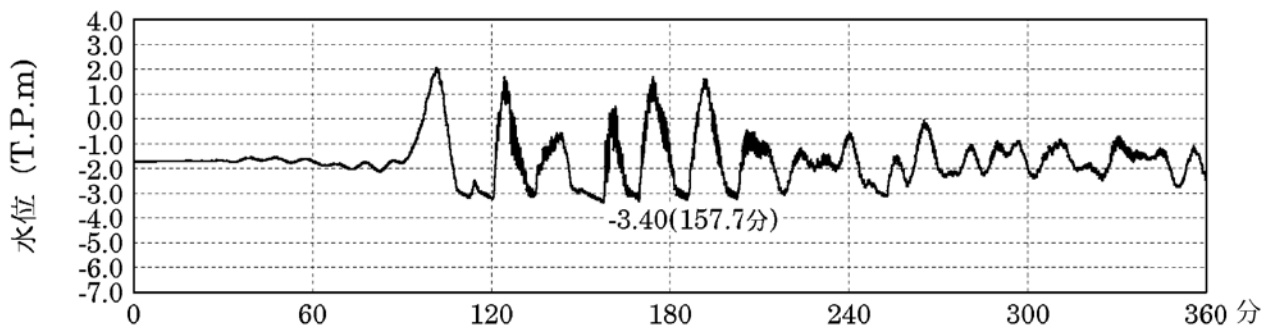
第1.2-24図(3) 基準津波の最低水位分布(朔望平均干潮位を考慮)



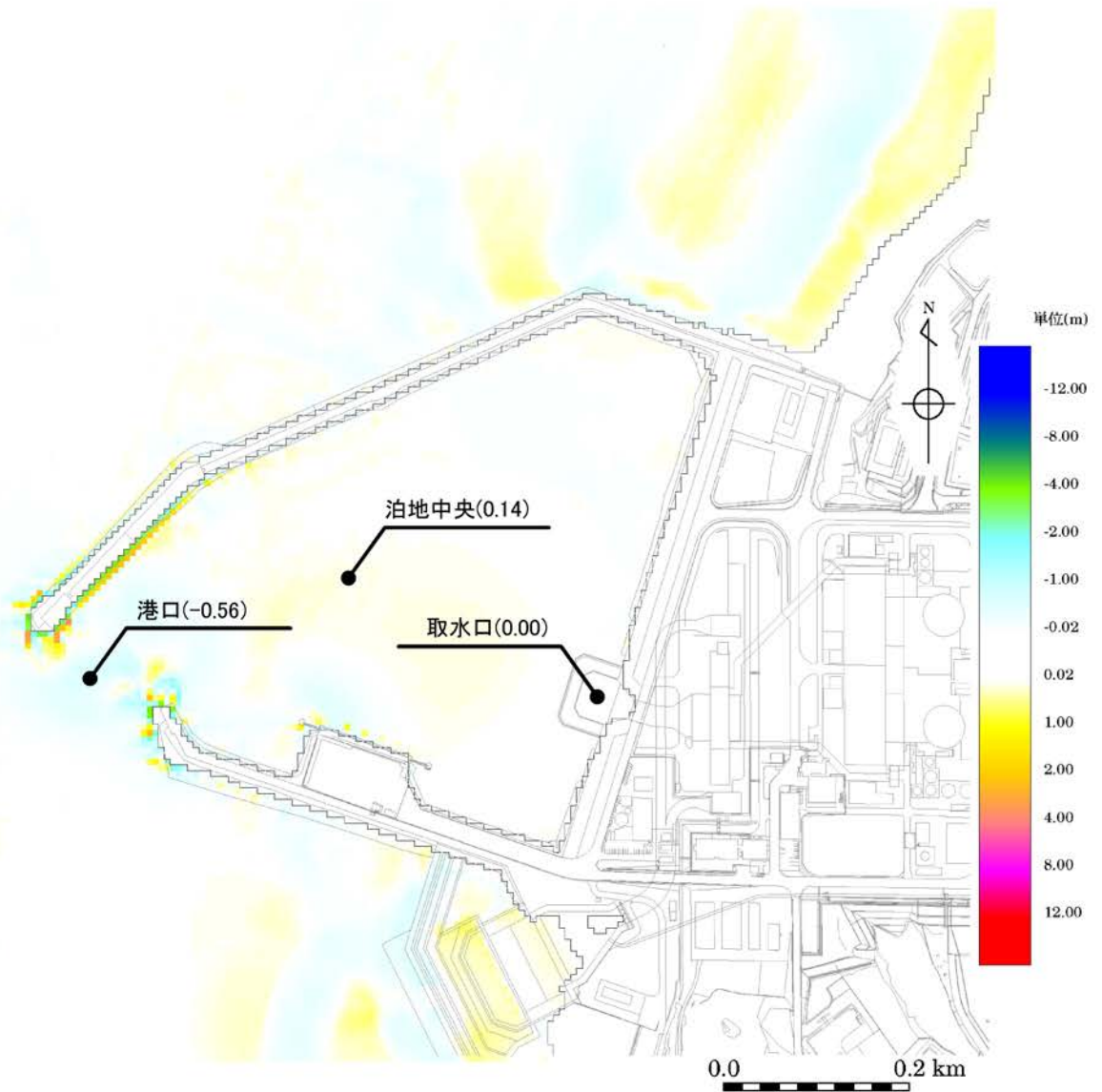
第1.2-24図(4) 基準津波の取水口位置での時刻歴波形
(朔望平均干潮位を考慮)



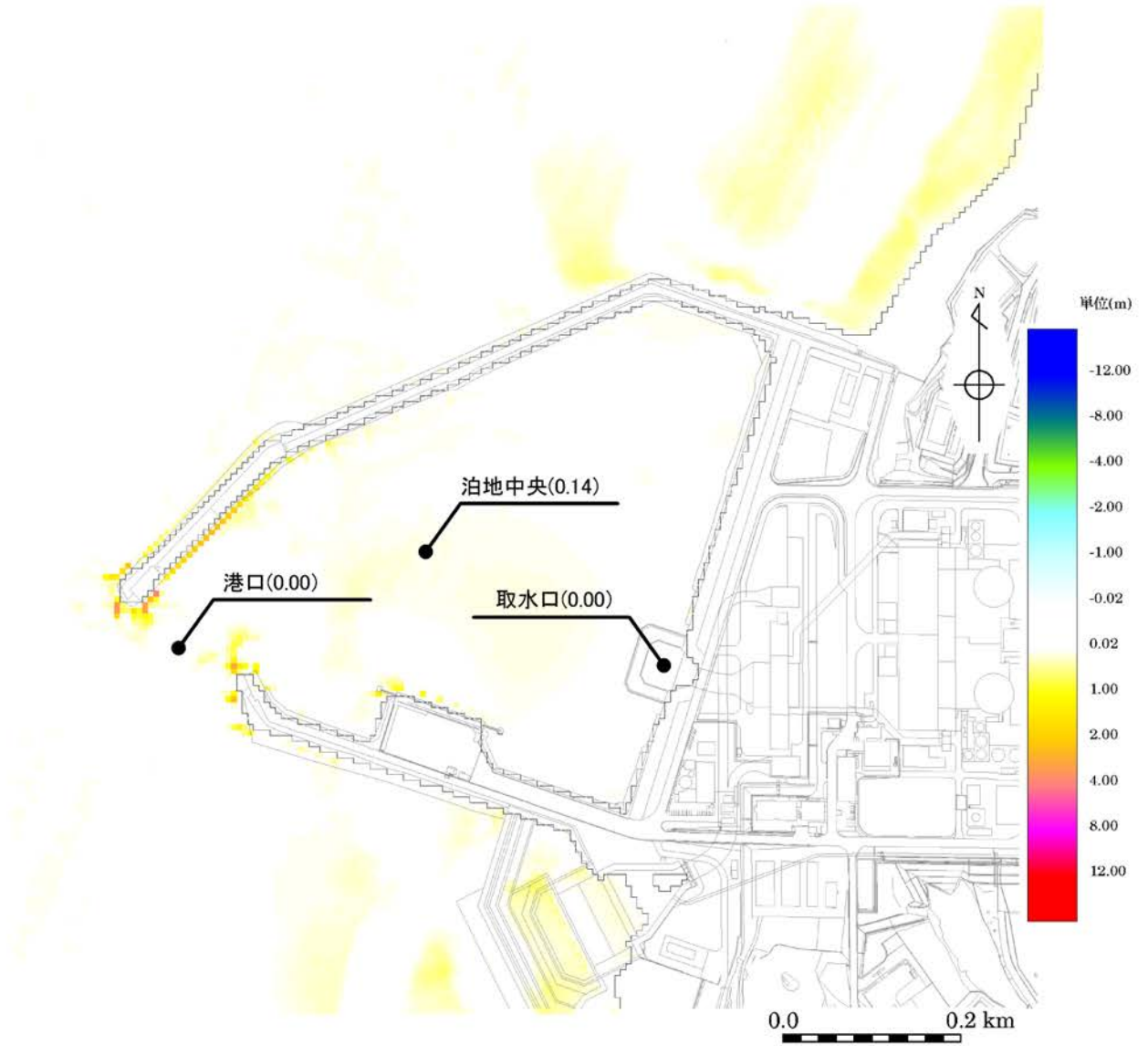
第1.2-26図(1) 取水ピットでの時刻歴波形
 (水位上昇側、朔望平均満潮位を考慮)



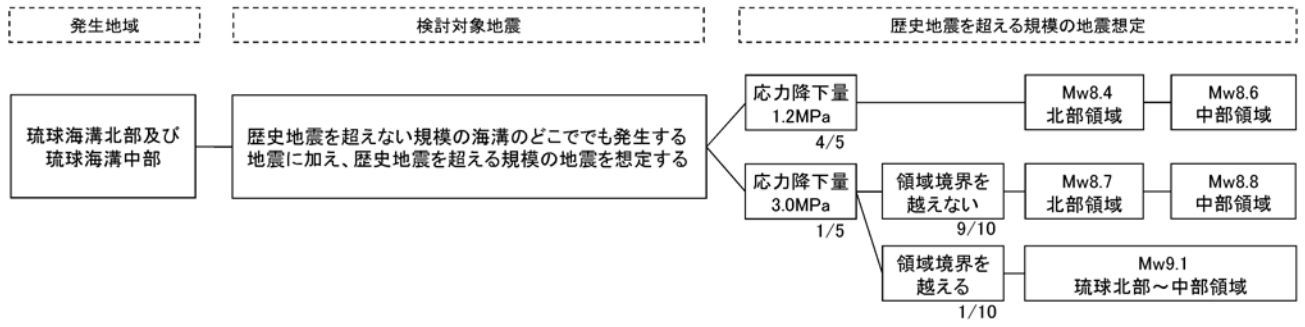
第1.2-26図(2) 取水ピットでの時刻歴波形
 (水位下降側、朔望平均干潮位を考慮)



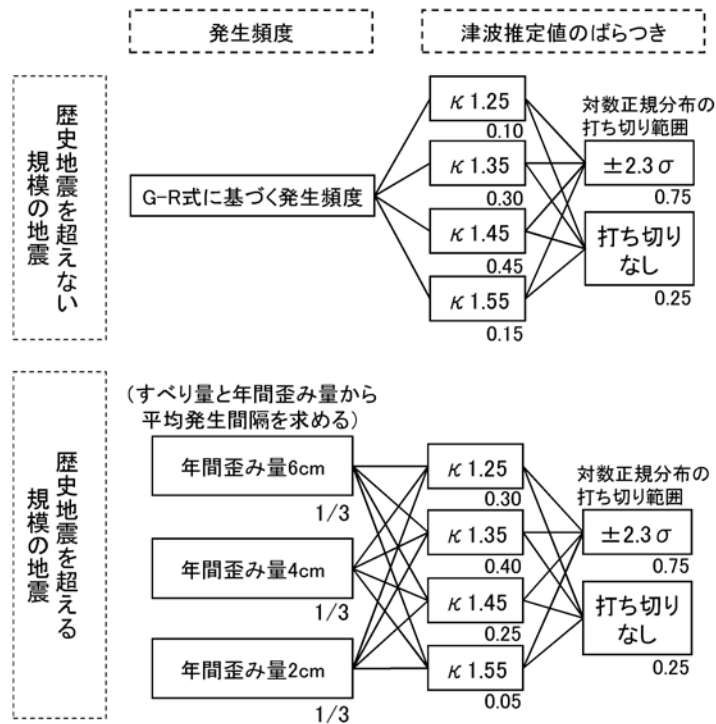
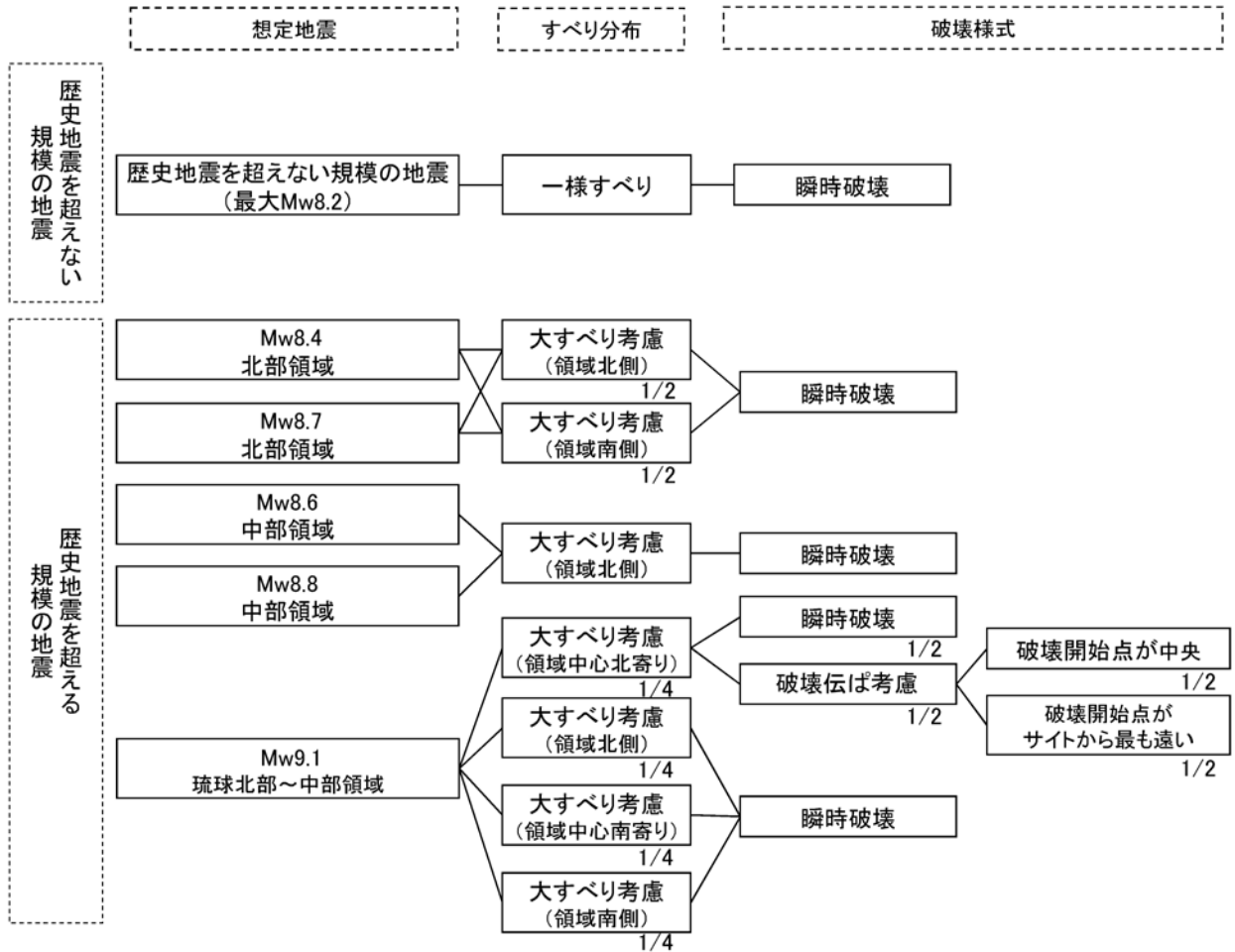
第1.2-27図(1) 砂移動による最終地形変化量



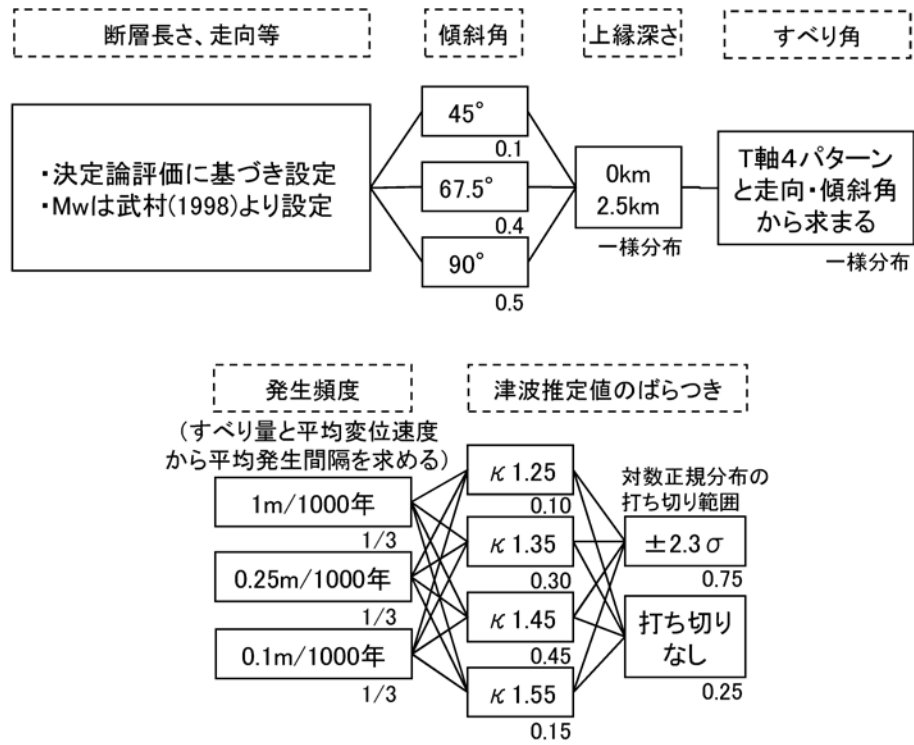
第1.2-27図(2) 砂移動による最大堆積厚



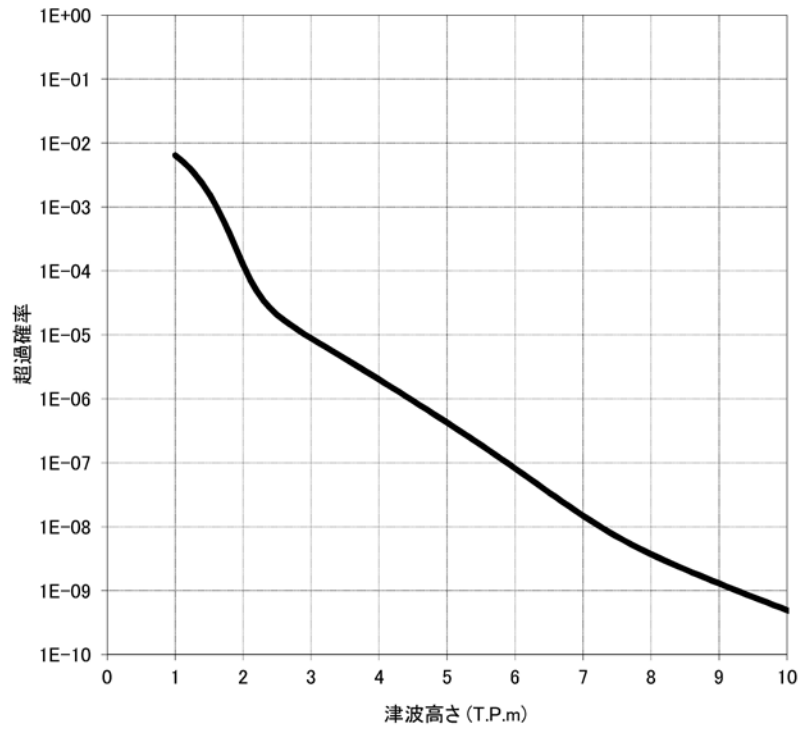
第1.2-28図(1) ロジックツリー(プレート間地震)



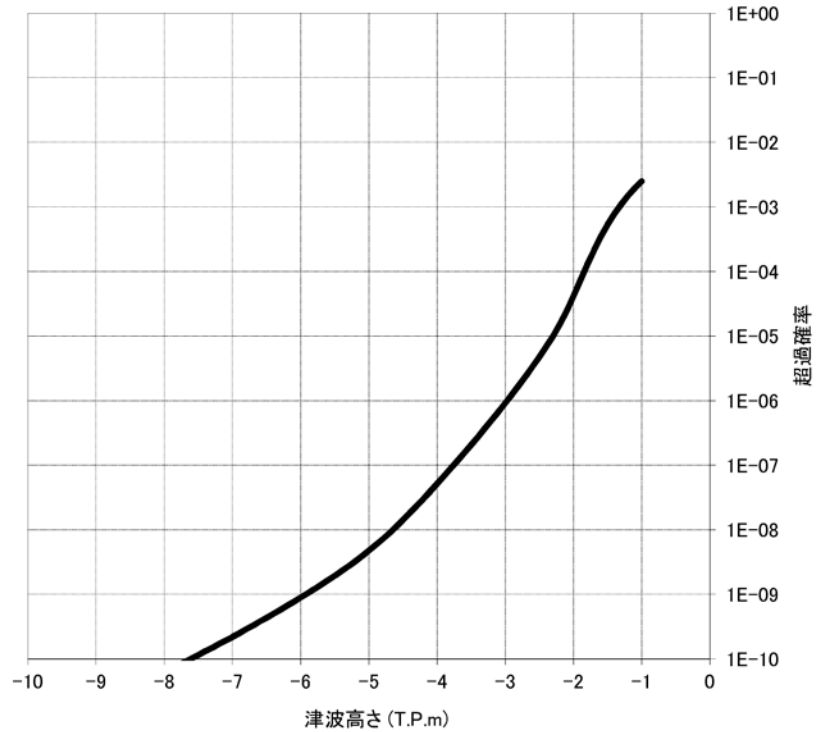
第1.2-28図(2) ロジックツリー(プレート間地震)



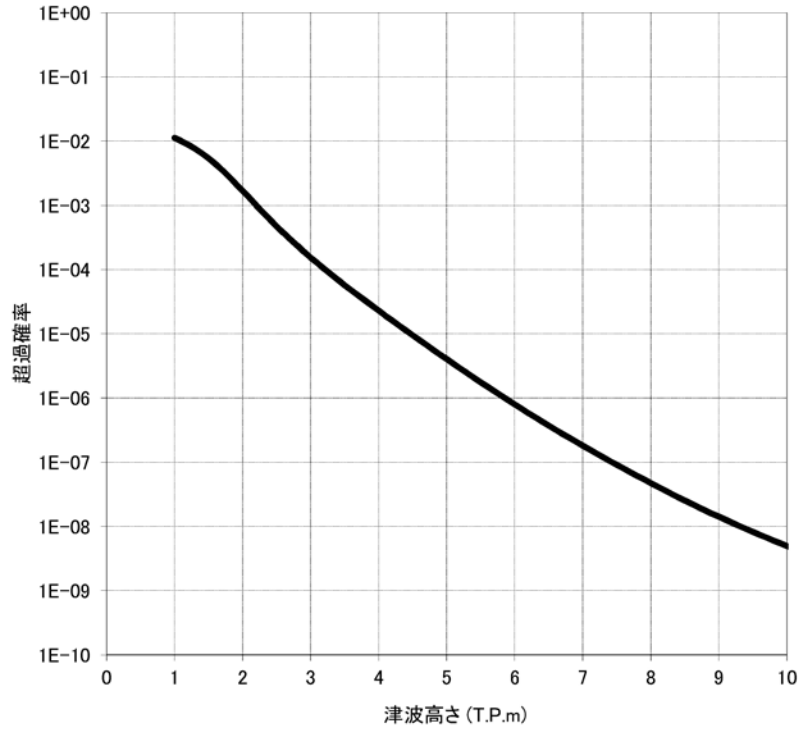
第1.2-28図(3) ロジックツリー(海域活断層による地殻内地震)



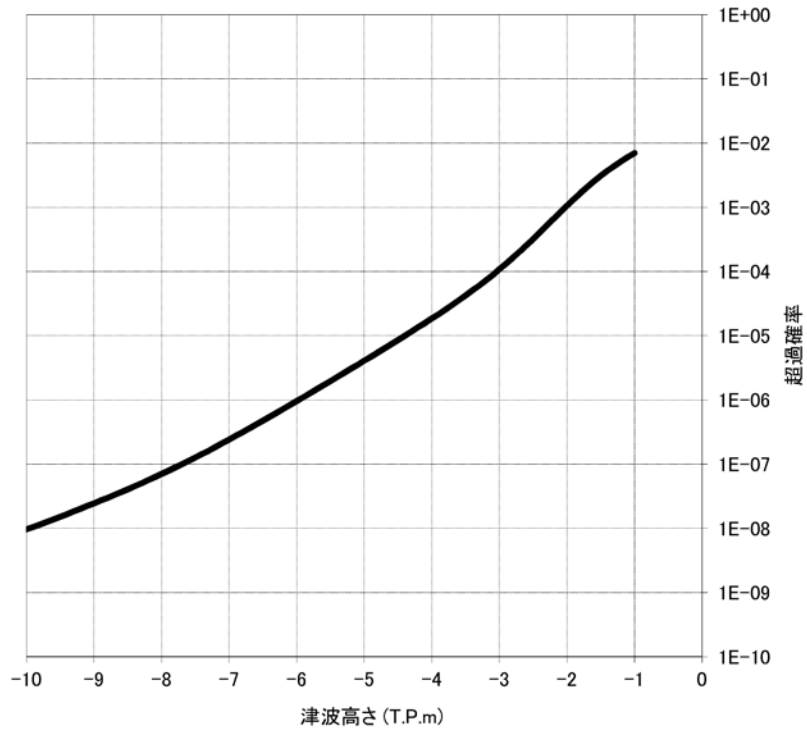
第1.2-29図(1) 基準津波の策定位置における
水位と年超過確率の関係(水位上昇側)



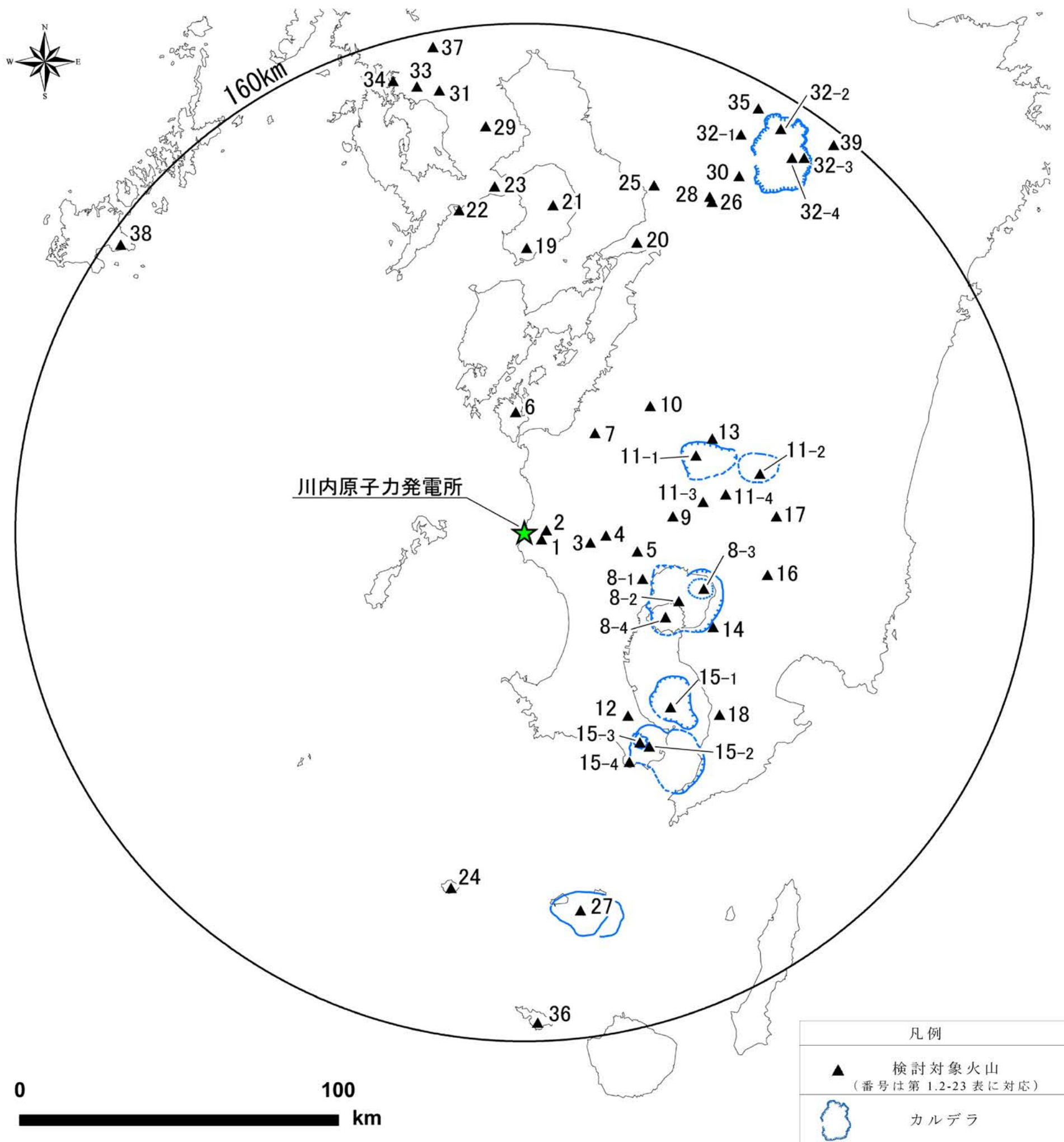
第1.2-29図(2) 基準津波の策定位置における
水位と年超過確率の関係(水位下降側)



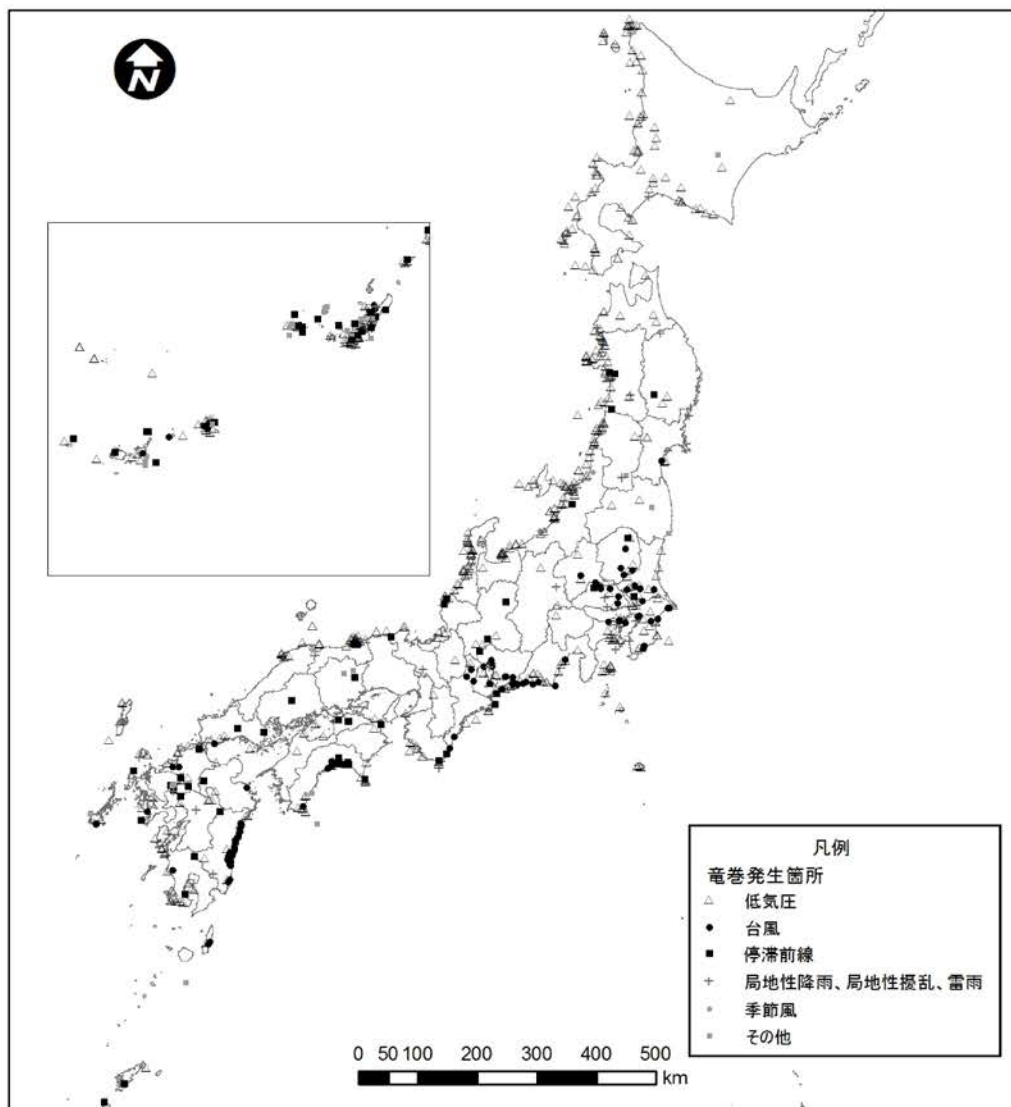
第1.2-29図(3) 取水口位置における
水位と年超過確率の関係(水位上昇側)



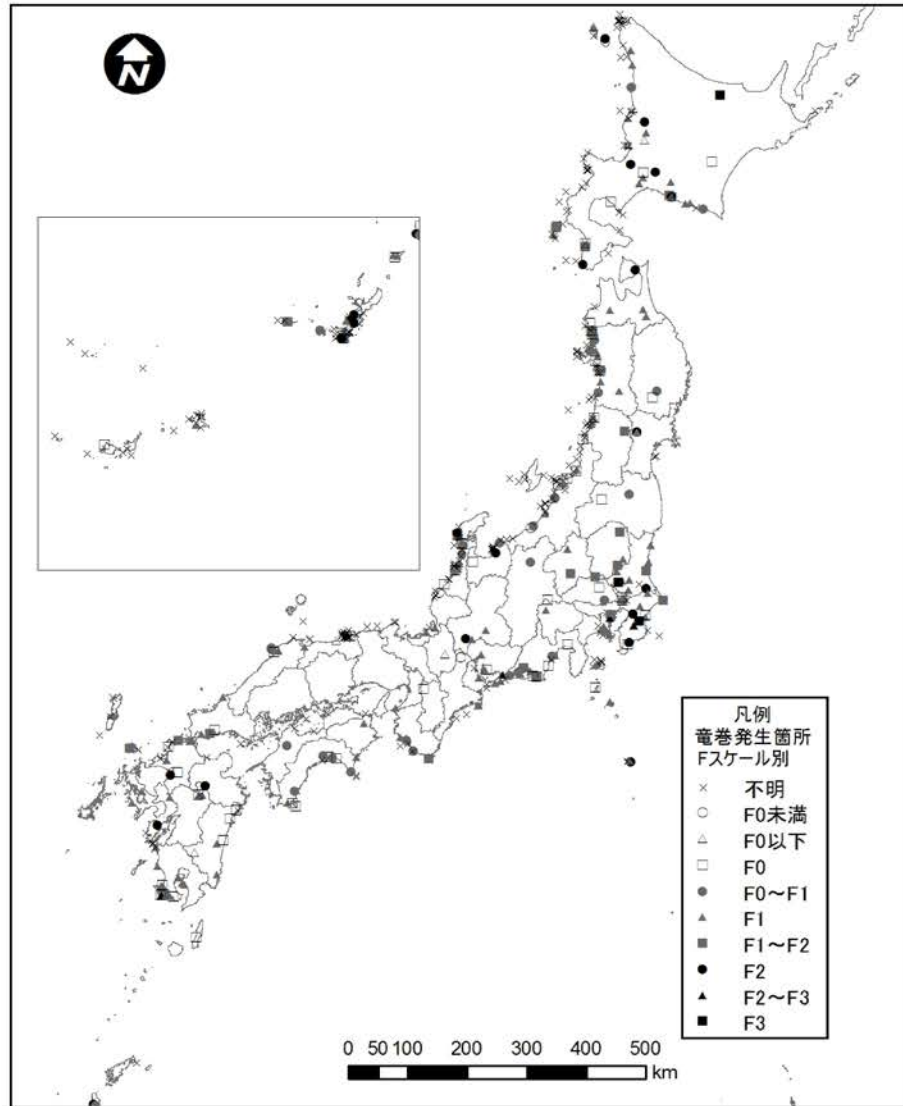
第1.2-29図(4) 取水口位置における
水位と年超過確率の関係(水位下降側)



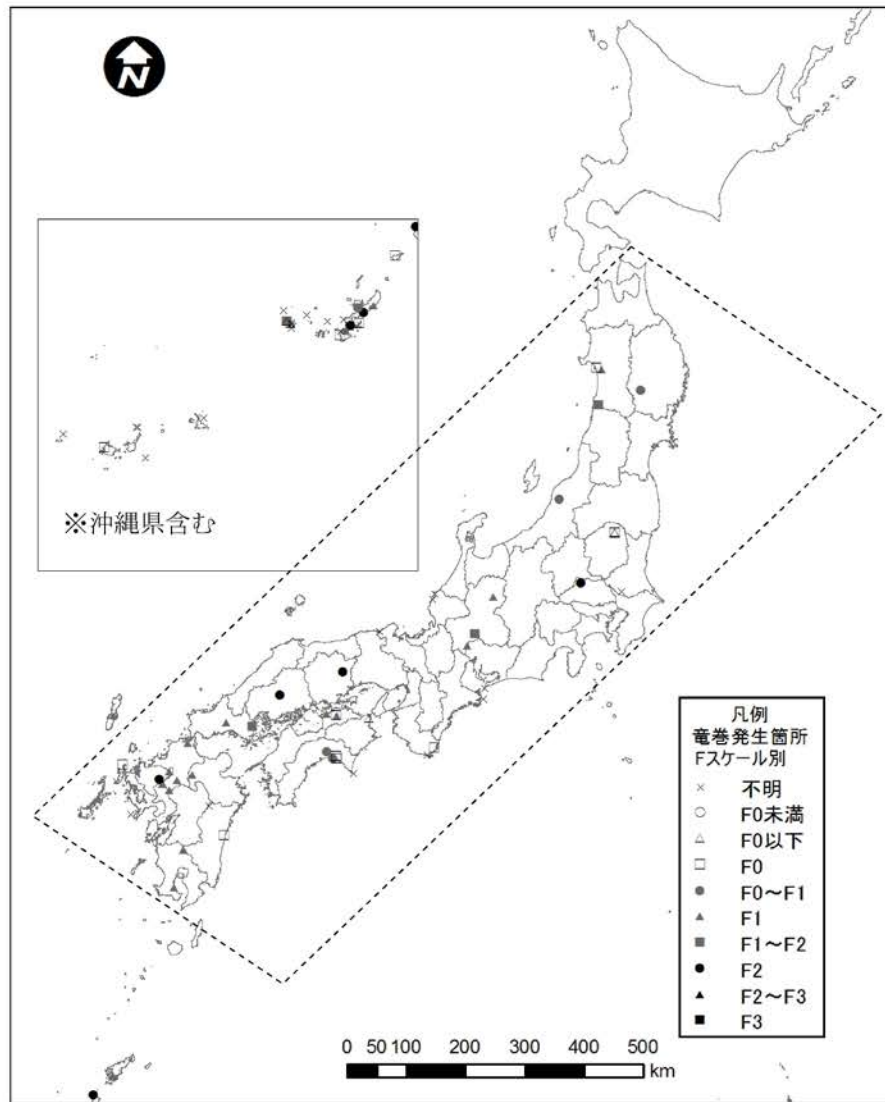
第1.2-30図 地理的領域の検討対象火山の位置



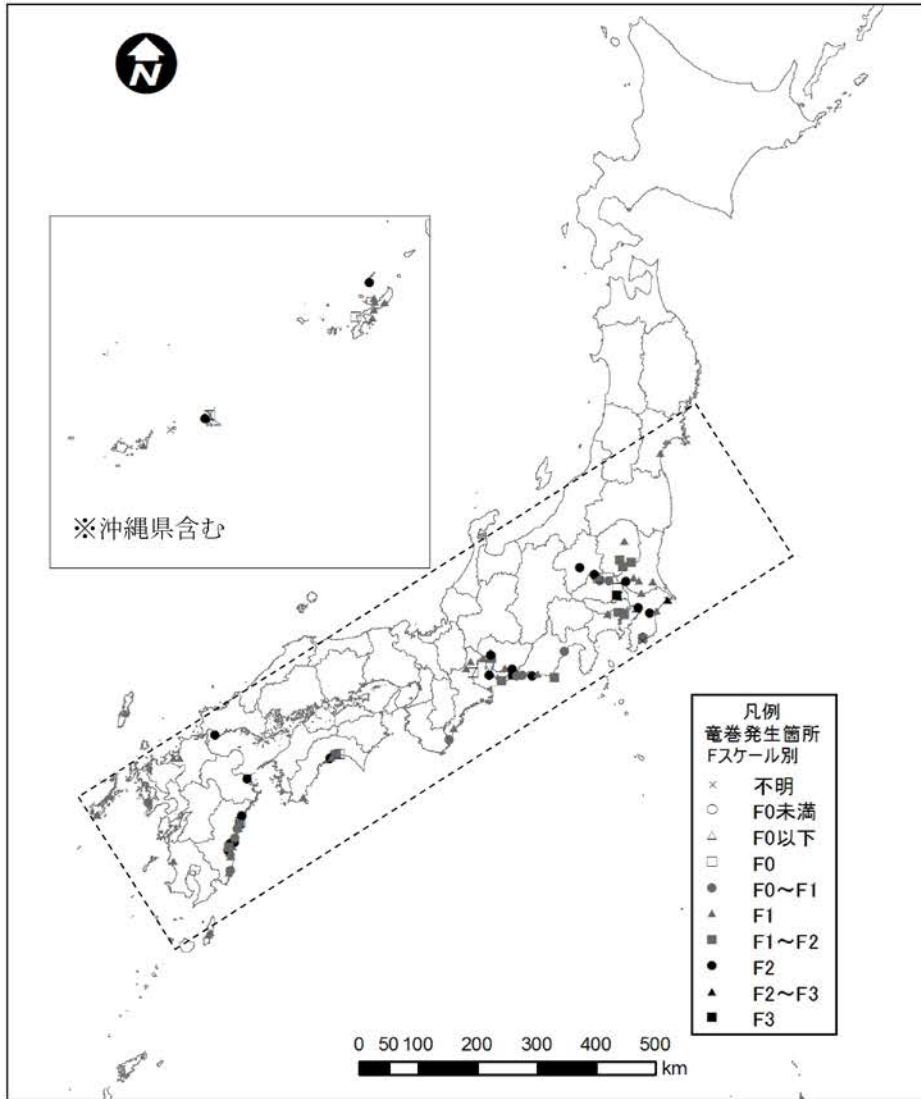
第1.2-31図 気象要因別の竜巻発生位置



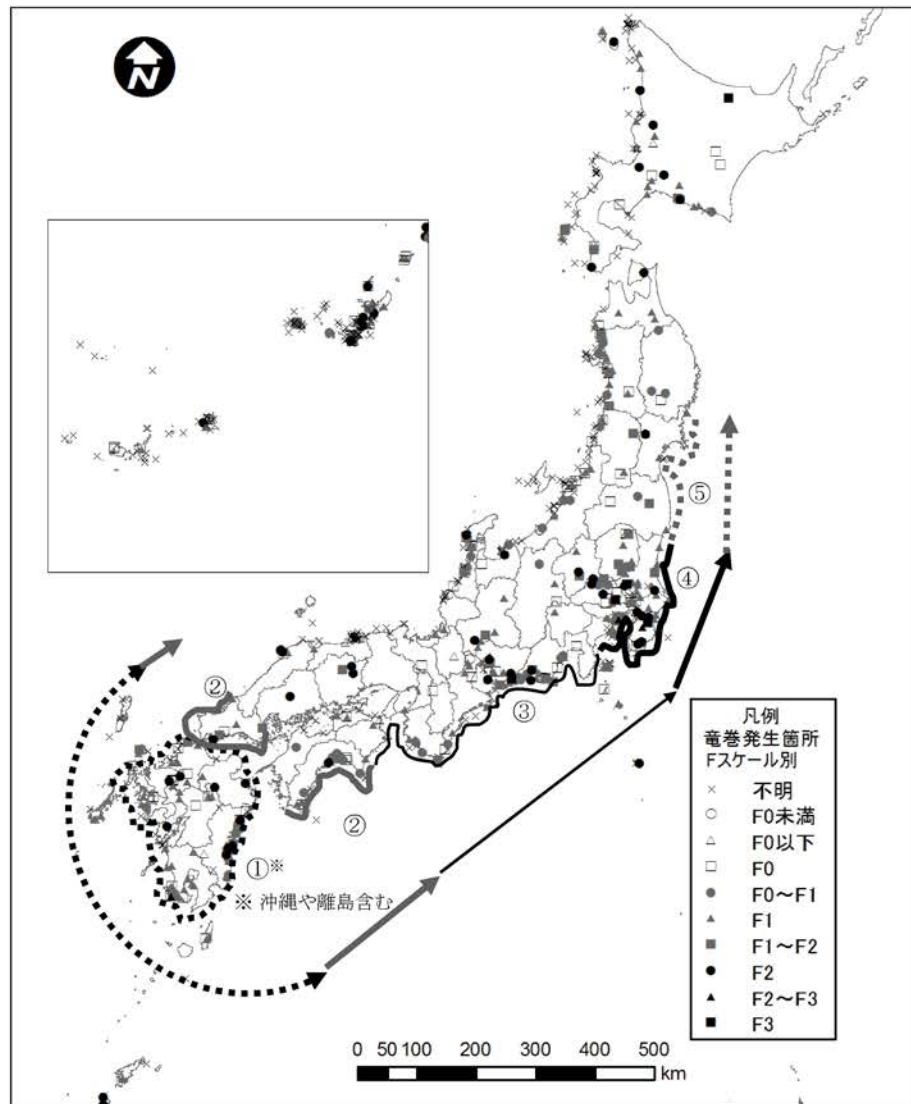
第1.2-32図 竜巻発生位置(低気圧起因)



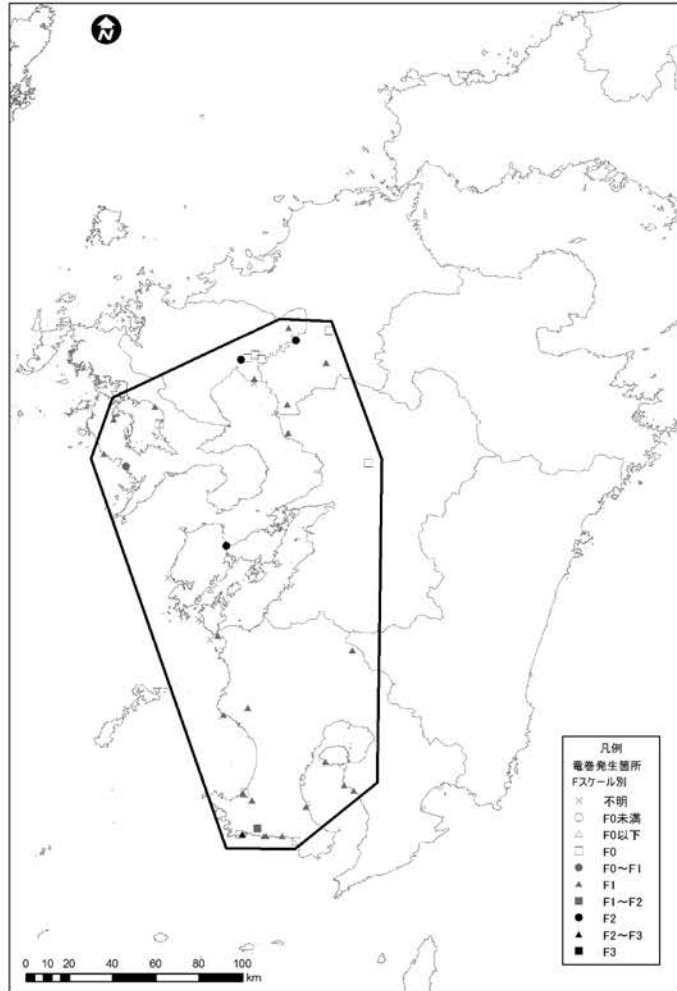
第1.2-33図 竜巻発生位置(停滞前線起因)



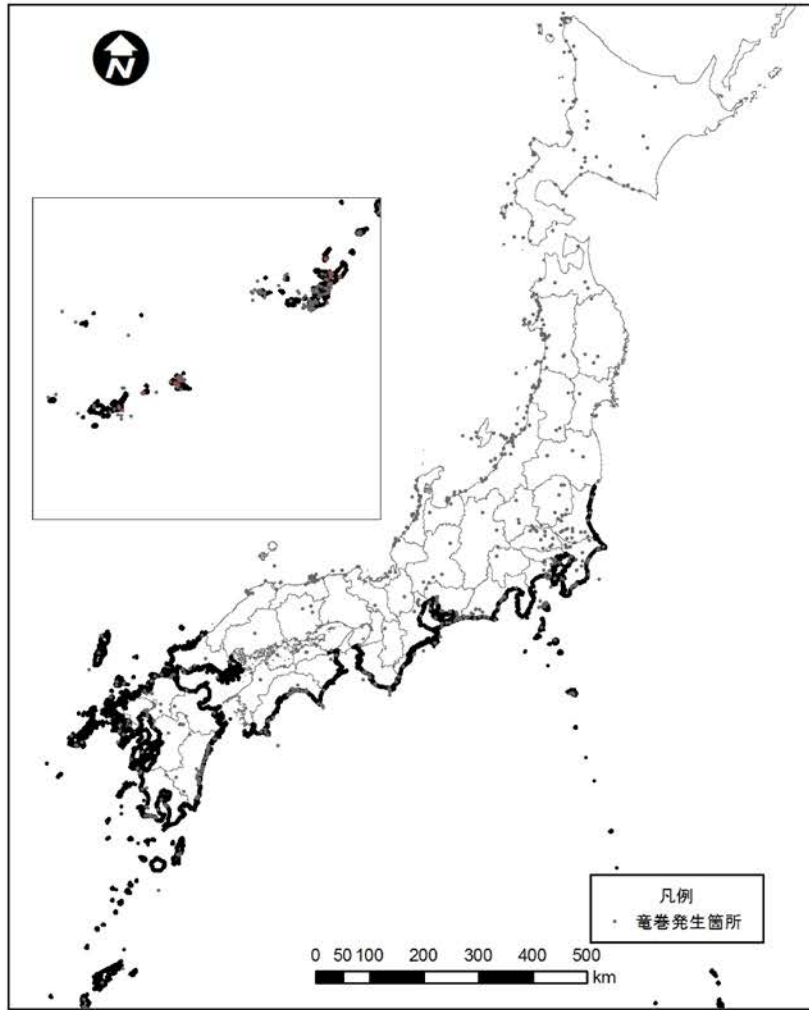
第1.2-34図 竜巻発生位置(台風起因)



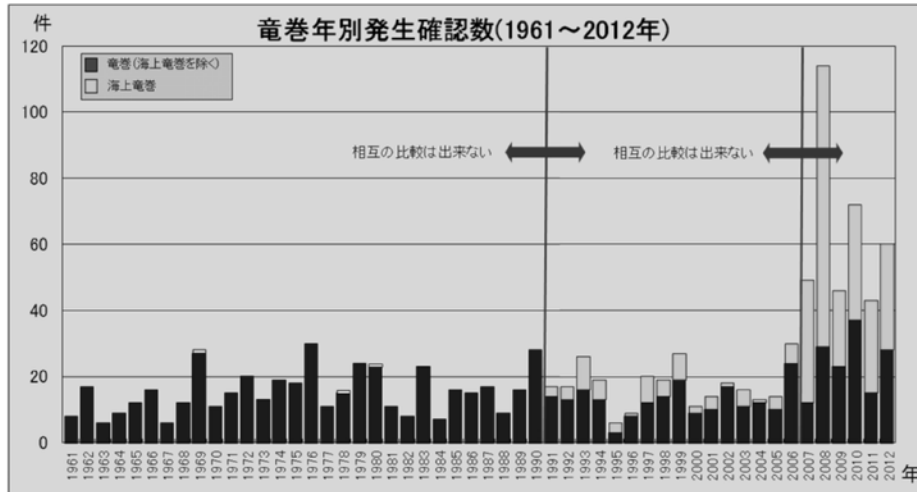
第1.2-35図 Fスケール別の竜巻発生位置



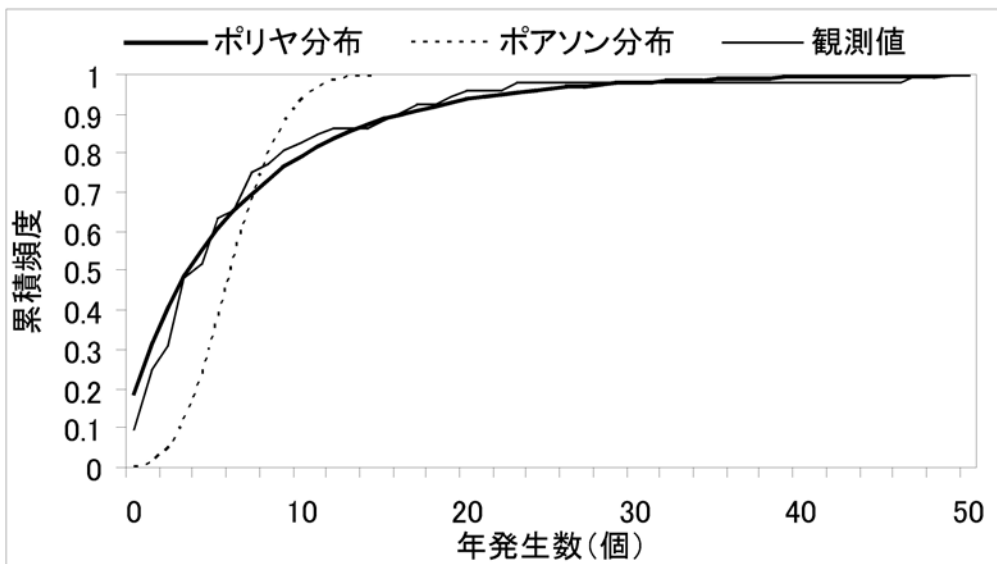
第1.2-36図 集中地域⑨におけるFスケール別竜巻発生位置



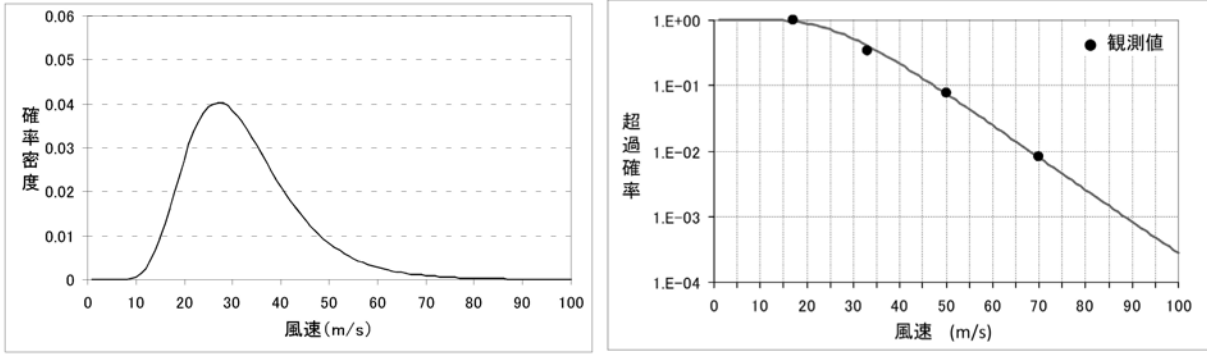
第1.2-37図 竜巻検討地域



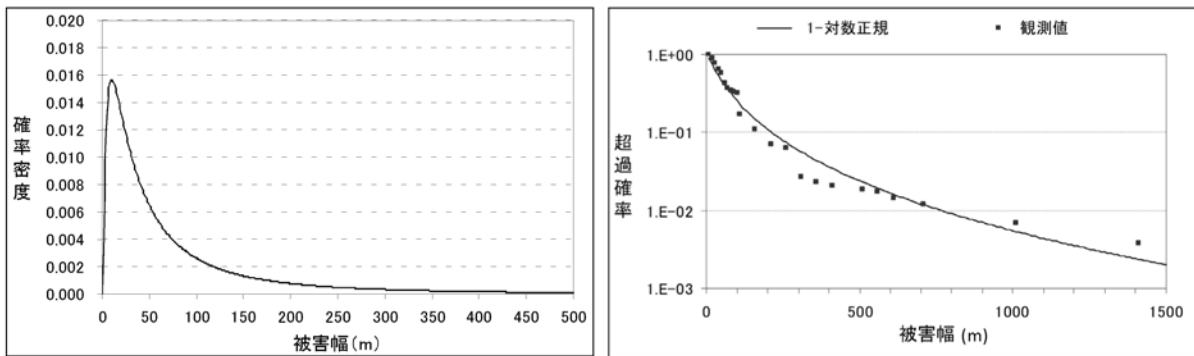
第1.2-38図 竜巻の年発生数(出典:気象庁ホームページ)



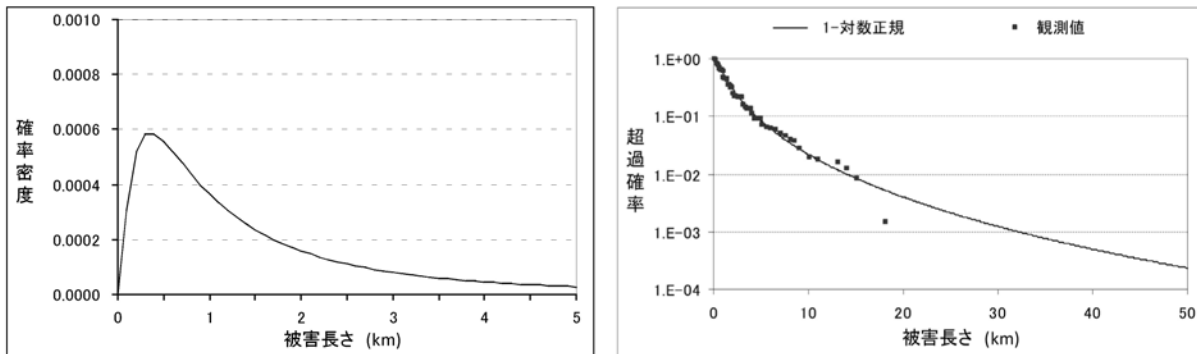
第1.2-39図 竜巻検討地域における竜巻の年発生数の累積頻度



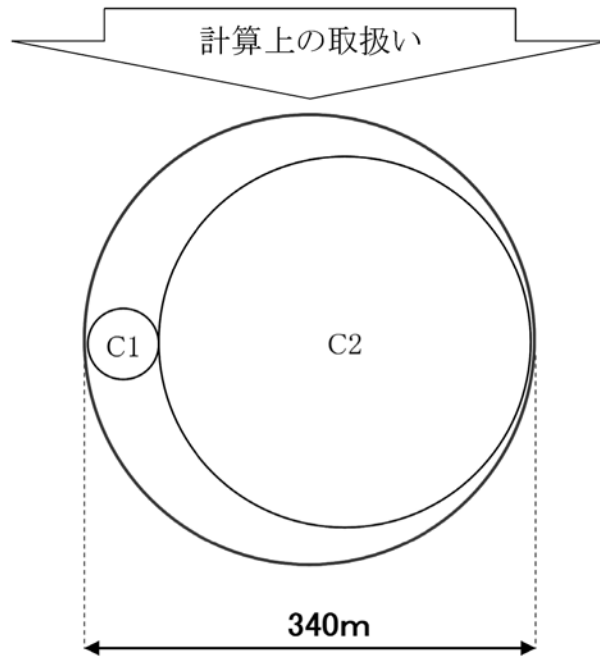
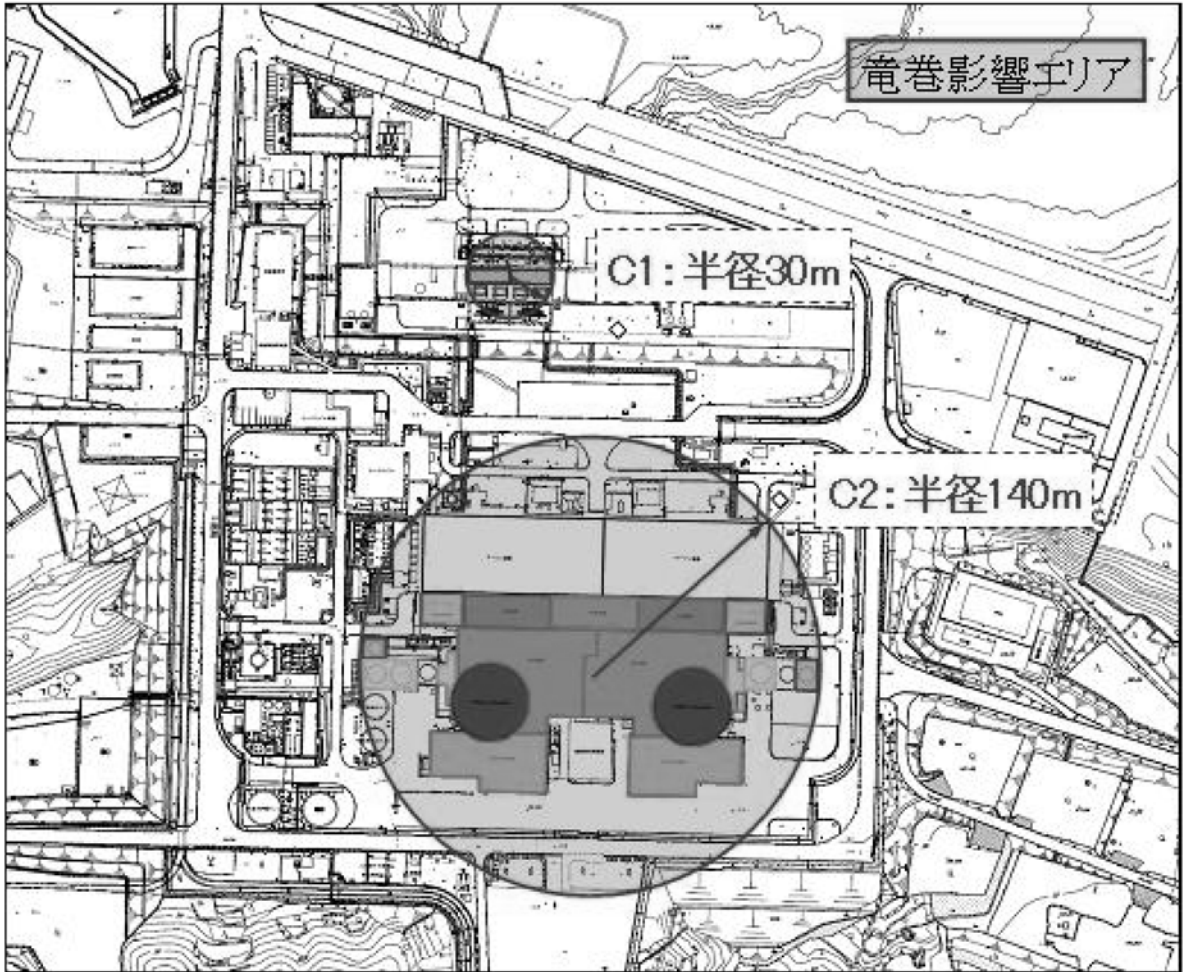
第1.2-40図 風速の確率密度分布(左)と超過確率(右)



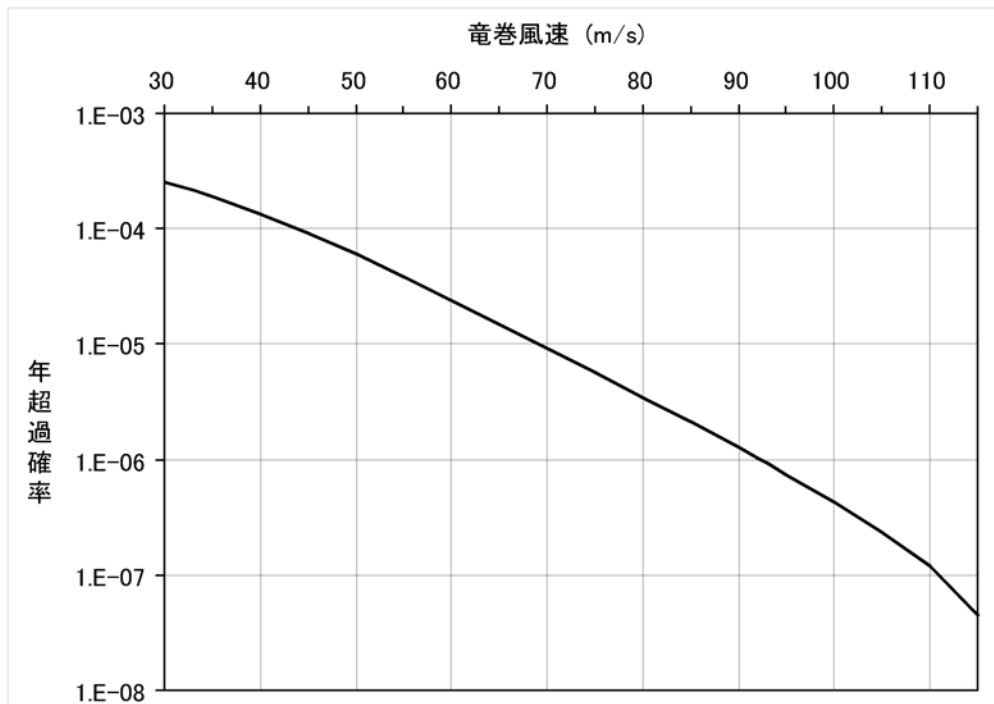
第1.2-41図 被害幅の確率密度分布(左)と超過確率(右)



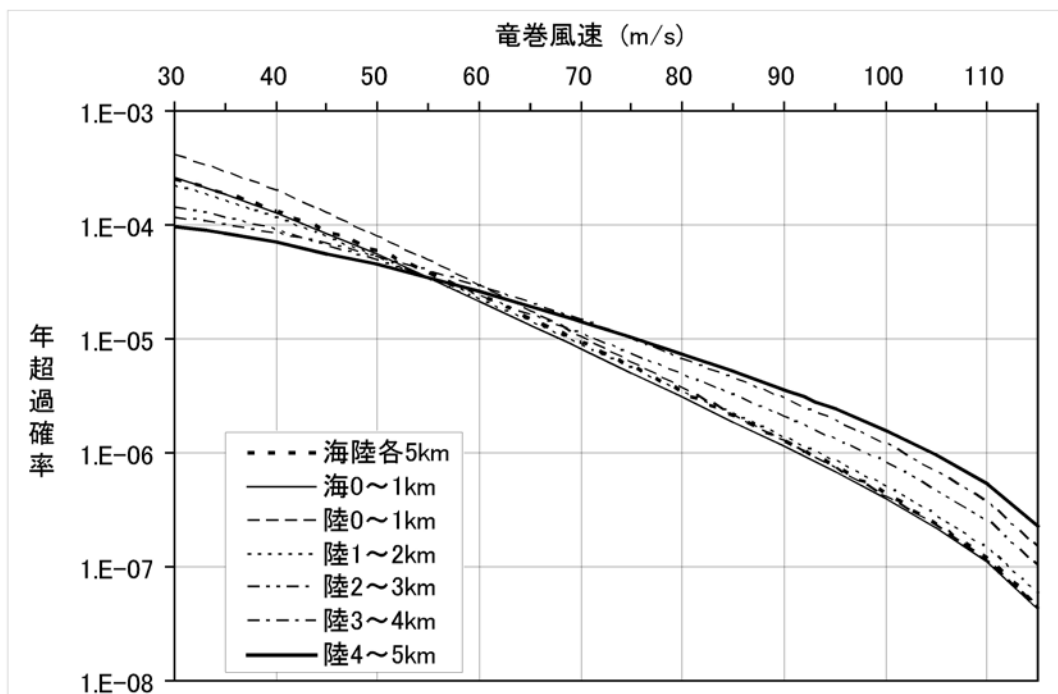
第1.2-42図 被害長さの確率密度分布(左)と超過確率(右)



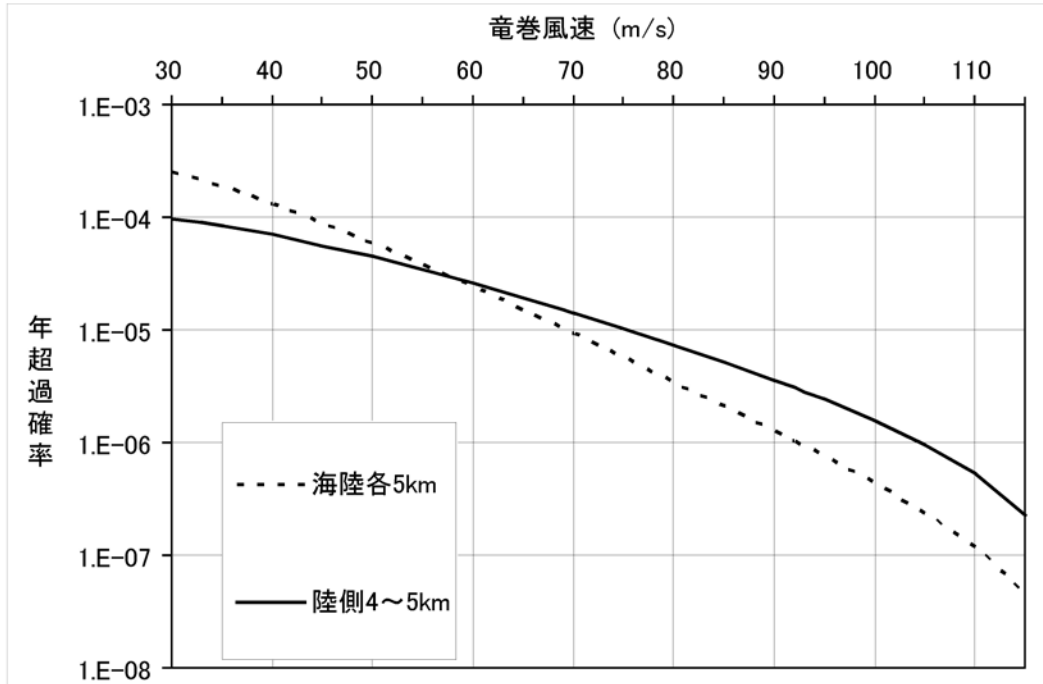
第1.2-43図 竜巻影響エリア



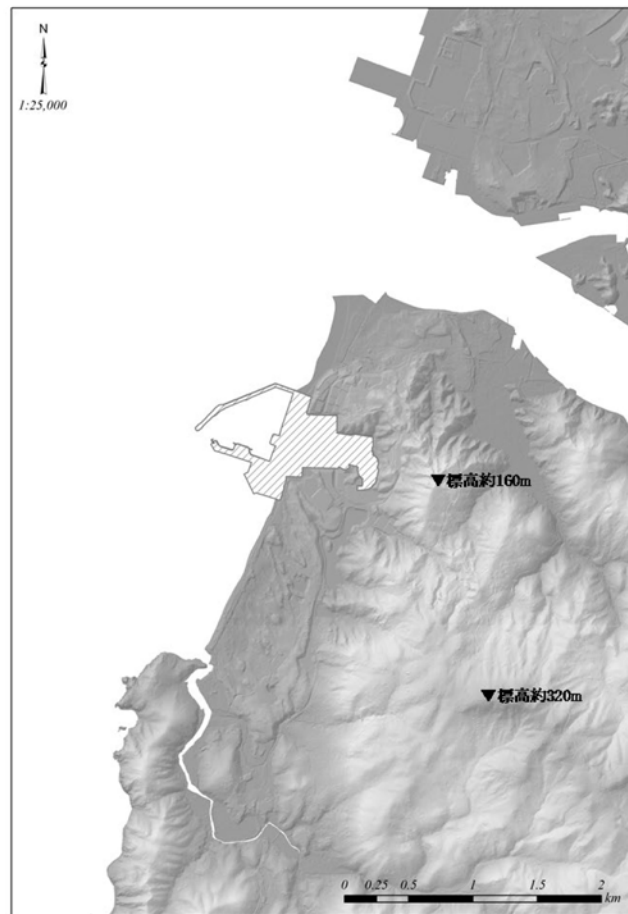
第1.2-44図 竜巻最大風速のハザード曲線 (海側、陸側5km範囲)



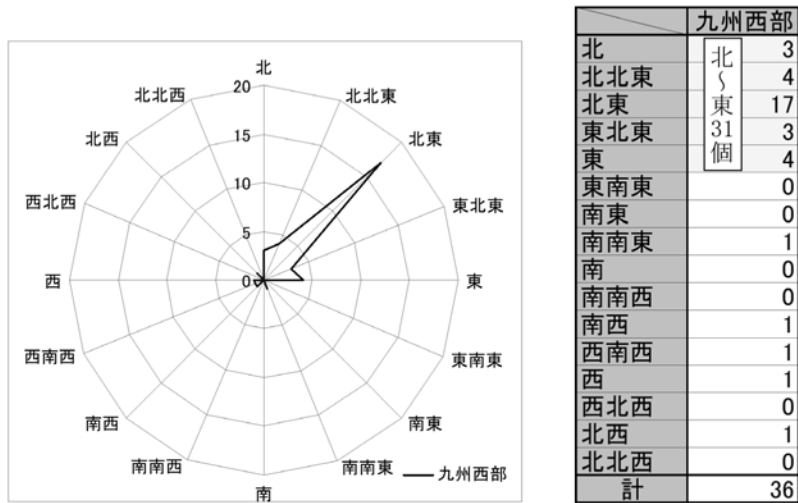
第1.2-45図 竜巻最大風速のハザード曲線 (1km範囲)



第1.2-46図 竜巻最大風速のハザード曲線



第1.2-47図 川内原子力発電所周辺の地形



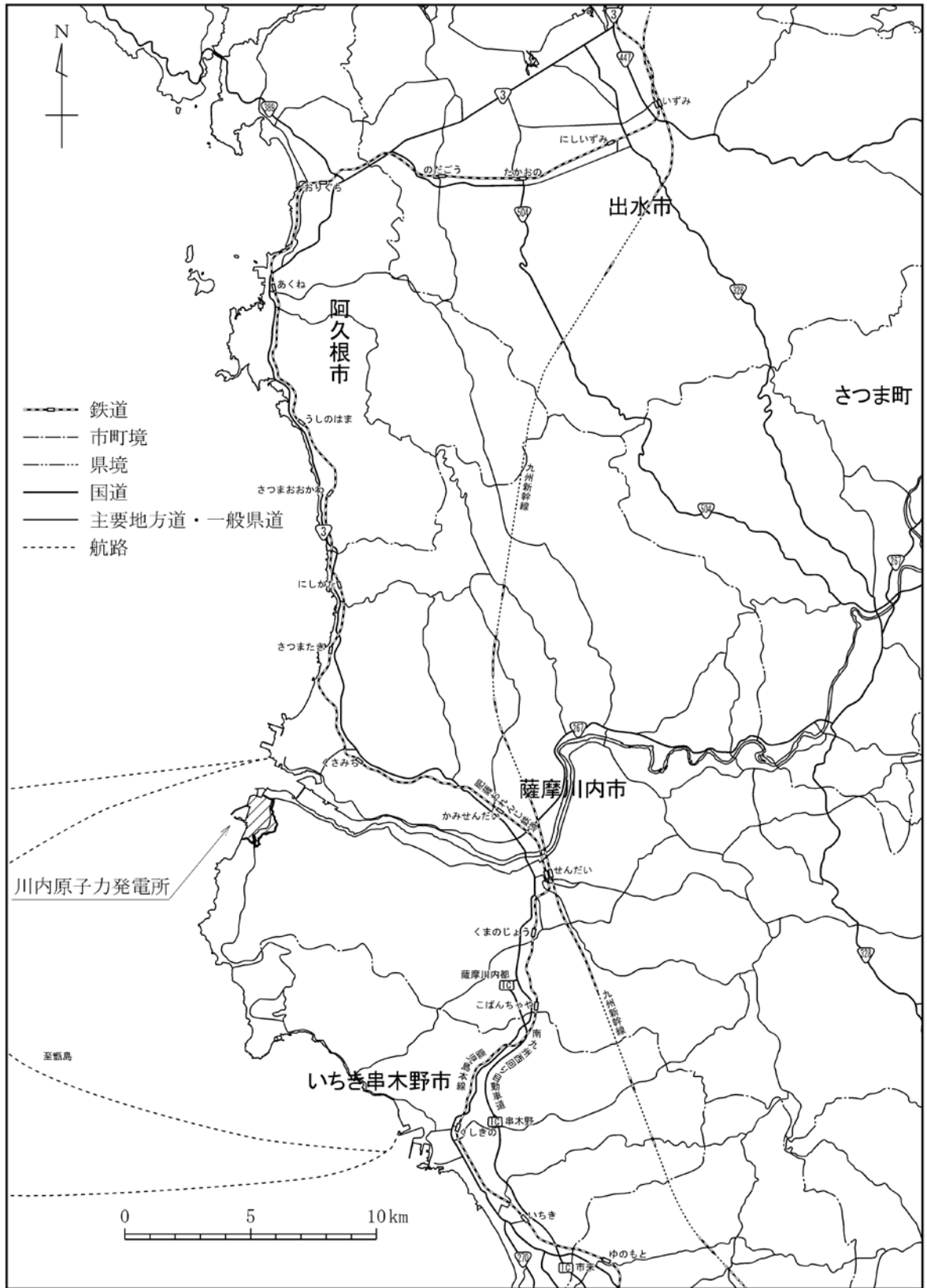
第1.2-48図 九州西部で発生した竜巻の移動方向



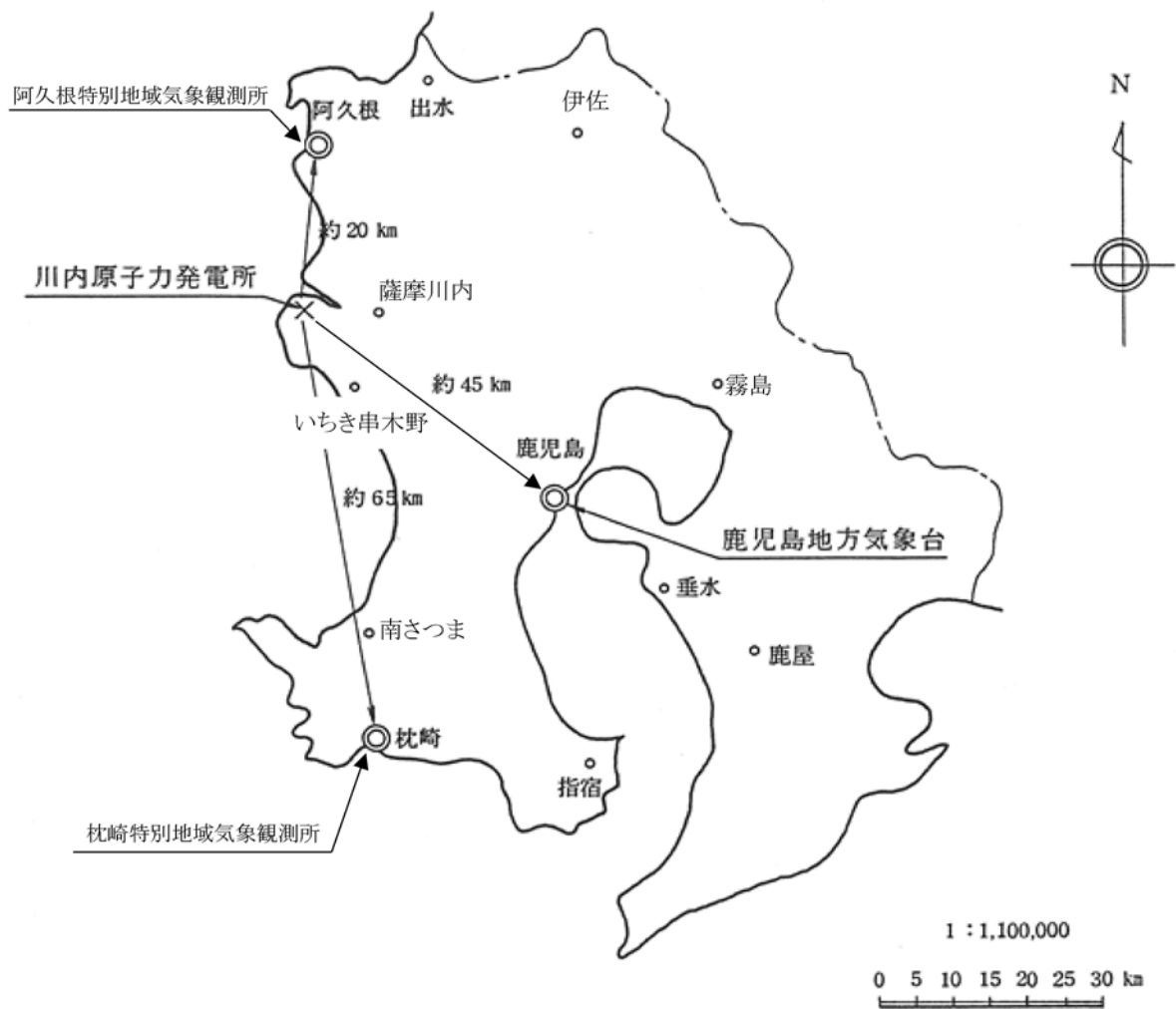
第1.2-49図 竜巻の移動方向と川内原子力発電所の位置関係



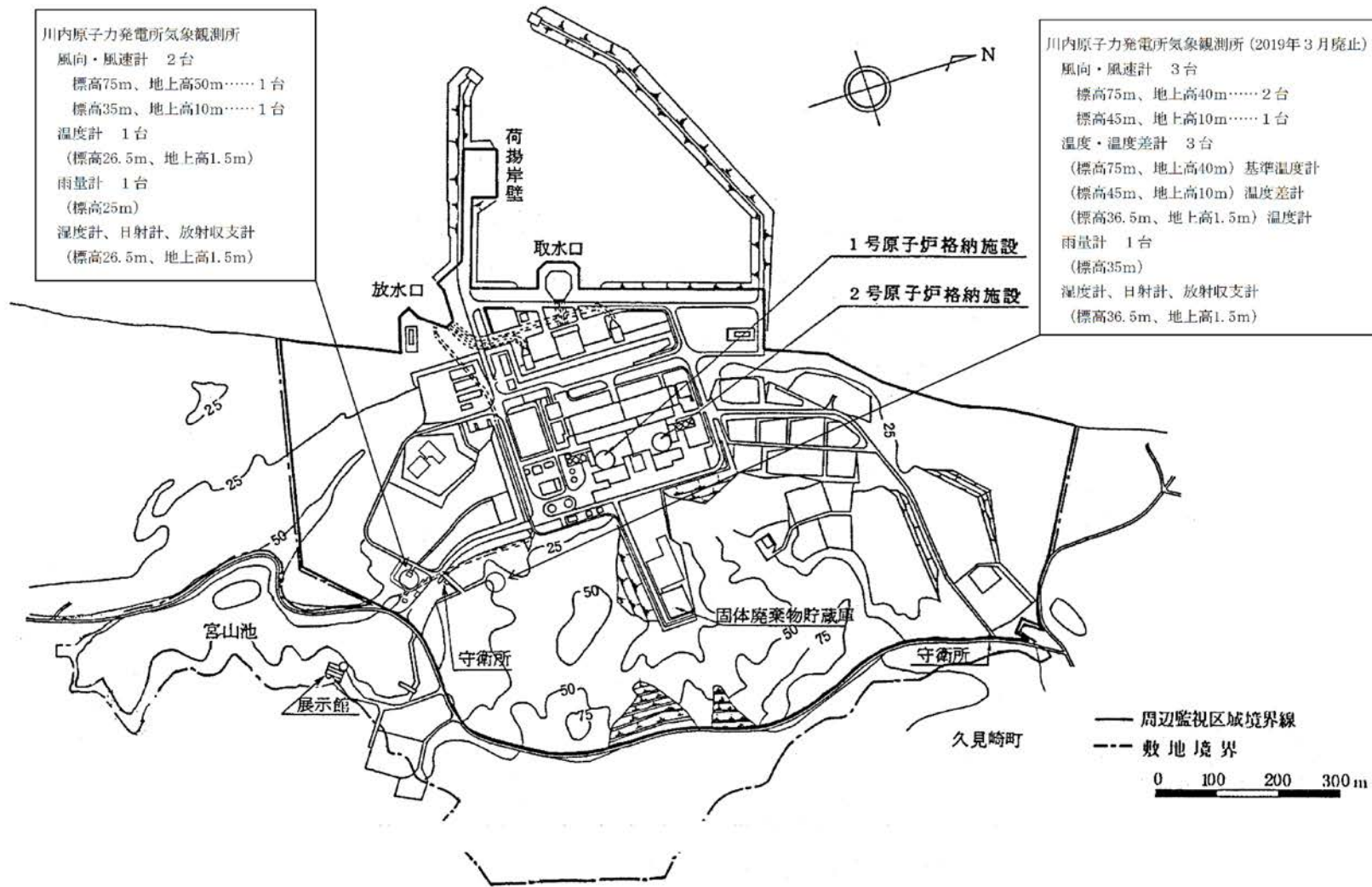
第1.2-50図 川内原子力発電所周辺のコンビナート施設の位置図



第1.2-51図 川内原子力発電所周辺の幹線道路、鉄道路線及び航路図

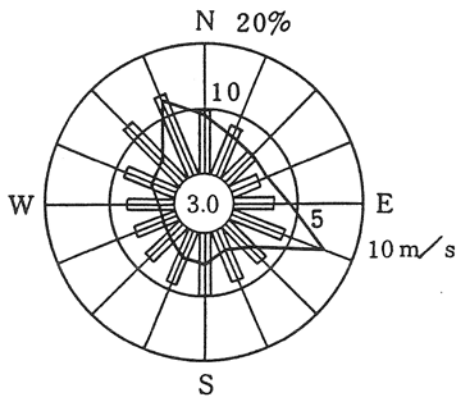


第1.2-53図 気象官署の所在地



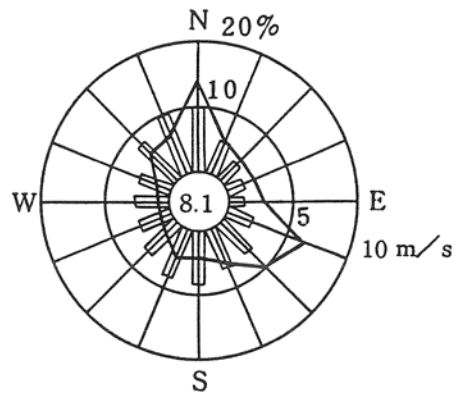
第1.2-54図 気象観測設備配置図

標高 75 m
(地上高 40 m)



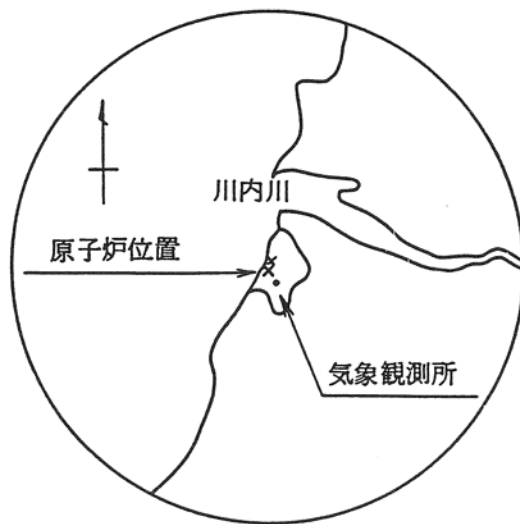
欠測率：0.9 %

標高 45 m
(地上高 10 m)



欠測率：1.1 %

- 注) 1. — 風向出現頻度 (%)
 □ 平均風速 (m/s)
 2. 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%)

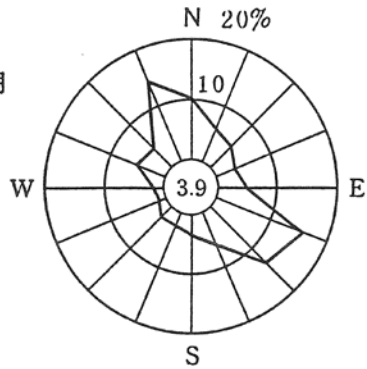


第1.2-55図 敷地の風配図(全年)

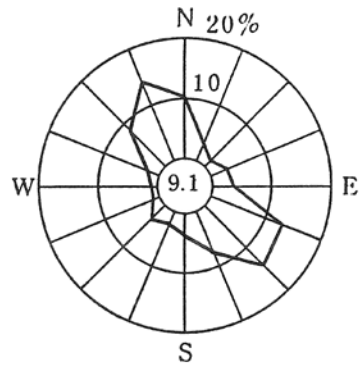
標高 75 m
(地上高 40 m)

標高 45 m
(地上高 10 m)

昭和 61 年 4 月

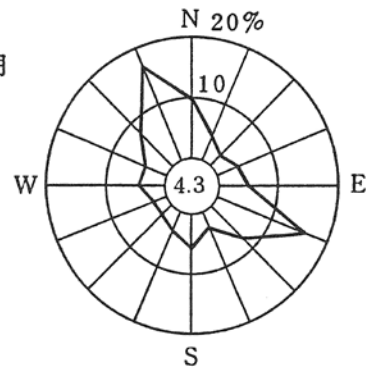


欠測率：1.1 %

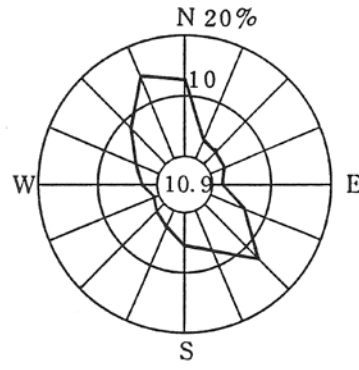


欠測率：1.0 %

昭和 61 年 5 月

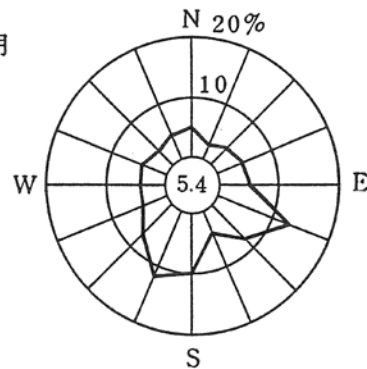


欠測率：0.1 %

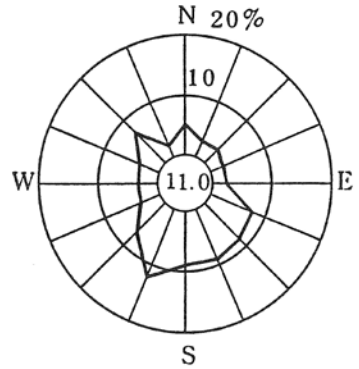


欠測率：0.3 %

昭和 61 年 6 月



欠測率：0.1 %



欠測率：0 %

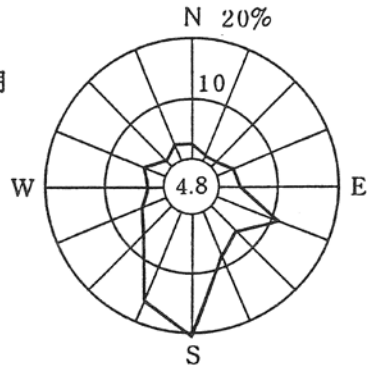
注) 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%)

第1.2-56図(1) 敷地の風配図(その1)(4~6月)

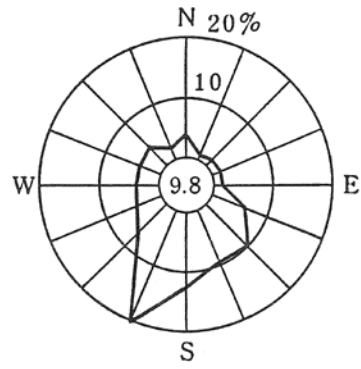
標高 75 m
(地上高 40 m)

標高 45 m
(地上高 10 m)

昭和 61 年 7 月

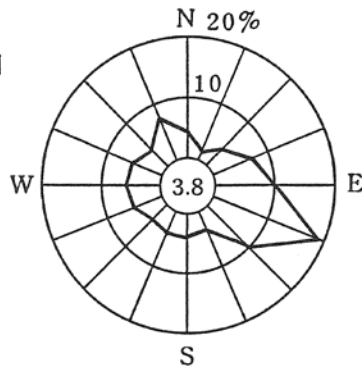


欠測率: 0 %

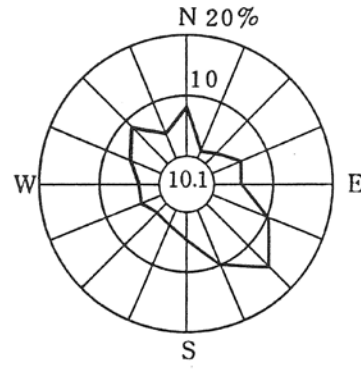


欠測率: 0 %

昭和 61 年 8 月

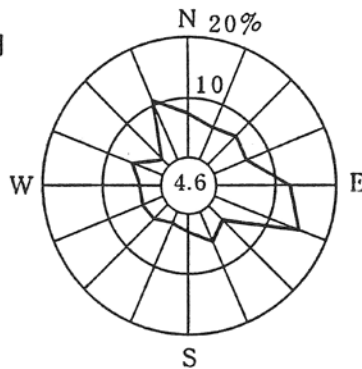


欠測率: 0.1 %

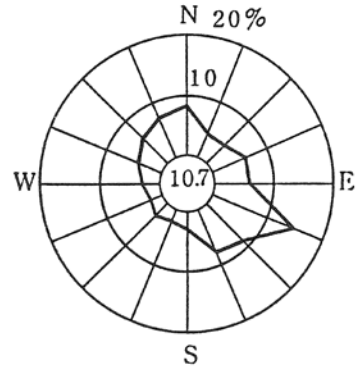


欠測率: 0 %

昭和 61 年 9 月



欠測率: 0.1 %



欠測率: 0.1 %

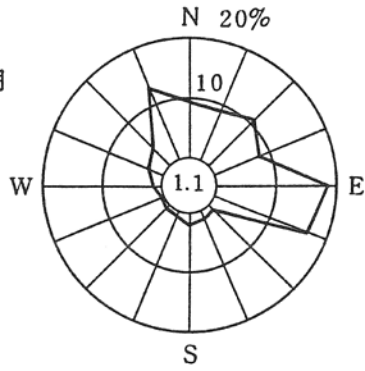
注) 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%)

第1.2-56図(2) 敷地の風配図(その2)(7~9月)

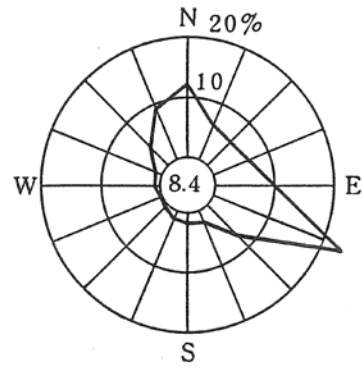
標高 75 m
(地上高 40 m)

標高 45 m
(地上高 10 m)

昭和 61 年 10 月

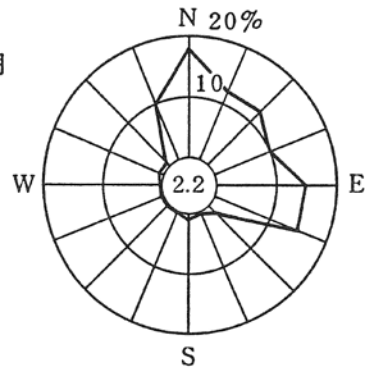


欠測率：0.9 %

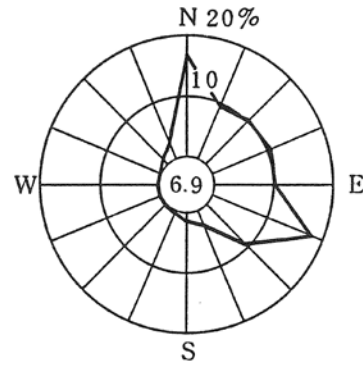


欠測率：0.5 %

昭和 61 年 11 月

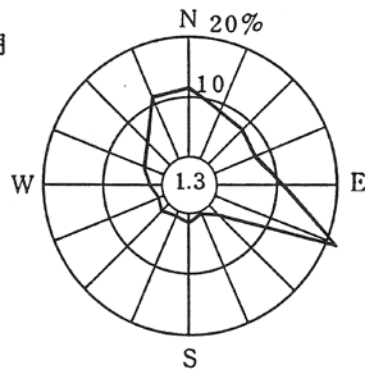


欠測率：0 %

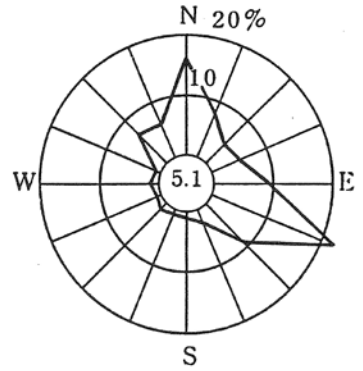


欠測率：0 %

昭和 61 年 12 月



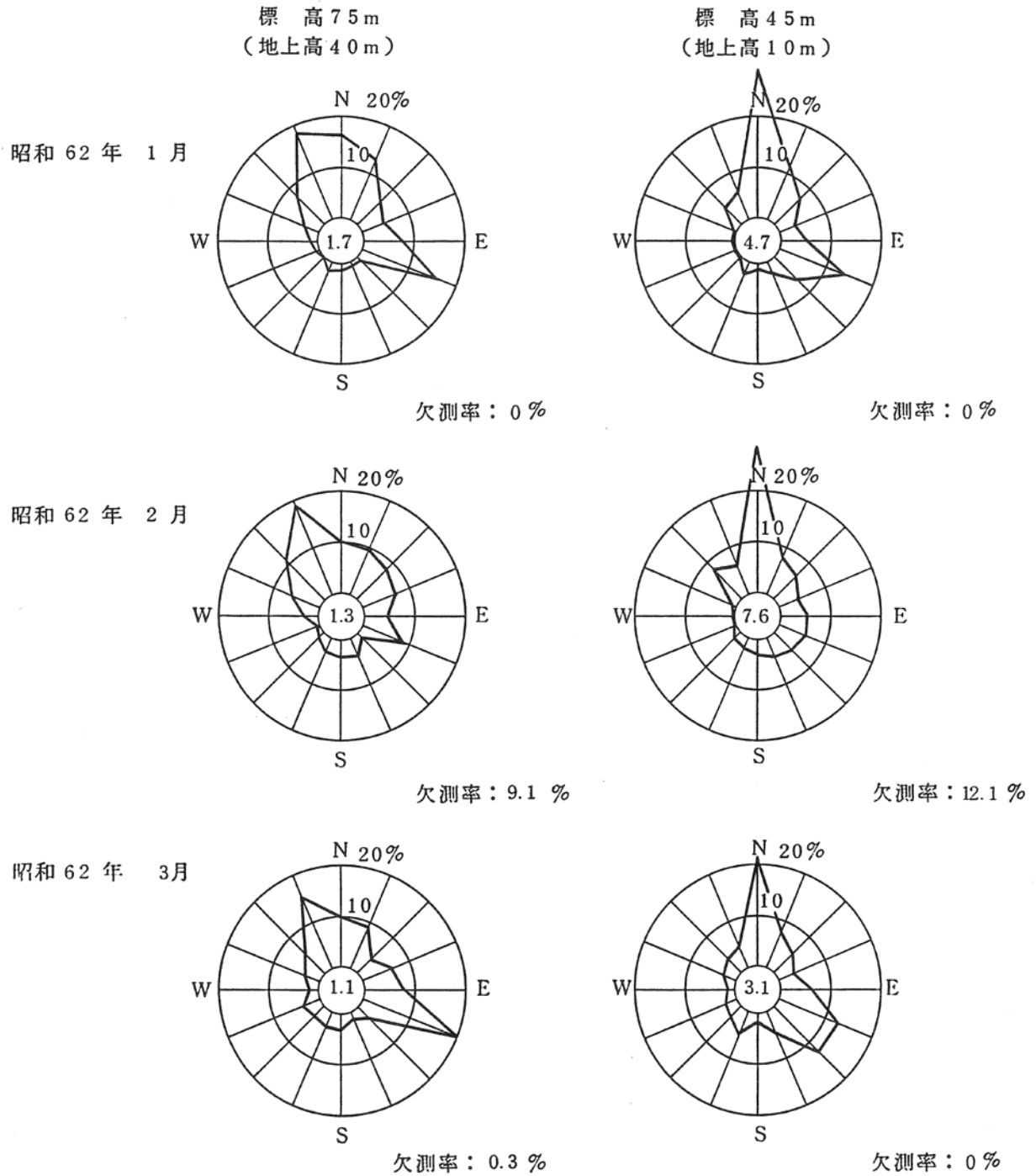
欠測率：0 %



欠測率：0 %

注) 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%)。

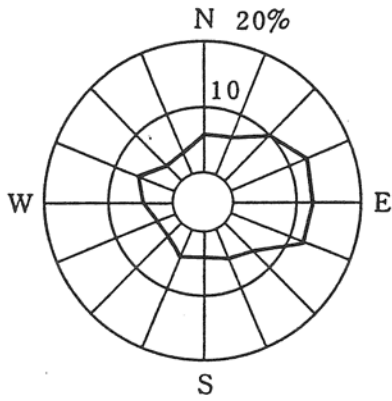
第1.2-56図(3) 敷地の風配図(その3)(10~12月)



注) 小円内の数字は静穏 (0.5 m/s 未満) の頻度 (%)。

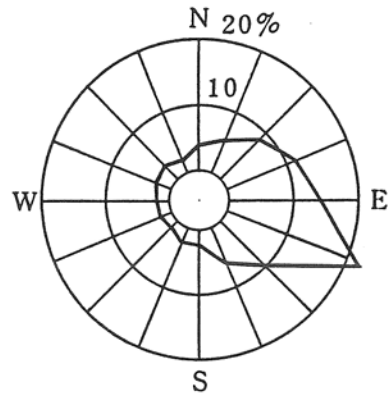
第1.2-56図(4) 敷地の風配図(その4)(1~3月)

標高 75 m
(地上高 40 m)



欠測率：0.9 %

標高 45 m
(地上高 10 m)

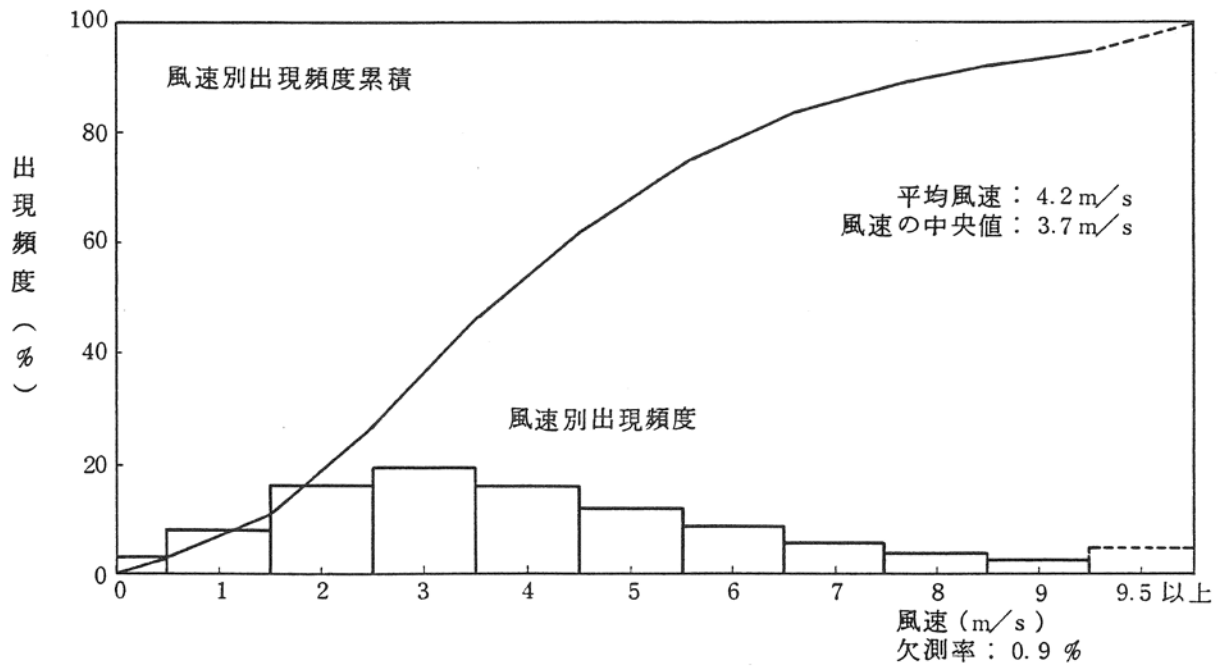


欠測率：1.1 %

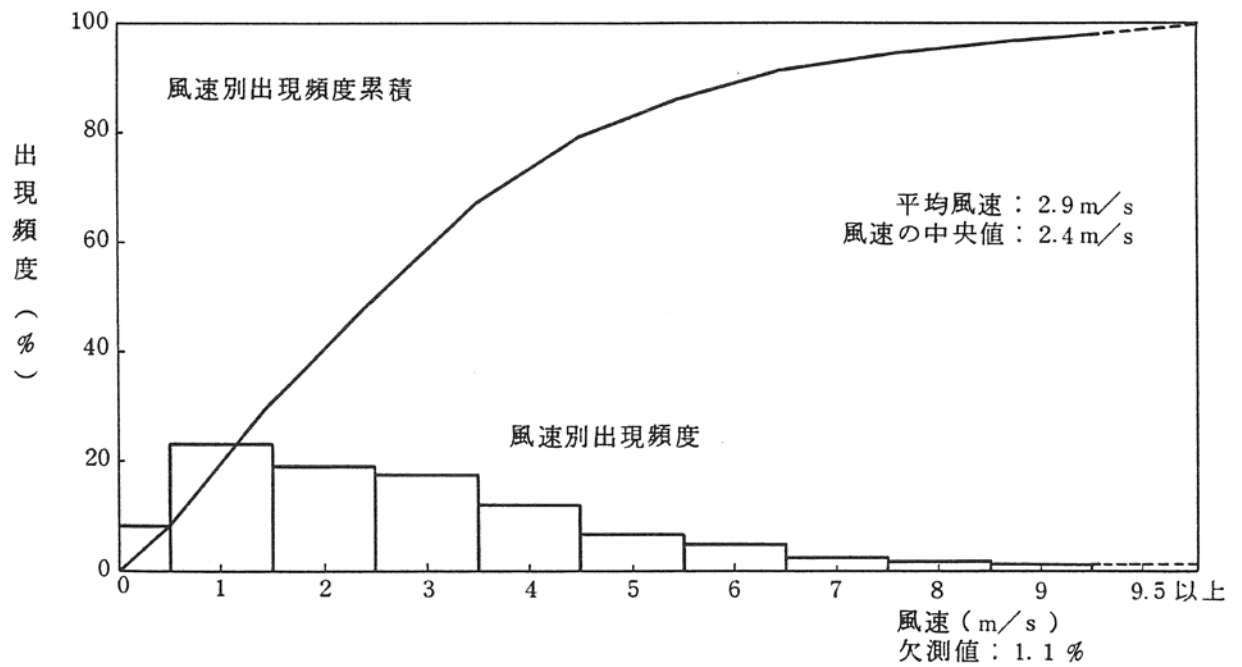
低風速 (0.5 ~ 2.0 m/s) の出現頻度

観測点	出現頻度 (%)
標高 45 m	34.8
標高 75 m	16.8

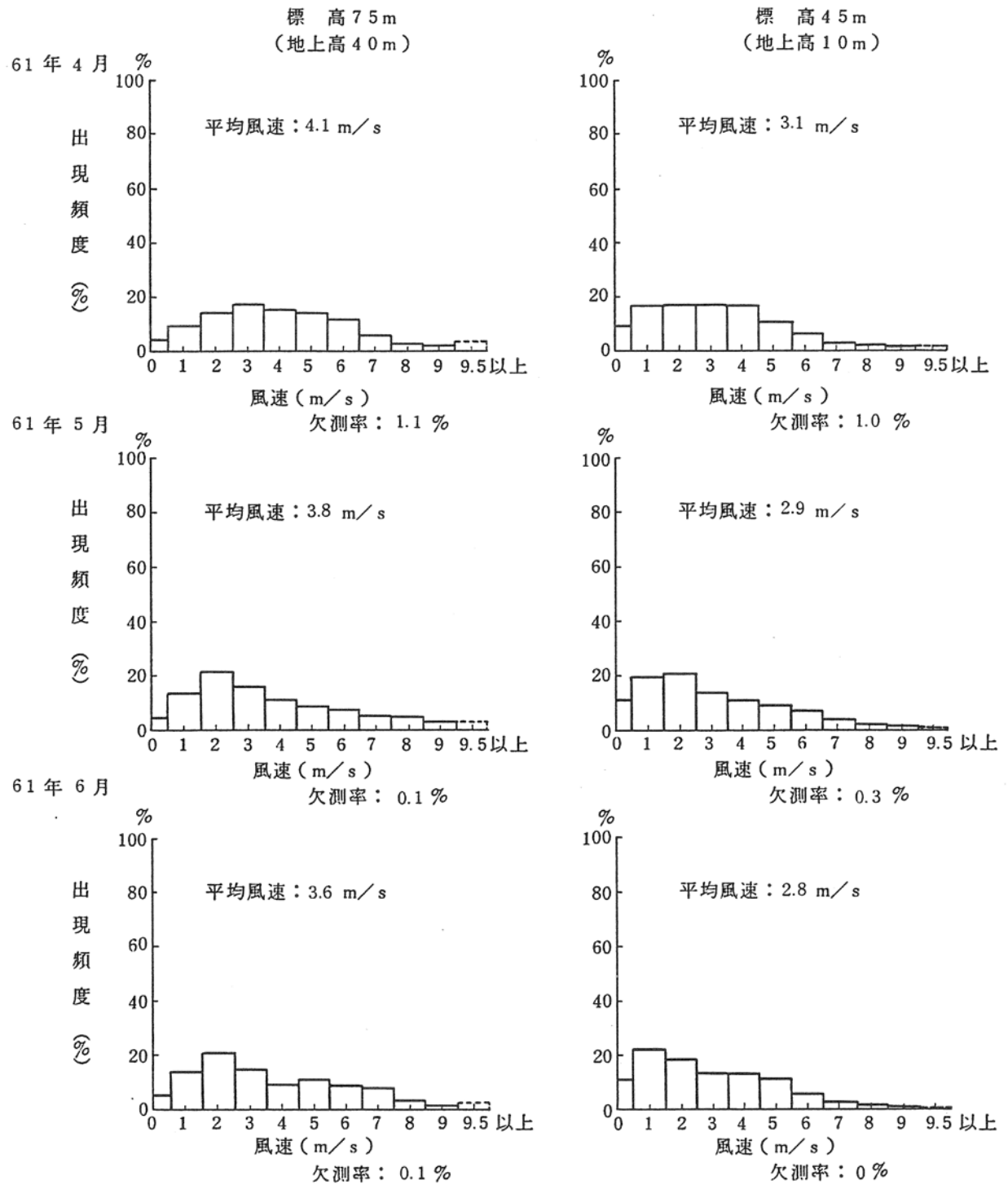
第1.2-57図 低風速 (0.5~2.0m/s) 時の風配図



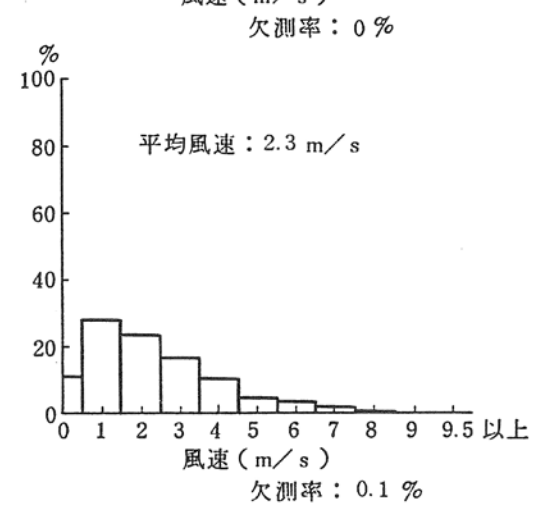
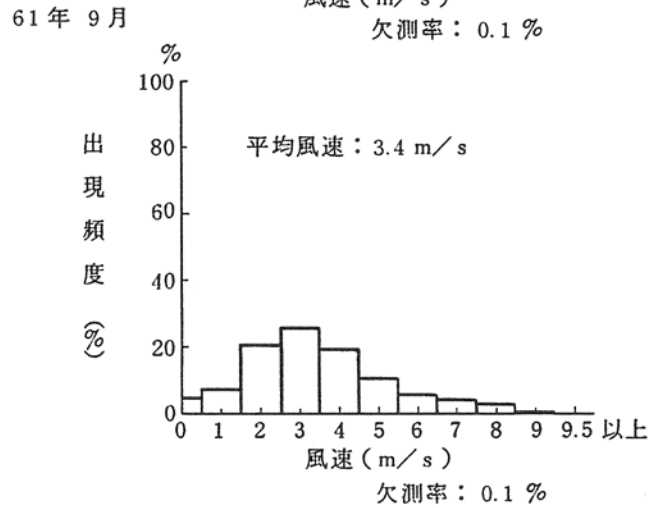
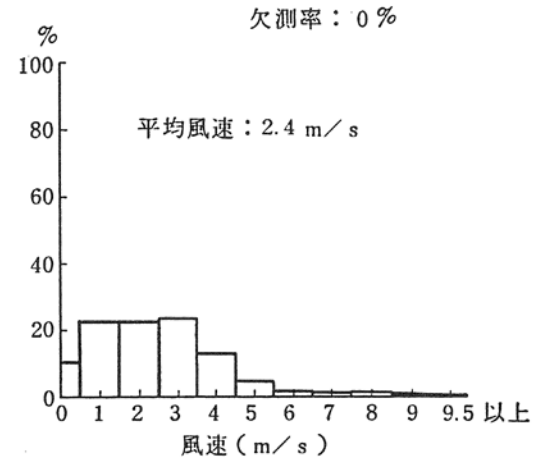
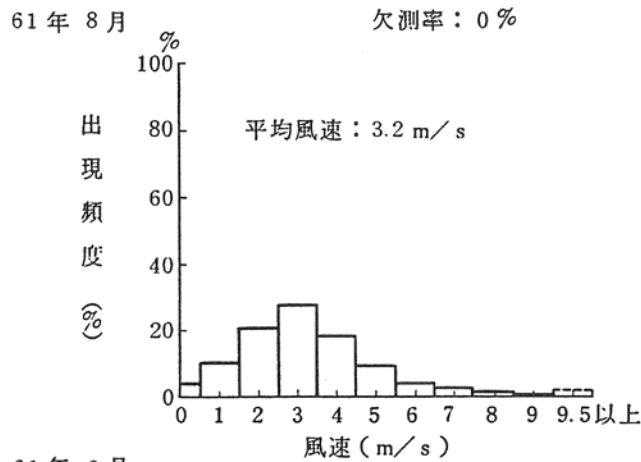
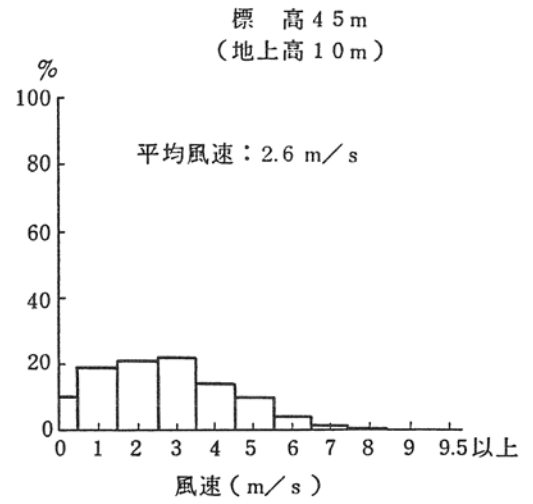
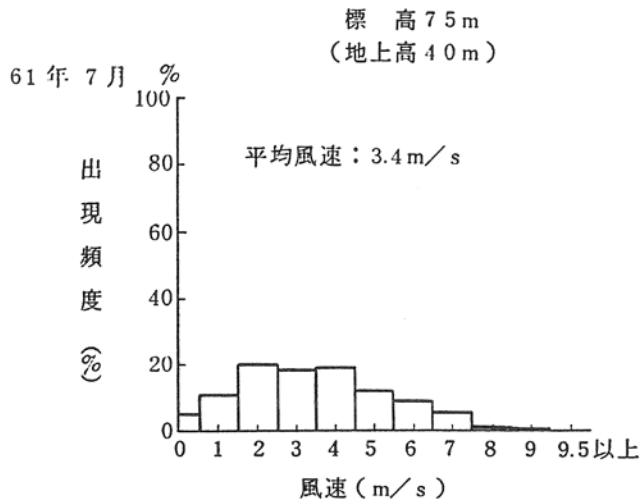
第1.2-58図(1) 年間風速別出現頻度及び風速別出現頻度累積
(標高75m、地上高40m)



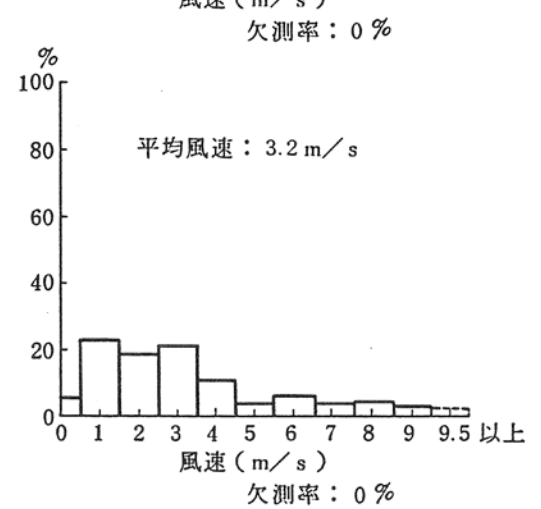
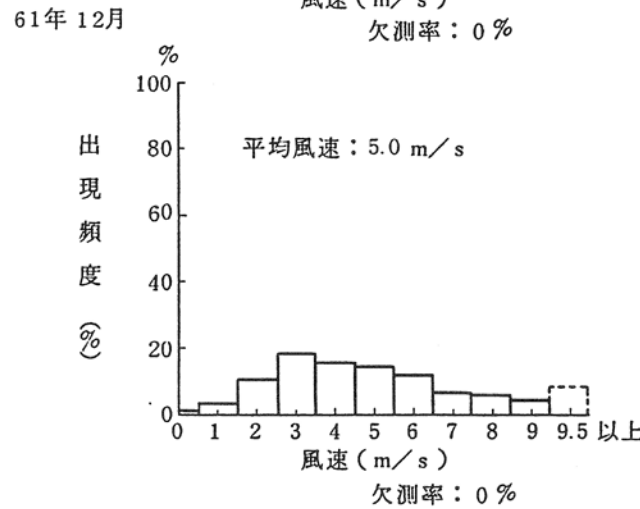
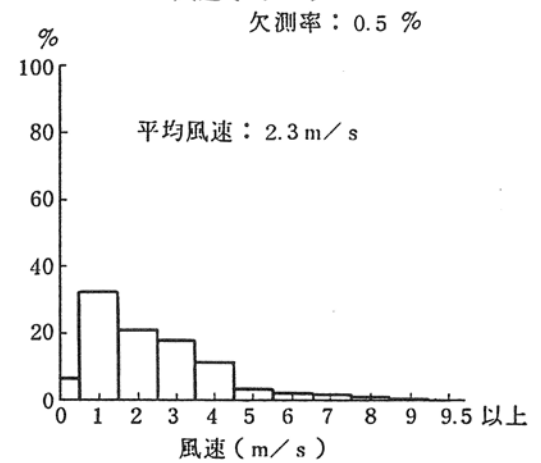
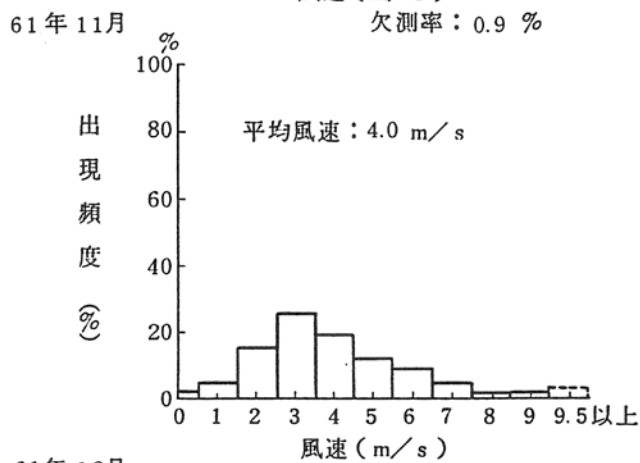
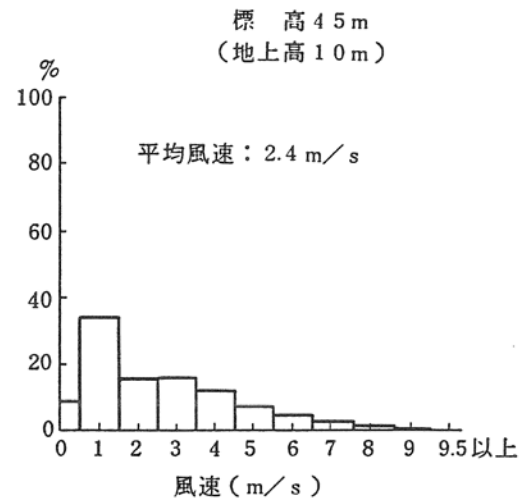
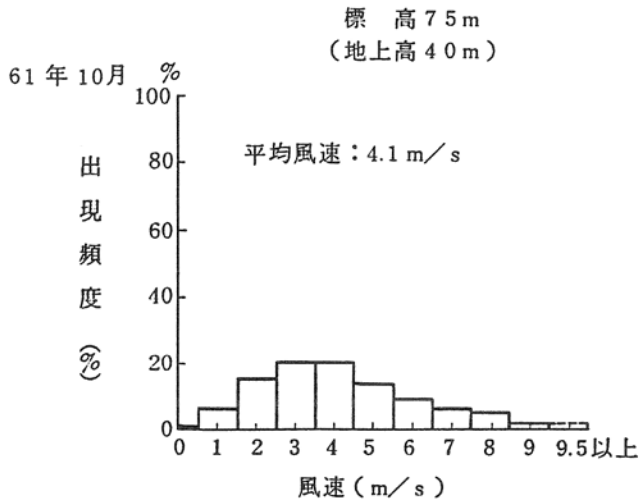
第1.2-58図(2) 年間風速別出現頻度及び風速別出現頻度累積
(標高45m、地上高10m)



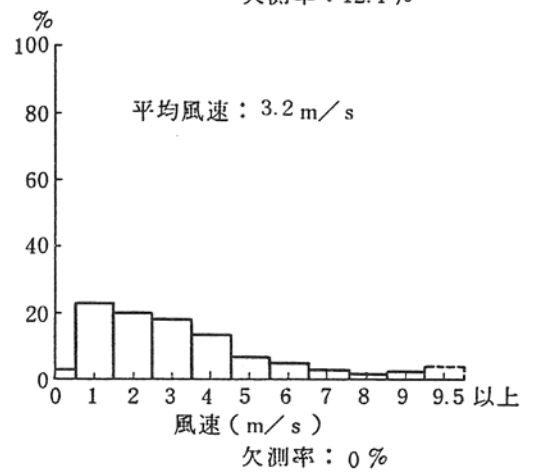
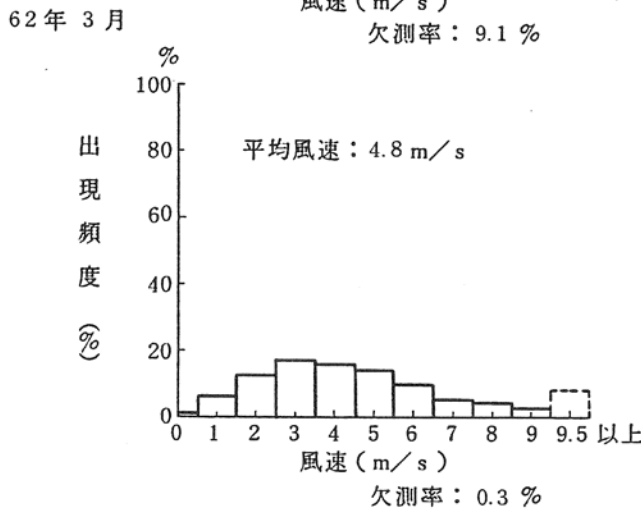
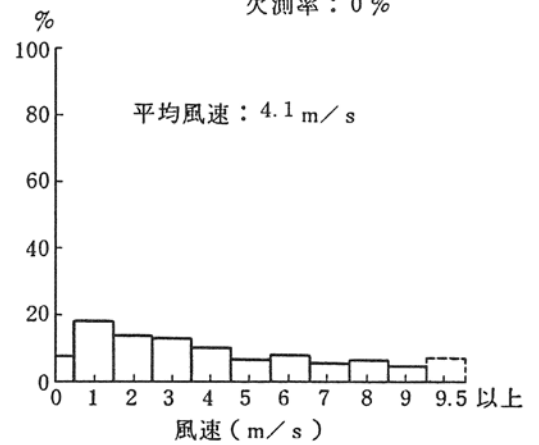
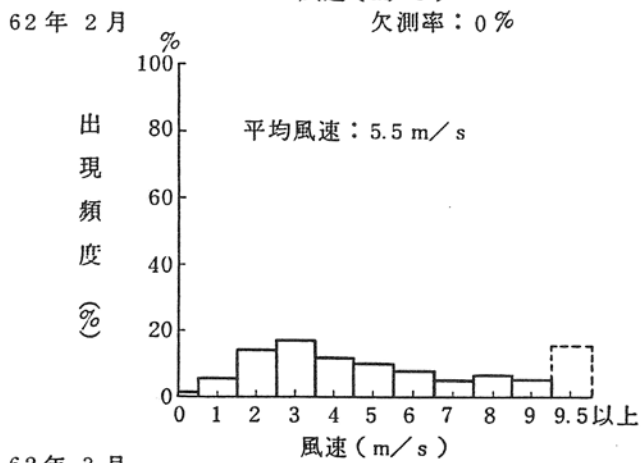
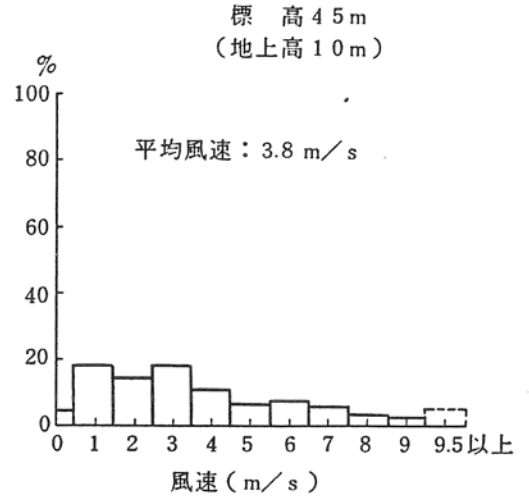
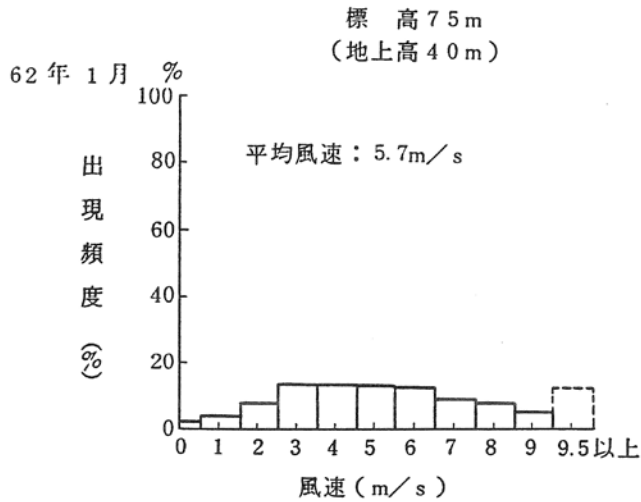
第1.2-59図(1) 月別風速別出現頻度(その1)(4~6月)



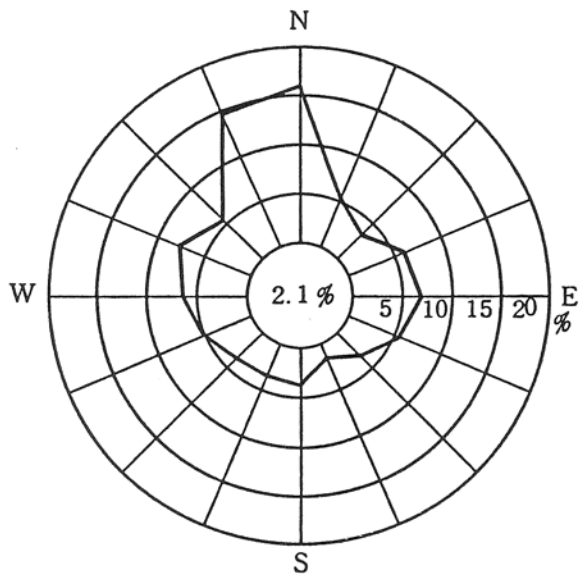
第1.2-59図(2) 月別風速別出現頻度(その2)(7~9月)



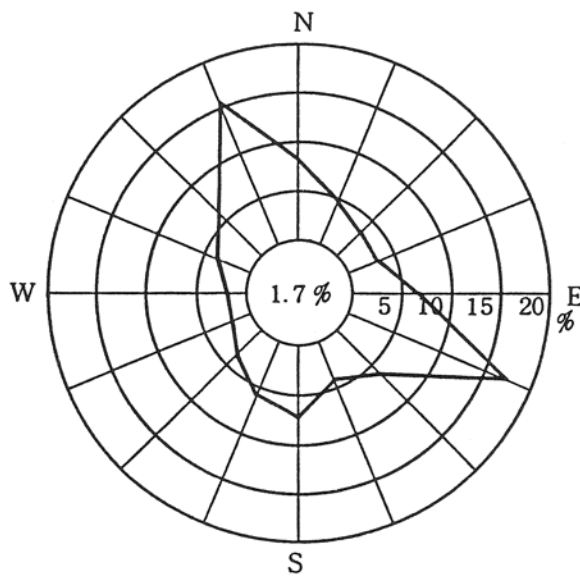
第1.2-59図(3) 月別風速別出現頻度(その3)(10~12月)



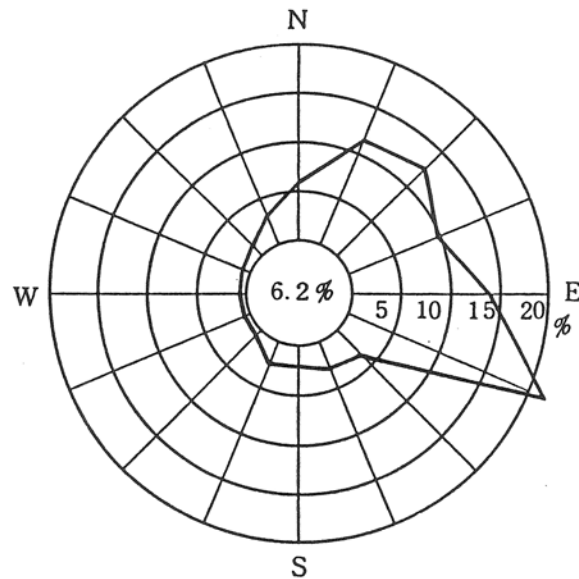
第1.2-59図(4) 月別風速別出現頻度(その4)(1~3月)



安定度 A, B, C型
(出現頻度 23.8%)



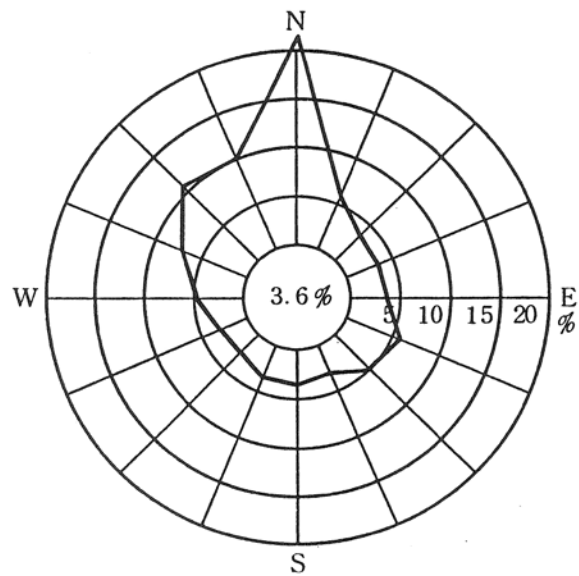
安定度 D型
(出現頻度 49.4%)



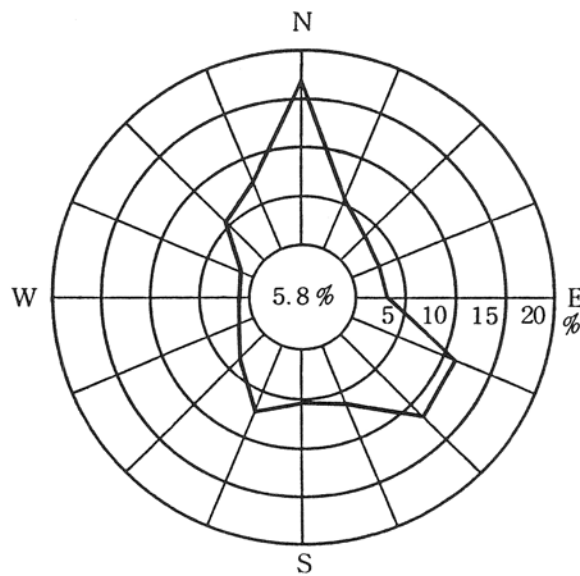
安定度 E, F, G型
(出現頻度 26.9%)

注) 円内は静穏の出現頻度を示す。

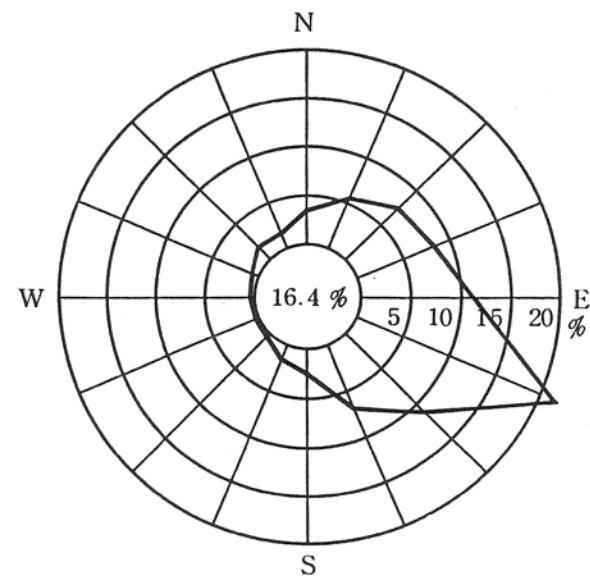
第1.2-60図(1) 年間大気安定度別風配図(標高75m、地上高40m)



安定度 A, B, C型
(出現頻度 23.8%)



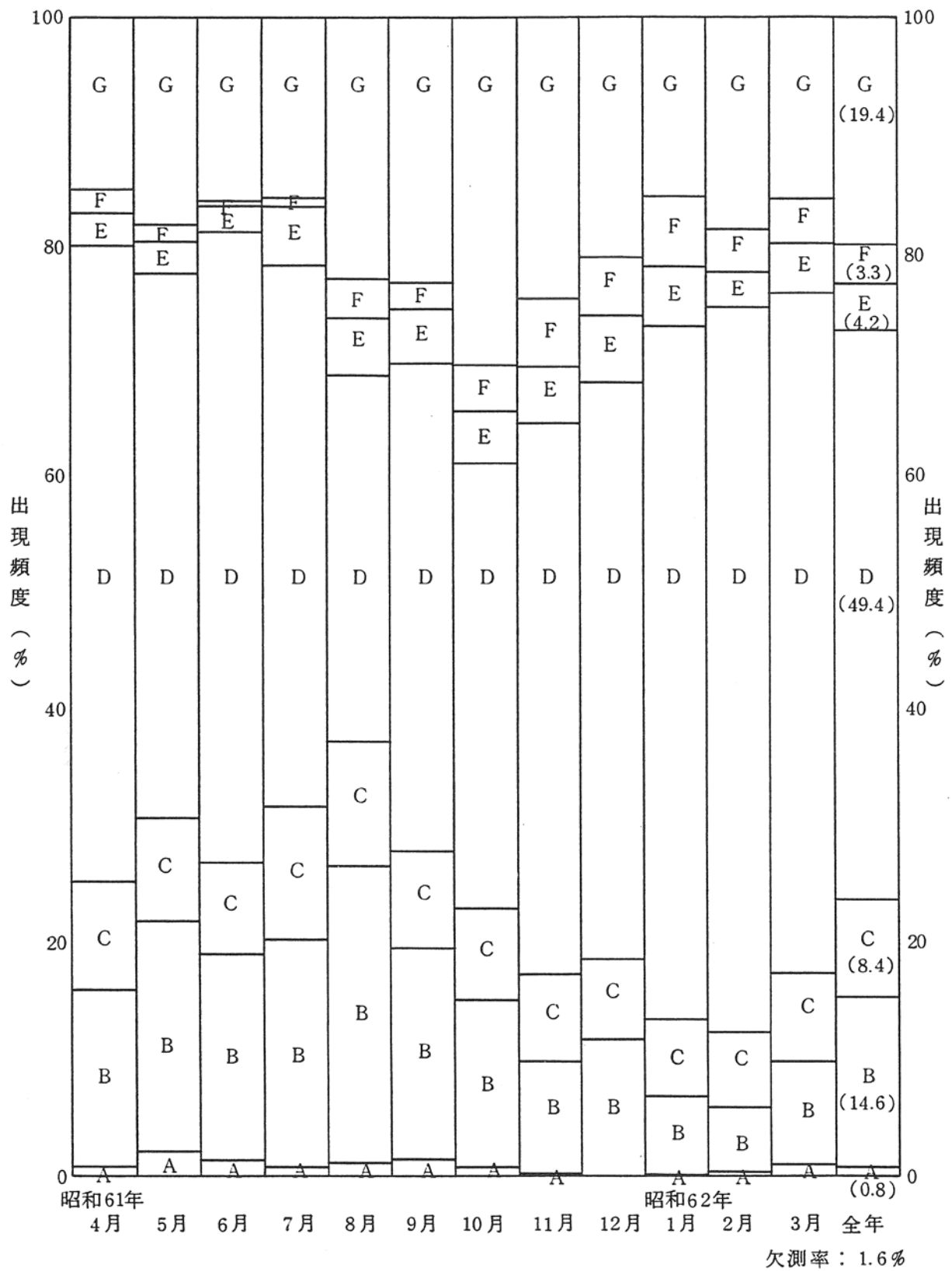
安定度 D型
(出現頻度 49.4%)



安定度 E, F, G型
(出現頻度 26.9%)

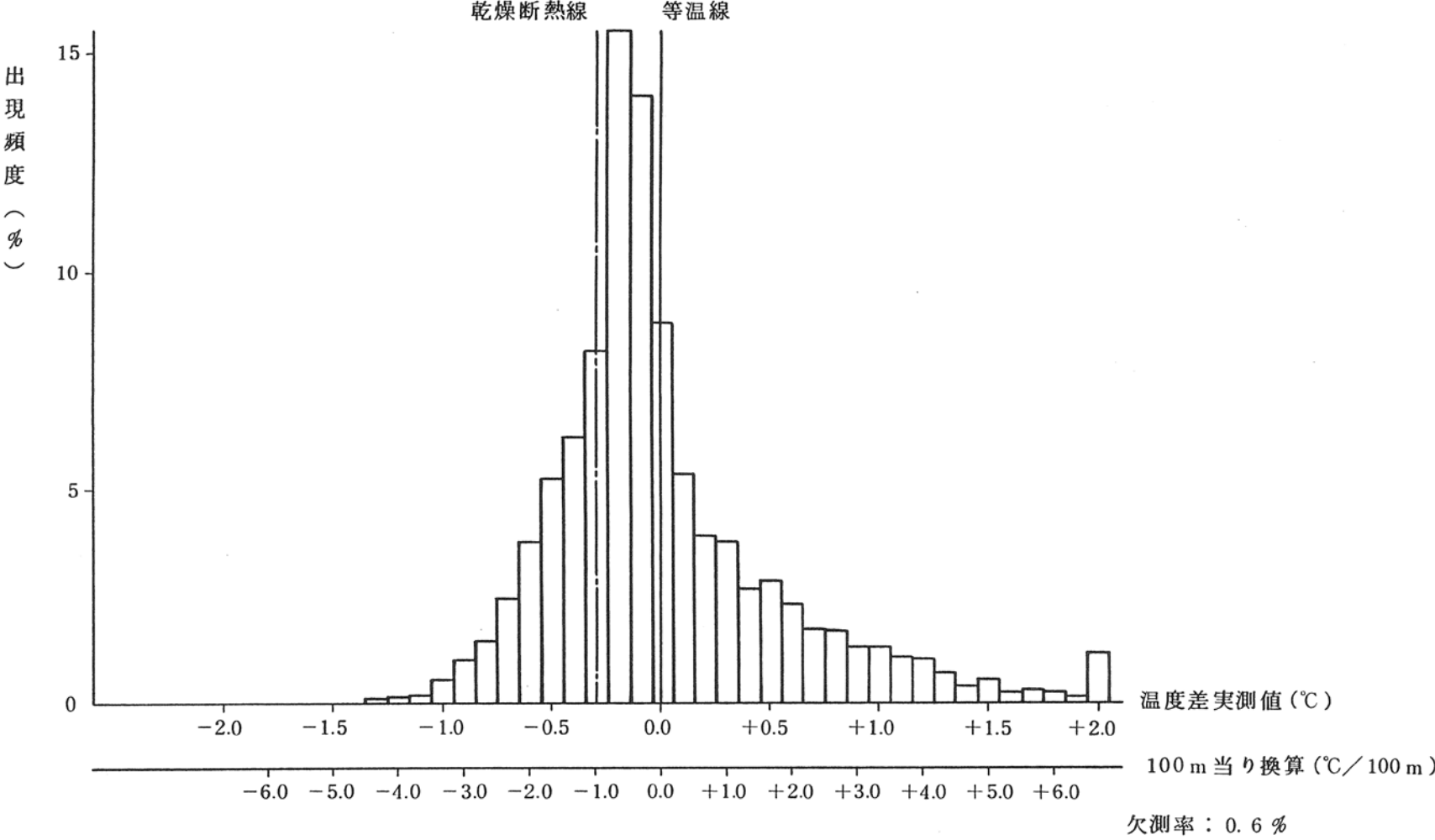
注) 円内は静穏の出現頻度を示す。

第1.2-60図(2) 年間大気安定度別風配図(標高45m、地上高10m)



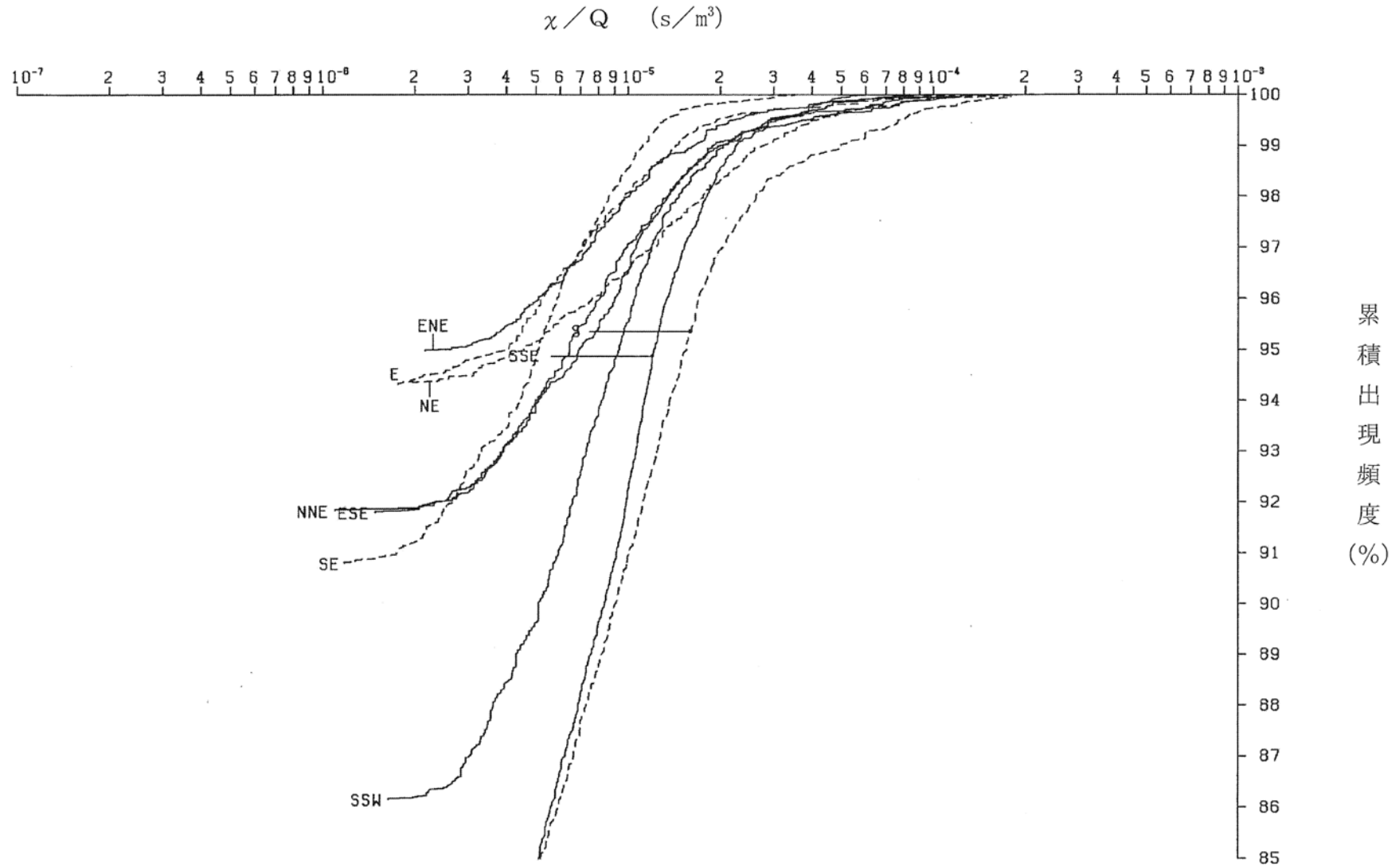
第1.2-61図 年間及び月別の大気安定度出現頻度

測定場所：川内原子力発電所気象観測所

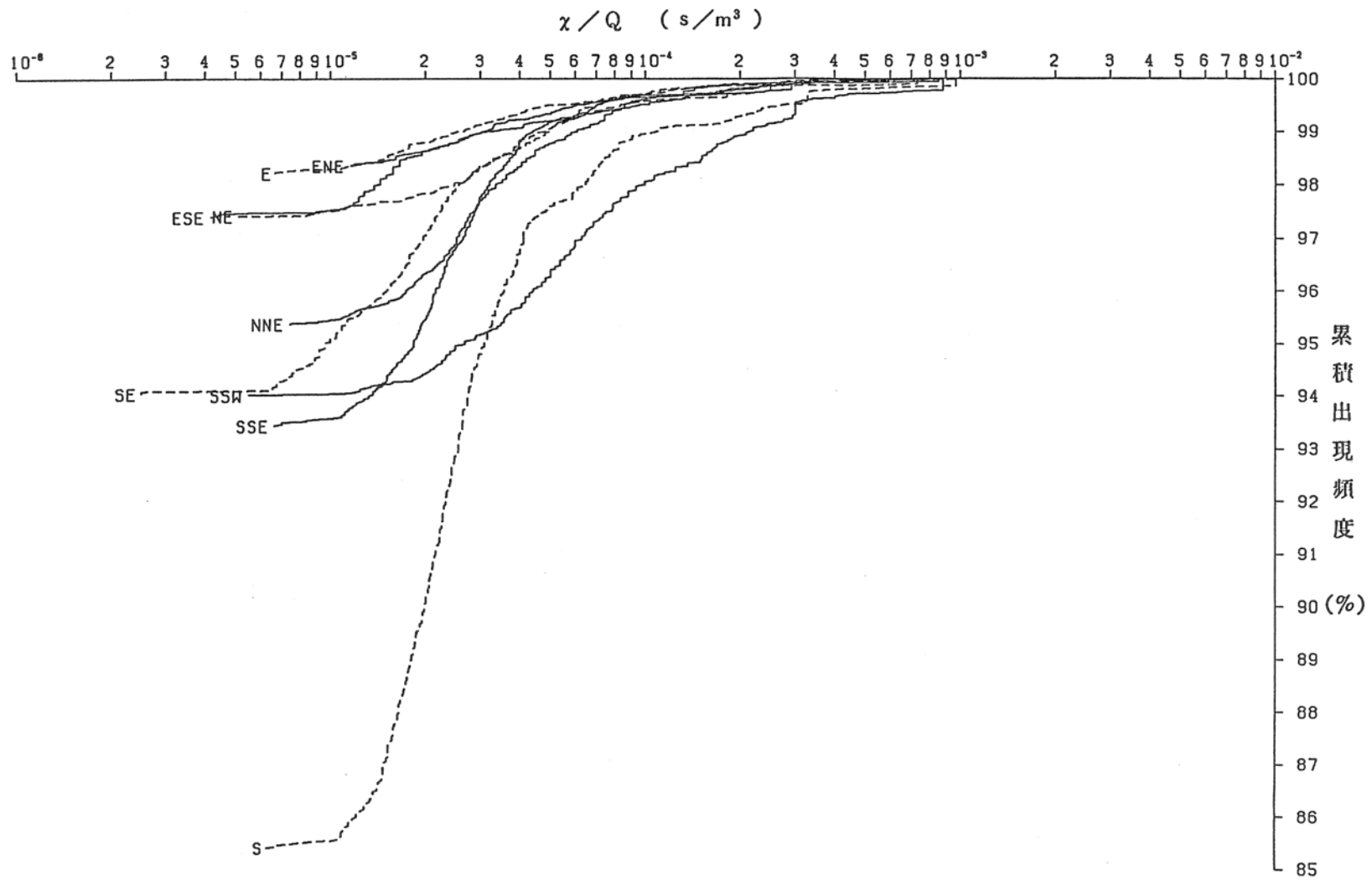


第1.2-62図 年間気温差出現頻度(標高75m-標高45m)

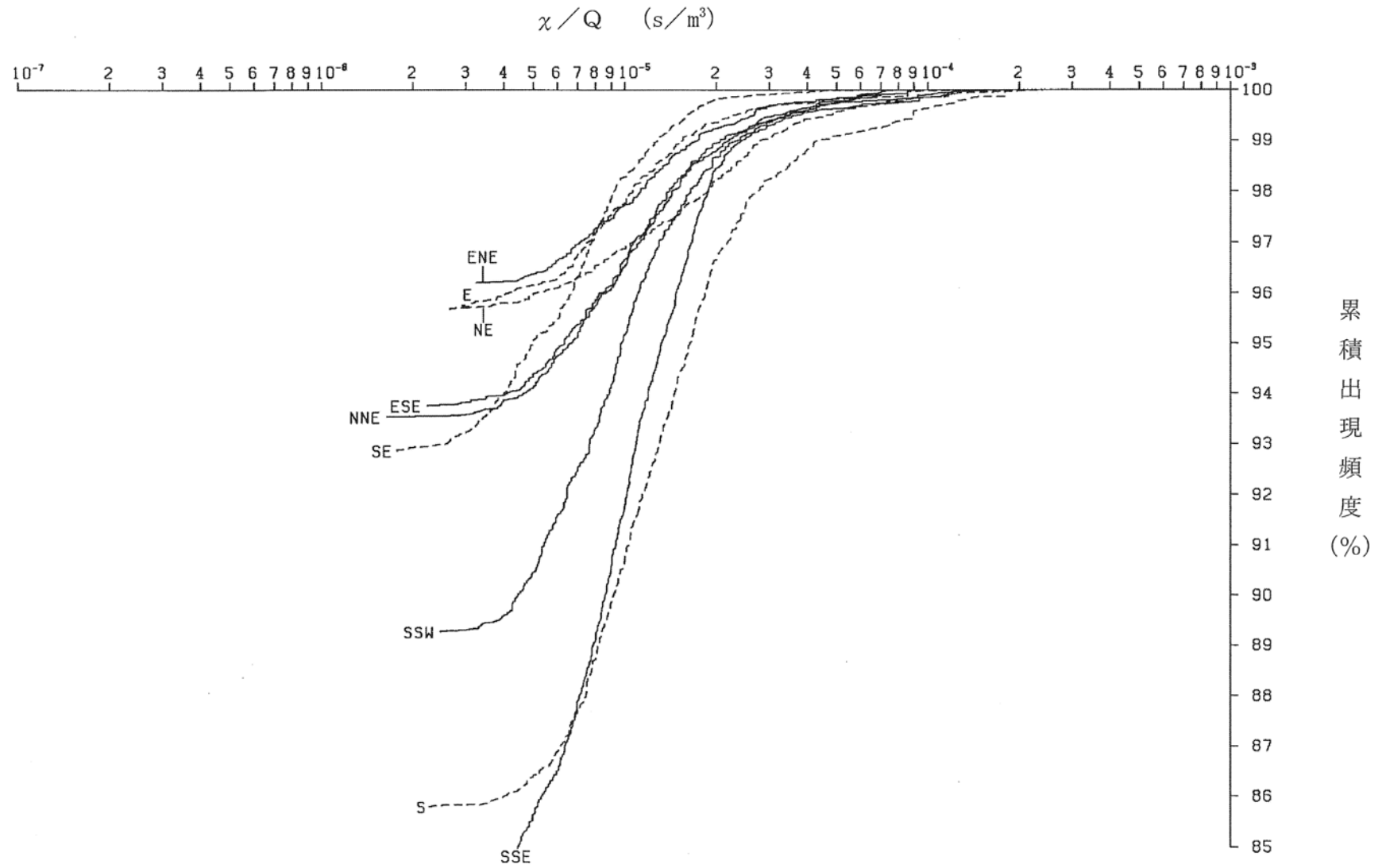
1.2-506



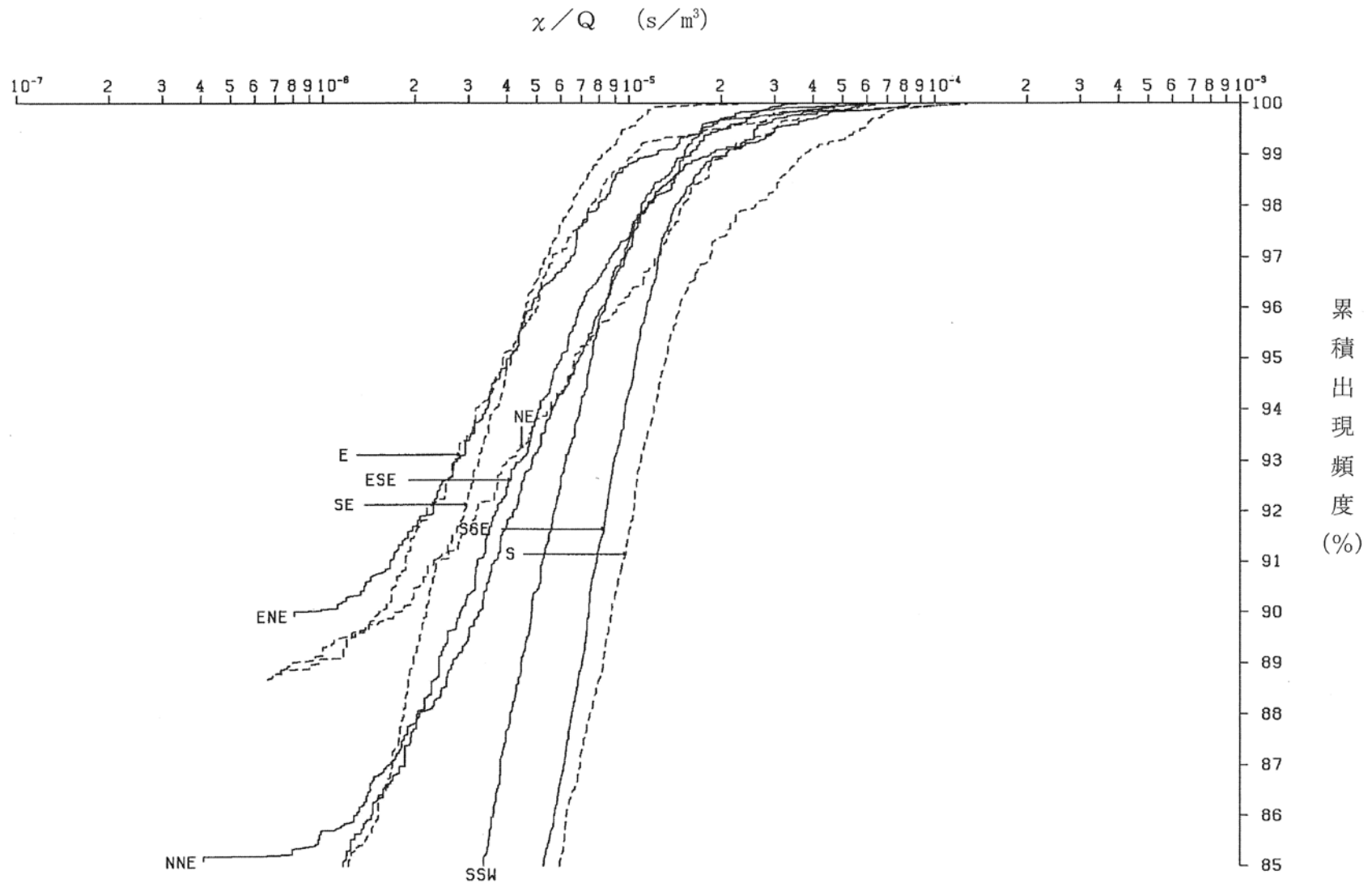
第1.2-63図(1) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(事故時)]



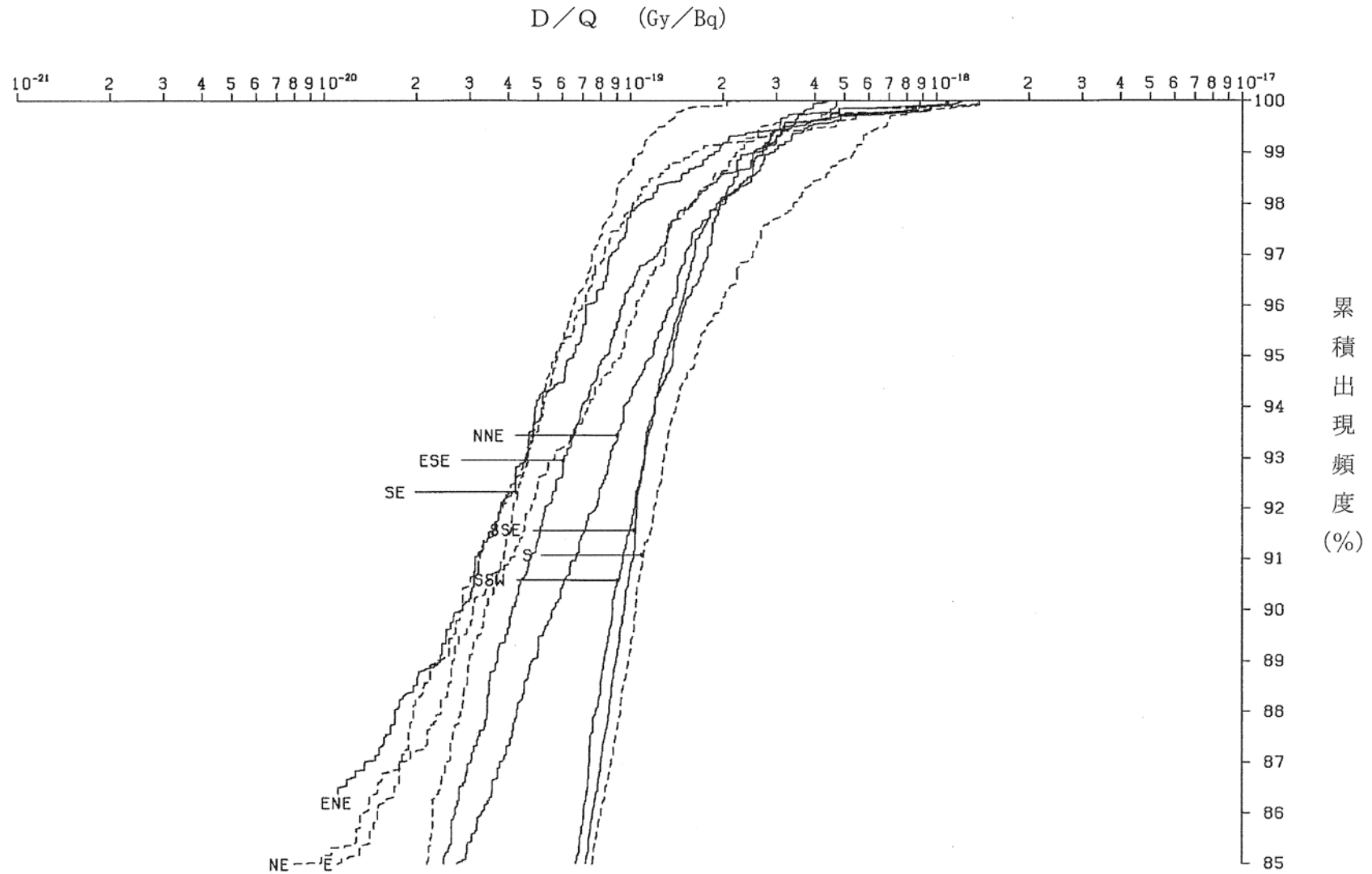
第1.2-63図(2) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 (放射性気体廃棄物処理施設の破損、蒸気発生器伝熱管破損
 (事故、重大事故及び仮想事故時)、燃料集合体の落下)



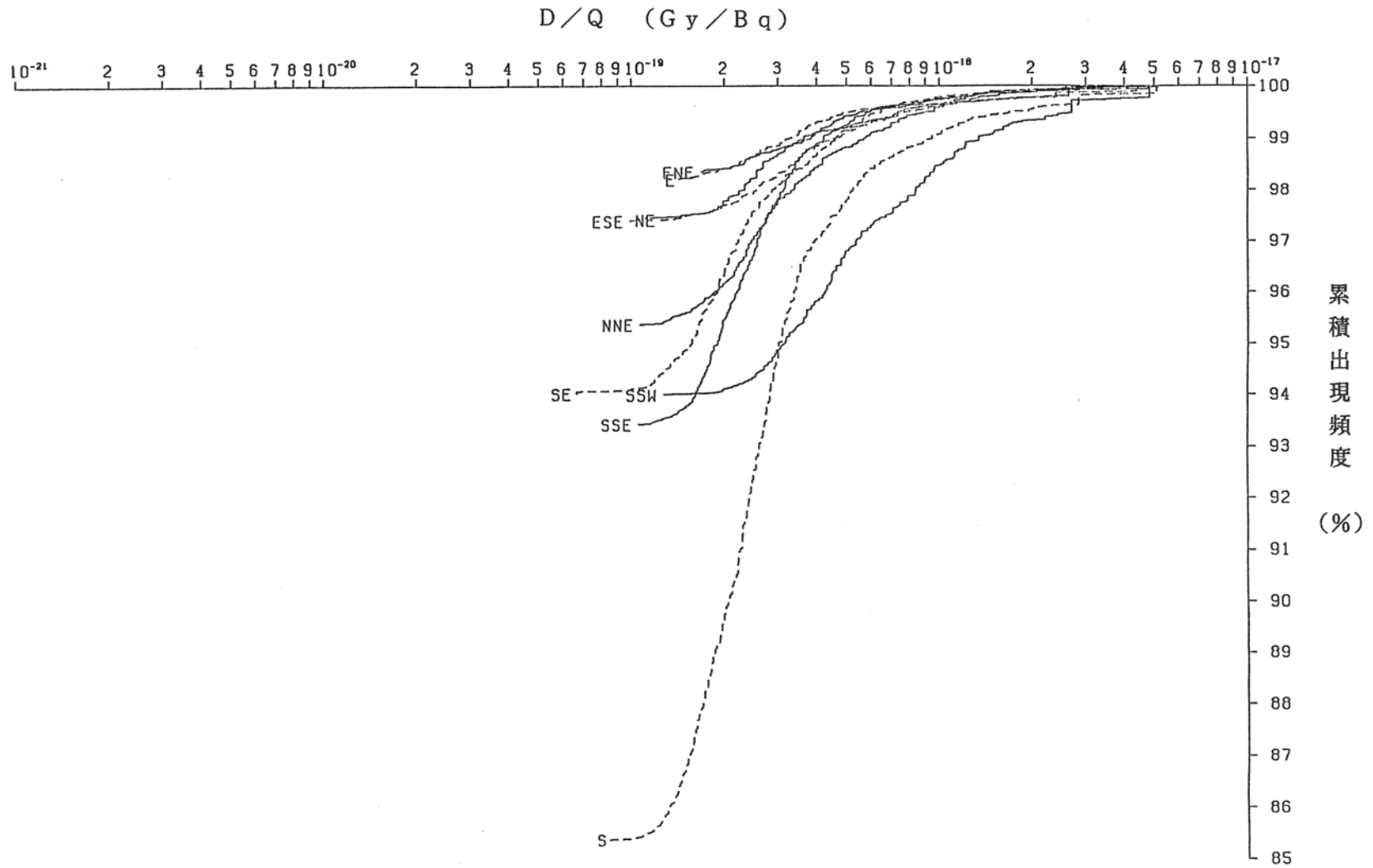
第1.2-63図(3) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [制御棒飛び出し]



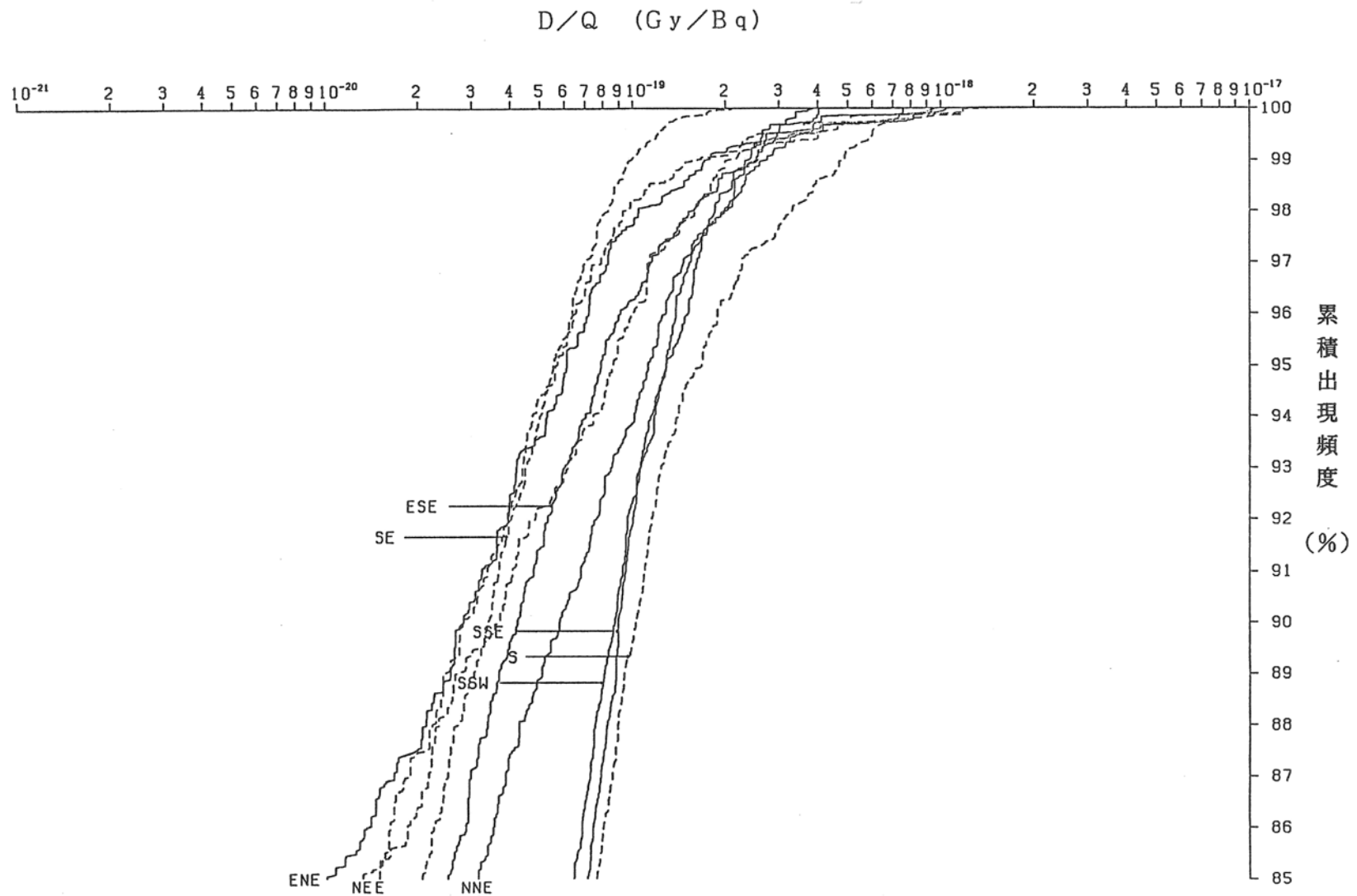
第1.2-63図(4) 方位別相対濃度(χ/Q)の累積出現頻度
 [原子炉冷却材喪失(重大事故及び仮想事故時)]



第1.2-63図(5) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
〔原子炉冷却材喪失(事故時)〕



第1.2-63図(6) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
 (放射性気体廃棄物処理施設の破損、蒸気発生器伝熱管破損
 (事故、重大事故及び仮想事故時)、燃料集合体の落下)

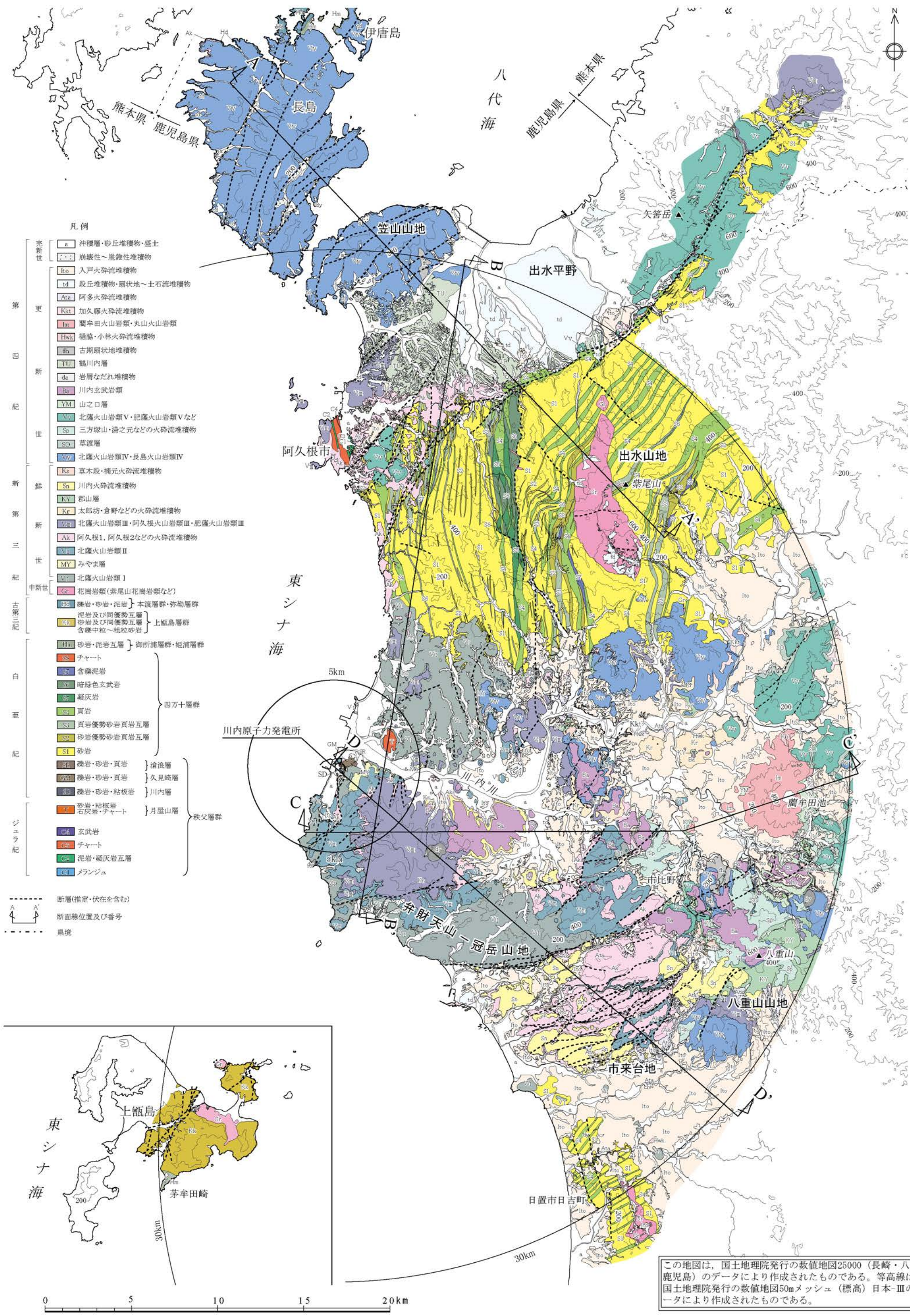


第1.2-63図(7) 方位別相対線量(D/Q)の累積出現頻度
 [制御棒飛び出し、原子炉冷却材喪失(重大事故及び仮想事故時)]



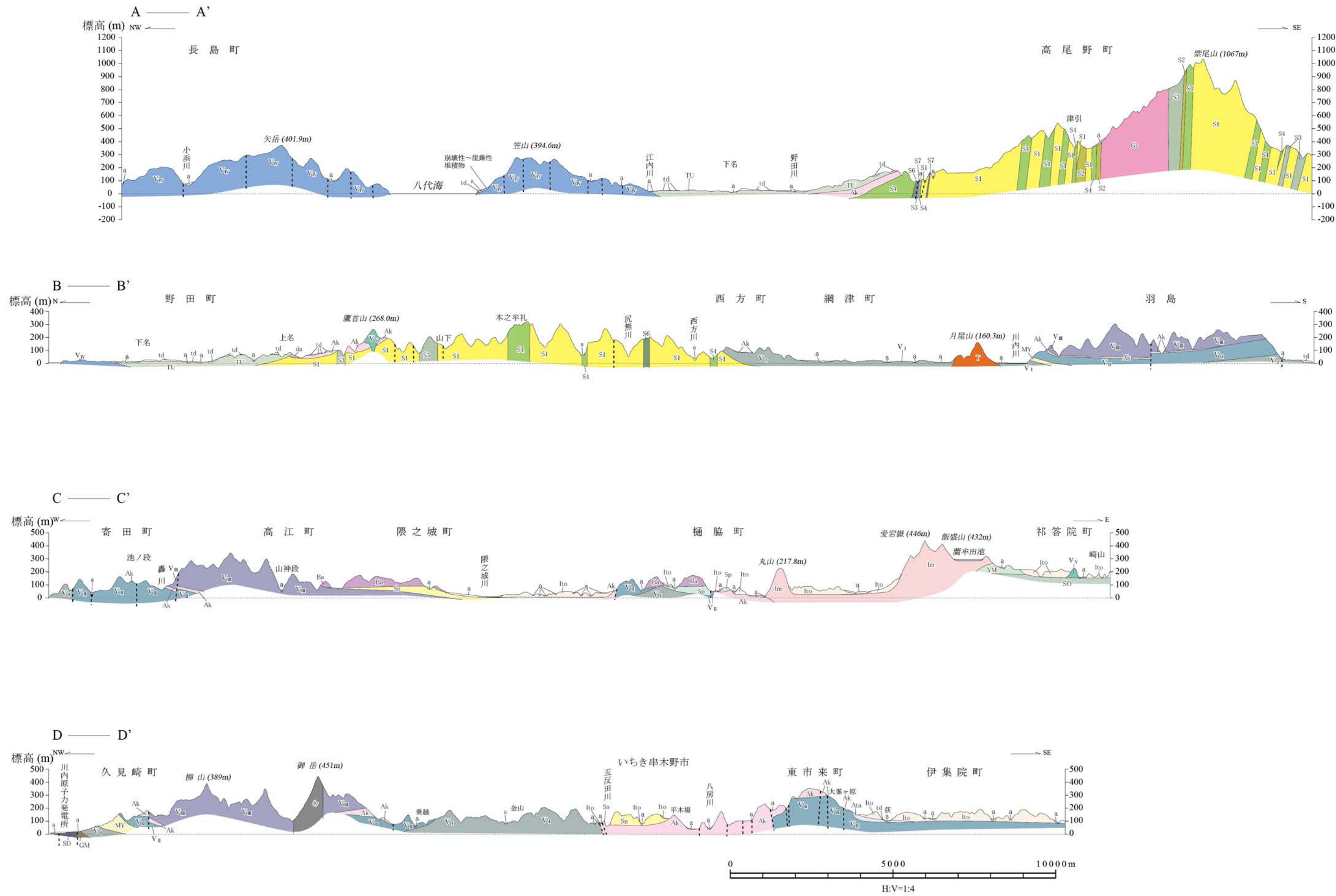
1.2-514

第1.2-64図 敷地周辺陸域の地形図



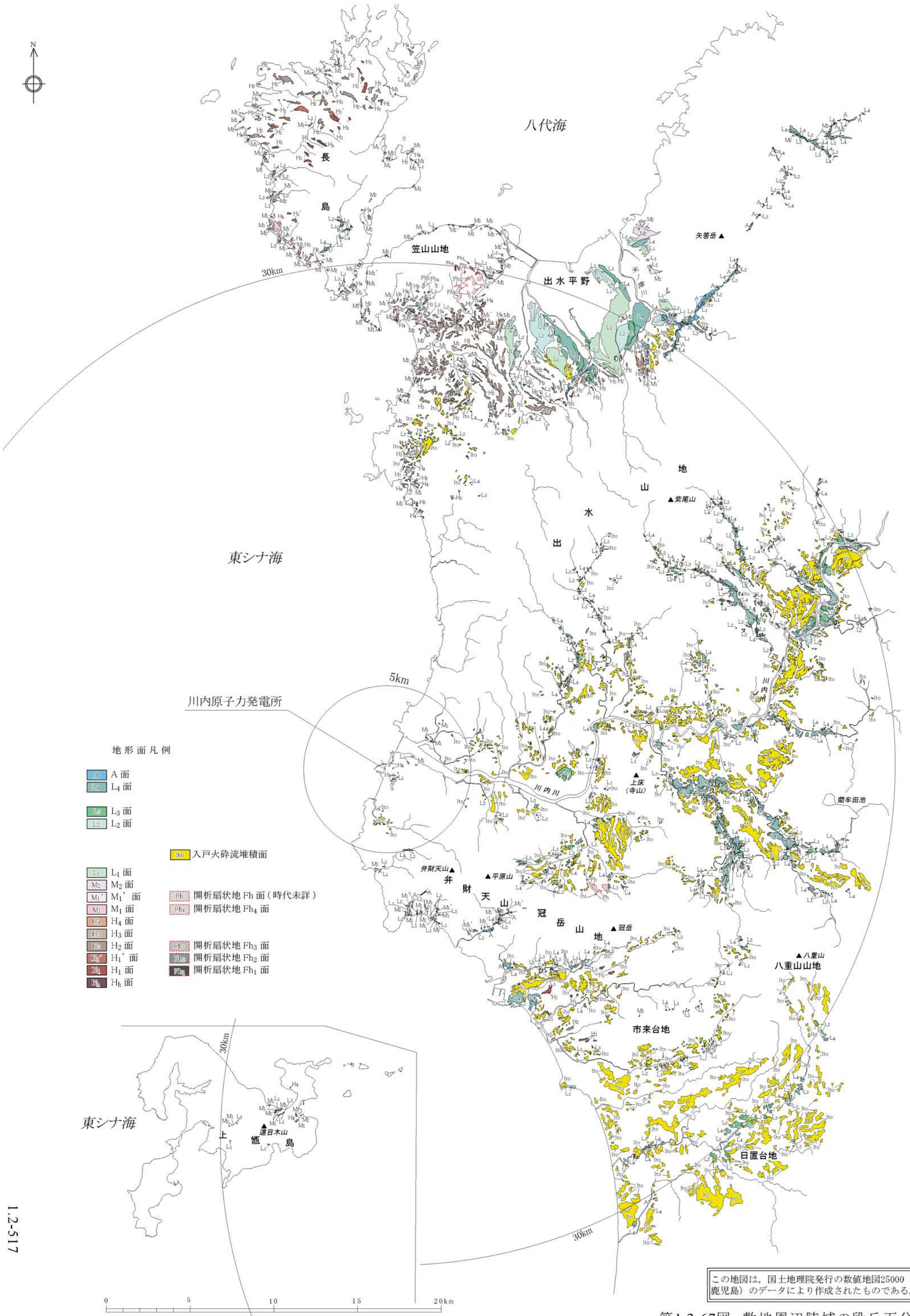
この地図は、国土地理院発行の数値地図25000(長崎・八代・鹿児島)のデータにより作成されたものである。等高線は、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)日本-IIIのデータにより作成されたものである。

第1.2-65図 敷地周辺陸域の地質図



(注) 凡例は、第1.2-65図を参照。

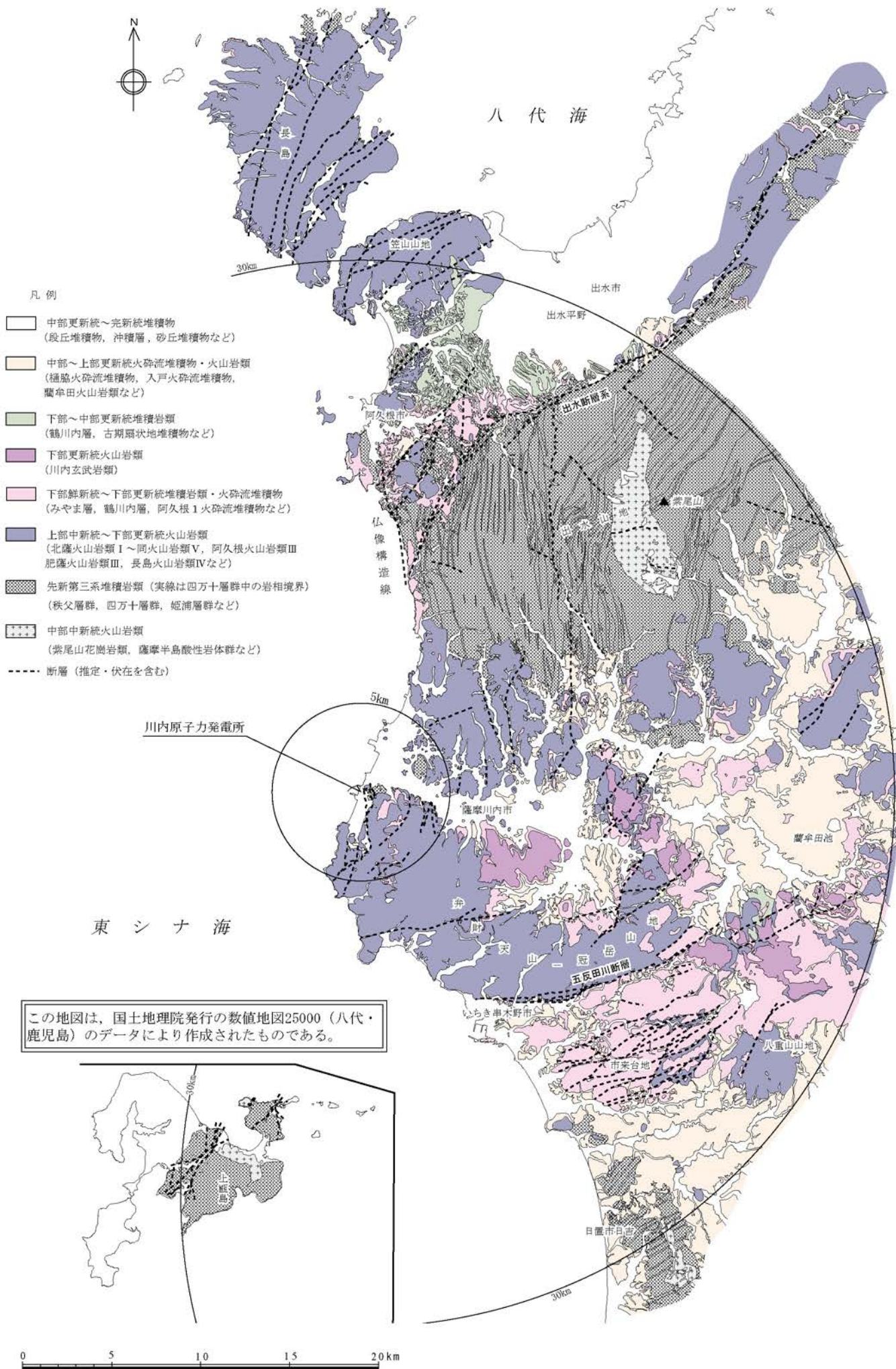
第1.2-66図 敷地周辺陸域の地質断面図



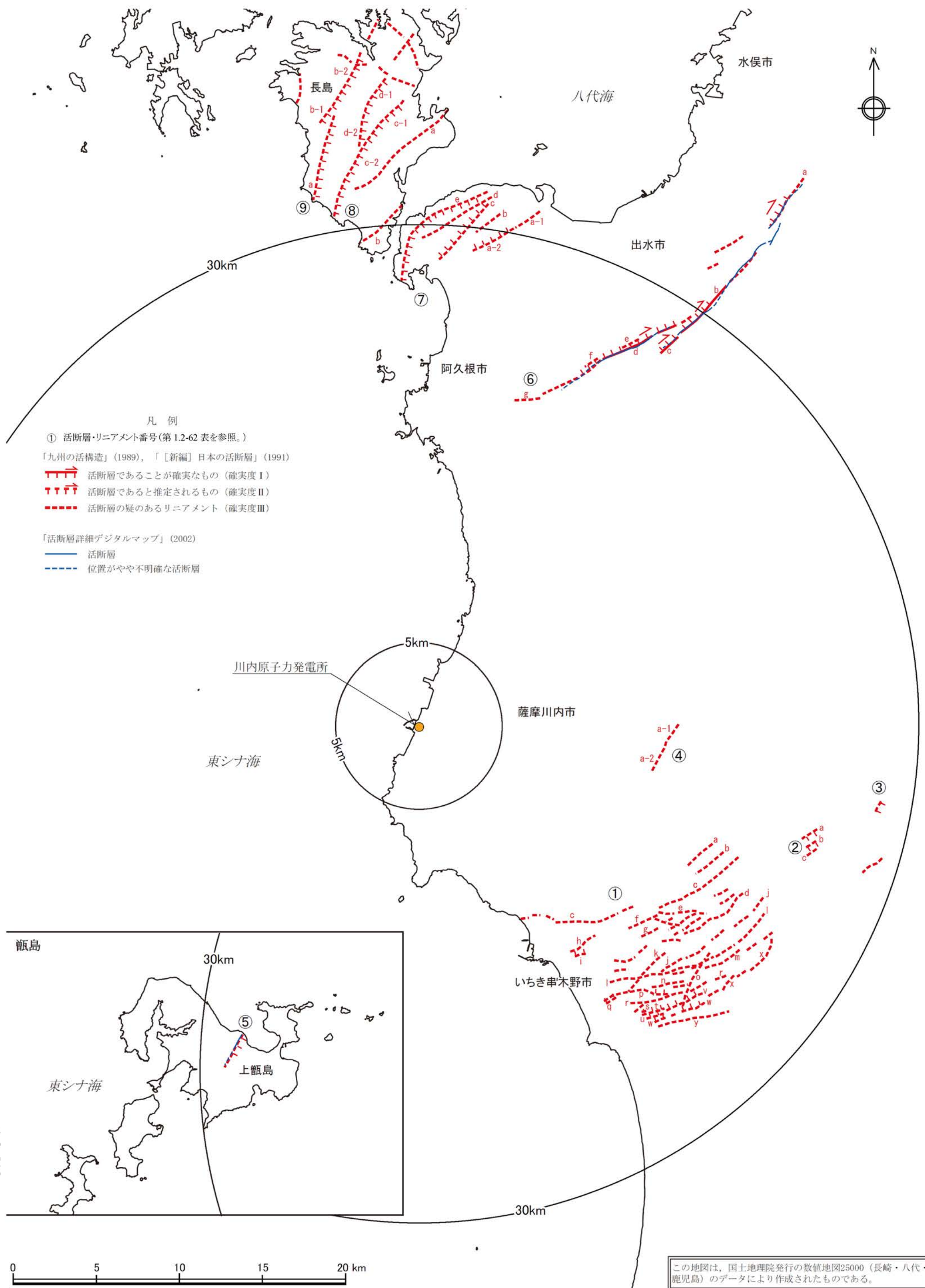
- 地形面凡例
- A 面
 - L₄ 面
 - L₃ 面
 - L₂ 面
 - Ito 入戸火砕流堆積面
 - L₁ 面
 - M₂ 面
 - M₁' 面
 - M₁ 面
 - H₄ 面
 - H₃ 面
 - H₂ 面
 - H₁' 面
 - H₁ 面
 - H_h 面
 - Fh 開析扇状地 Fh 面 (時代未詳)
 - Fh₄ 開析扇状地 Fh₄ 面
 - Fh₃ 開析扇状地 Fh₃ 面
 - Fh₂ 開析扇状地 Fh₂ 面
 - Fh₁ 開析扇状地 Fh₁ 面

この地図は、国土地理院発行の数値地図25000 (八代・鹿兒島) のデータにより作成されたものである。

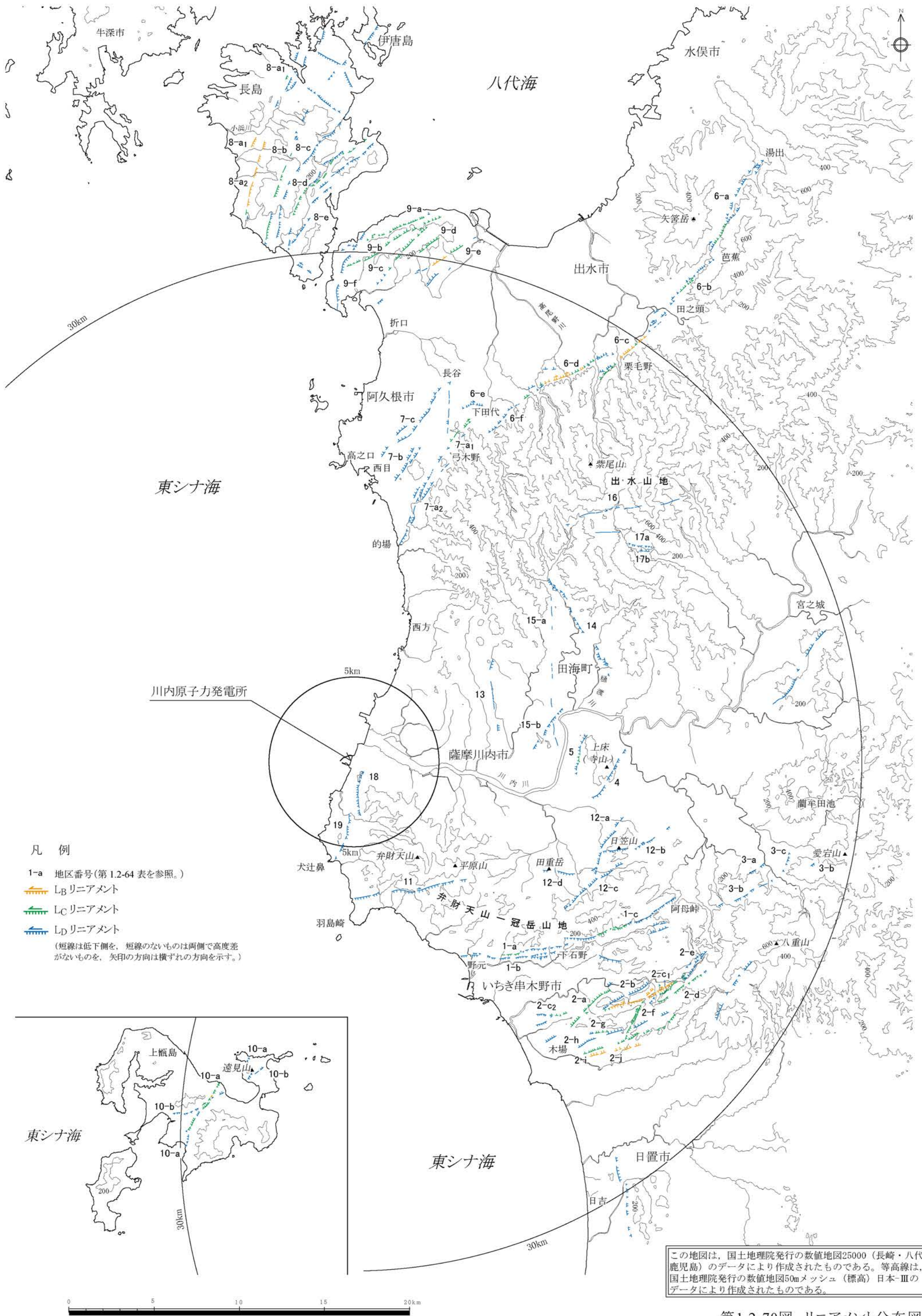
第1.2-67図 敷地周辺陸域の段丘面分布図



第1.2-68図 敷地周辺陸域の地質構造図



第1.2-69図 文献による活断層・リニアメント分布図



凡例

1-a 地区番号(第1.2-64表を参照。)

LB リニアメント

LC リニアメント

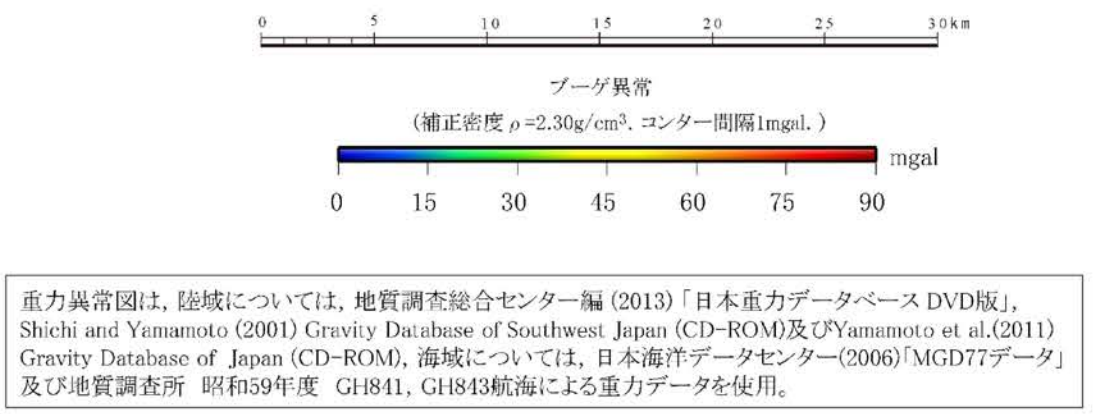
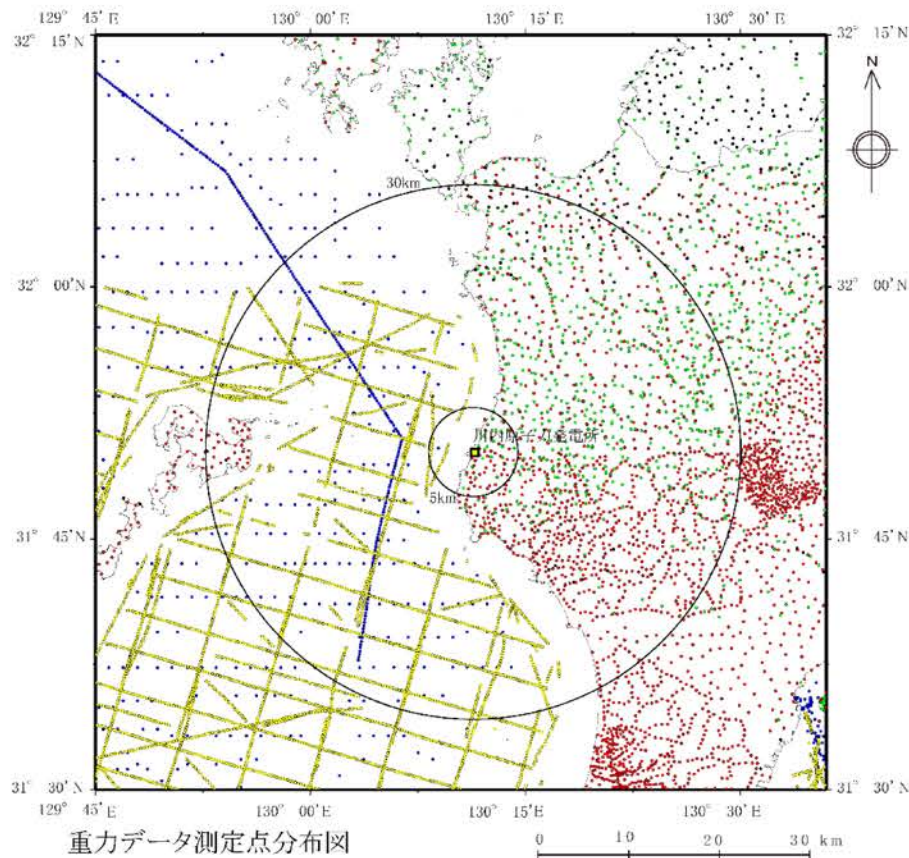
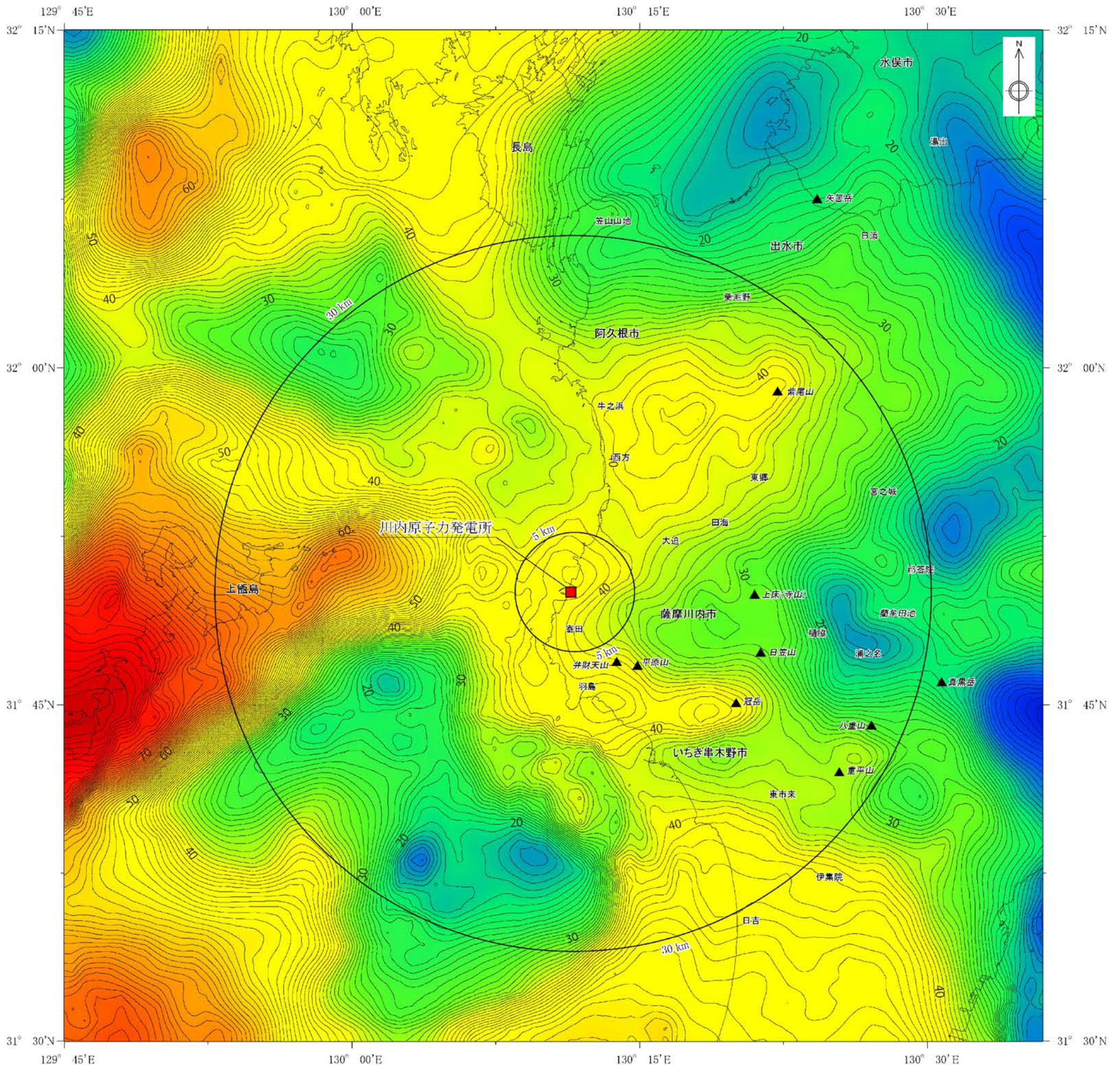
LD リニアメント

(短線は低下側を、短線のないものは両側で高度差がないものを、矢印の方向は横ずれの方向を示す。)

東シナ海

東シナ海

第1.2-70図 リニアメント分布図

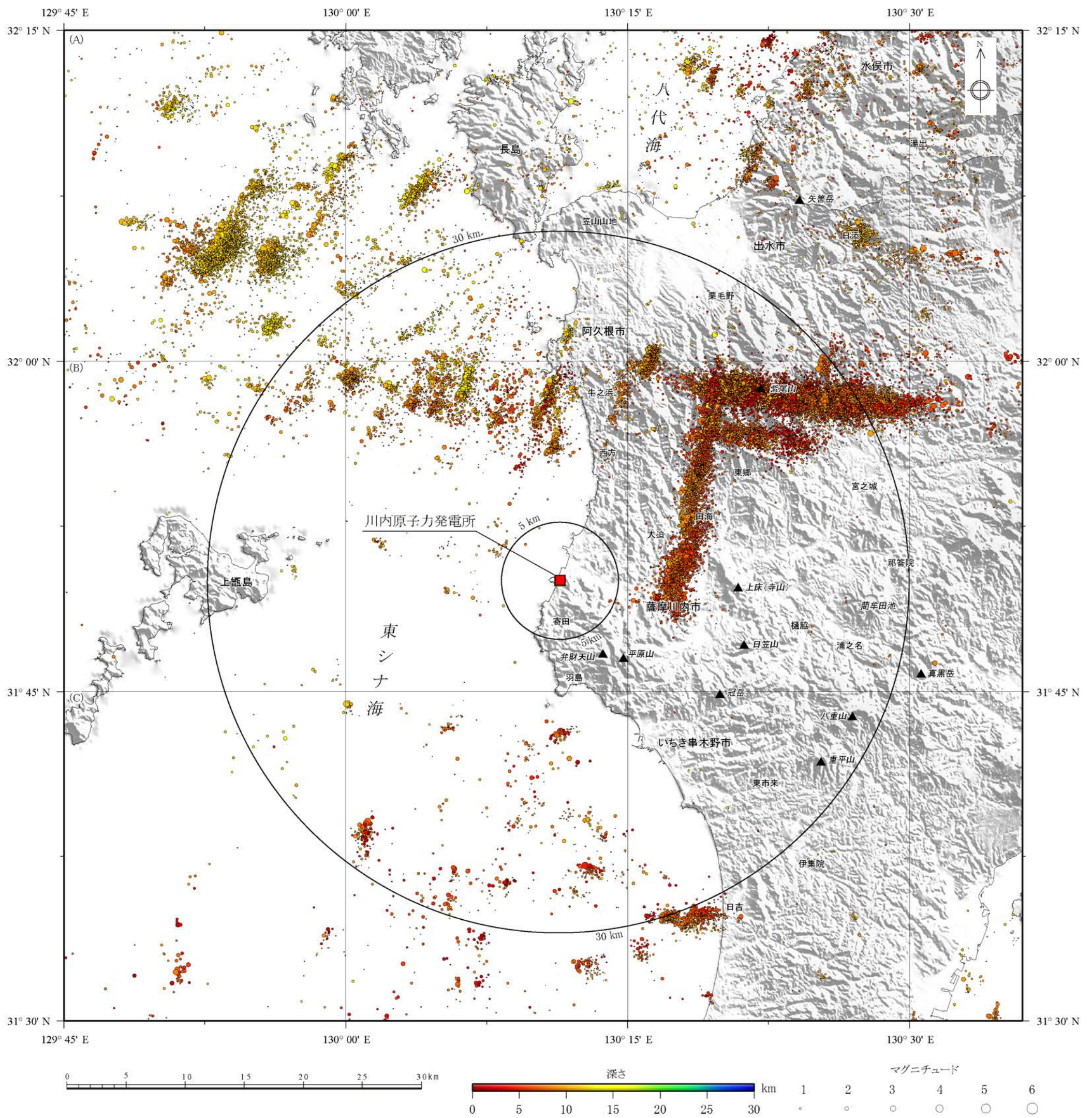


重力異常図は、陸域については、地質調査総合センター編(2013)「日本重力データベース DVD版」、Shichi and Yamamoto (2001) Gravity Database of Southwest Japan (CD-ROM)及びYamamoto et al.(2011) Gravity Database of Japan (CD-ROM)、海域については、日本海洋データセンター(2006)「MGD77データ」及び地質調査所 昭和59年度 GH841, GH843航海による重力データを使用。

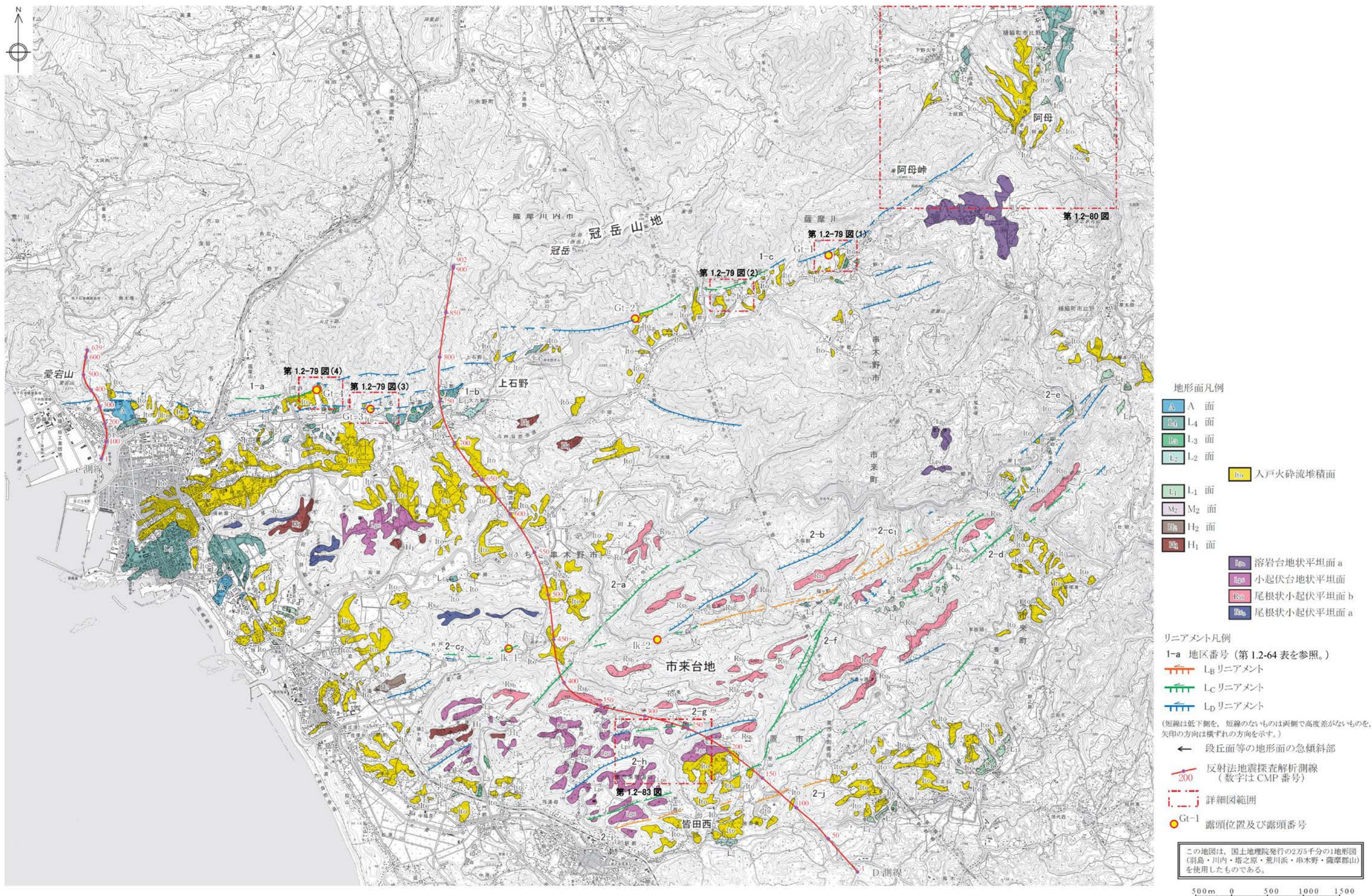
- 重力データ測定点分布凡例
- 日本海洋データセンター
 - 地質調査所
 - 地質調査総合センター
 - Shichi and Yamamoto (2001)
 - Yamamoto et al. (2011)

この地図は、国土地理院発行の数値地図25000(長崎・八代・鹿児島)のデータにより作成されたものである。

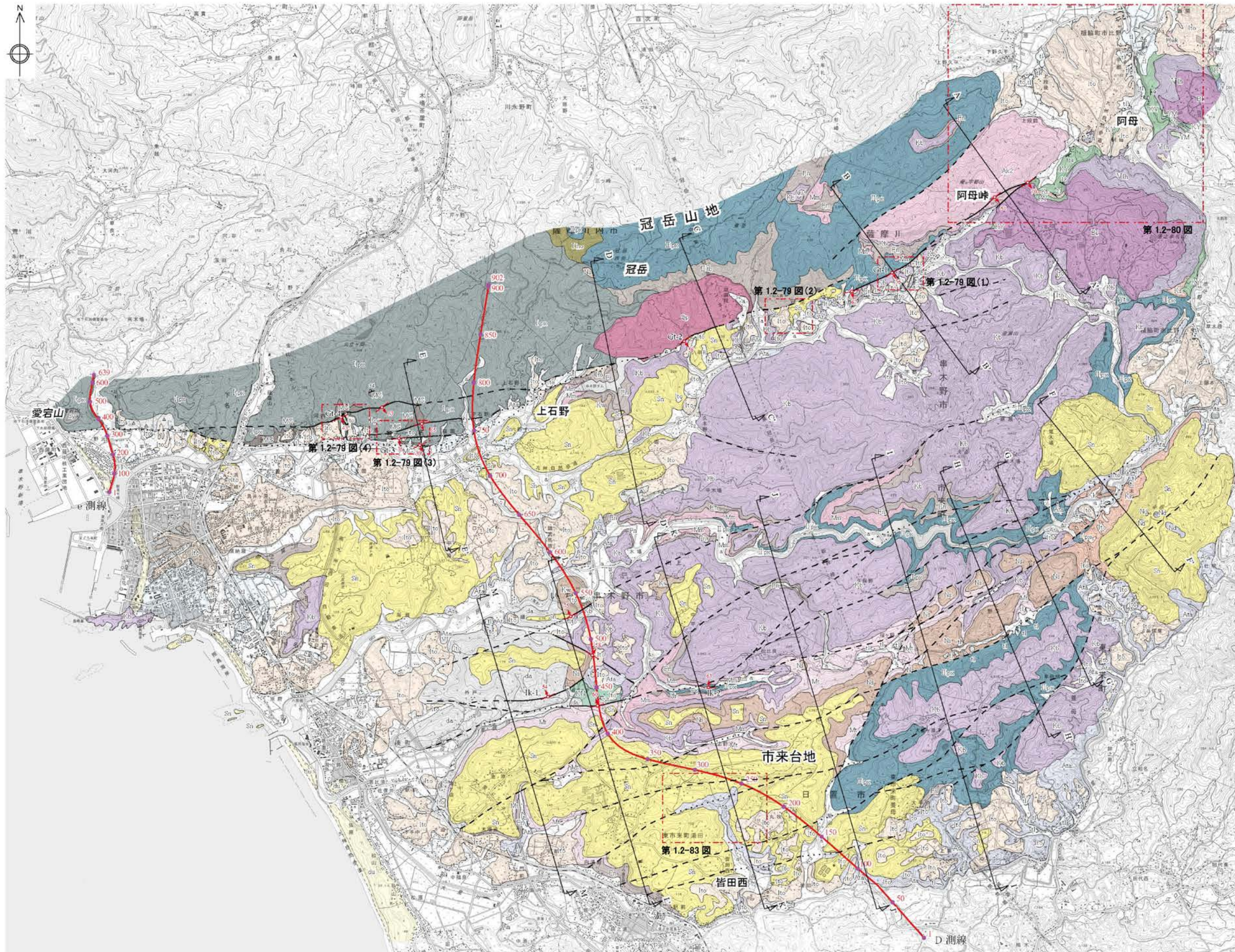
第1.2-71図 敷地周辺の重力異常図



第1.2-72図(1) 敷地周辺の微小地震分布図

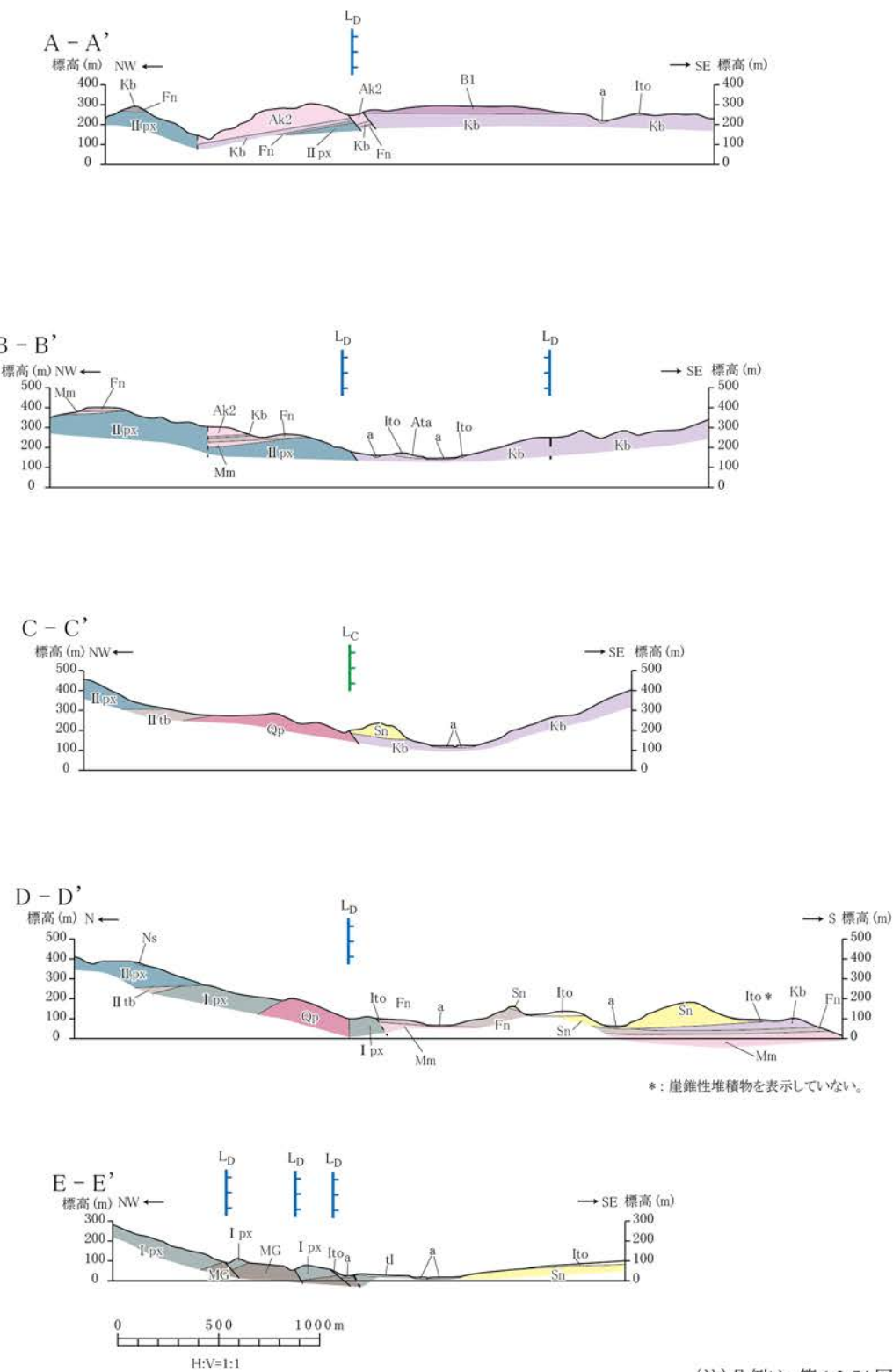


第1.2-73図 市来断層系周辺(五反田川断層含む)の空中写真判読図



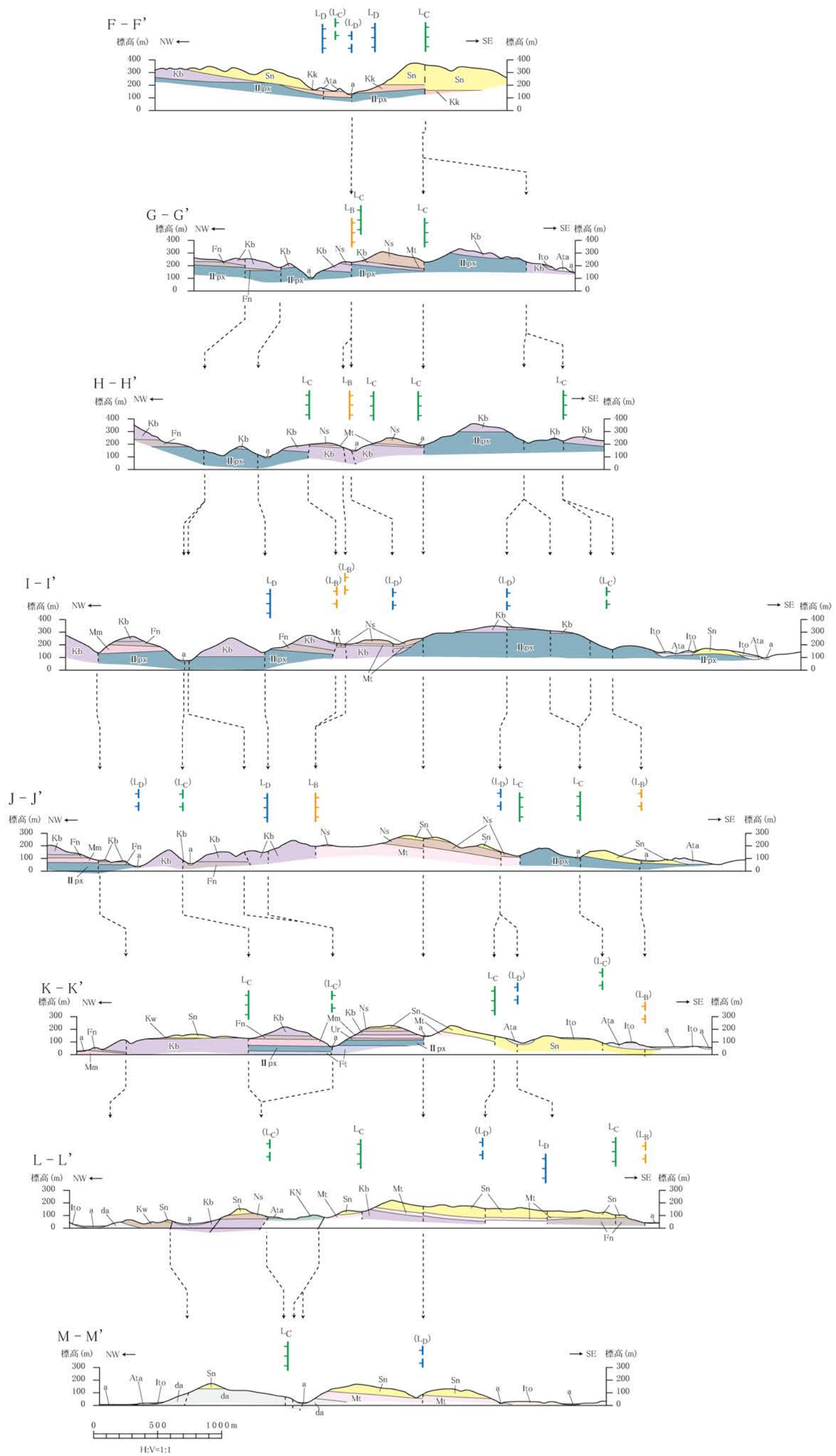
- 凡 例
- 砂丘砂層
 - 沖積層
 - 低位段丘堆積物
 - 崖錐性堆積物
 - 入戸火砕流堆積物
 - 阿多火砕流堆積物
 - 中位段丘堆積物
 - 樋脇火砕流堆積物
 - 川内玄武岩1(溶岩)川内玄武岩類
 - 八重山火砕流堆積物
 - 山之口層
 - 市比野玄武岩質火砕岩類)北薩火山岩類V
 - 中岳火砕流堆積物
 - 輝石安山岩溶岩)北薩火山岩類IV
 - 草木段火砕流堆積物
 - 川内火砕流堆積物
 - 郡山層
 - 倉野火砕流堆積物
 - 鹿丸の口火砕流堆積物
 - 観音ヶ池層
 - 岩屑なだれ堆積物
 - 野下火砕流堆積物
 - 松比良火砕流堆積物
 - 桑木野火砕流堆積物
 - 川上火砕流堆積物
 - 阿久根2火砕流堆積物
 - 久保野火砕流堆積物
 - 舟川火砕流堆積物
 - 百次火砕流堆積物
 - 浦田火砕流堆積物
 - 輝石安山岩溶岩
 - 火山・凝灰角礫岩
 - 二俣川火砕流堆積物
 - 岩脈
 - 角閃石安山岩溶岩
 - 輝石安山岩溶岩
 - 変質安山岩～石英斑岩
 - 馬込礫岩層
- 北薩火山岩類II
- 北薩火山岩類I
- 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
- 層理面の走向・傾斜
- 地質境界
- 断層(破線は推定, 点線は伏在)
- 断面線位置及び番号
- 反射法地震探査解析測線(数字はCMP番号)
- 詳細図範囲
- この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(羽島・川内・塔之原・荒川浜・串木野・薩摩郡山)を使用したものである。
- 500m 0 500 1000 1500

第1.2-74図 市来断層系周辺(五反田川断層含む)の地質図



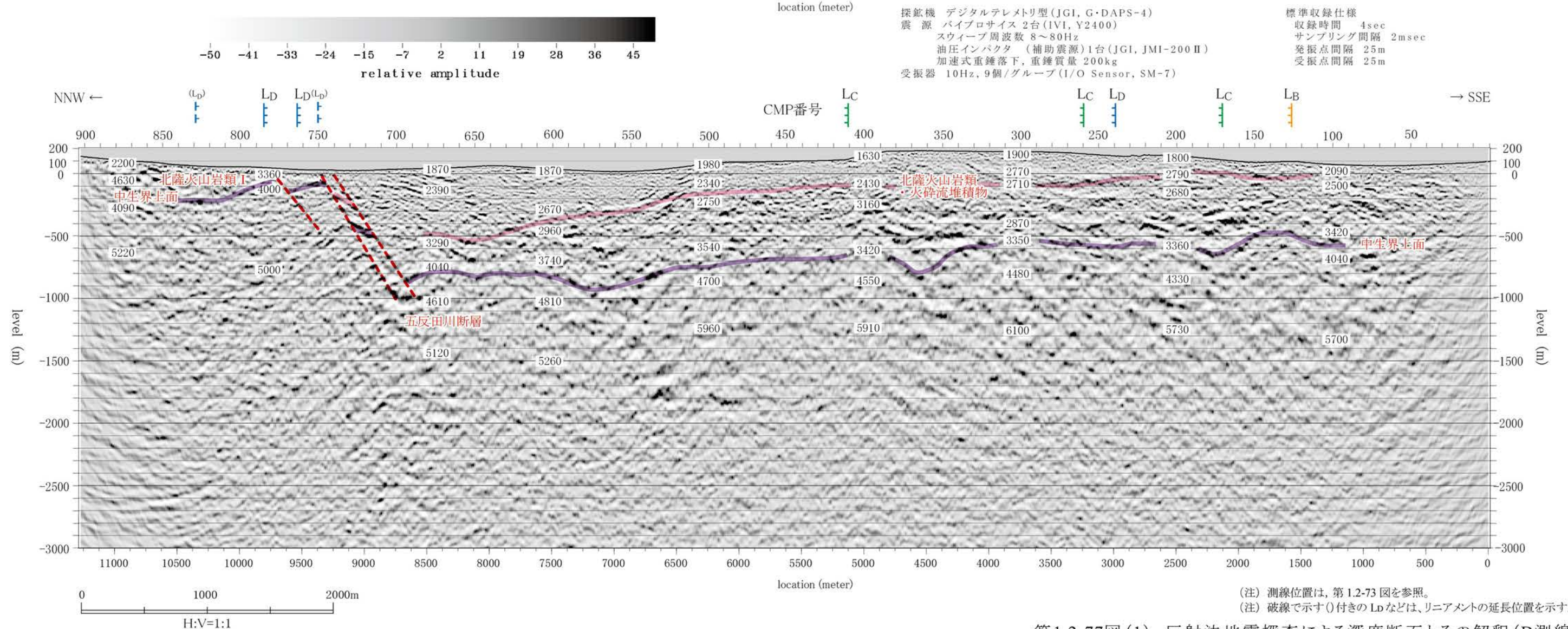
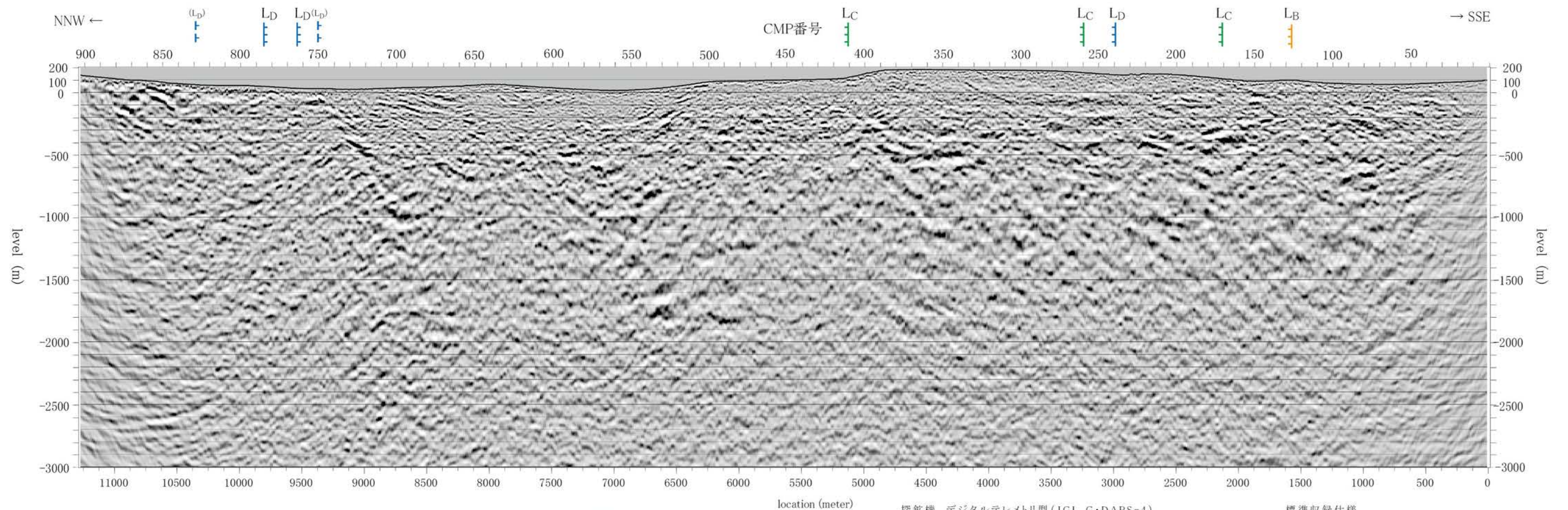
(注) 凡例は、第 1.2-74 図を参照。

第1.2-75図 五反田川断層周辺の地質断面図

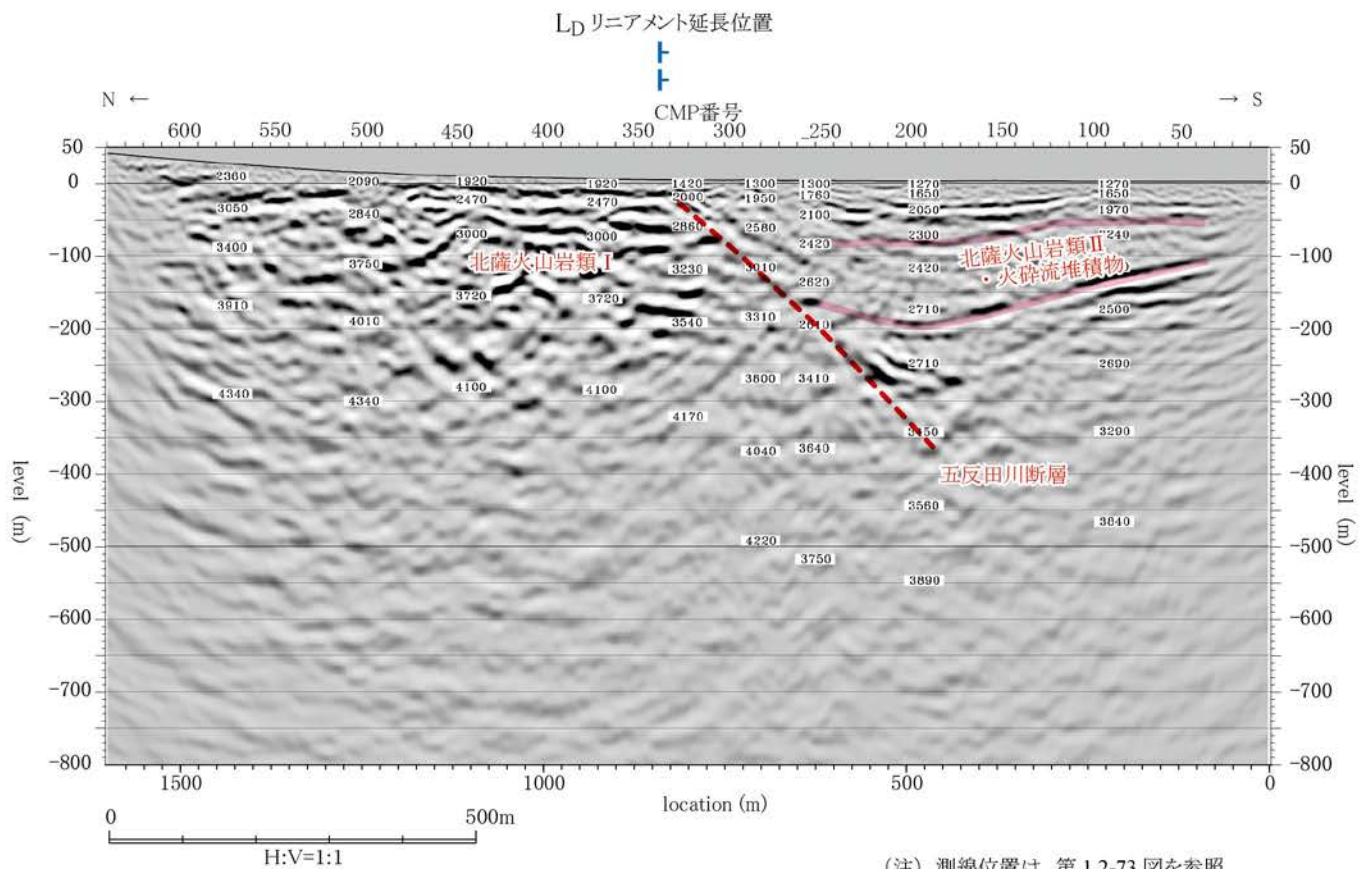
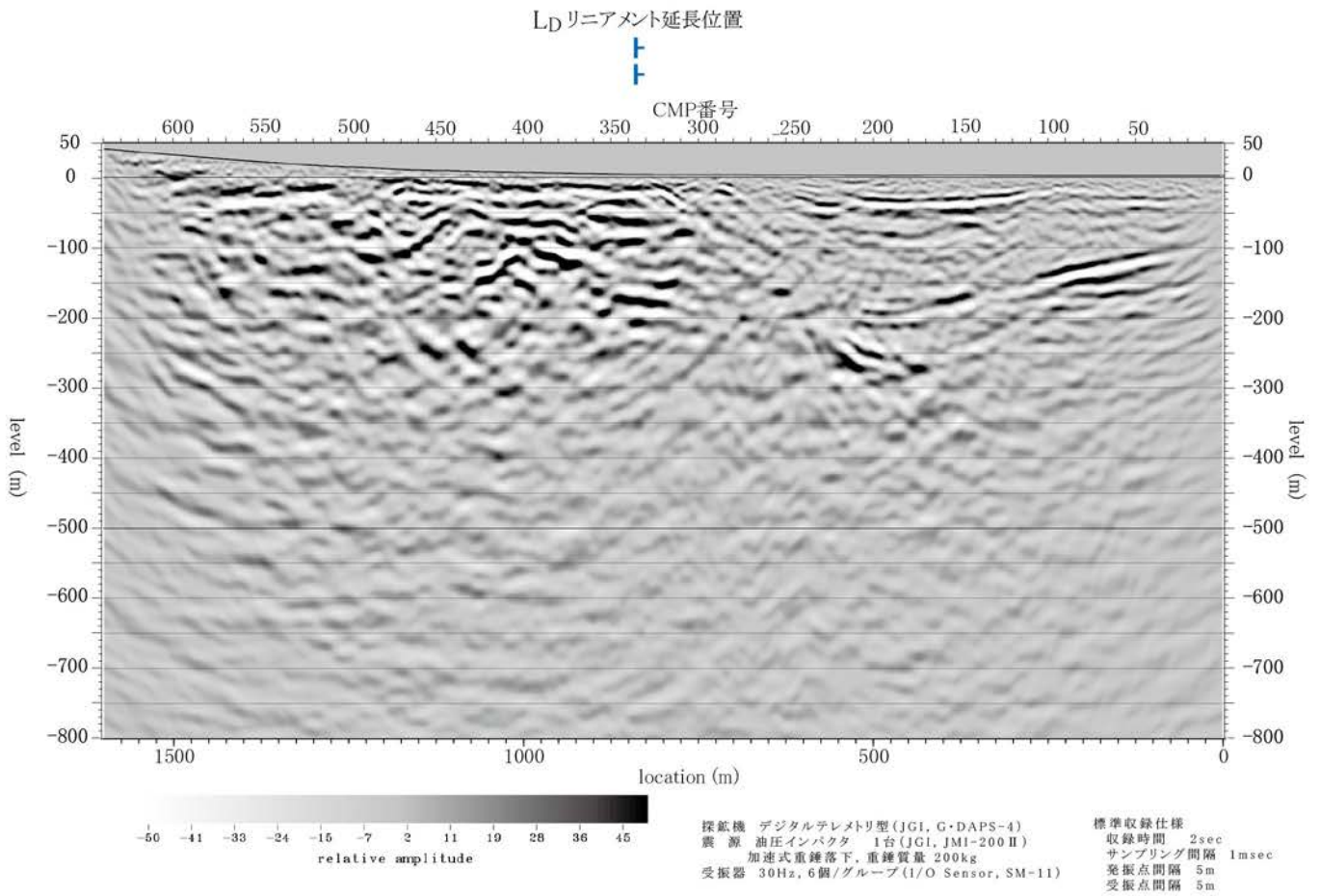


(注) 凡例は、第1.2-74図を参照。
 (注) 破線で示す()付きのL_Dなどは、リニアメントの延長位置を示す。

第1.2-76図 市来断層系周辺の地質断面図

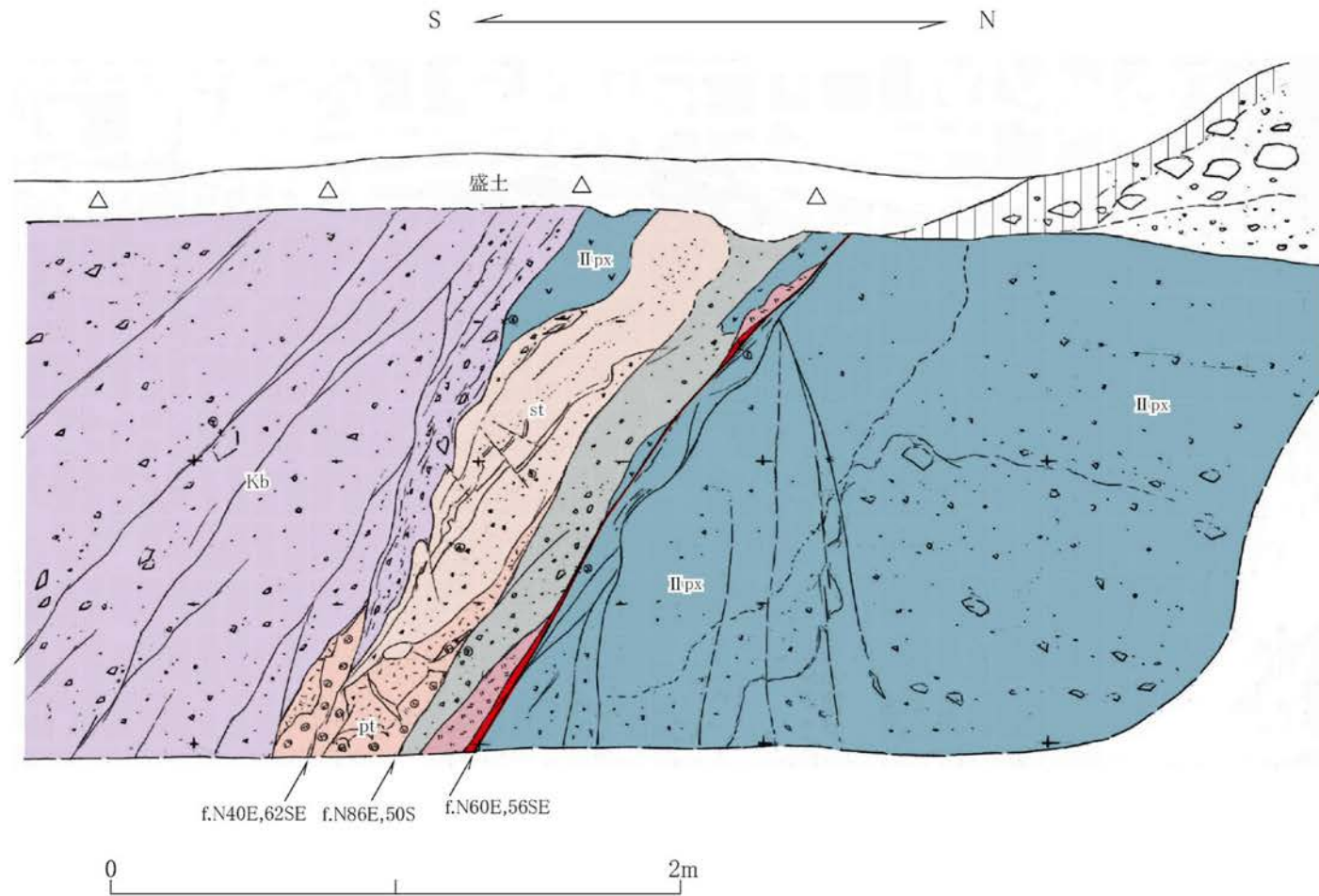


第1.2-77図(1) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (D測線)



第 1.2-77 図 (2) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (e 測線)

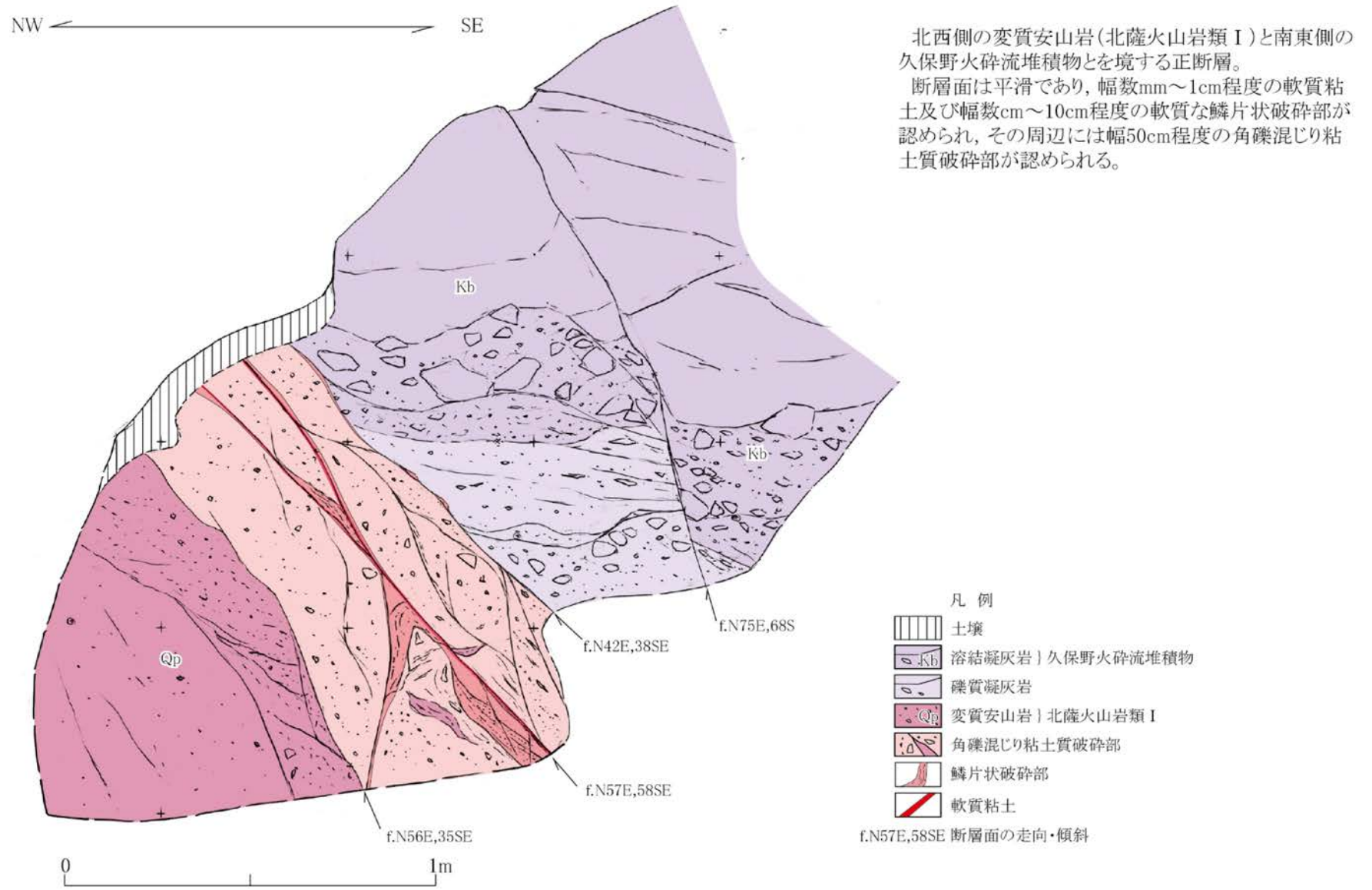
1.2-530



南側の久保野火砕流堆積物と北側の輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅱ）とを境する正断層。
断層面は緩く湾曲するものの、平滑であり、幅数 mm ~ 2cm 程度の軟質粘土が認められる。断層面上盤側には角礫状破碎部及び安山岩溶岩、凝灰岩などの擾乱部が認められる。

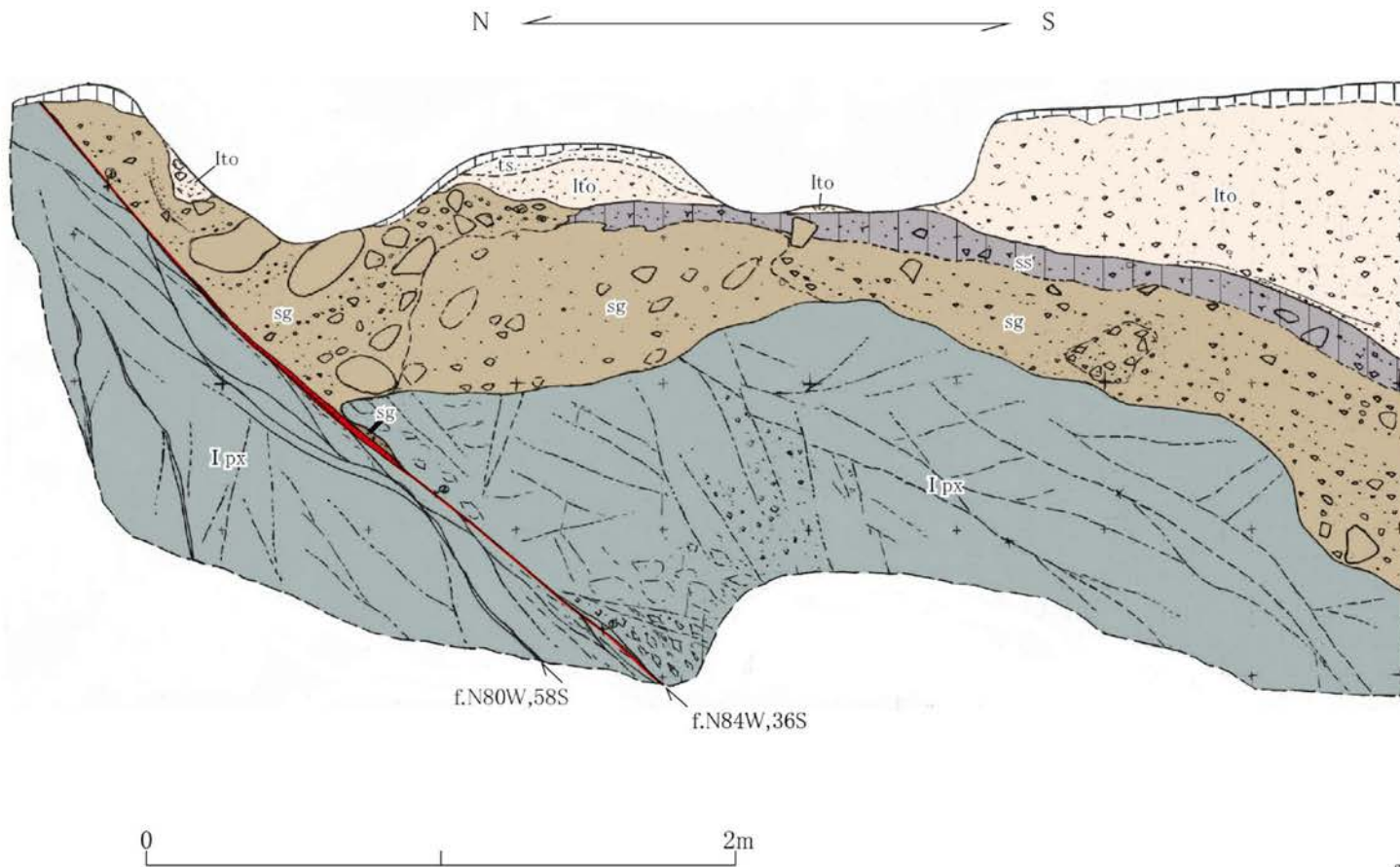
- 凡例
- 暗褐色土壌
 - 旧河床礫層）沖積層
 - Kb 溶結凝灰岩）久保野火砕流堆積物
 - st 砂質凝灰岩
 - dt 軽石凝灰岩
 - 凝灰岩
 - IIpx 輝石安山岩溶岩）北薩火山岩類Ⅱ
 - 角礫状破碎部
 - 軟質粘土
- f.N86E,50S 断層面の走向・傾斜

第1.2-78図(1) 露頭スケッチ (Loc.Gt-1, 薩摩川内市野下)



第1.2-78図(2) 露頭スケッチ (Loc.Gt-2, いちき串木野市八牟礼)

1.2-532

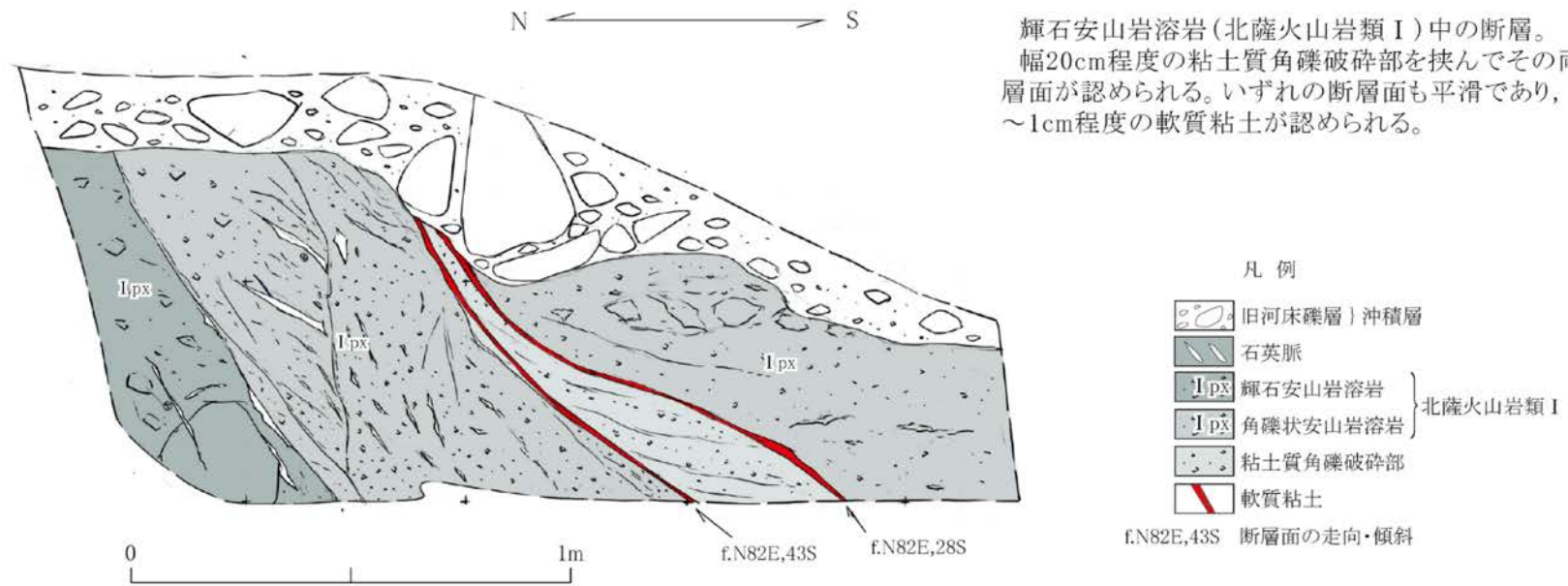


輝石安山岩溶岩(北薩火山岩類 I)中の断層。
断層面は平滑であり、顕著な破碎は認められないものの、幅数 mm ~ 1cm 程度の軟質粘土が認められる。同断層は古期崖錐堆積物に鉛直 1m 以上の南落ちの変位を与えている。

- 凡例
- 茶褐色土壌
 - 凝灰質砂層 | 入戸火砕流二次堆積物
 - 軽石流堆積物 | 入戸火砕流堆積物
 - シルト質黒色土壌 | 埋没土壌
 - シルト質礫層 | 古期崖錐堆積物
 - 輝石安山岩溶岩 | 北薩火山岩類 I
 - 軟質粘土

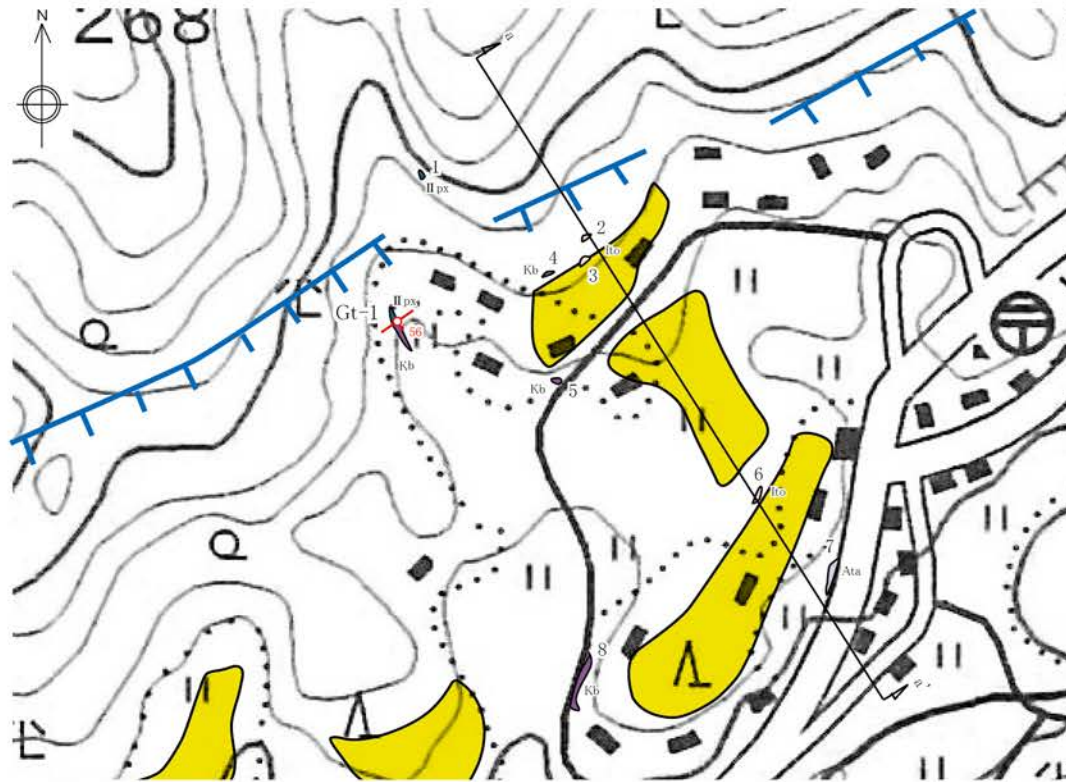
f.N84W,36S 断層面の走向・傾斜

第1.2-78図(3) 露頭スケッチ (Loc.Gt-3, いちき串木野市上名)



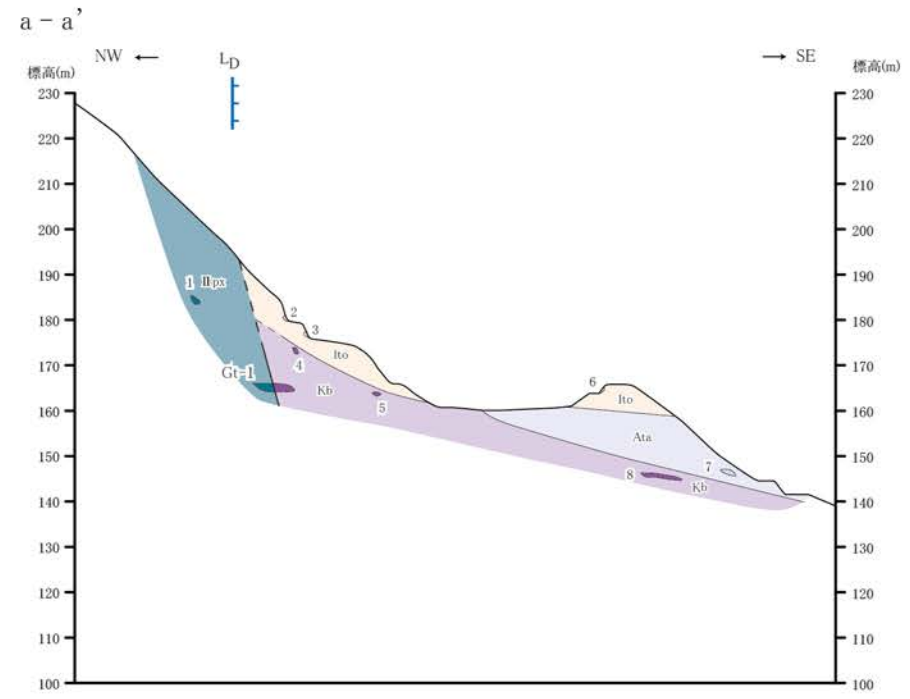
輝石安山岩溶岩(北薩火山岩類 I)中の断層。
 幅20cm程度の粘土質角礫破碎部を挟んでその両側に断層面が認められる。いずれの断層面も平滑であり、幅数mm~1cm程度の軟質粘土が認められる。

第1.2-78図(4) 露頭スケッチ (Loc.Gt-4, いちき串木野市河内)



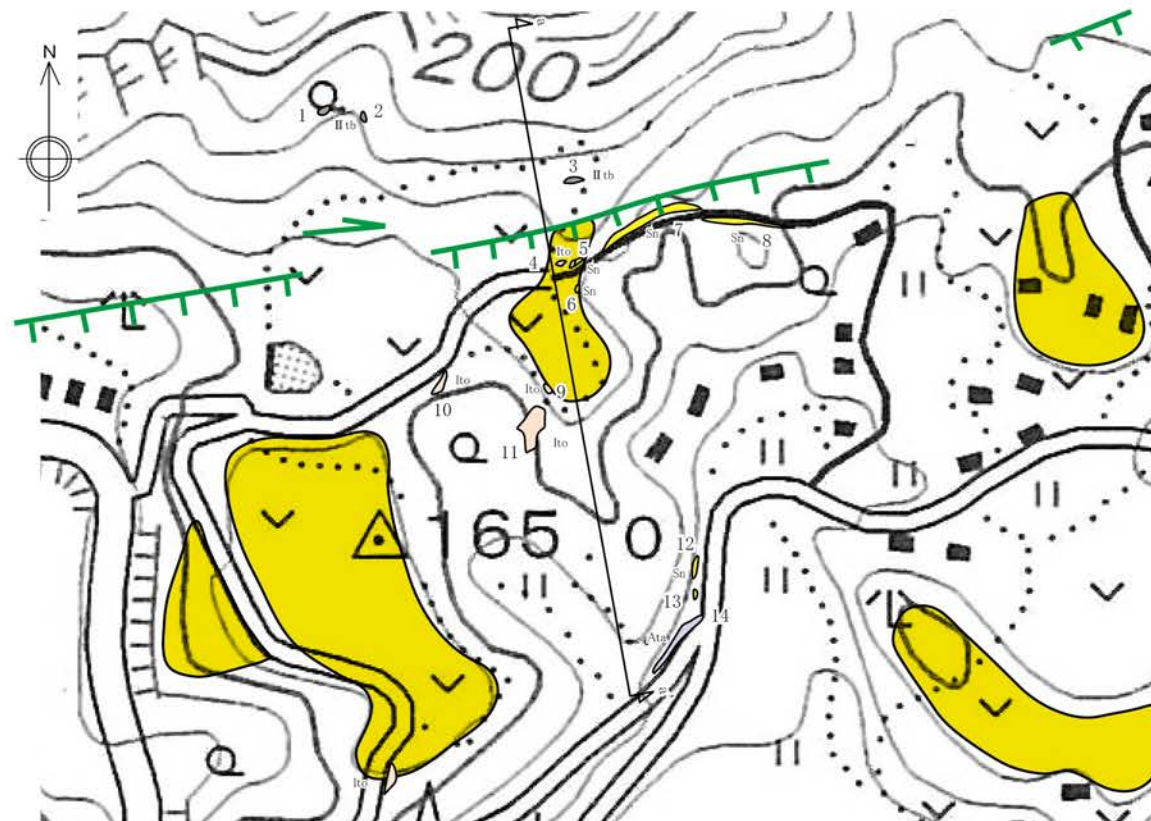
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(串木野)を使用したものである。

- 地形面凡例
- 入戸火砕流堆積面
- リニアメント凡例
- L_D リニアメント (短線は低下側を示す。)
- 露頭凡例
- 露頭位置及び露頭番号
 - Ito 入戸火砕流堆積物
 - Ata 阿多火砕流堆積物
 - Kb 久保野火砕流堆積物
 - IIpx 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類II
 - 断層面の走向・傾斜
 - 地質断面線位置



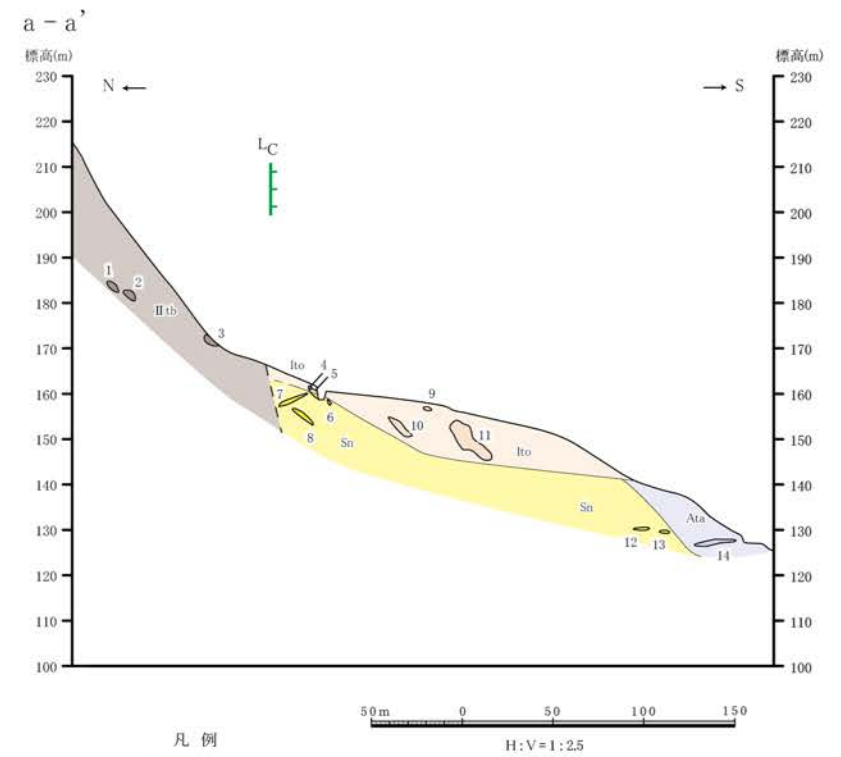
- 凡例
- Ito 入戸火砕流堆積物
 - Ata 阿多火砕流堆積物
 - Kb 久保野火砕流堆積物
 - IIpx 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類II
 - 断層
 - - 推定断層
 - 露頭位置及び露頭番号

第1.2-79図(1) ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市野下付近)



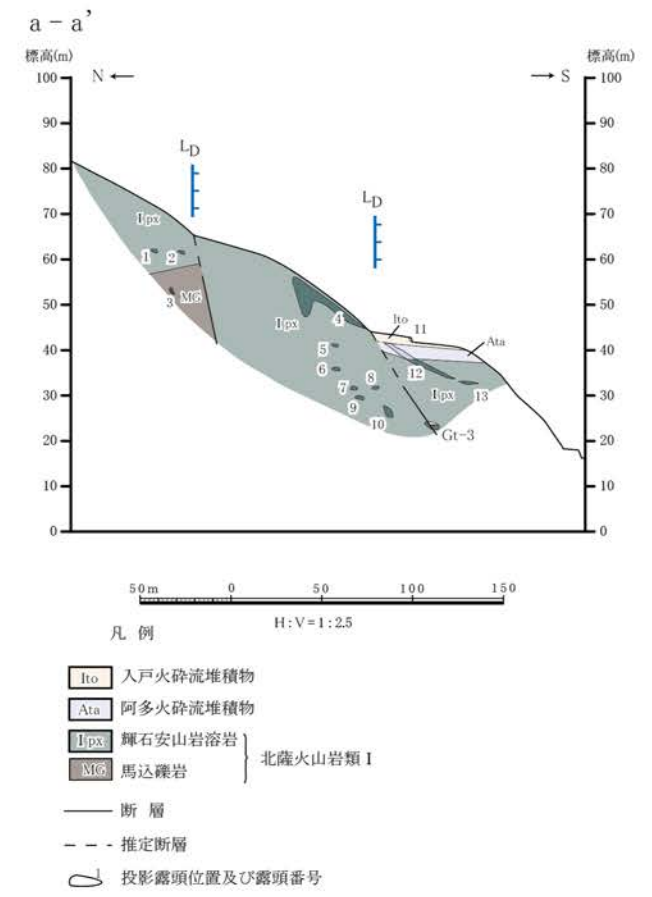
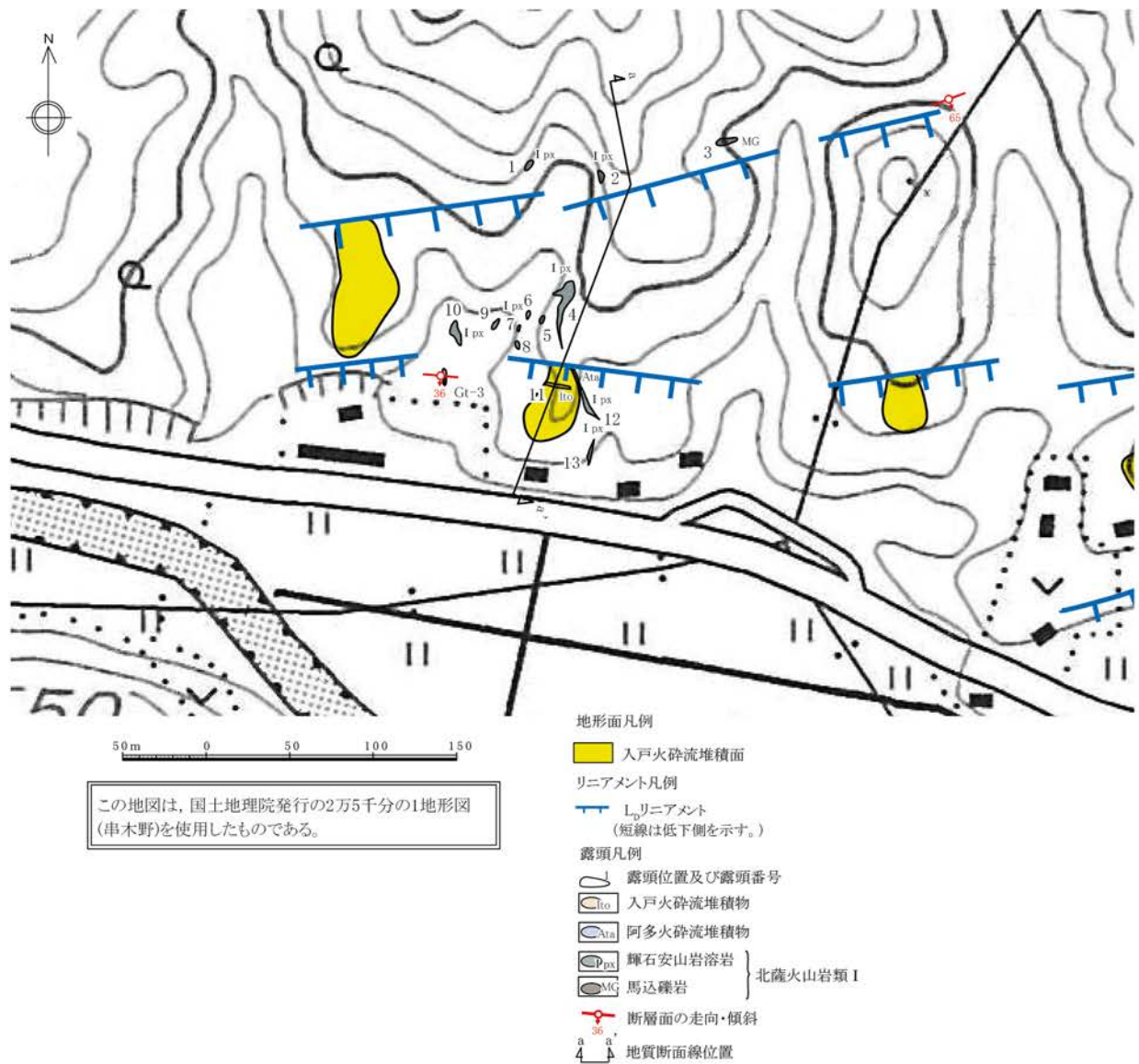
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(串木野)を使用したものである。

- 地形面凡例
 入戸火砕流堆積面
- リニアメント凡例
→ L_C リニアメント
 (短線は低下側を、矢印の方向は横ずれの方向を示す。)
- 露頭凡例
○ 露頭位置及び露頭番号
○ Ito 入戸火砕流堆積物
○ Ata 阿多火砕流堆積物
○ Sn 川内火砕流堆積物
○ Kb 久保野火砕流堆積物
○ II tb 火山・凝灰角礫岩}北薩火山岩類Ⅱ
○ a a' 地質断面線位置

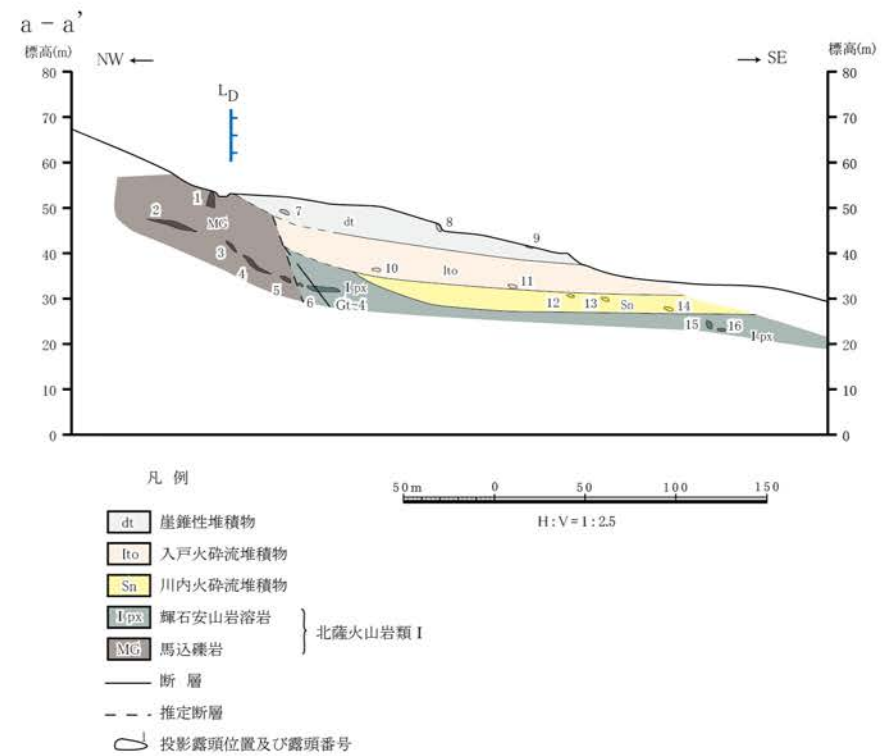
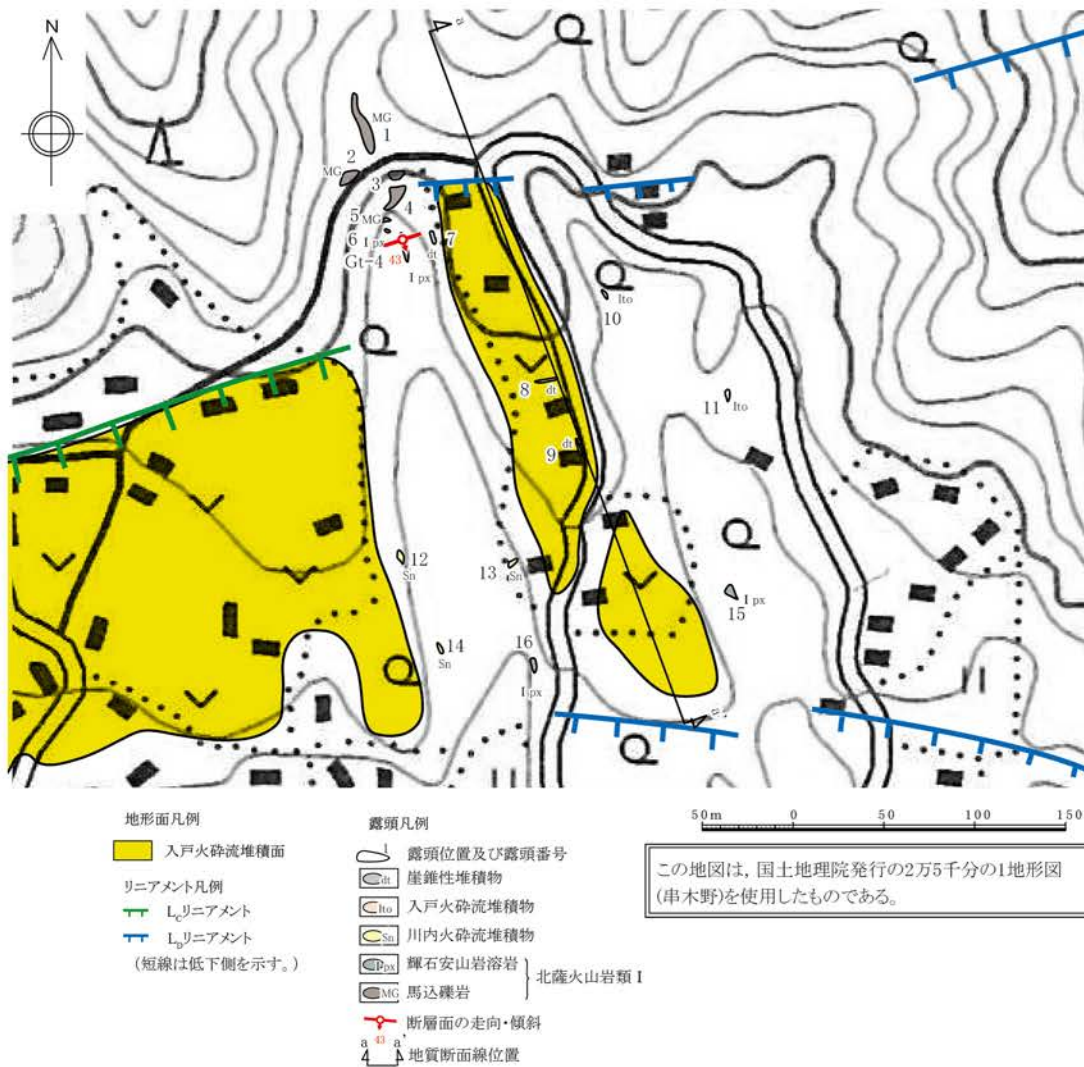


- 凡例
- Ito 入戸火砕流堆積物
Ata 阿多火砕流堆積物
Sn 川内火砕流堆積物
II tb 火山・凝灰角礫岩}北薩火山岩類Ⅱ
- 推定断層
○ 投影露頭位置及び露頭番号

第1.2-79図(2) ルートマップ・地質断面図(いちき串木野市岩下付近)

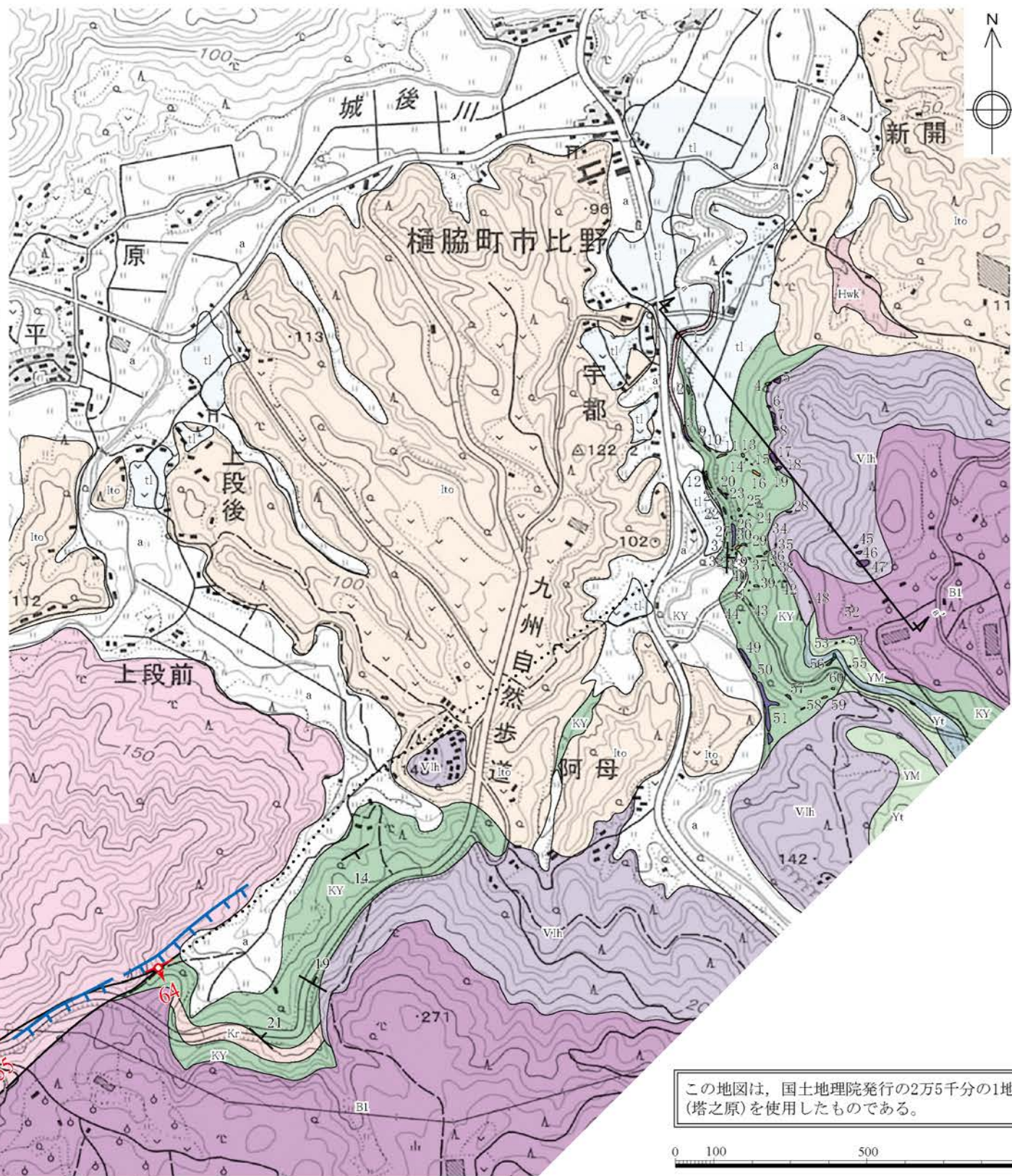


第1.2-79図(3) ルートマップ・地質断面図(いちき串木野市馬込付近)

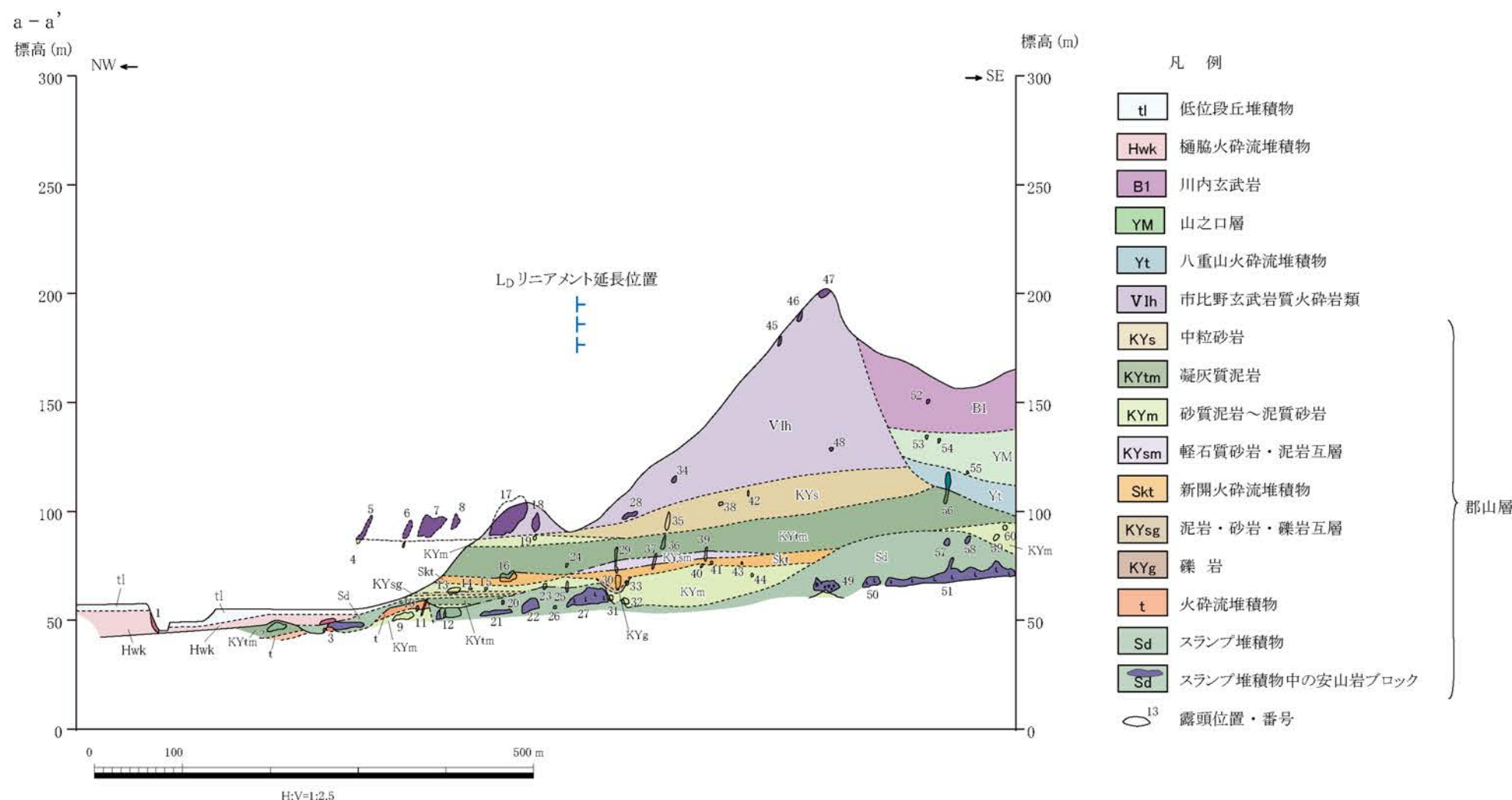


第1.2-79図(4) ルートマップ・地質断面図(いちき串木野市河内付近)

- 凡例
- a 沖積層
 - tl 低位段丘堆積物
 - lto 入戸火砕流堆積物
 - Hwk 樋脇火砕流堆積物
 - B1 川内玄武岩1(溶岩) 川内玄武岩類
 - Yt 八重山火砕流堆積物
 - YM 山之口層
 - Vlh 市比野玄武岩質火砕岩類 北薩火山岩類V
 - KY 郡山層
 - Kr 倉野火砕流堆積物
 - Ak2 溶結凝灰岩 阿久根2火砕流堆積物
 - Kb 久保野火砕流堆積物
 - IIpx 輝石安山岩溶岩 北薩火山岩類II
- 断層 (破線は推定, 点線は伏在)
- 断層面の走向・傾斜
- 層理面の走向・傾斜
- 露頭位置及び露頭番号 (露頭の凡例は断面図凡例を参照)
- 地質断面位置
- リニアメント凡例
- L_Dリニアメント (短線は低下側を示す。)

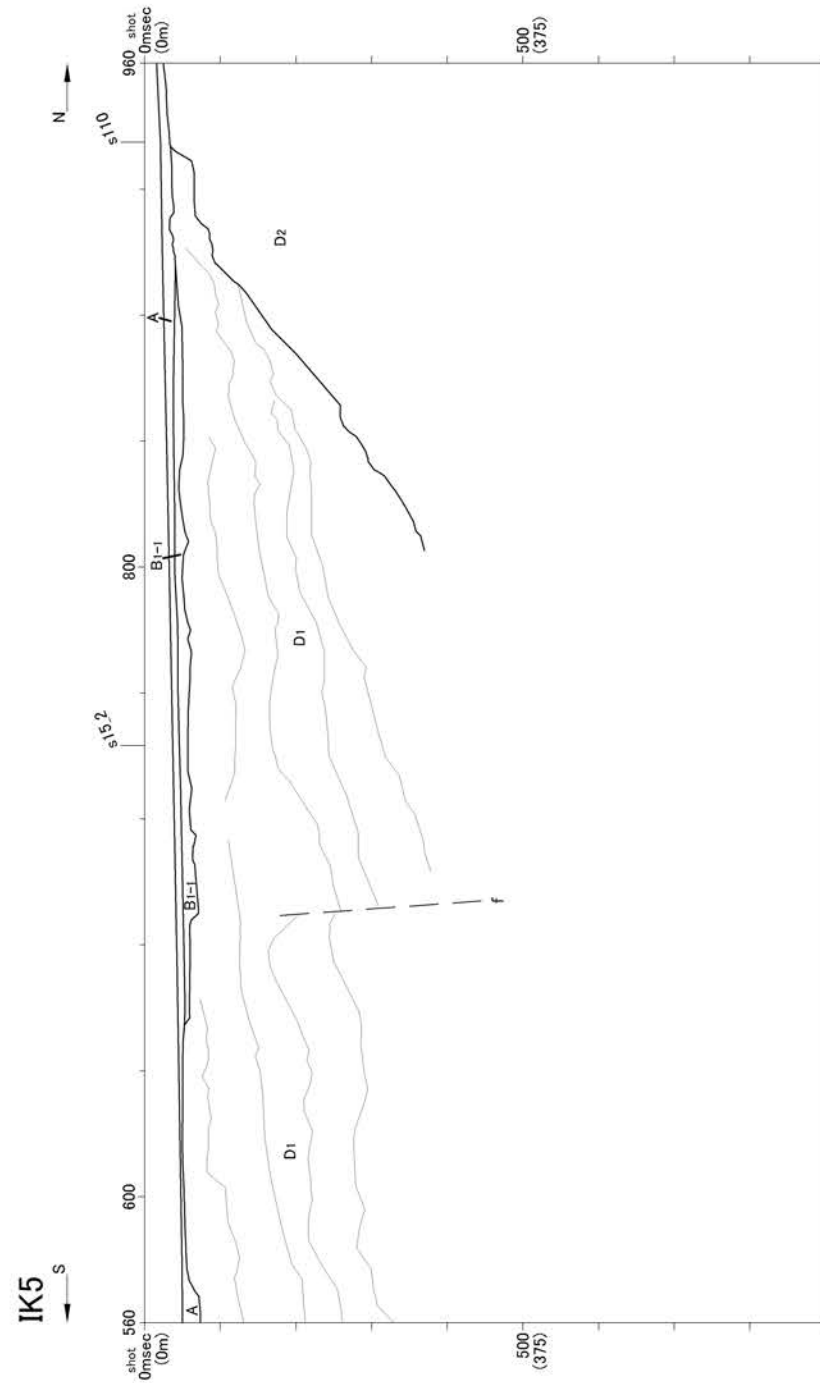
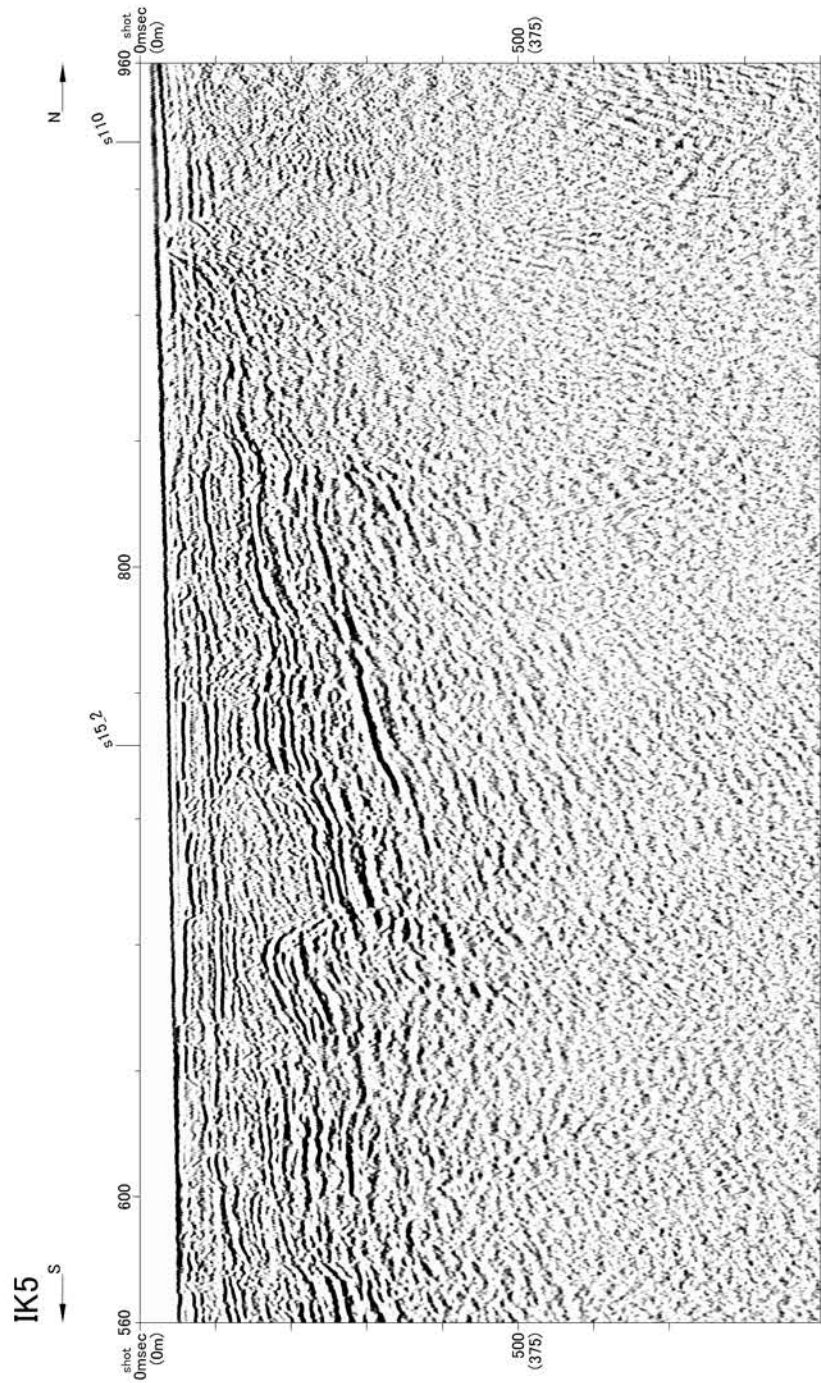


この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(塔之原)を使用したものである。



1.2-538

第1.2-80図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市阿母付近)



凡例

A	後期更新世～更新世
B1-1	後期更新世
B1-2	中期～後期更新世
B1-3	中期～後期更新世
B2-1	中期更新世
B2-2	中期更新世
C	前期更新世
D	後期更新世～前期更新世
D1	後期更新世～前期更新世
D2	後期更新世～前期更新世
E	ジュラ紀～白垩紀

地層境界

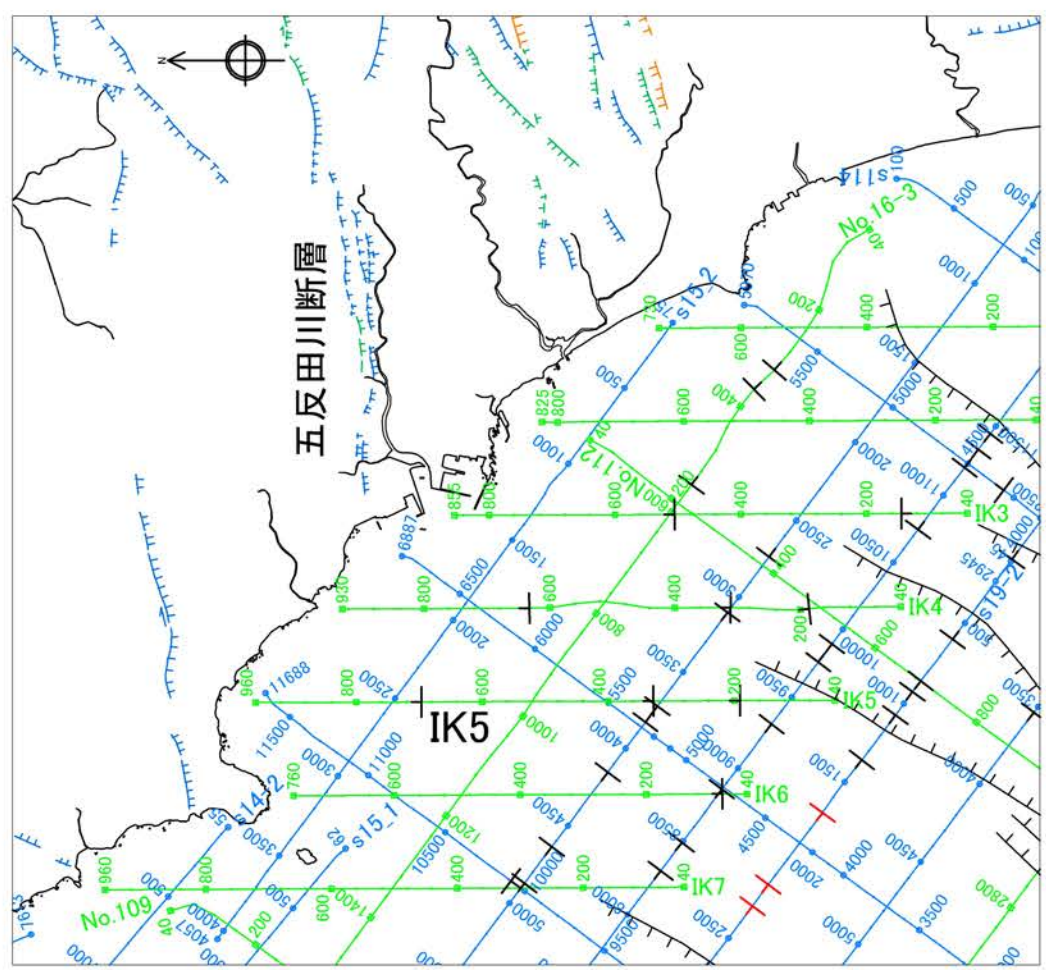
- 実線: 連続性のある断層
- 虚線: 連続性のある伏在断層
- 点線: 連続性のない断層
- 短点線: 連続性のない伏在断層

傾斜角

0° 30° 60° 90°

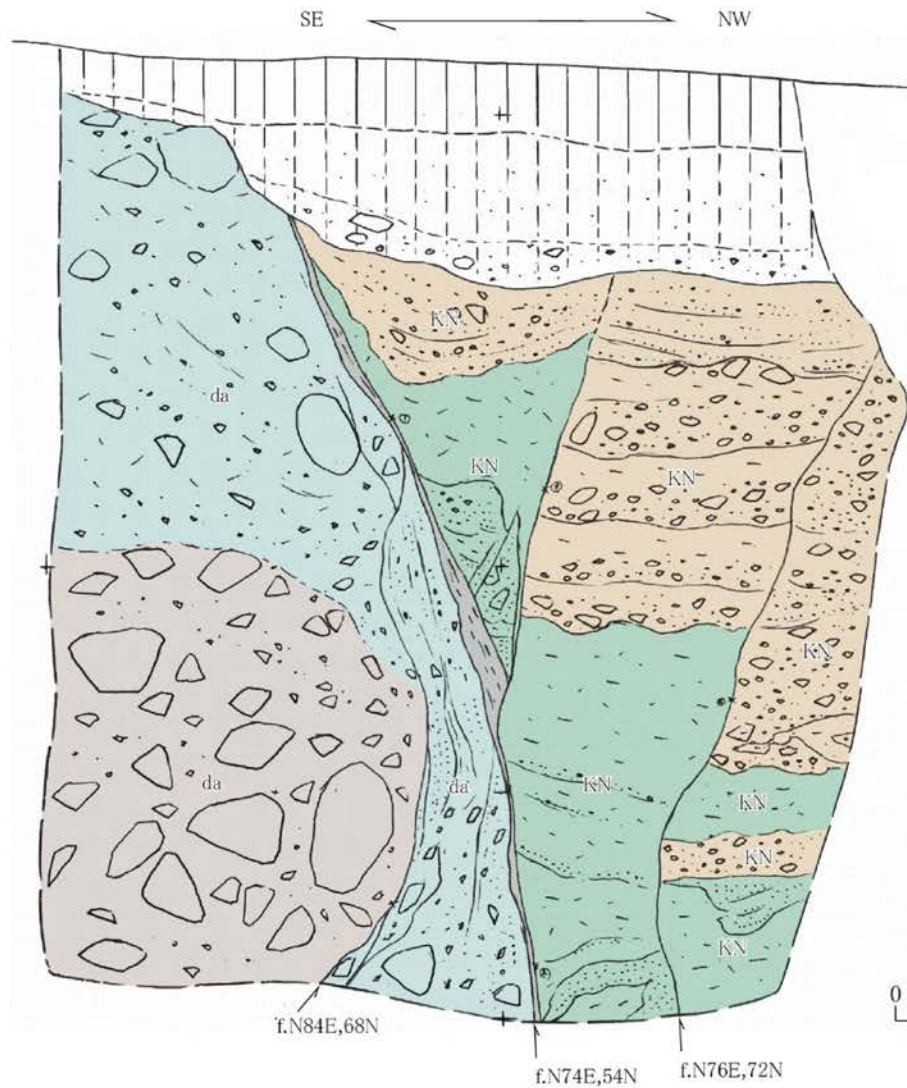
音波探査記録断面図

水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(鹿児島)を編集したものである。



五反田川断層位置図

- 凡例
- 連続性のある断層
 - 連続性のある伏在断層
 - - 連続性のない断層
 - - 連続性のない伏在断層
 - 九州電力(株)によるマルチチャンネル音波探査測線 (G I ガン、ウォーターガン)
 - 九州電力(株)によるシングルチャンネル音波探査測線 (ウォーターガン、スパーカ)
 - L B リニアメント
 - L C リニアメント
 - L D リニアメント



南東側の岩屑なだれ堆積物と北西側の観音ヶ池層とを境する正断層。

断層面は湾曲・凹凸し、連続する平滑な断層面は認められない。幅数 cm ~ 10cm 程度の砂・シルト擾乱部が認められるものの、固結している。

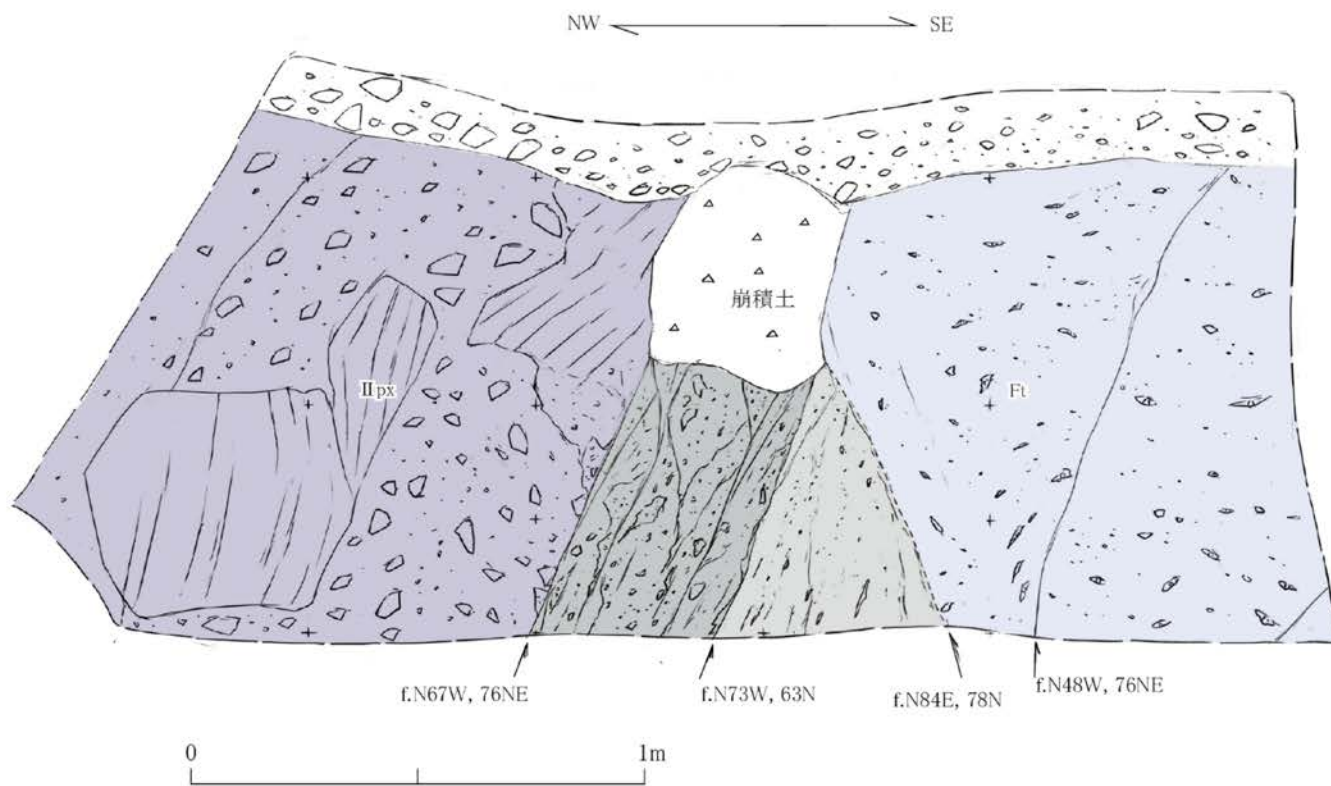
凡例

- 褐色土壌
 - シルト質砂礫層
 - 凝灰質砂・シルト層
 - 細～中礫角礫層
 - 大礫角礫層
 - 砂・シルト擾乱部
- } 観音ヶ池層
- } 岩屑なだれ堆積物

f.N74E,54N 断層面の走向・傾斜



第1.2-82図(1) 露頭スケッチ (Loc.Ik-1, いちき串木野市観音ヶ池西方)



北西側の輝石安山岩自破碎溶岩(北薩火山岩類Ⅱ)と南東側の二俣川火砕流堆積物とを境する正断層。

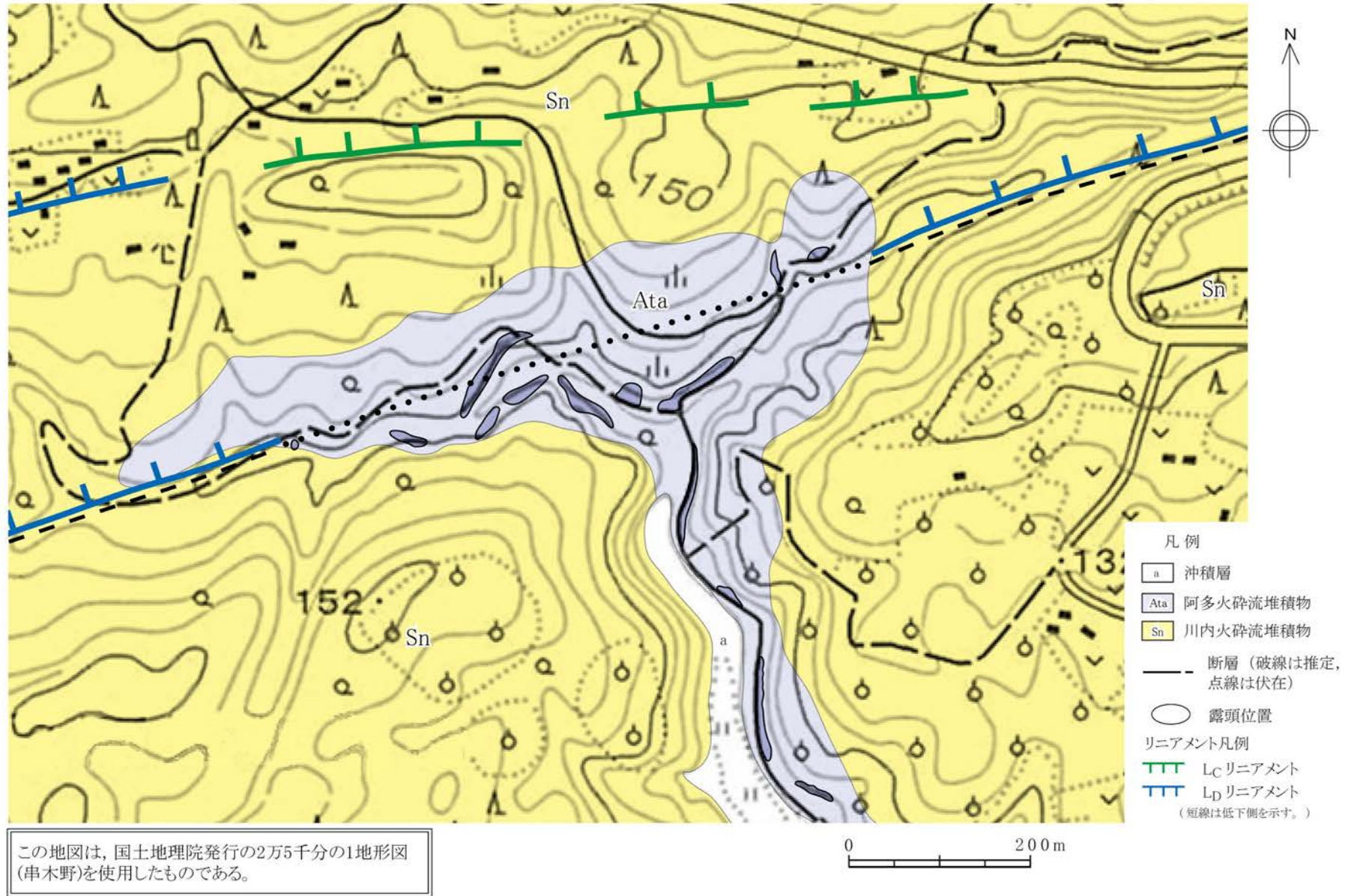
断層面は一部で平滑であるが、細かく凹凸するところも多く、いずれも癒着しており、破碎部も固結している。

凡例

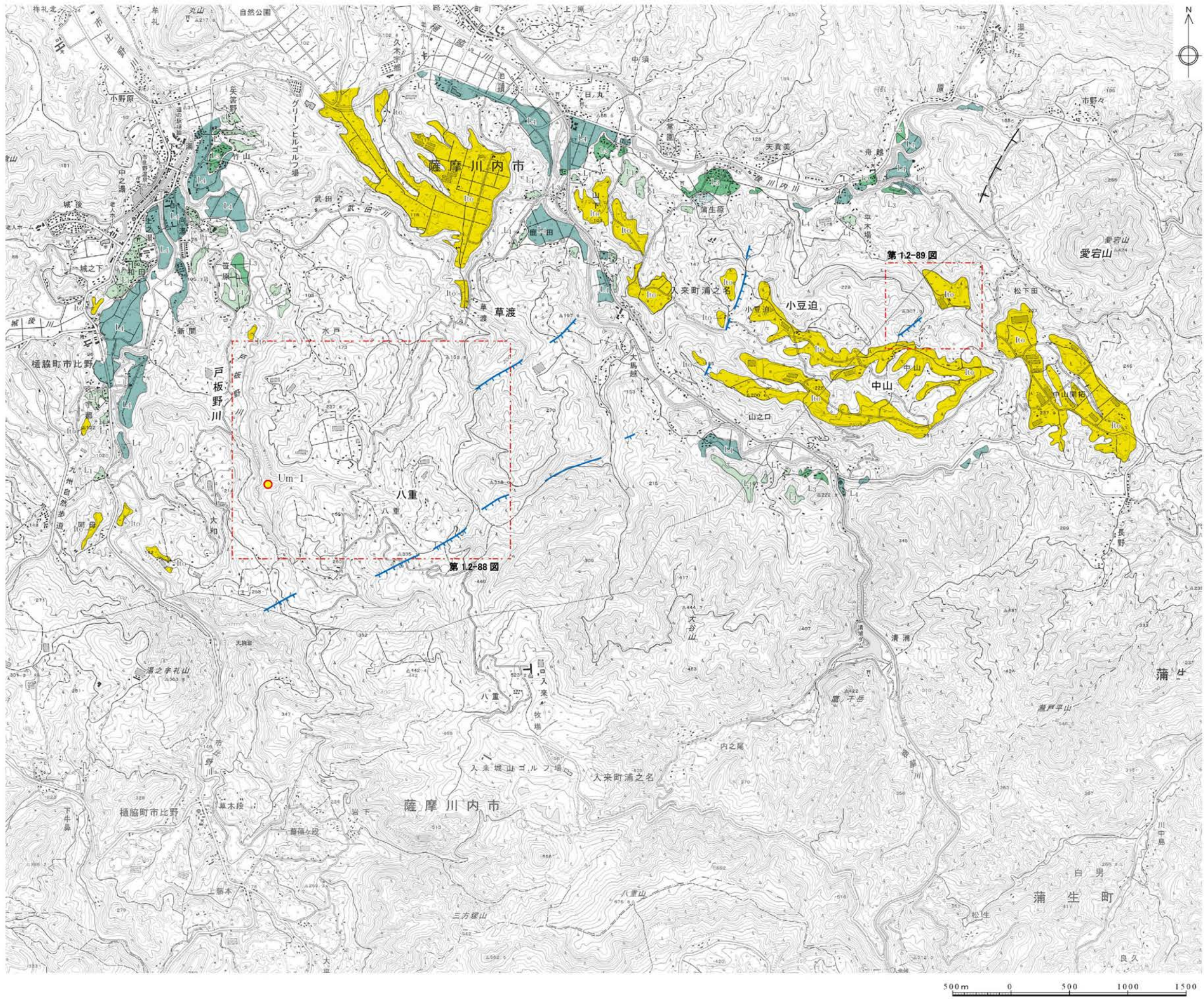
- 旧河床礫層)沖積層
- 輝石安山岩自破碎溶岩)北薩火山岩類Ⅱ
- 弱溶結凝灰岩)二俣川火砕流堆積物
- 輝石安山岩溶岩角礫状破碎部
- 溶結凝灰岩角礫状破碎部

f.N73W,63N 断層面の走向・傾斜

第1.2-82図(2) 露頭スケッチ (Loc.Ik-2, いちき串木野市松比良南西)



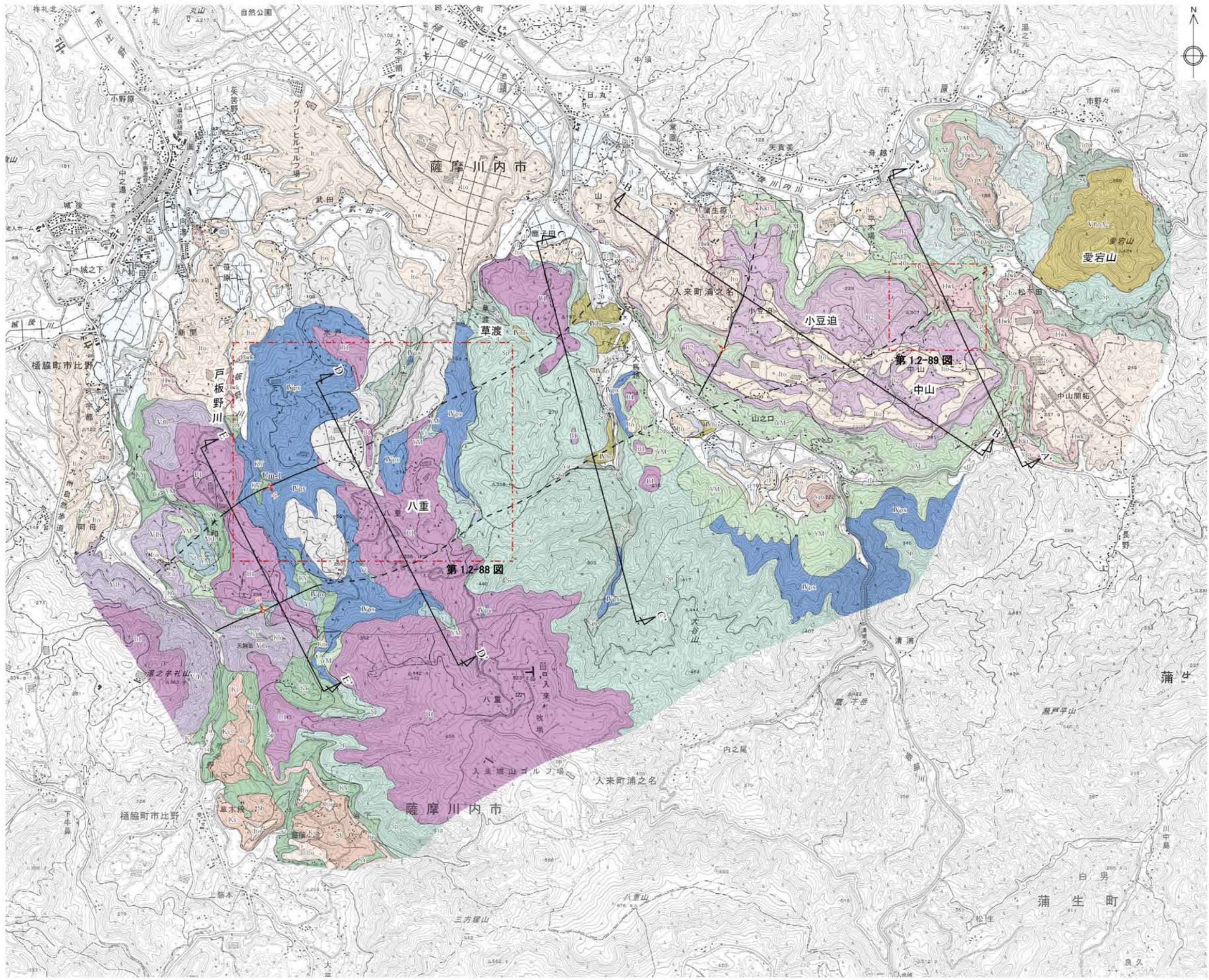
第1.2-83図 ルートマップ(日置市皆田西北方付近)



- 地形面凡例
- L₄ 面
 - L₃ 面
 - L₂ 面
 - L₁ 面
 - 入戸火砕流堆積面
- リニアメント凡例
- L₀ リニアメント
(短線は低下側を、短線のないものは両側で高度差が大きいものを示す。)
 - 「九州の活構造」(1989) による
愛宕山西方断層
 - 詳細図範囲
 - Um-1 露頭位置及び露頭番号

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(塔之原・薩摩郡山)を使用したものである。

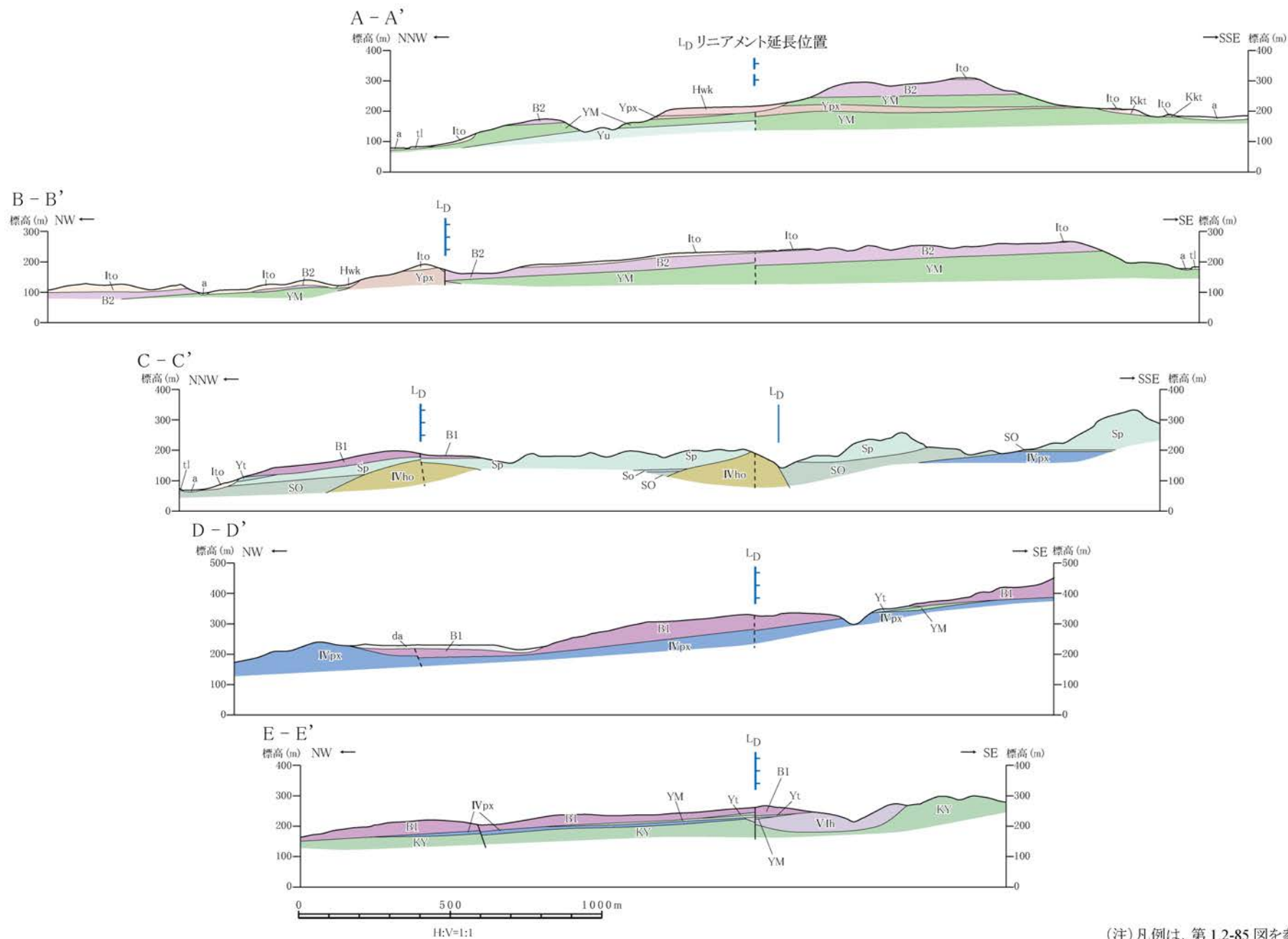
第1.2-84図 浦之名断層系周辺の空中写真判読図
1.2-543



- 凡 例
- 沖積層
 - 低位段丘堆積物
 - 入戸火砕流堆積物
 - 阿多火砕流堆積物
 - 加久藤火砕流堆積物
 - 樋脇火砕流堆積物
 - 岩屑なだれ堆積物
 - B2 川内玄武岩2 (溶岩)
 - B1 川内玄武岩1 (溶岩)
 - Y1 八重山火砕流堆積物
 - Yps 輝石安山岩溶岩
 - YM 山之口層
 - VhoA2 愛宕山角閃石安山岩溶岩
 - VhoB 市比野玄武岩質火砕岩類
 - Sp 三方塚山火砕流堆積物
 - Va 湯之元火砕流堆積物
 - So 草渡火砕流堆積物
 - SO 草渡層
 - Dps 輝石安山岩溶岩
 - Dls 角閃石安山岩溶岩
 - Ks 草木段火砕流堆積物
 - Km 楠元火砕流堆積物
 - Sb 菖蒲ヶ段火砕流堆積物
 - Ky 郡山層
 - Kr 倉野火砕流堆積物
- 北薩火山岩類 V
- 北薩火山岩類 IV
- Um-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
- 14 層理面の走向・傾斜
- 地質境界
- 断層 (破線は推定, 点線は伏在)
- 断面線位置及び番号
- 詳細図範囲

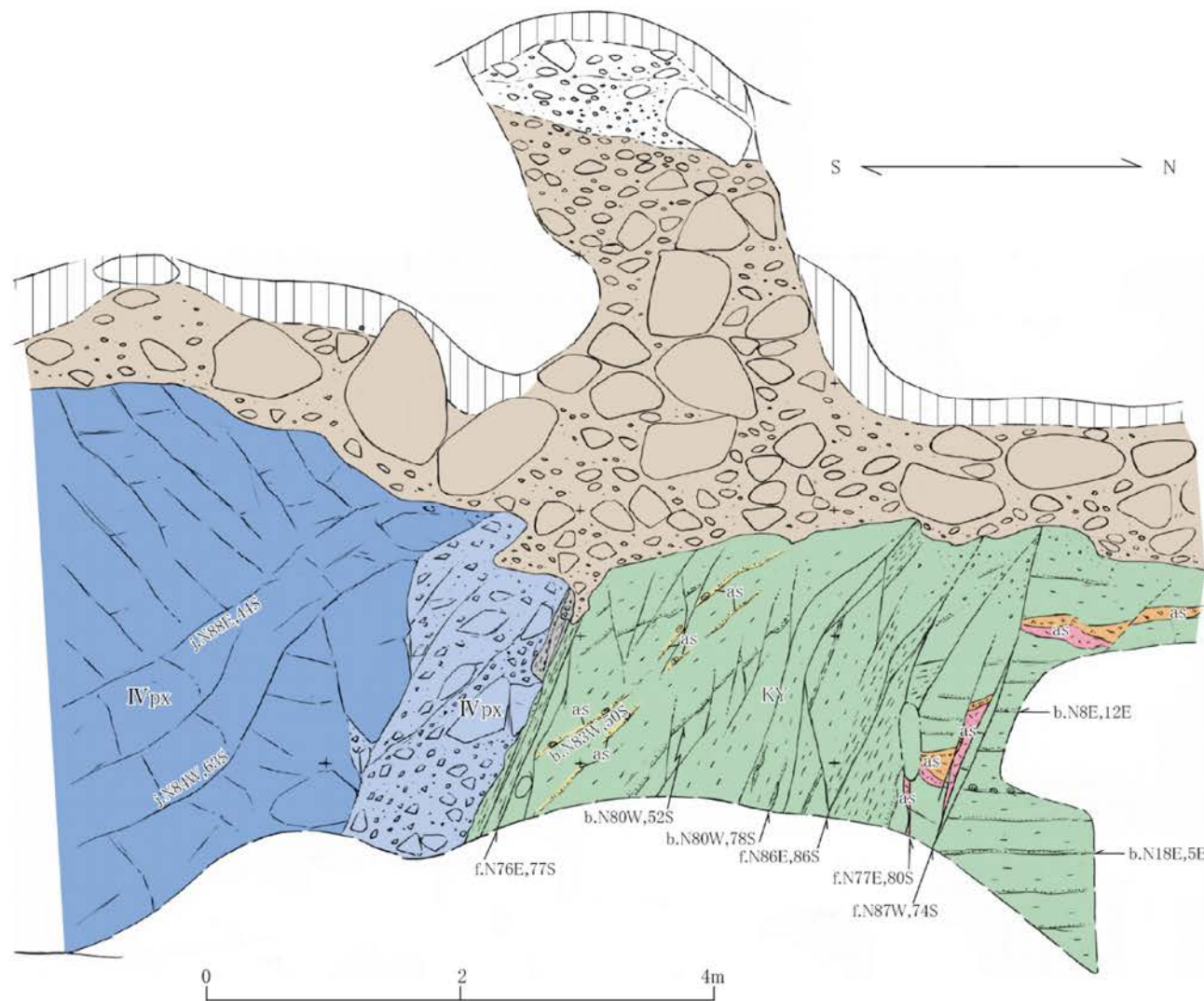
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(塔之原・薩摩郡山)を使用したものである。

第1.2-85図 浦之名断層系周辺の地質図
1.2-544



(注) 凡例は、第 1.2-85 図を参照。

第1.2-86図 浦之名断層系周辺の地質断面図



南側の輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅳ）と北側の郡山層とを境する正断層。

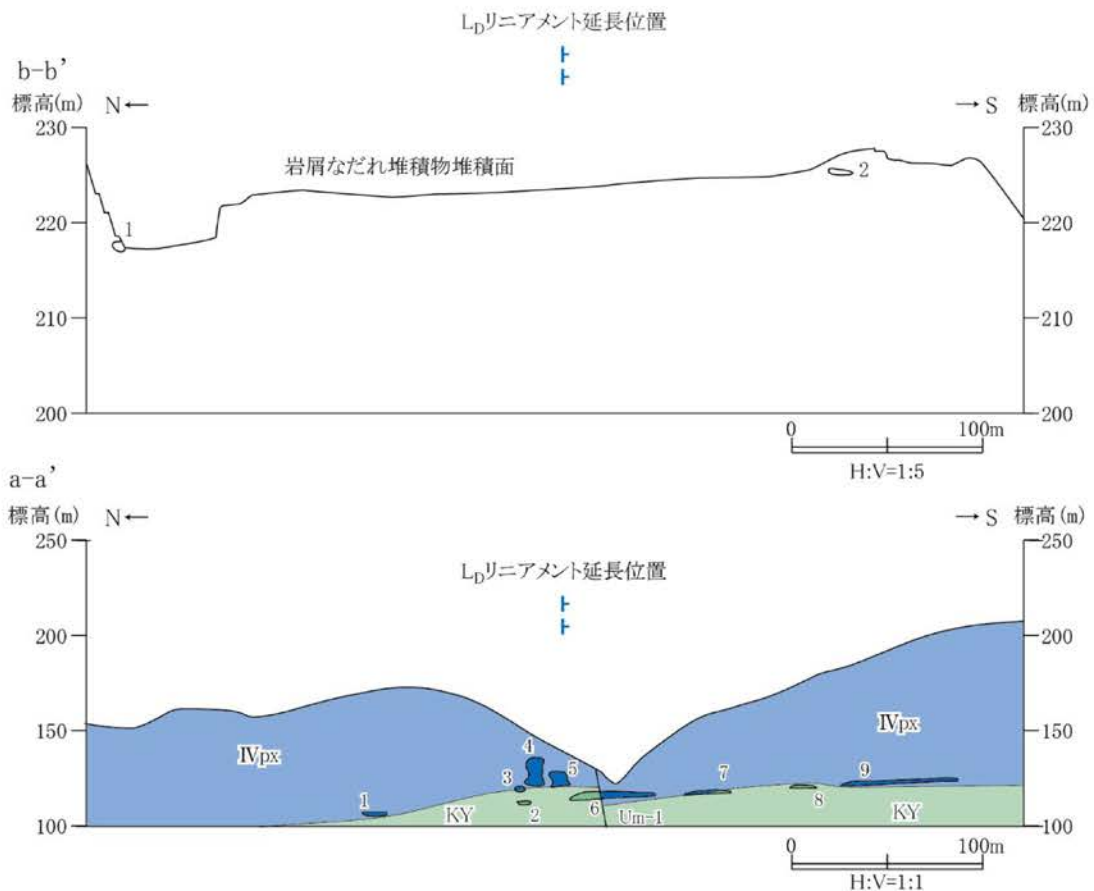
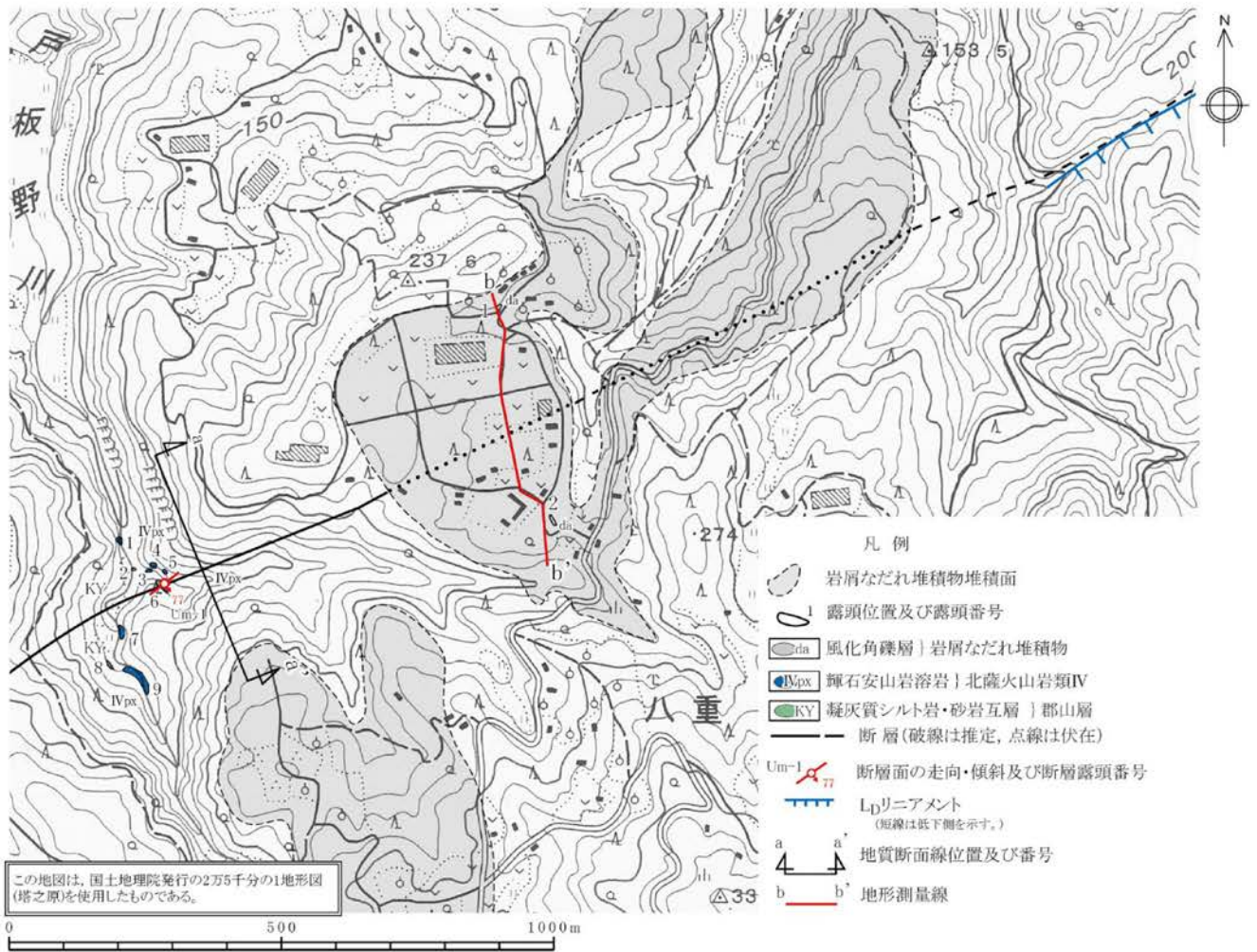
郡山層の凝灰質シルト岩中の断層面は、平面的であるが、癒着しており、破碎部は認められない。輝石安山岩溶岩（同火山岩類Ⅳ）と郡山層とを境する断層面沿いには、安山岩・シルト岩擾乱部が認められるものの、固結している。

凡例

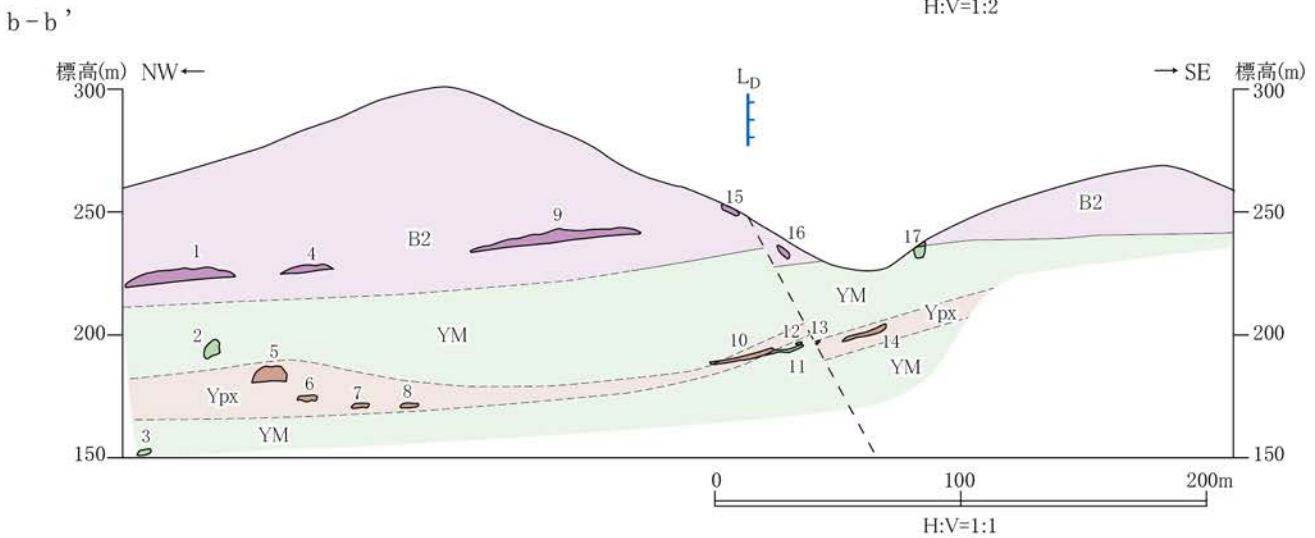
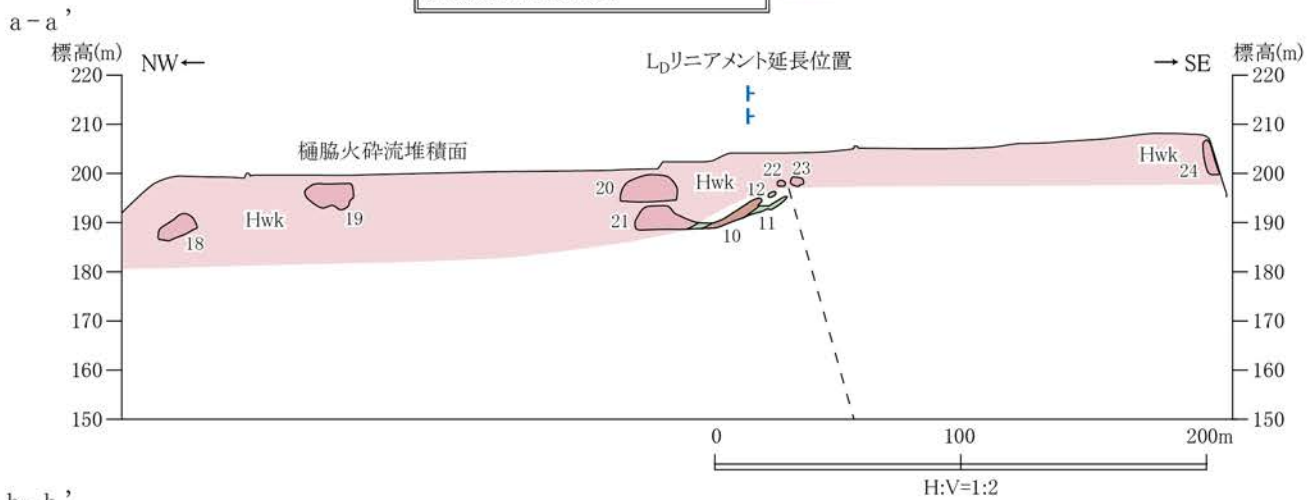
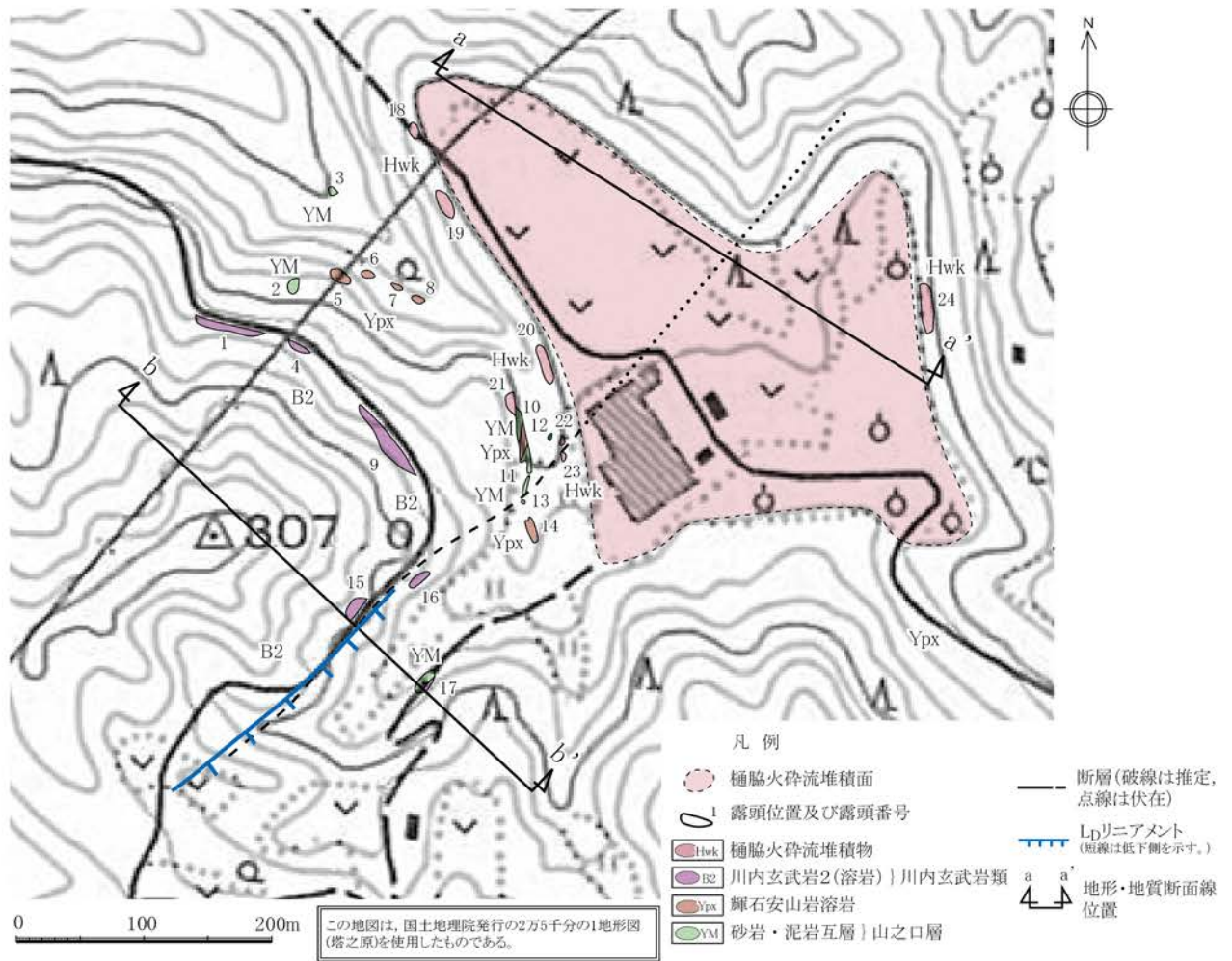
- 黑色土壤
- 不淘汰礫層
- 垂円礫層} 段丘堆積物
- IVpx 塊状輝石安山岩溶岩
- IVpx 輝石安山岩自破碎状溶岩
- as 火山灰層
- Ky 凝灰質シルト岩
- 安山岩・シルト岩擾乱部

f.N77E,80S 断層面の走向・傾斜
 j.N88E,44S 節理面の走向・傾斜
 b.N83W,50S 層理面の走向・傾斜

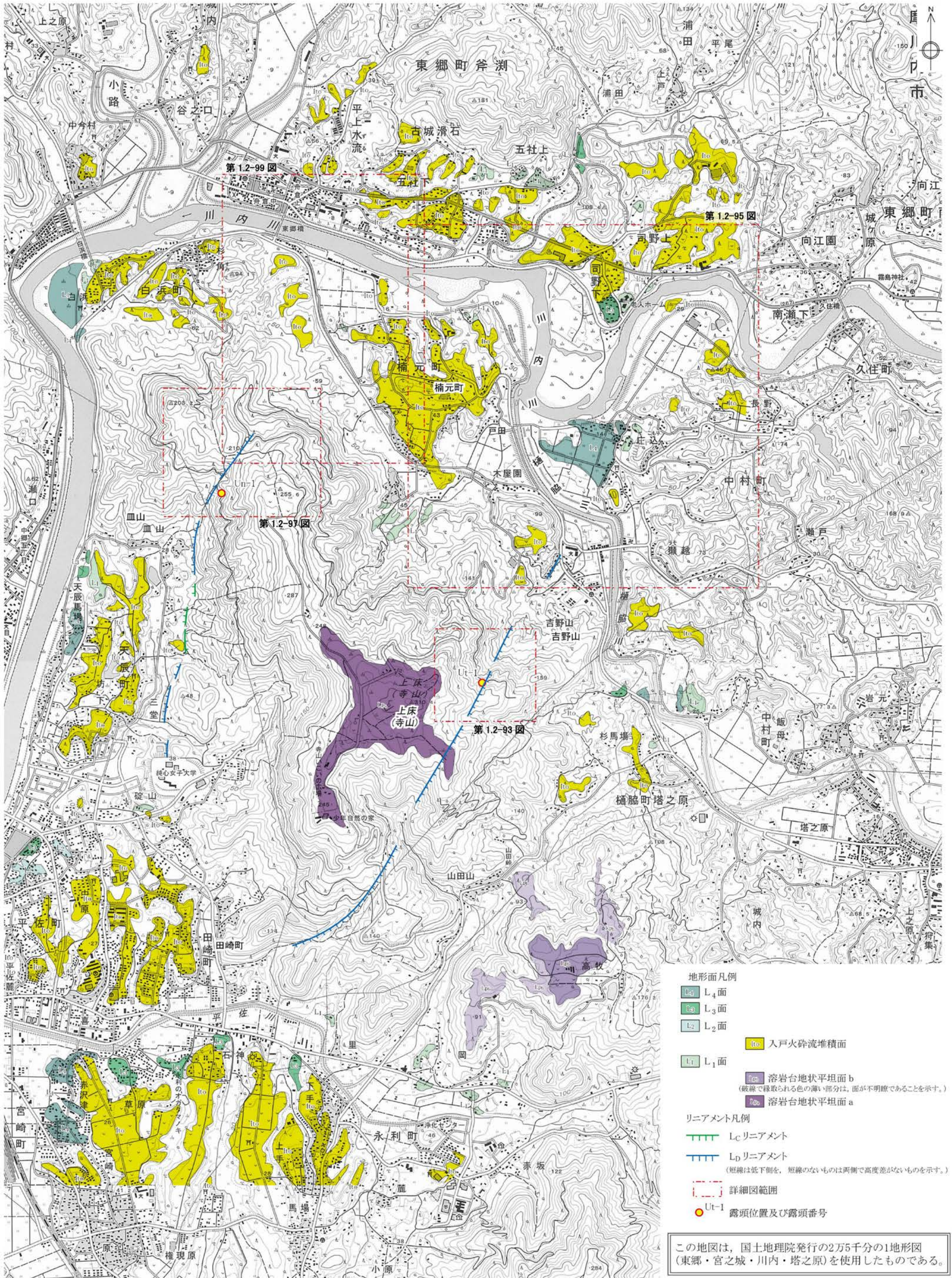
第1.2-87図 露頭スケッチ (Loc.Um-1, 薩摩川内市戸板野川支流左岸)



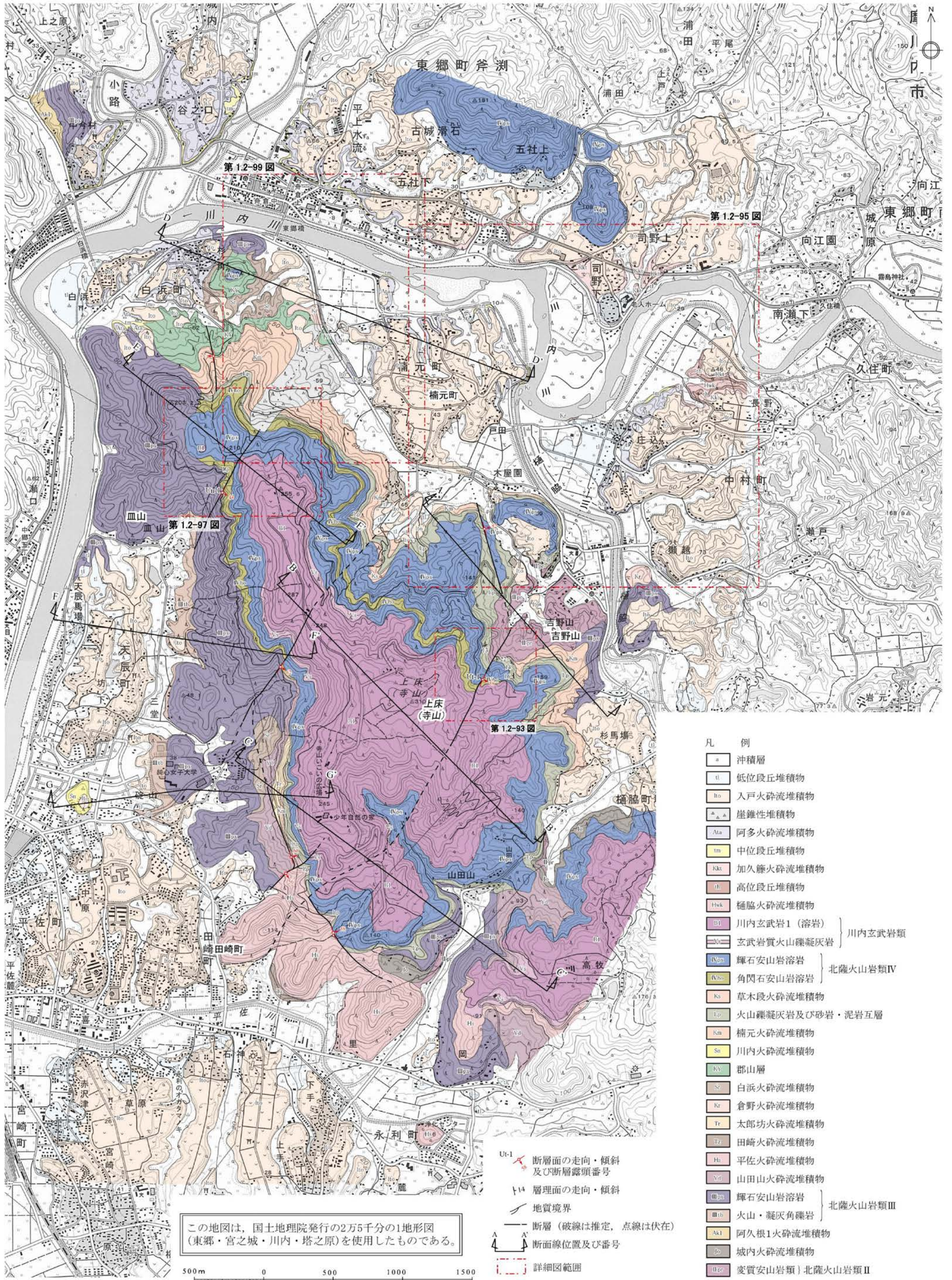
第1.2-88図 ルートマップ及び地形・地質断面図(薩摩川内市八重付近)



第1.2-89図 ルートマップ及び地形・地質断面図(薩摩川内市中山北方付近)



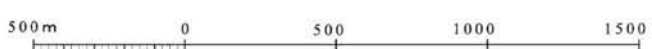
第1.2-90図 上床断層及び上床西リニアメント周辺の空中写真判読図



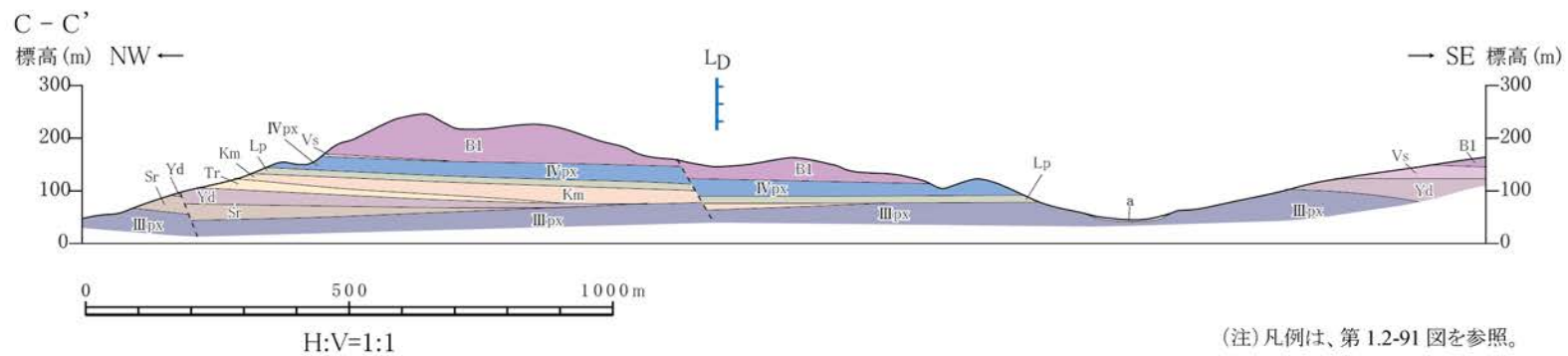
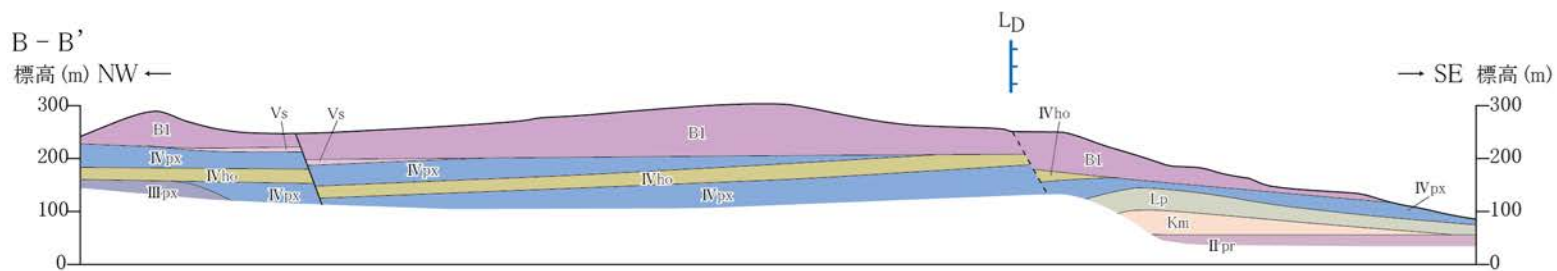
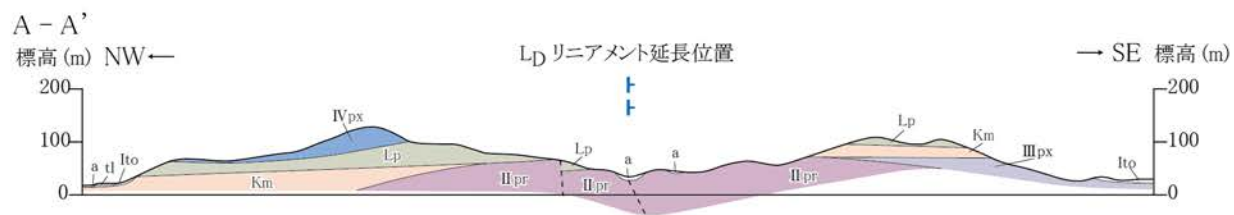
- 凡 例
- a 沖積層
 - u 低位段丘堆積物
 - ho 入戸火砕流堆積物
 - △△△ 崖錐性堆積物
 - Ala 阿多火砕流堆積物
 - tm 中位段丘堆積物
 - Kkt 加久藤火砕流堆積物
 - Hk 樋脇火砕流堆積物
 - BI 川内玄武岩1 (溶岩)
 - Nv 玄武岩質火山礫凝灰岩
 - IVps 輝石安山岩溶岩
 - IVho 角閃石安山岩溶岩
 - Ks 草木段火砕流堆積物
 - Lp 火山礫凝灰岩及び砂岩・泥岩互層
 - Km 楠元火砕流堆積物
 - Sn 川内火砕流堆積物
 - KY 郡山層
 - S 白浜火砕流堆積物
 - Kr 倉野火砕流堆積物
 - Tr 太郎坊火砕流堆積物
 - Tz 田崎火砕流堆積物
 - Hs 平佐火砕流堆積物
 - Yd 山田山火砕流堆積物
 - IVps 輝石安山岩溶岩
 - IVho 火山・凝灰岩礫岩
 - Ak1 阿久根1火砕流堆積物
 - Jo 城内火砕流堆積物
 - IVps 変質安山岩類
- 川内玄武岩類
- 北薩火山岩類IV
- 北薩火山岩類III
- 北薩火山岩類II

- Ut-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
- U14 層理面の走向・傾斜
- 地質境界
- 断層 (破線は推定, 点線は伏在)
- A 断面線位置及び番号
- 詳細図範囲

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷・宮之城・川内・塔之原)を使用したものである。

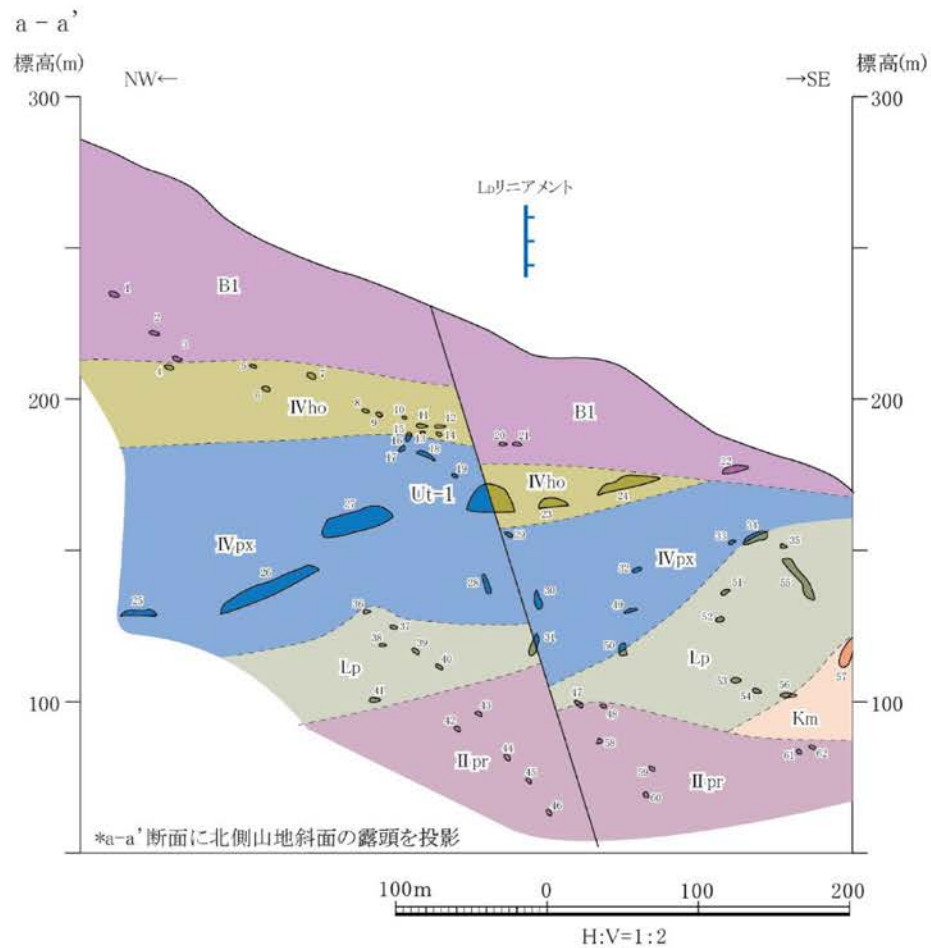
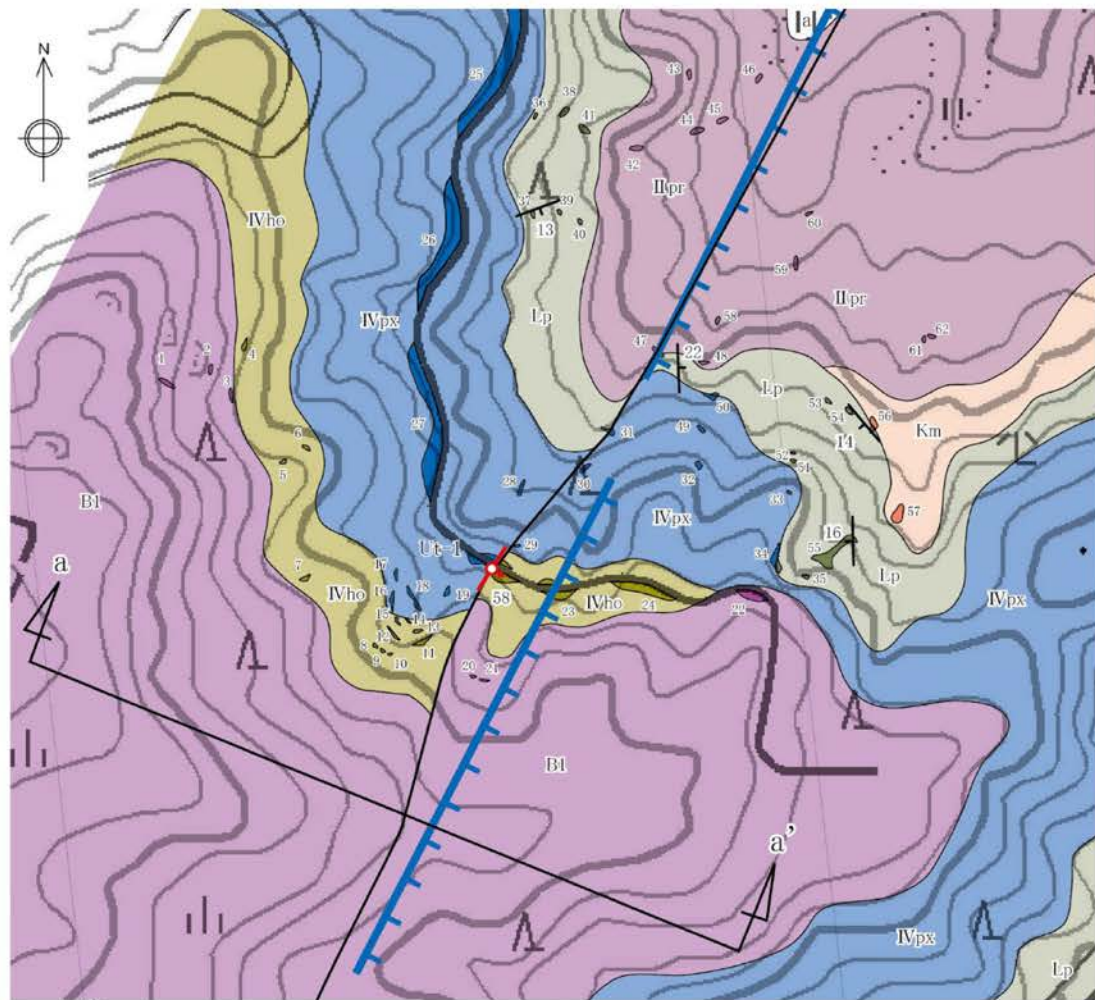


第1.2-91図 上床断層及び上床西リニアメント周辺の地質図



(注) 凡例は、第 1.2-91 図を参照。

第1.2-92図 上床断層周辺の地質断面図



凡例

- a 沖積層
- B1 川内玄武岩I(溶岩) | 川内玄武岩類
- IVho 角閃石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類IV
- IVpx 輝石安山岩溶岩
- Lp 火山礫凝灰岩及び砂岩・泥岩互層
- Km 補元火砕流堆積物
- IIpr 菱貫安山岩類 | 北薩火山岩類II

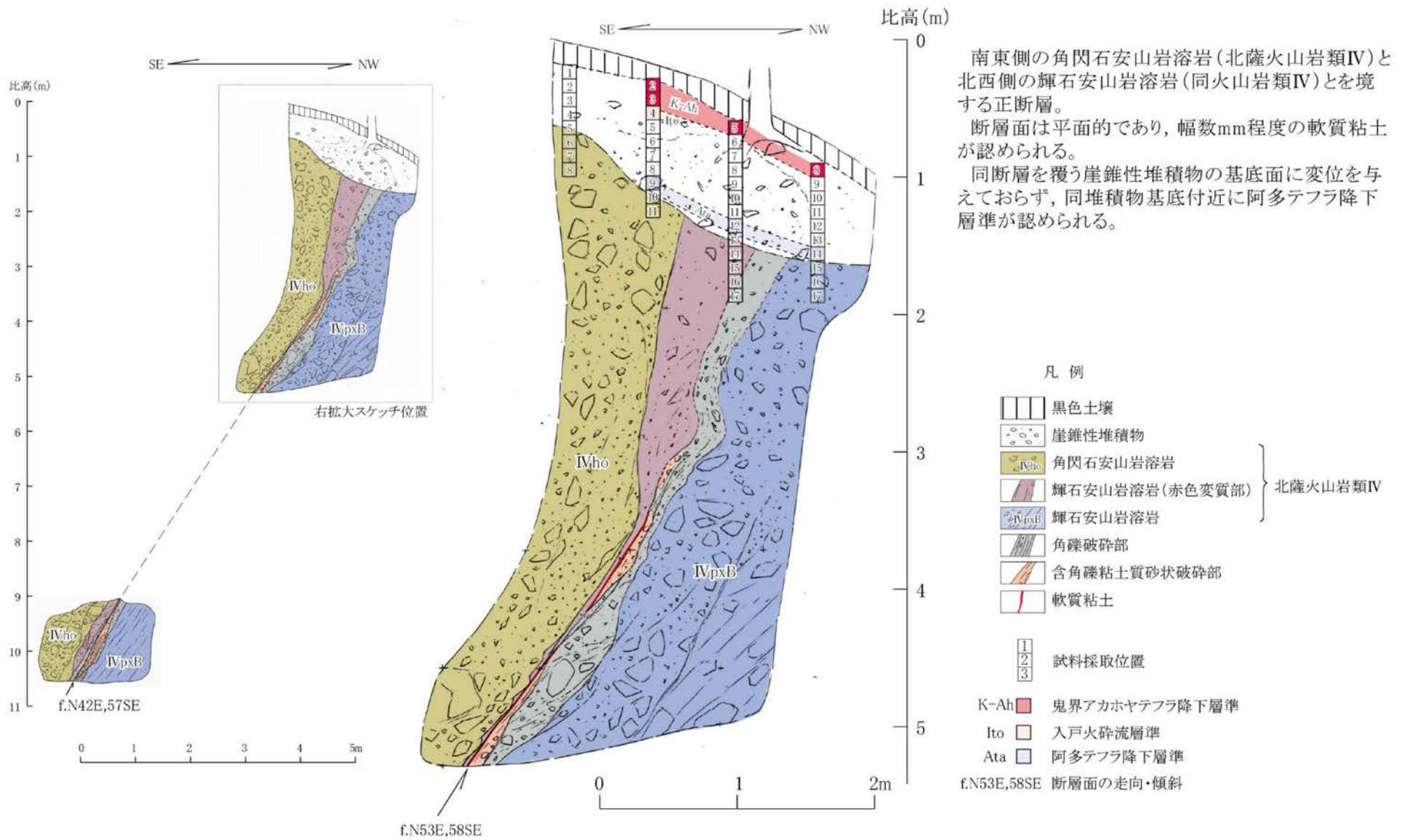
- 16 層理面の走向・傾斜
- 58 断層面の走向・傾斜
- Lp リアメント (短線は低下側を示す。)

100m 0 100 200

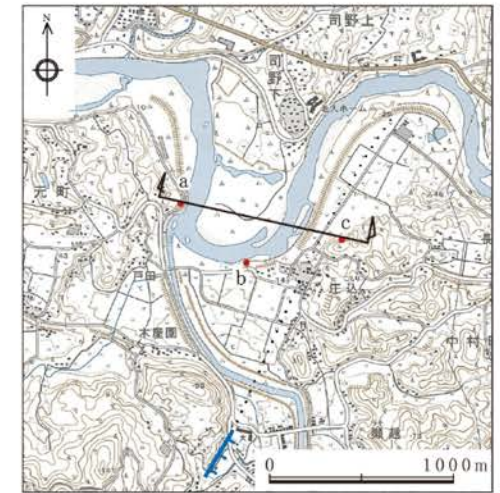
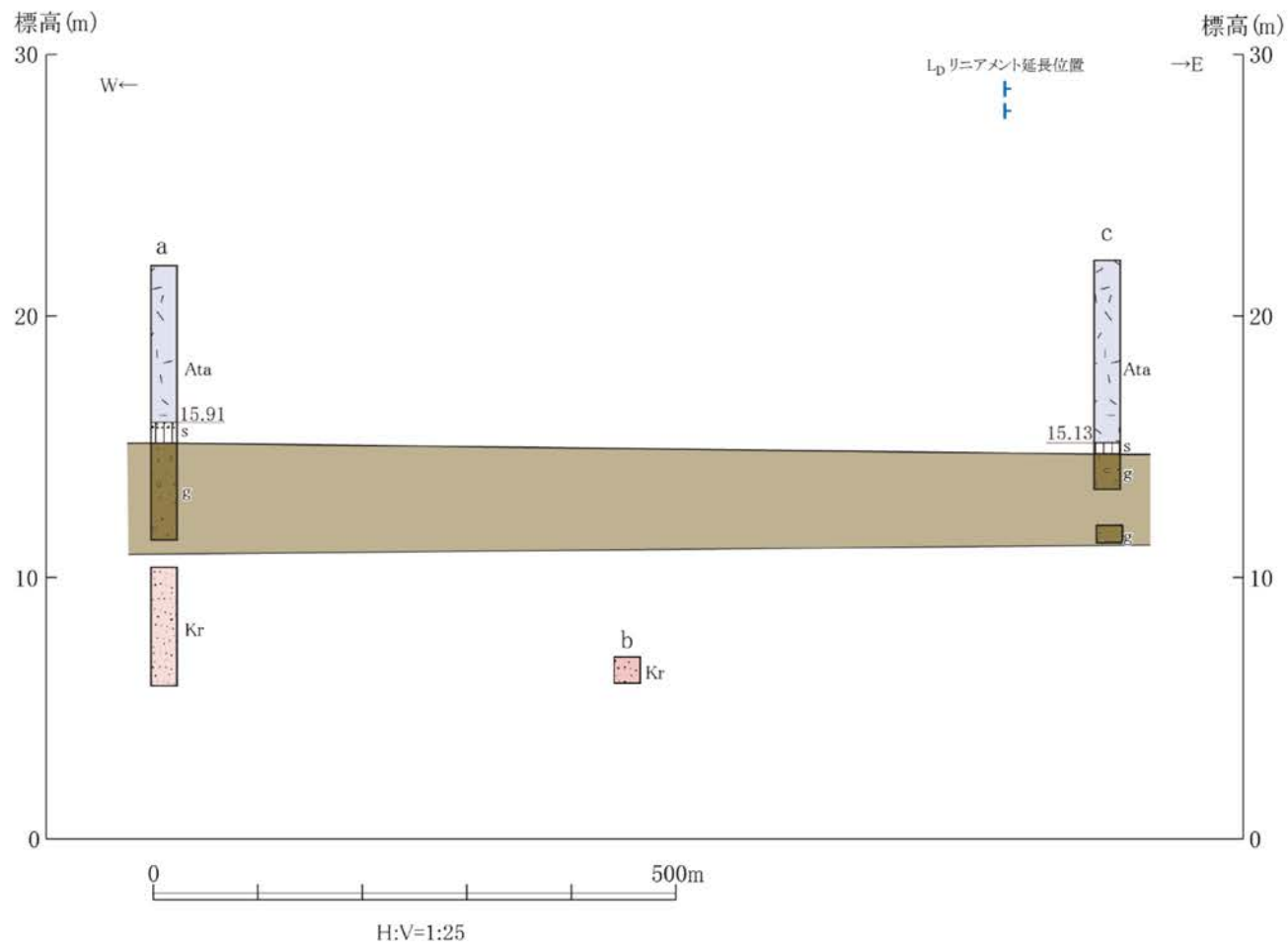
a a' 地質断面線位置
露頭位置及び露頭番号

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

第1.2-93図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市吉野山南方付近)



第1.2-94図 露頭スケッチ (Loc.Ut-1, 薩摩川内市吉野山南方)

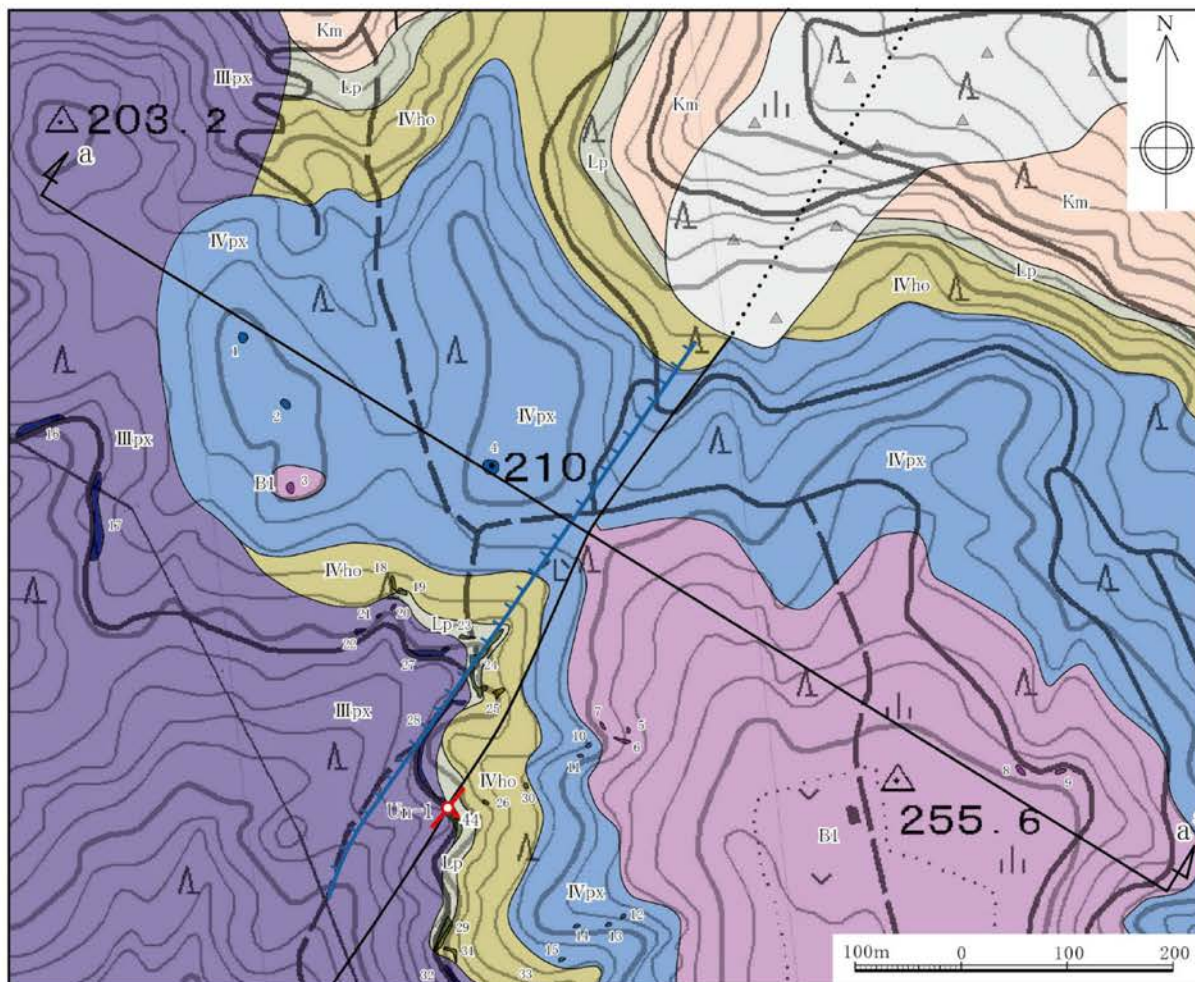


この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

- 凡例
- Ata 阿多火砕流堆積物
 - s 土壤化帯
 - g 礫層} 中位段丘堆積物
 - Kr 倉野火砕流堆積物
 - a 柱状作成位置・番号
 - 断層(破線は推定, 点線は伏在)

- リニアメント凡例
- TTTT L_Dリニアメント
(短線は低下側を示す。)

第1.2-95図 薩摩川内市戸田一庄込間の柱状対比

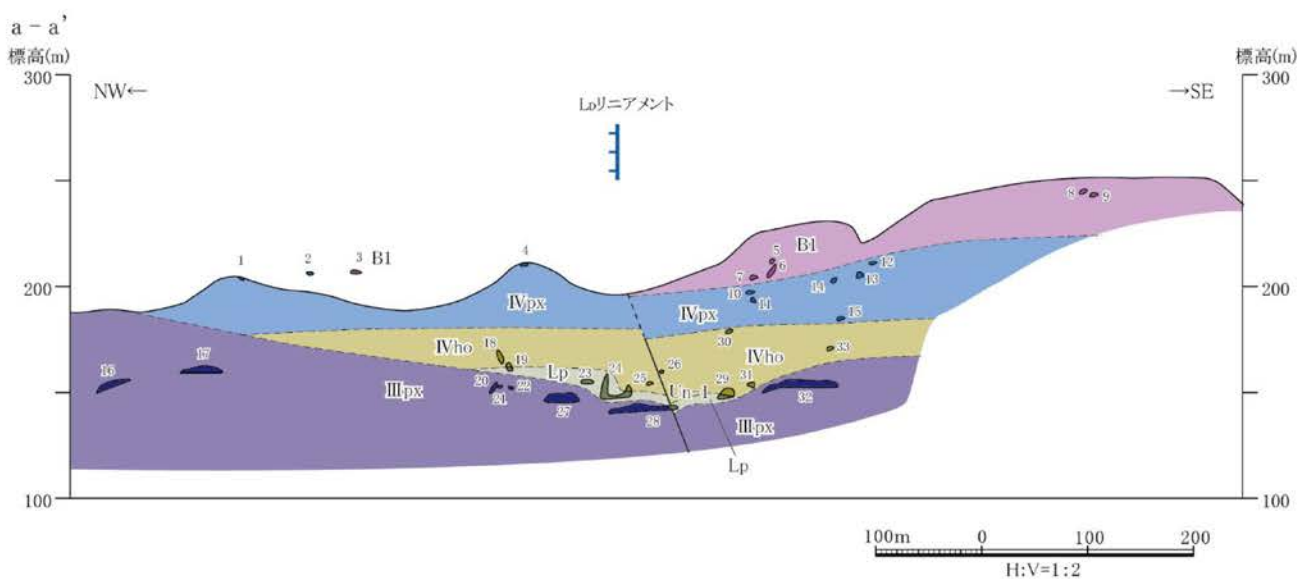


- 凡例
- 崖錐性堆積物
 - B1 川内玄武岩1(溶岩) 川内玄武岩類
 - IVpx 輝石安山岩溶岩 } 北麓火山岩類IV
 - IVho 角閃石安山岩溶岩 }
 - Lp 火山礫凝灰岩
 - Km 桶元火砕流堆積物
 - IIIpx 輝石安山岩溶岩 } 北麓火山岩類III

- 断層 (破線は推定, 点線は伏在)
- 断層面の走向・傾斜
- Lp, Ld リニアメント (短線は低下側を示す。)

- 地質断面線位置
- 露頭位置及び露頭番号

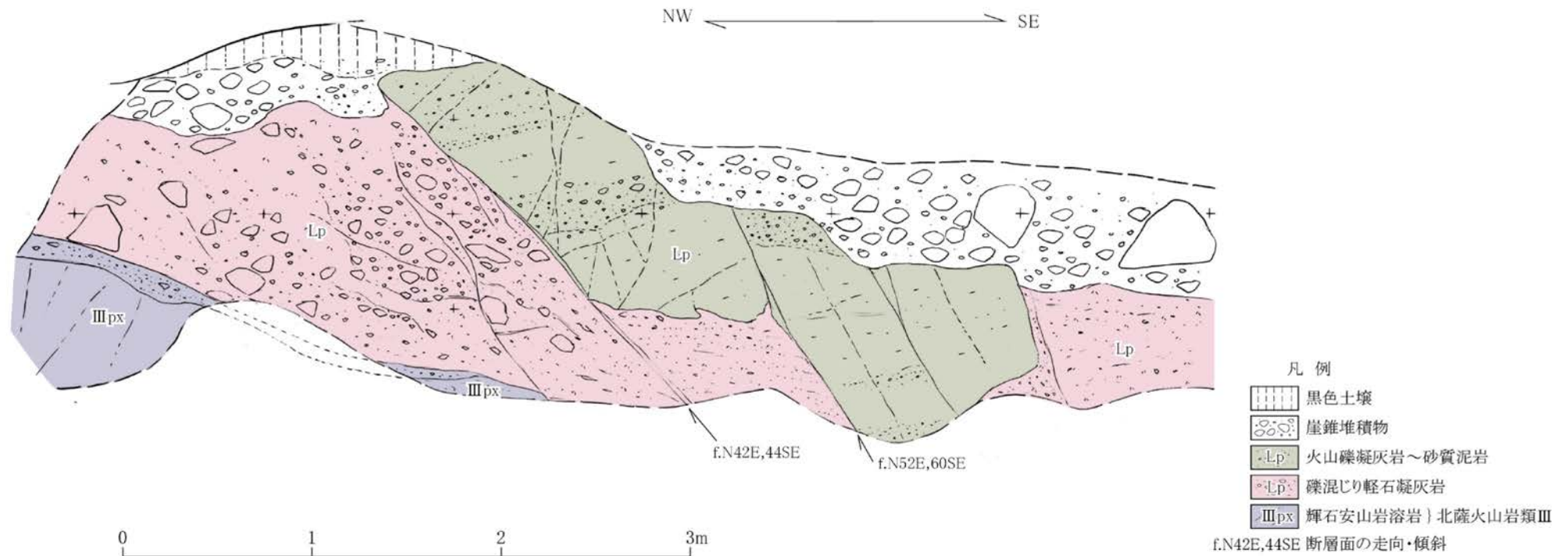
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。



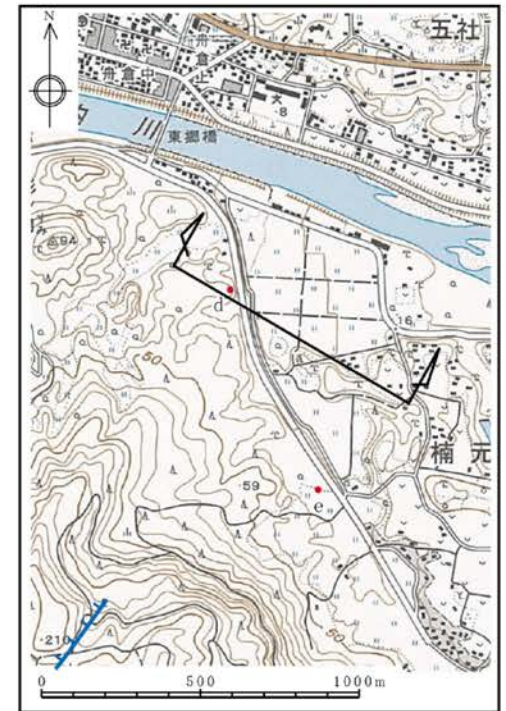
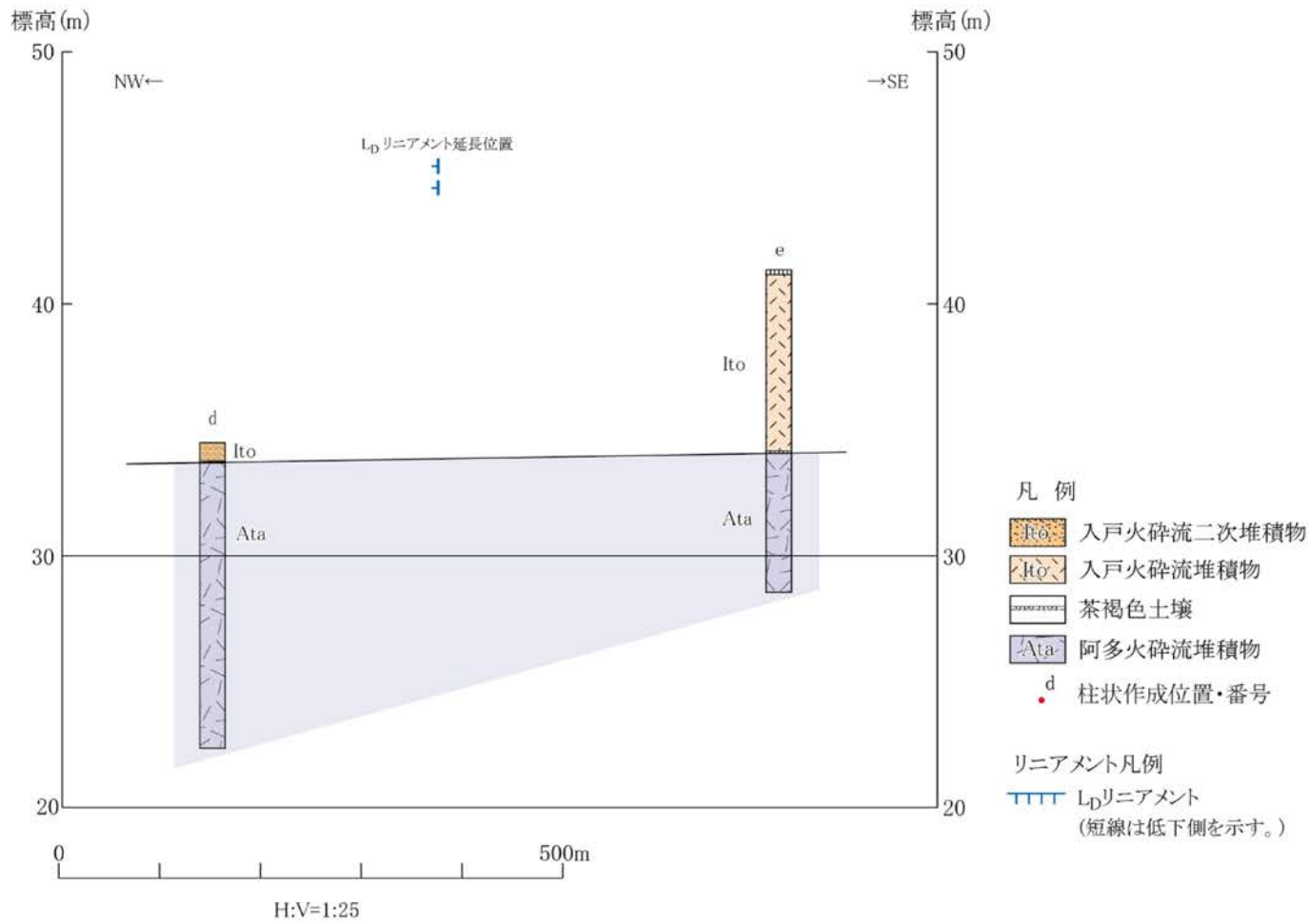
第1.2-97図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市皿山北東付近)

1.2-557

輝石安山岩溶岩(北薩火山岩類Ⅲ)並びにその上位の礫混じり軽石凝灰岩及び火山礫凝灰岩～砂質泥岩に、いずれも南東落ちの変位を与える数条の正断層。
 いずれの断層面も平面的であるが、癒着している。また、断層面近傍の破碎も認められない。

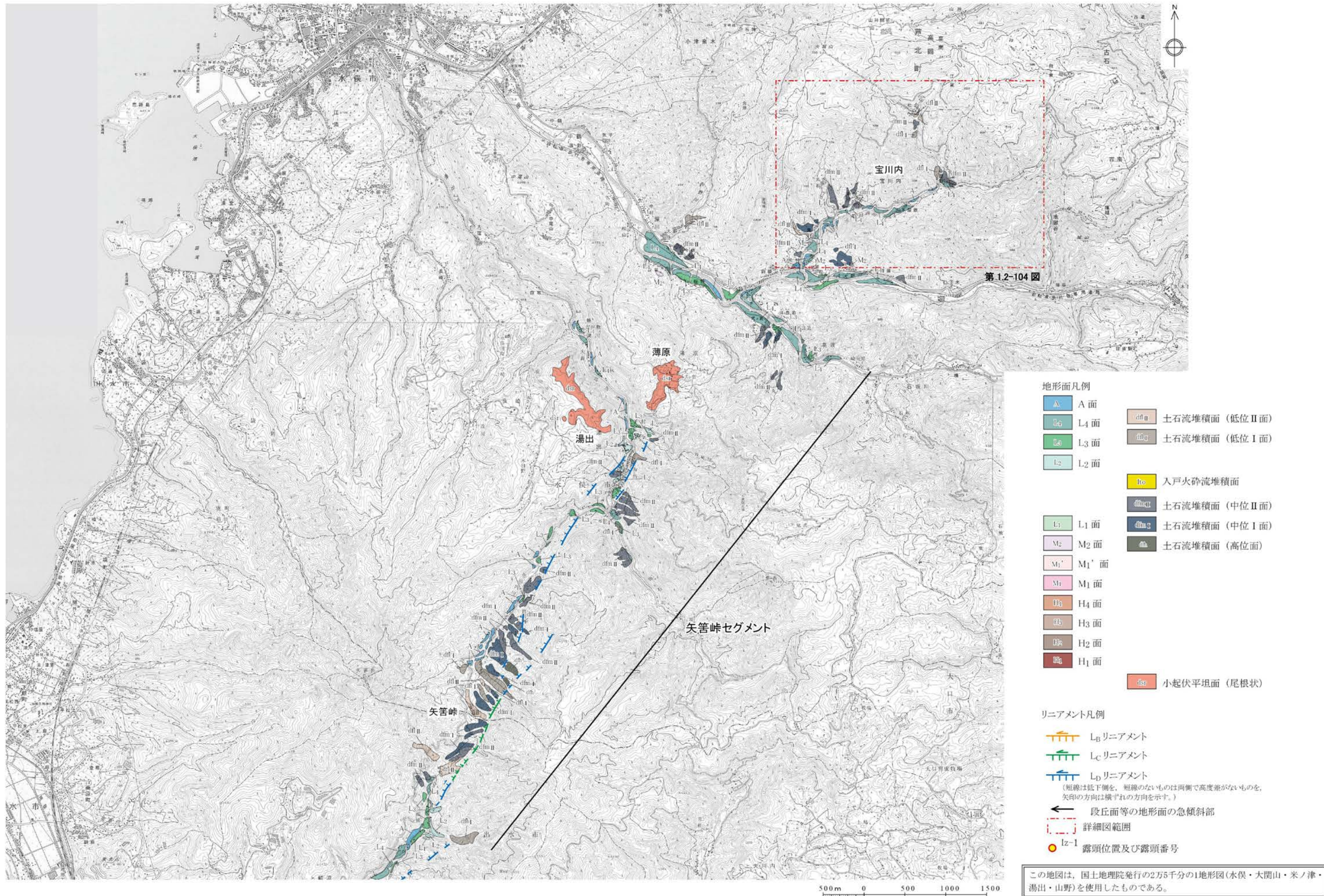


第1.2-98図 露頭スケッチ (Loc.Un-1, 薩摩川内市皿山北東)

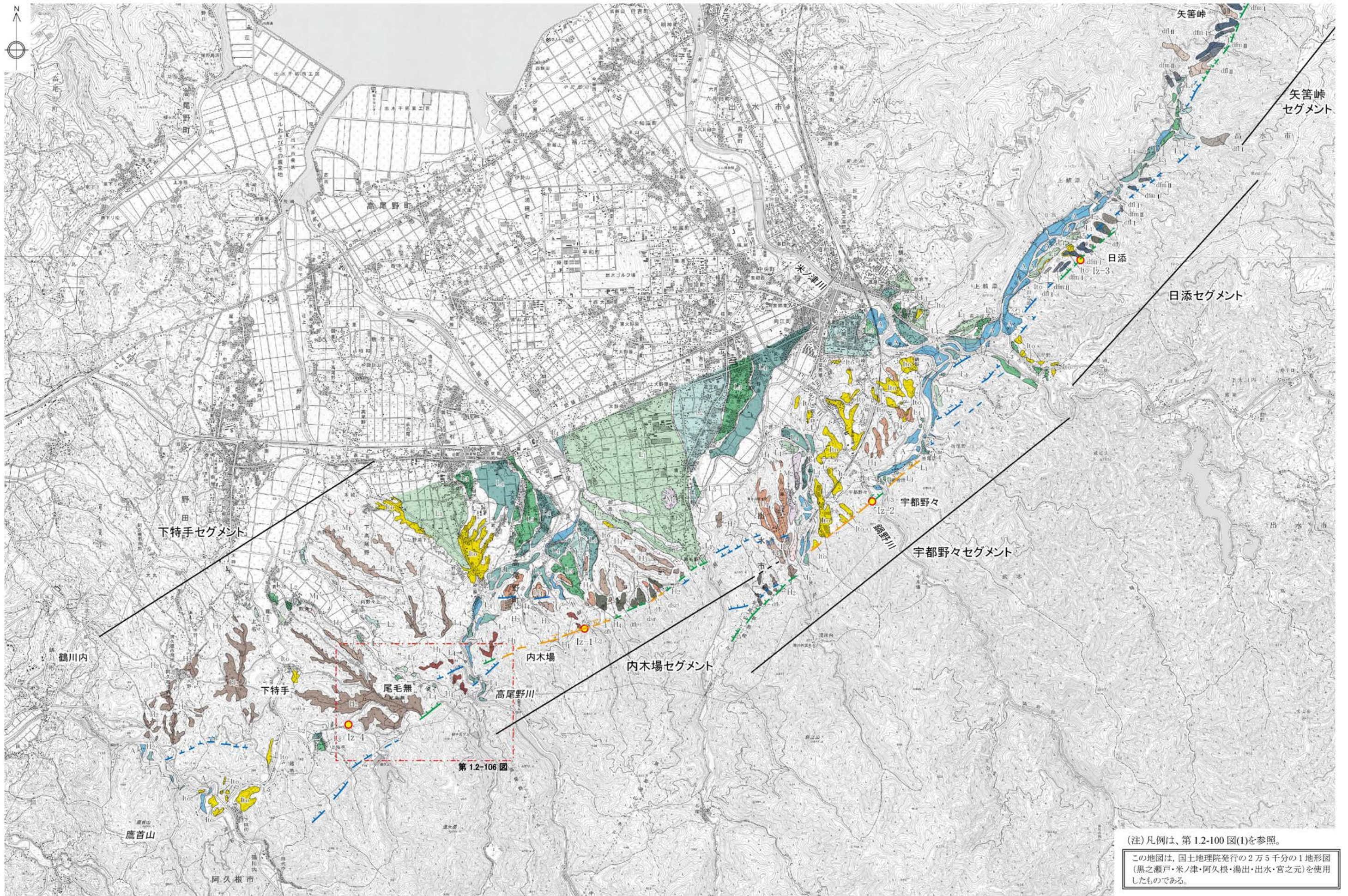


この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

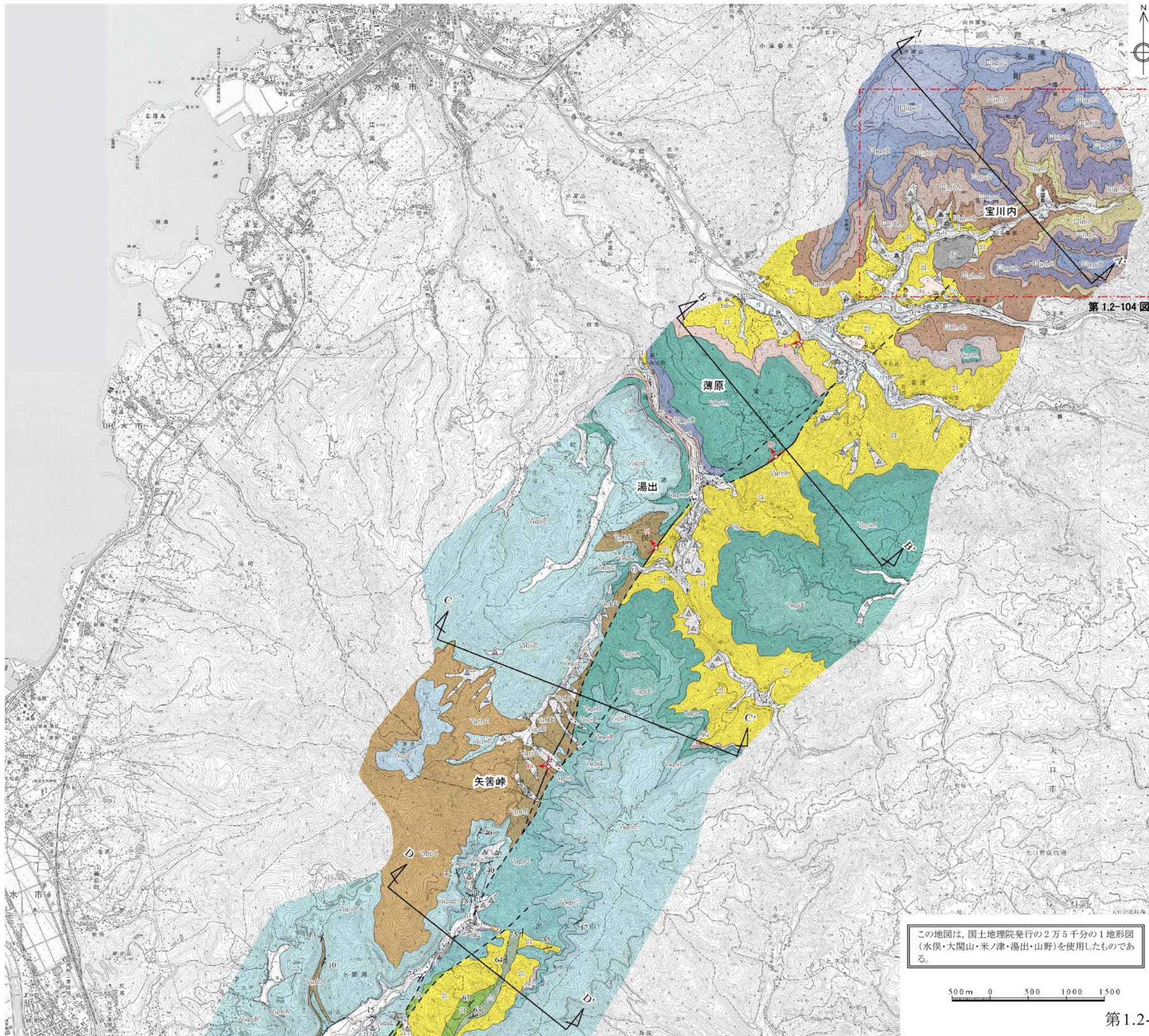
第1.2-99図 薩摩川内市白浜町一楠元町間の柱状対比



第1.2-100図(1) 出水断層系周辺の空中写真判読図(北部)

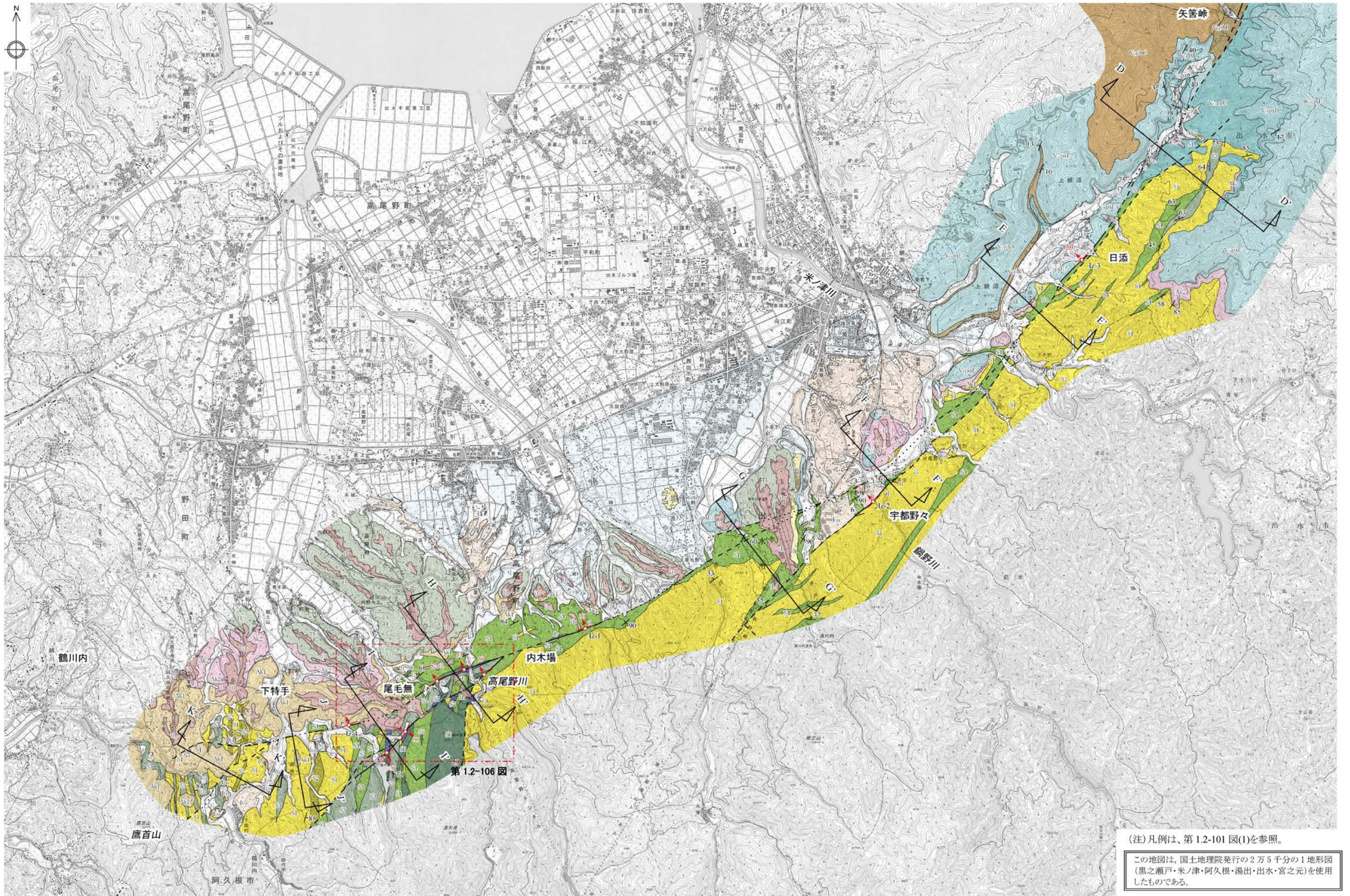


第1.2-100図(2) 出水断層系周辺の空中写真判読図(南部)
1.2-560



- 凡 例
- a 沖積層
 - ▲ 土石流～崖錐性堆積物
 - ti 低位段丘堆積物
 - tto 入戸火砕流堆積物
 - tm 中位段丘堆積物
 - tu 高位段丘堆積物
 - TU 鶴川内層
 - VmpaF 玄武岩質安山岩溶岩
 - VmpaC 凝灰角礫岩 C
 - VmpaB 凝灰角礫岩～火山円礫岩 B
 - VmpaE 輝石安山岩溶岩 E
 - VmpaD 輝石安山岩溶岩 D
 - VmpaA 凝灰角礫岩 A
 - VmpaC 輝石安山岩溶岩 C
 - Ay2 赤林2火砕流堆積物
 - VmpaB 細粒輝石安山岩溶岩 B
 - VmpaA 輝石安山岩溶岩 A
 - Om 大森火砕流堆積物
 - Ay1 赤林1火砕流堆積物
 - Yc 湯出川火砕流堆積物
 - Sa 薄原火砕流堆積物
 - Kz 葛渡火砕流堆積物
 - VmpaC 輝石安山岩溶岩 C
 - VmpaB 輝石安山岩溶岩 B
 - VmpaB 凝灰角礫岩 B
 - VmpaA 輝石安山岩溶岩 A
 - VmpaA 凝灰角礫岩 A
 - Sp 岩脈(角閃石安山岩)
 - VmpaC 輝石角閃石安山岩溶岩
 - VmpaB 角閃石安山岩質凝灰角礫岩
 - Ak2 阿久根2火砕流堆積物
 - Fa 舟川火砕流堆積物
 - Ak1 阿久根1火砕流堆積物
 - 砂岩 含礫泥岩
 - 砂岩 暗緑色玄武岩
 - 頁岩
 - 頁岩優勢砂岩頁岩互層
 - 砂岩優勢砂岩頁岩互層
 - 砂岩
- 肥薩火山岩類V
- 肥薩火山岩類III
- 四万十層群
- Iz-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
 - t14 層理面の走向・傾斜
 - 地質境界
 - 断層(破線は推定、点線は伏在)
 - 断面線位置及び番号
 - 詳細図範囲

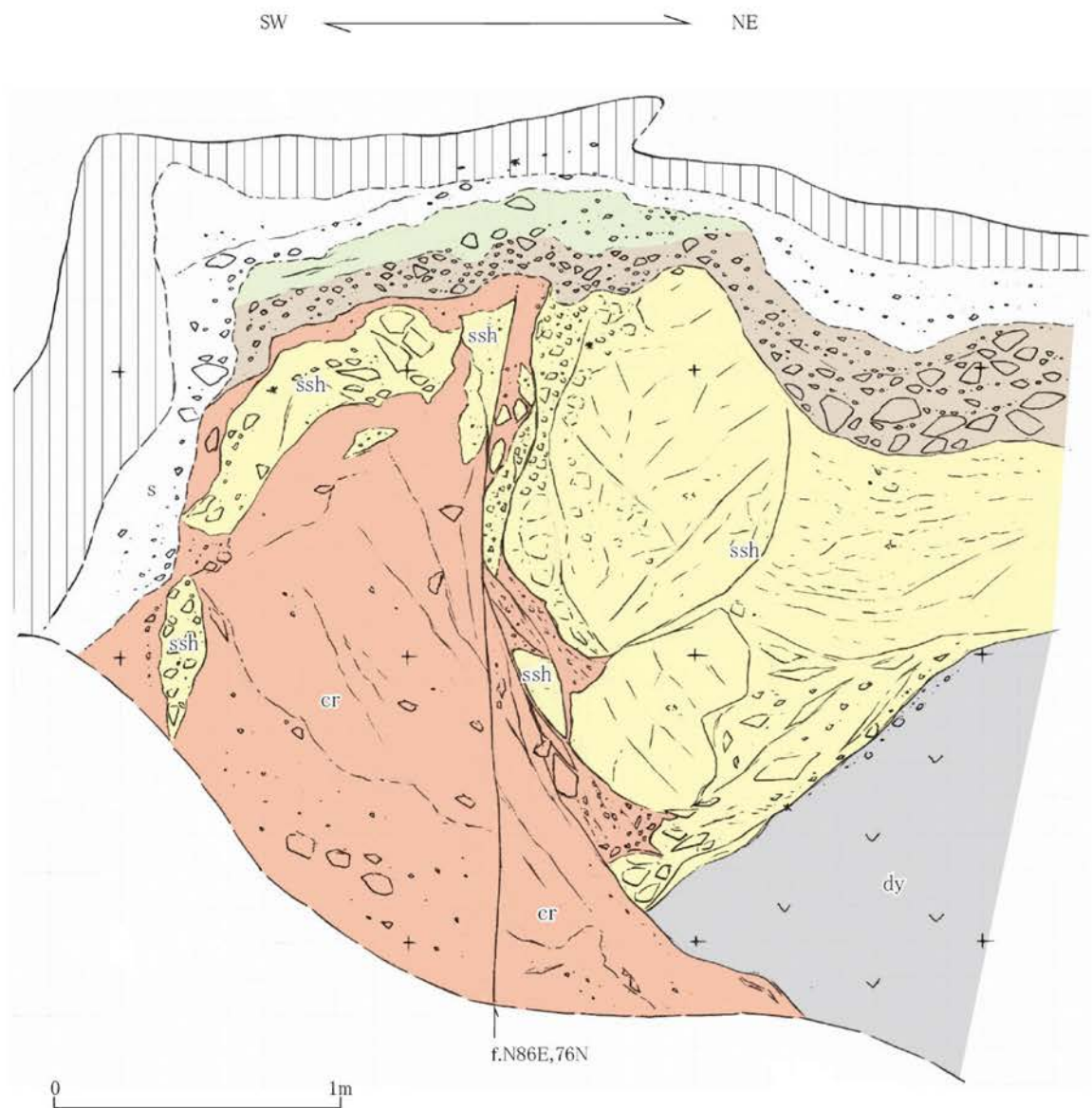
第1.2-101図(1) 出水断層系周辺の地質図(北部)



(注) 凡例は、第 1.2-101 図(1)を参照。
 この地図は、国土地理院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図 (黒之瀬戸・米ノ津・阿久根・湯出・出水・宮之元) を使用したものである。

第1.2-101図(2) 出水断層系周辺の地質図(南部)
 1.2-562

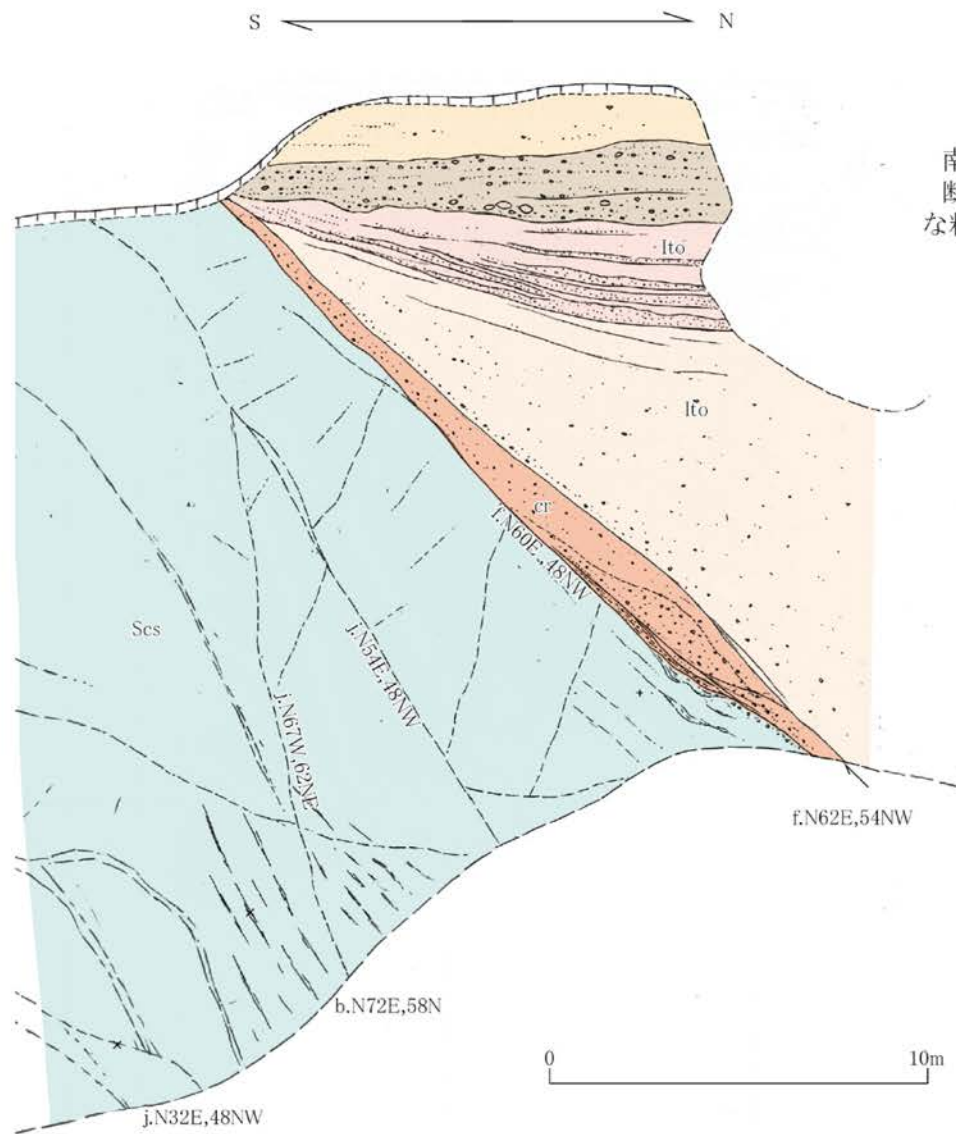
1.2-564



四万十層群中の幅 1m 以上の粘土破碎部中に認められる断層。
断層面は平面的であり，連続も良い。



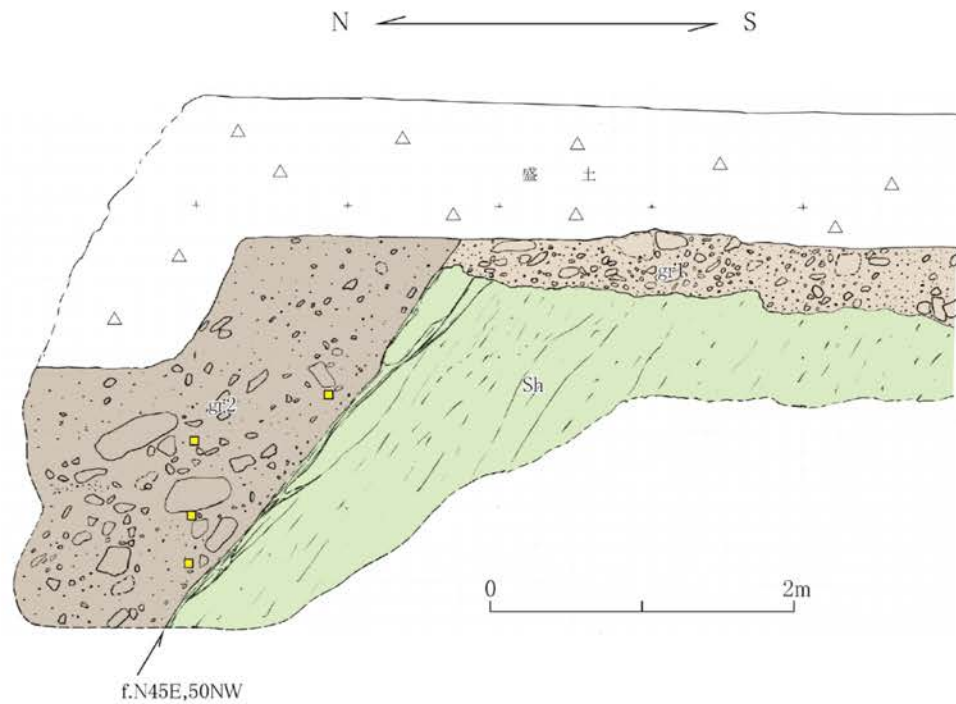
第1.2-103図(1) 露頭スケッチ (Loc.Iz-1, 出水市内木場)



南側の四万十層群と北側の入戸火砕流堆積物とを境する正断層。
断層面は平面的であり、面に沿って幅数 10cm ~ 1.5m 程度の軟質
な粘土破碎部が認められる。




- 凡例
- 茶褐色土壌
 - ローム質砂層
 - 河成礫層
 - 入戸火砕流堆積物 (二次堆積)
 - 入戸火砕流堆積物
 - 石灰質砂岩・含礫頁岩
 - 茶褐色礫混じり粘土破碎部
- f.N62E,54NW 断層面の走向・傾斜
b.N72E,58N 層理面の走向・傾斜
j.N54E,48NW 節理面の走向・傾斜

第1.2-103図(2) 露頭スケッチ (Loc.Iz-2, 出水市鍋野川左岸)



北側の暗褐色礫層と南側の四万十層群とを境する正断層。
断層面は平滑であるが、破碎部は認められない。断層面上盤側の暗褐色礫層には入戸火砕流堆積物起源の火山ガラスが認められる。

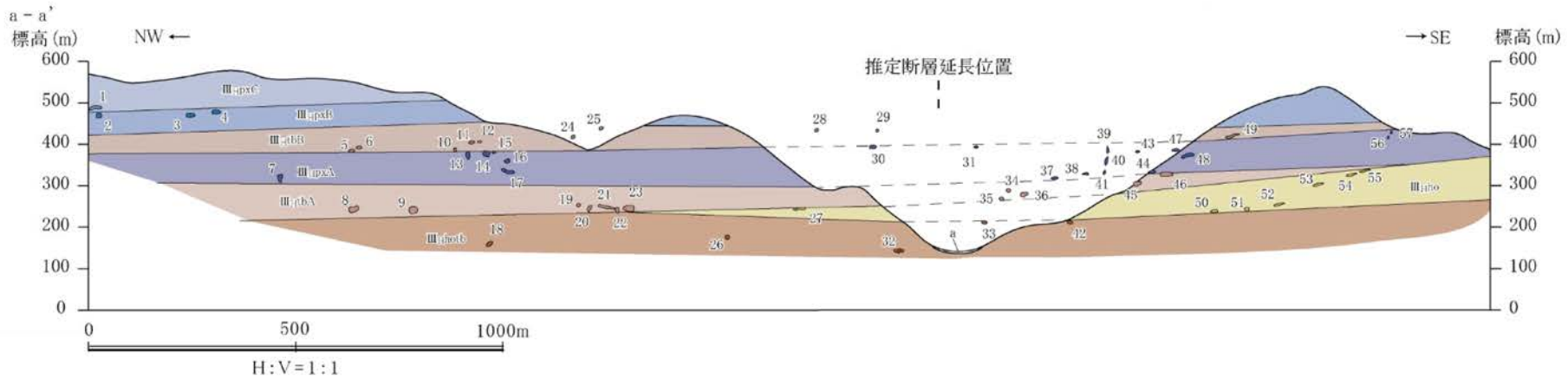
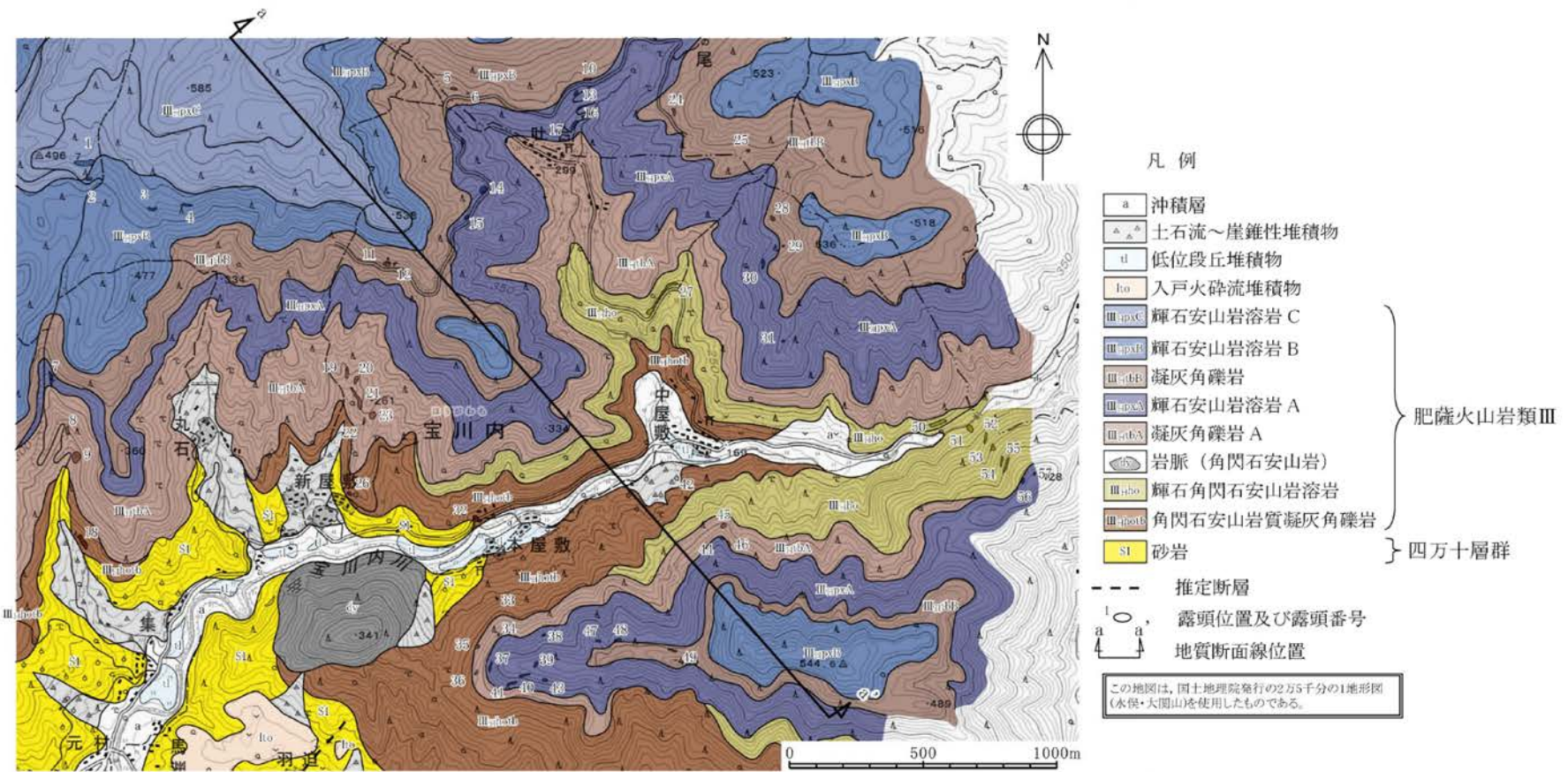
凡例

-  暗褐色礫層
-  黄褐色礫層
-  頁岩 | 四万十層群

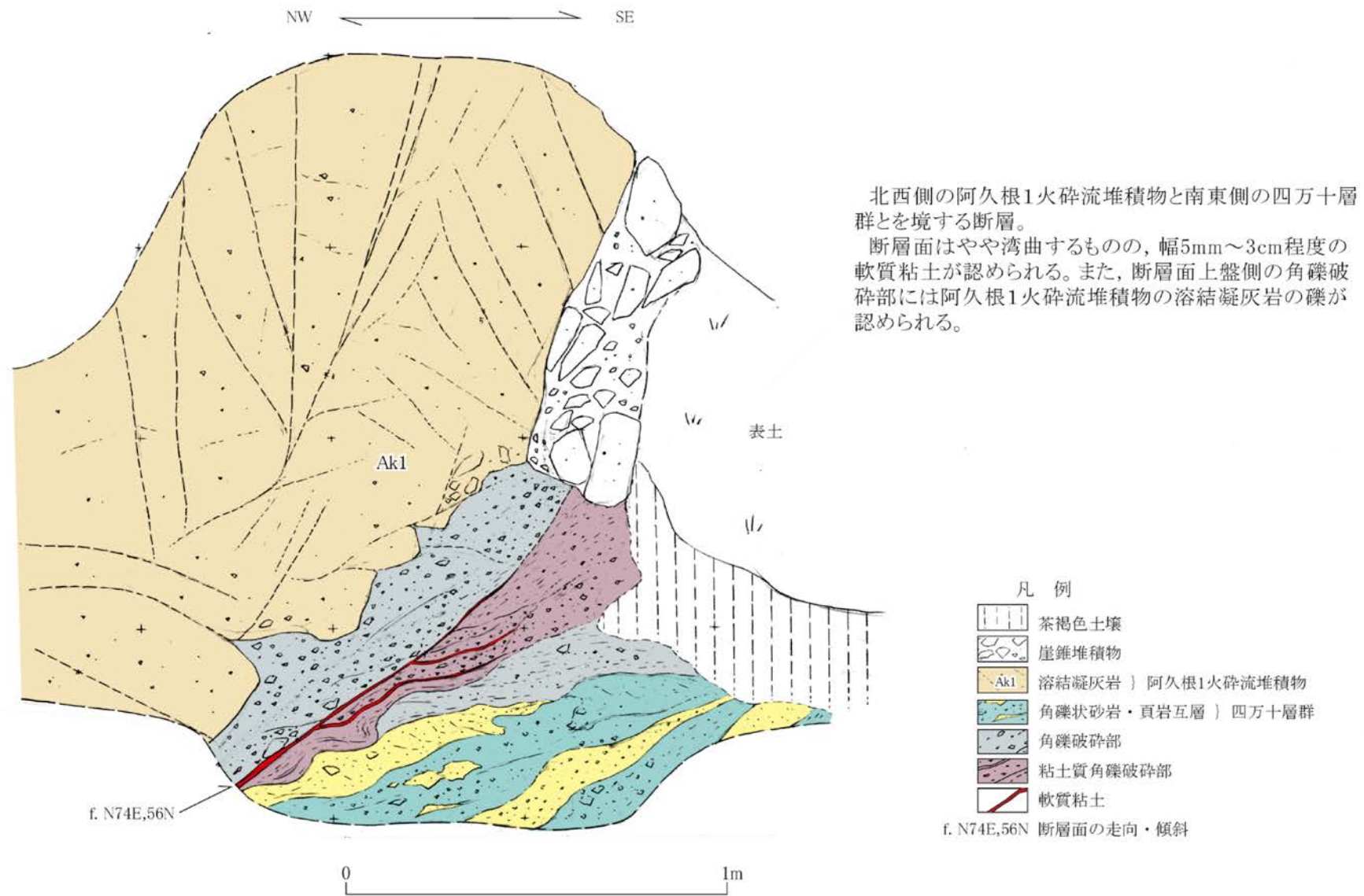
 入戸火砕流堆積物起源の火山ガラス検出地点

f.N45E,50NW 断層面の走向・傾斜

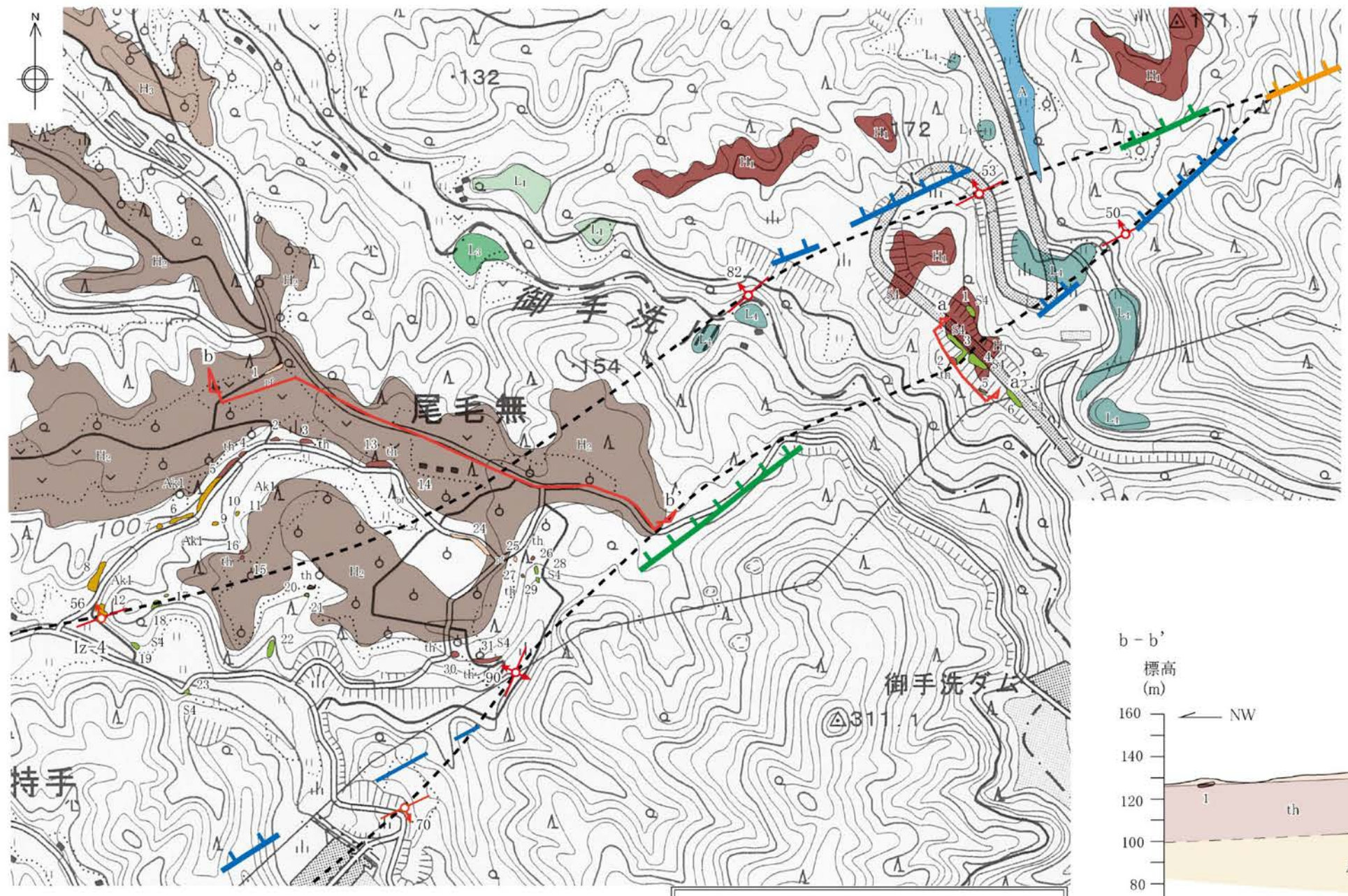
第1.2-103図(3) 露頭スケッチ (Loc.Iz-3, 出水市日添)



第1.2-104図 ルートマップ・地質断面図(熊本県水俣市宝川内付近)

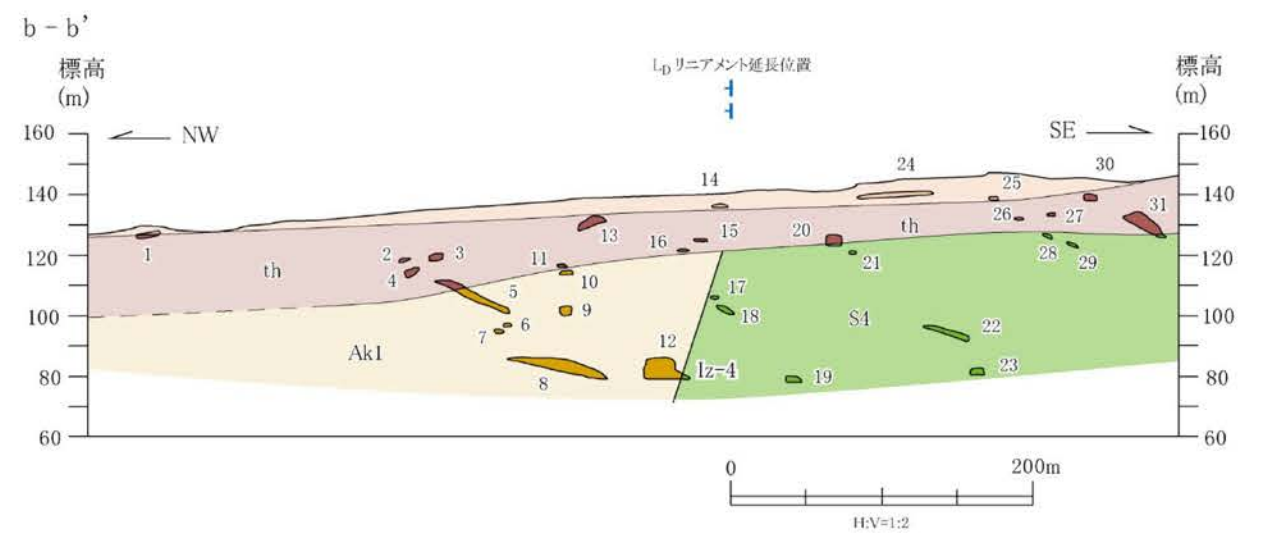
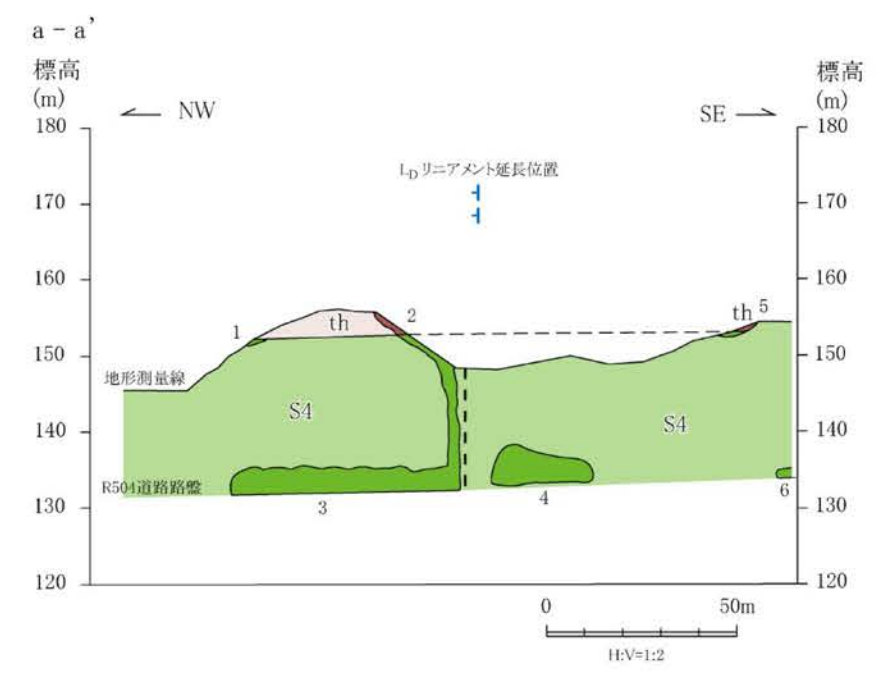


第1.2-105図 露頭スケッチ (Loc.Iz-4, 出水市野田町上特手)

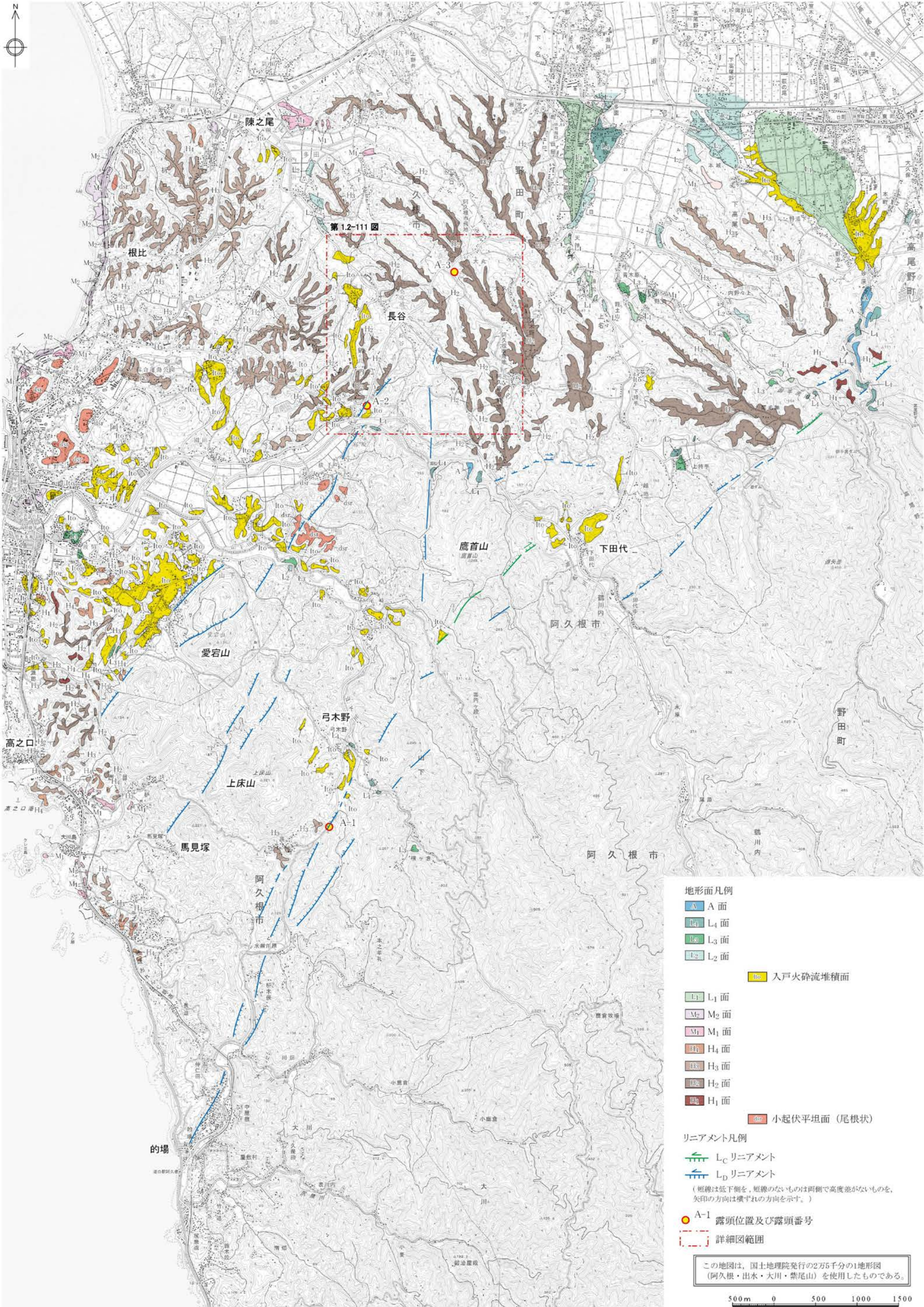


この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(出水)を使用したものである。

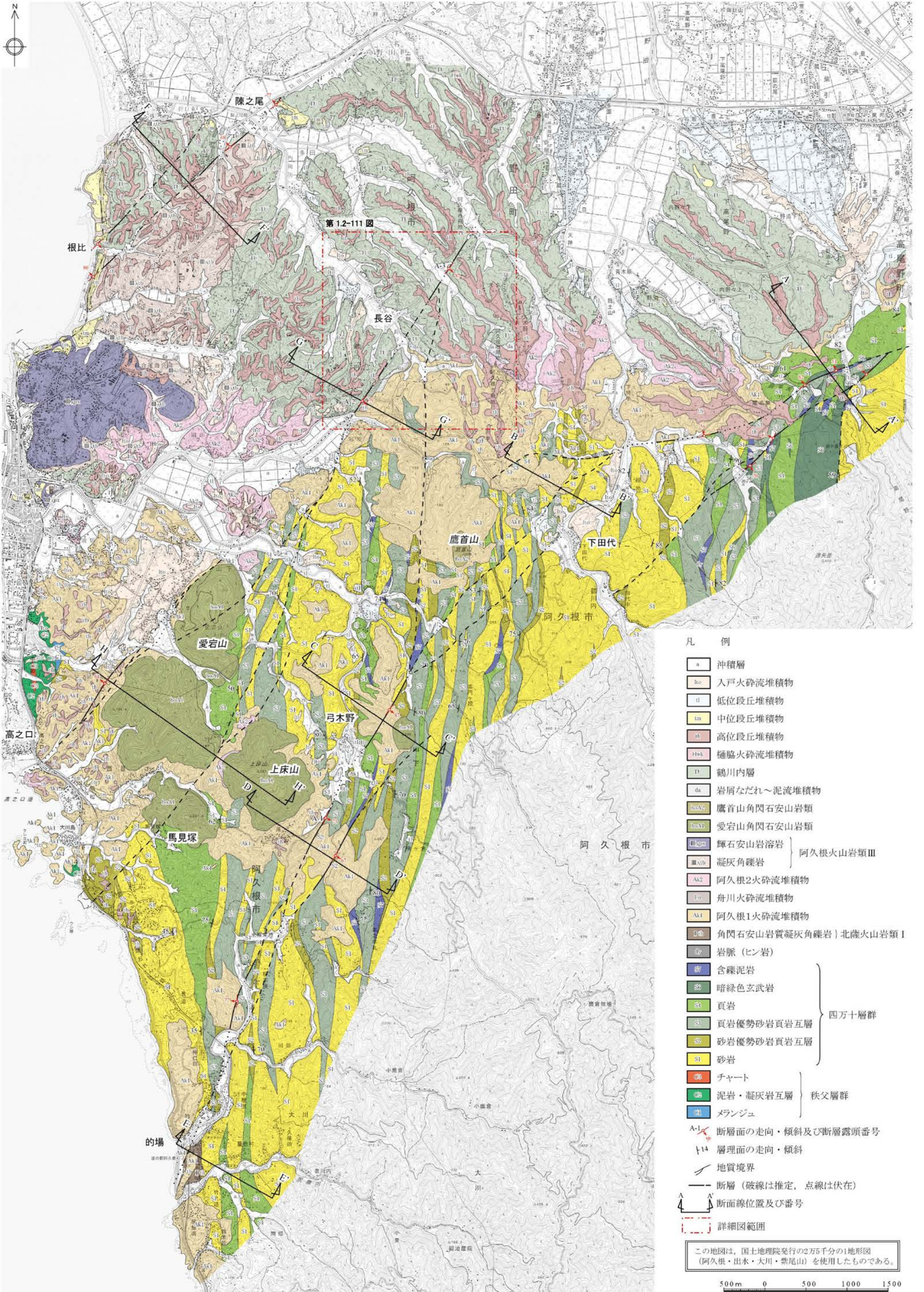
- | | |
|--|---|
| <p>地形面凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> A面 L₄面 L₃面 L₁面 H₃面 H₂面 H₁面 <p>リニアメント凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> L_Bリニアメント L_Cリニアメント L_Dリニアメント <p>(短線は低下側を、短線のないものは両側で高度差がないものを示す。)</p> | <p>露頭凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 火砕流堆積物 高位段丘堆積物 阿久根1火砕流堆積物 暗緑色玄武岩 頁岩 砂岩 <p>四万十層群</p> <ul style="list-style-type: none"> 断層(推定・伏在を含む) 56 断層面の走向・傾斜 露頭位置及び露頭番号 a-a' 地形測量線 |
|--|---|



第1.2-106図 ルートマップ及び地形・地質断面図(出水市尾毛無付近)



第1.2-107図 阿久根東方リニアメント群周辺の空中写真判読図

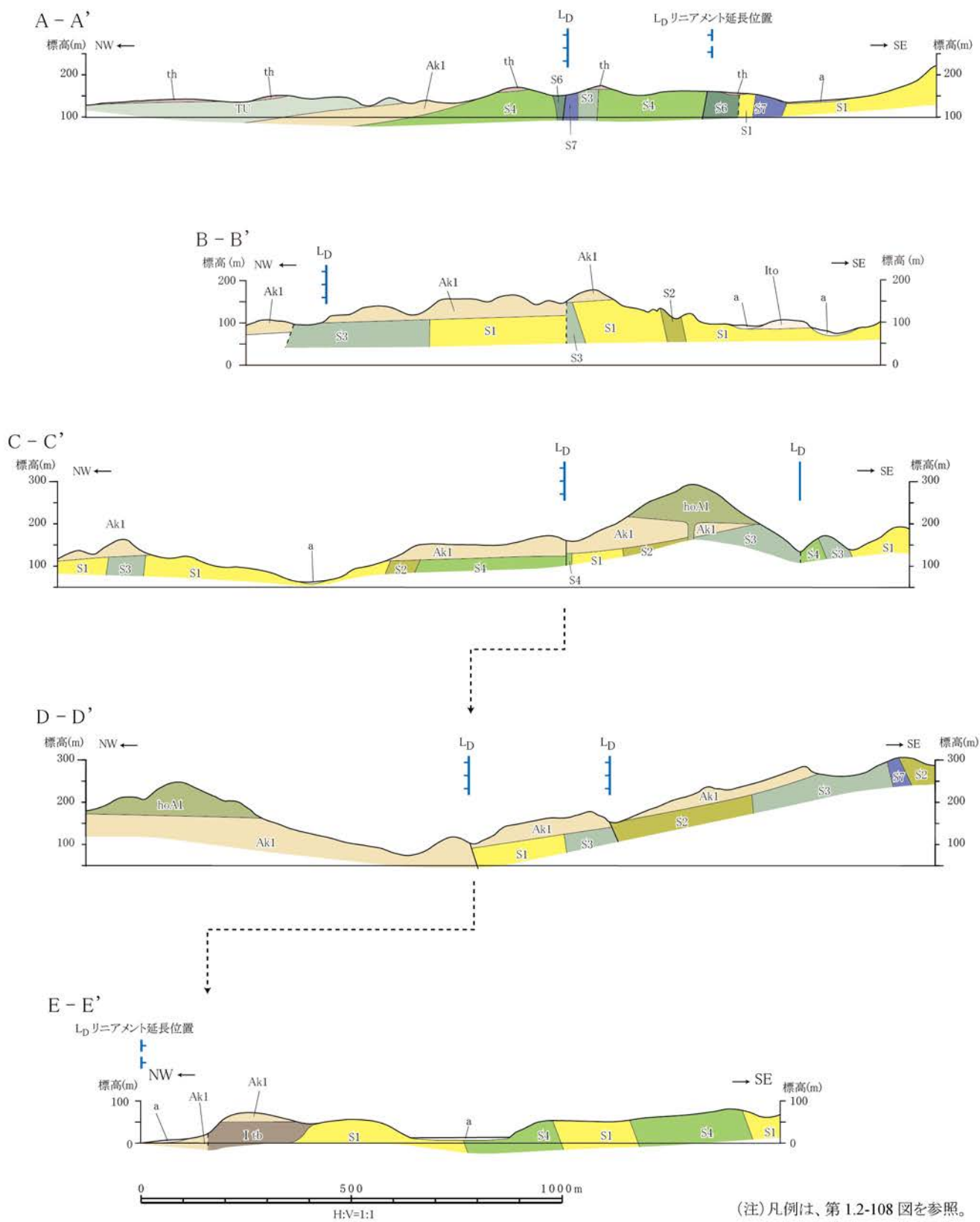


- 凡 例
- 沖積層
 - Ro 入戸火砕流堆積物
 - ll 低位段丘堆積物
 - lm 中位段丘堆積物
 - lh 高位段丘堆積物
 - Hwk 種脇火砕流堆積物
 - Tf 鶴川内層
 - da 岩屑なだれ～泥流堆積物
 - haA2 鷹首山角閃石安山岩類
 - haA1 愛宕山角閃石安山岩類
 - llAgA 輝石安山岩溶岩 } 阿久根火山岩類Ⅲ
 - llAgB 凝灰角礫岩
 - Ak2 阿久根2火砕流堆積物
 - fn 舟川火砕流堆積物
 - Ak1 阿久根1火砕流堆積物
 - llA 角閃石安山岩質凝灰角礫岩 } 北麓火山岩類Ⅰ
 - Gr 岩脈 (ヒン岩)
 - Sc 含礫泥岩
 - Sa 暗緑色玄武岩
 - Su 頁岩
 - Ss 頁岩優勢砂岩頁岩互層 } 四十層群
 - Sr 砂岩優勢砂岩頁岩互層
 - Sl 砂岩
 - Ch チャート
 - Ca 泥岩・凝灰岩互層 } 秩父層群
 - Me メランジュ
 - A-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
 - 14 層理面の走向・傾斜
 - 地質境界
 - 断層 (破線は推定, 点線は伏在)
 - 断面線位置及び番号
 - 詳細図範囲

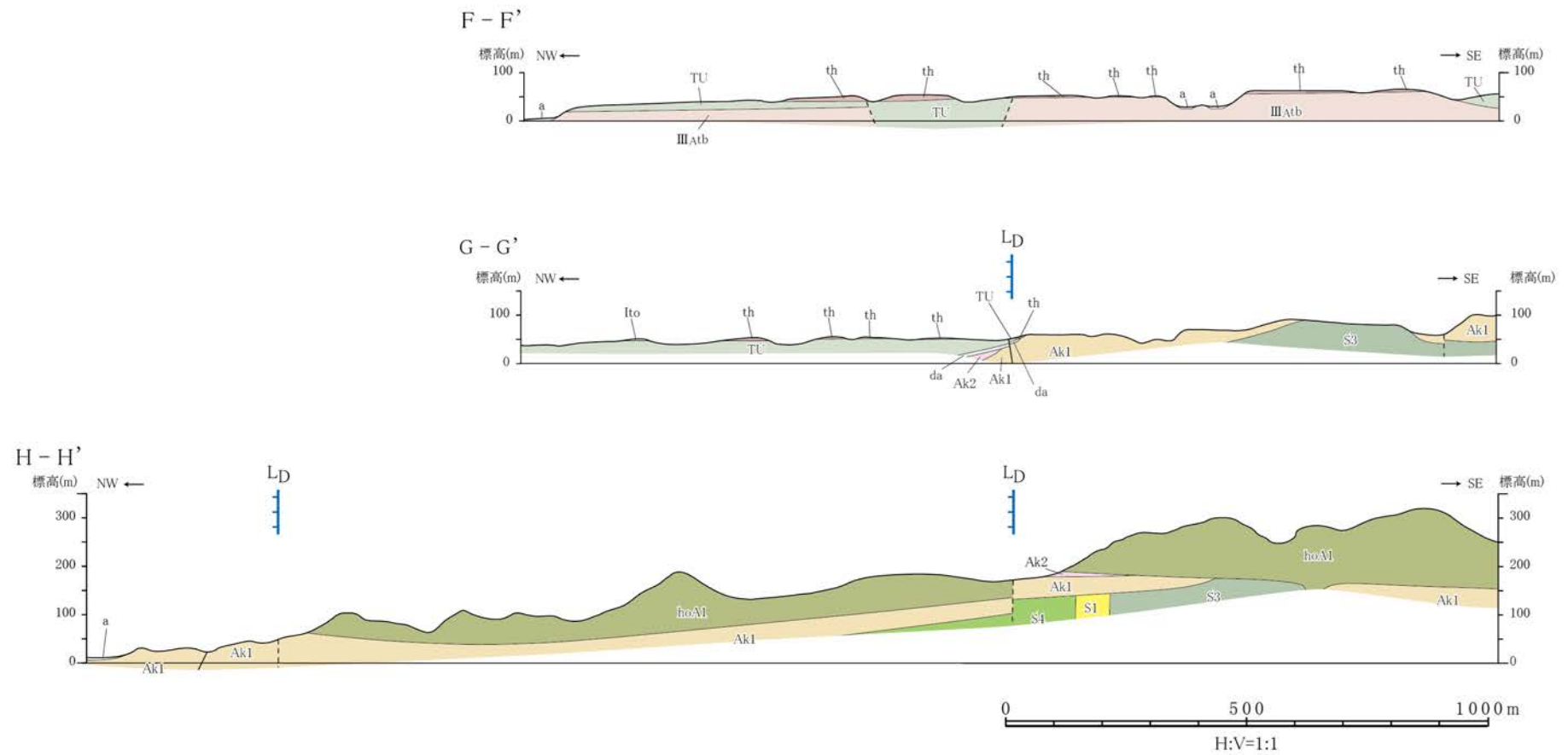
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図
(阿久根・出水・大川・禁尾山)を使用したものである。

500m 0 500 1000 1500

第1.2-108図 阿久根東方リニアメント群周辺の地質図

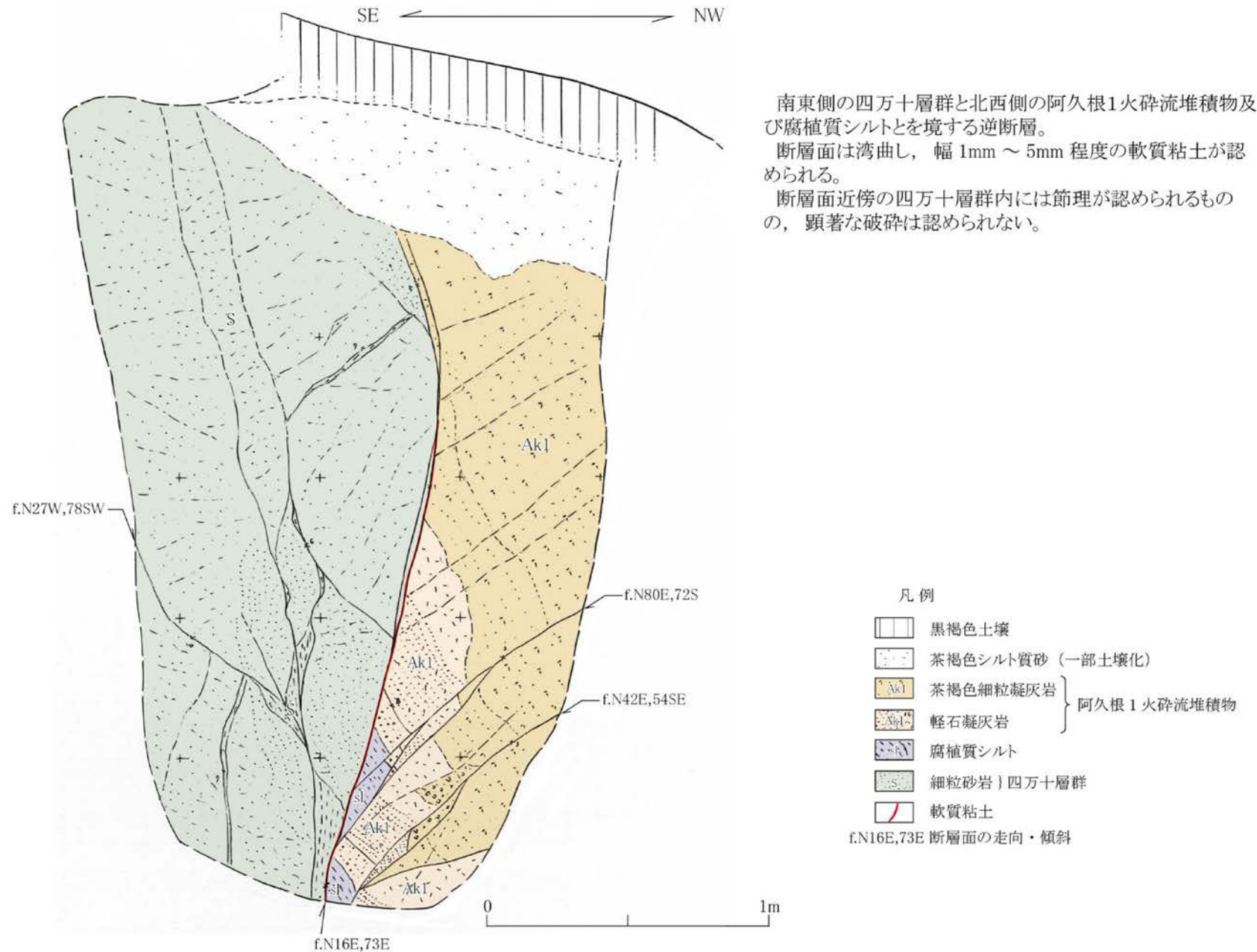


第1.2-109図(1) 阿久根東方リニアメント群周辺の地質断面図(その1)

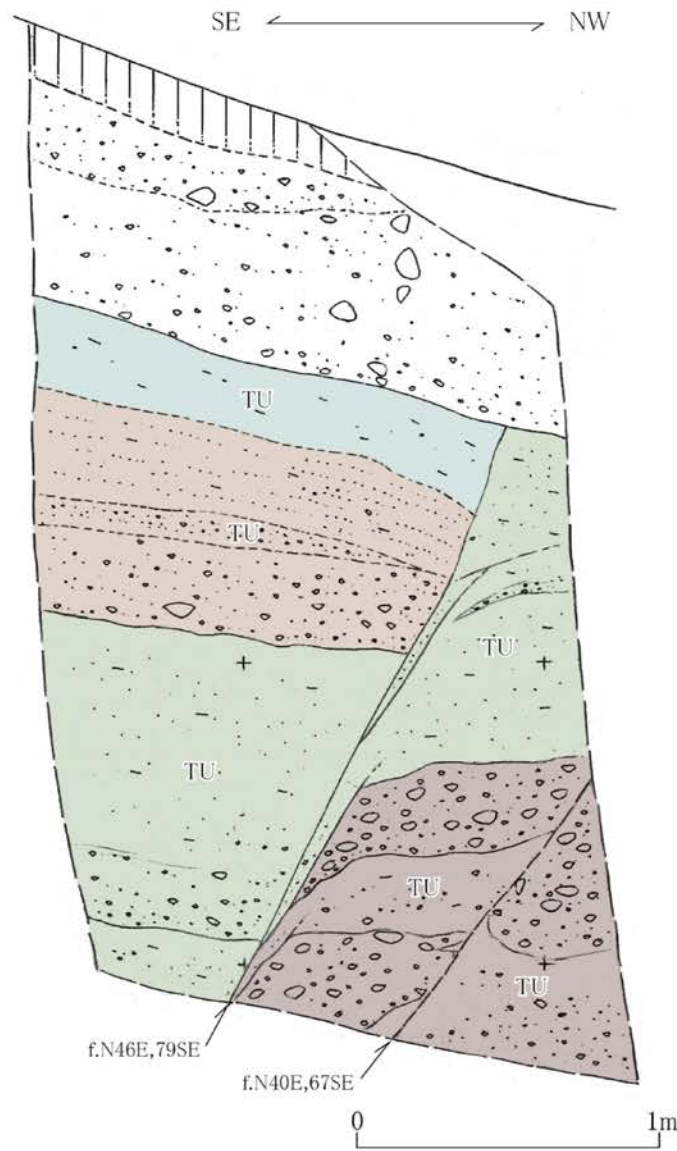


(注) 凡例は、第 1.2-108 図を参照。

第1.2-109図(2) 阿久根東方リニアメント群周辺の地質断面図(その2)









第1.2-110図(1) 露頭スケッチ (Loc.A-1, 阿久根市弓木野南方)



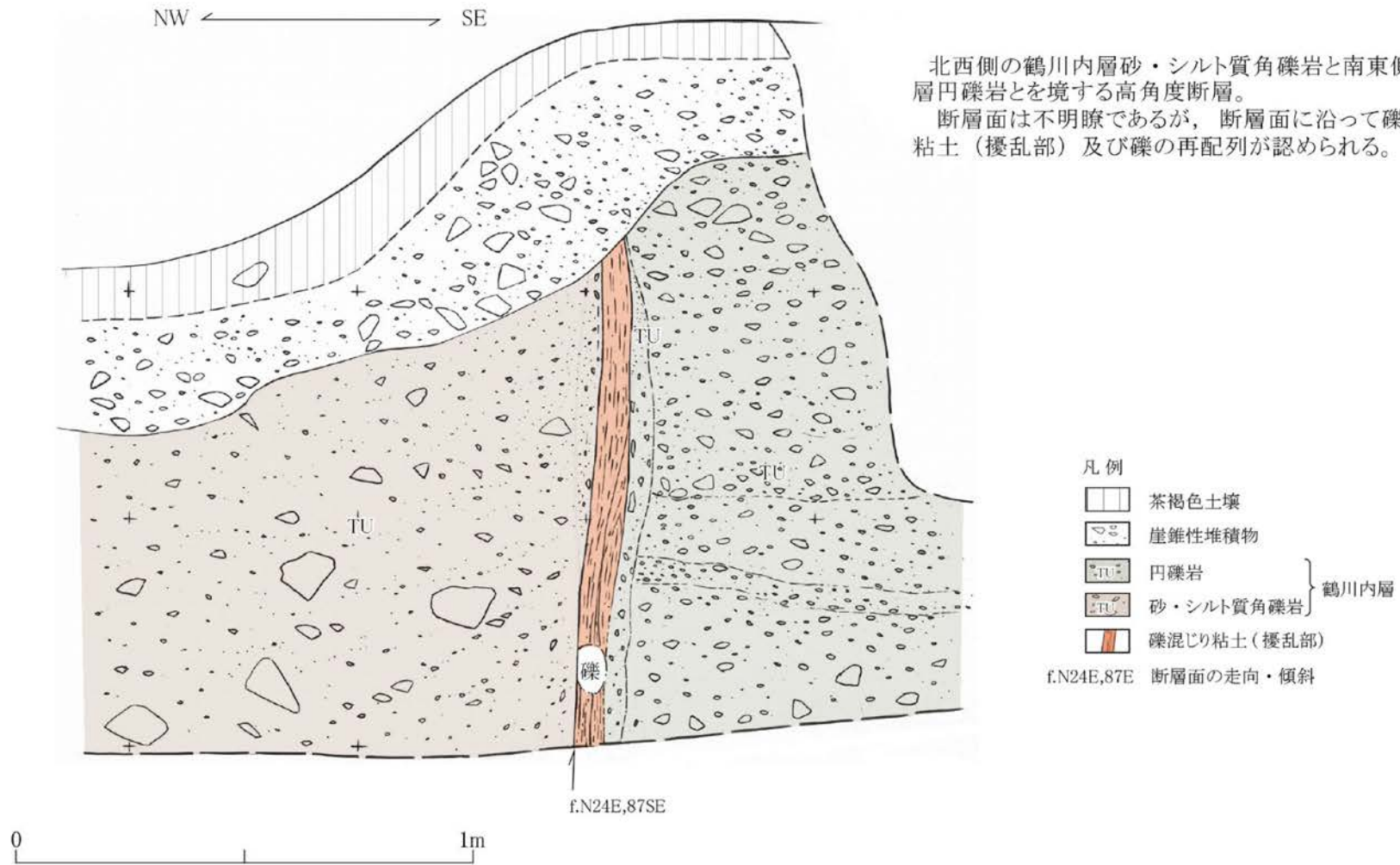
鶴川内層中の正断層。
断層面は平面的であるものの、軟質な破碎部は認められない。

凡例

-  黒褐色土壌
 -  ローム質礫層
 -  茶褐色シルト
 -  砂層・細礫層
 -  砂質シルト層
 -  礫層・砂層
- } 鶴川内層

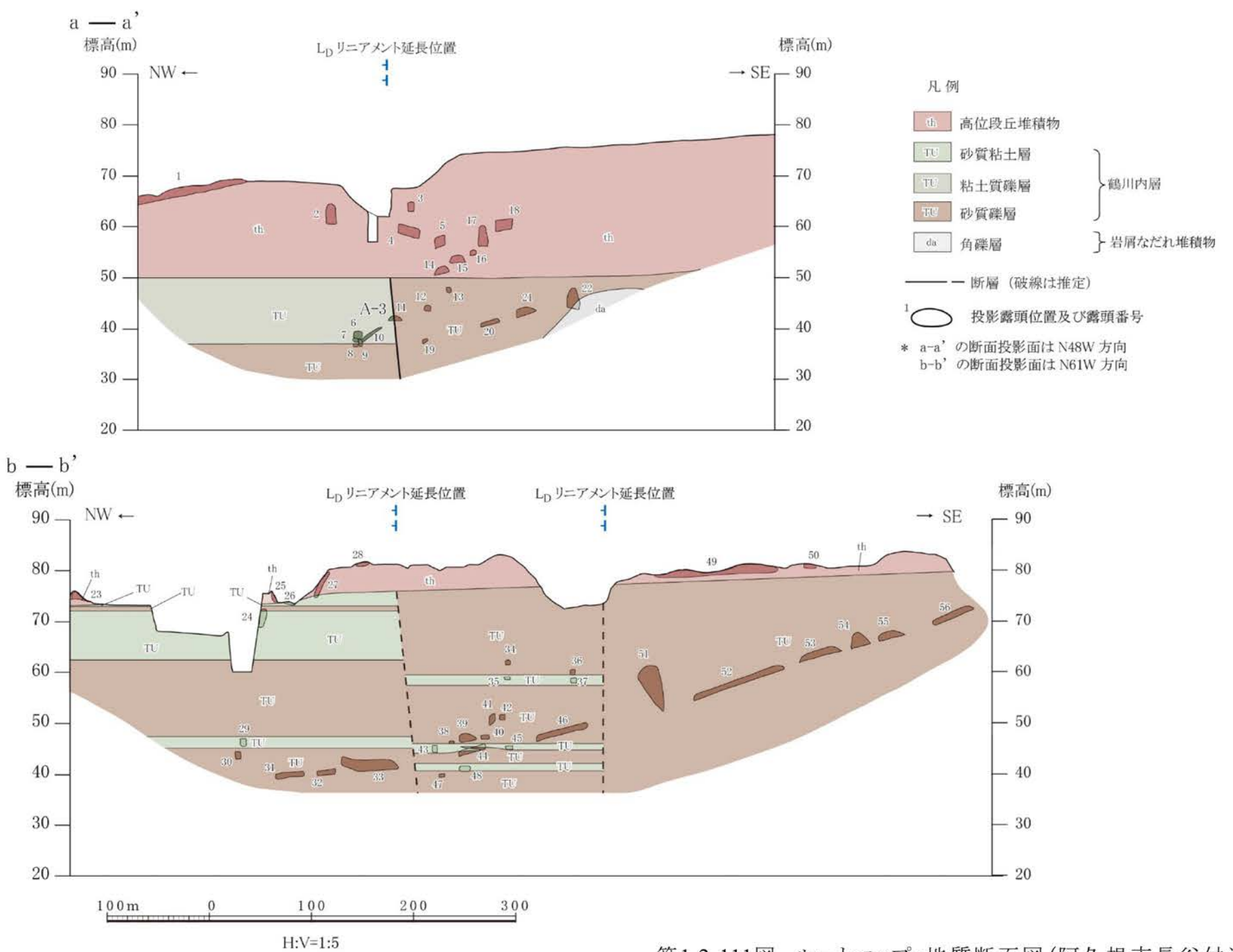
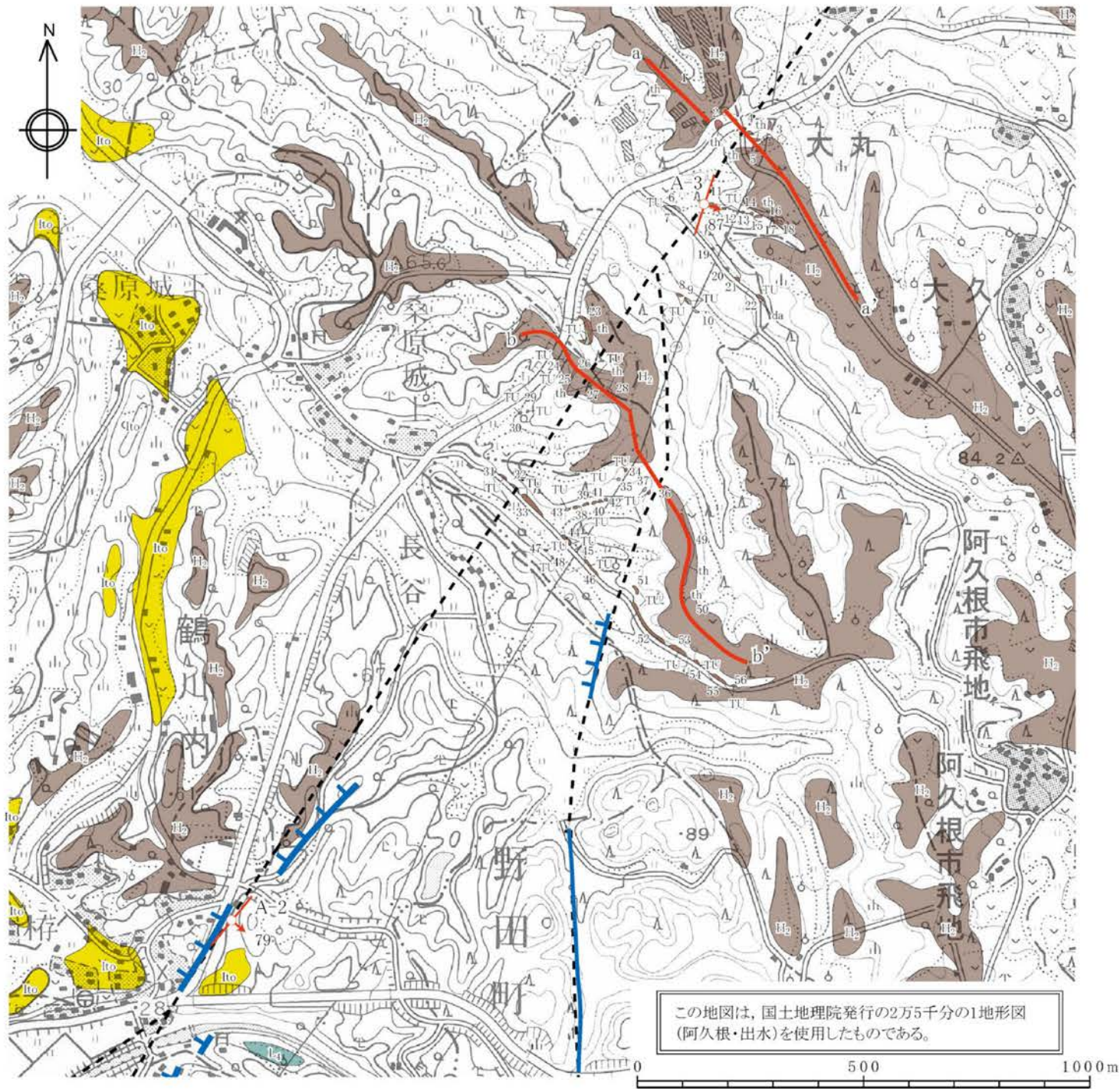
f.N46E,79SE 断層面の走向・傾斜

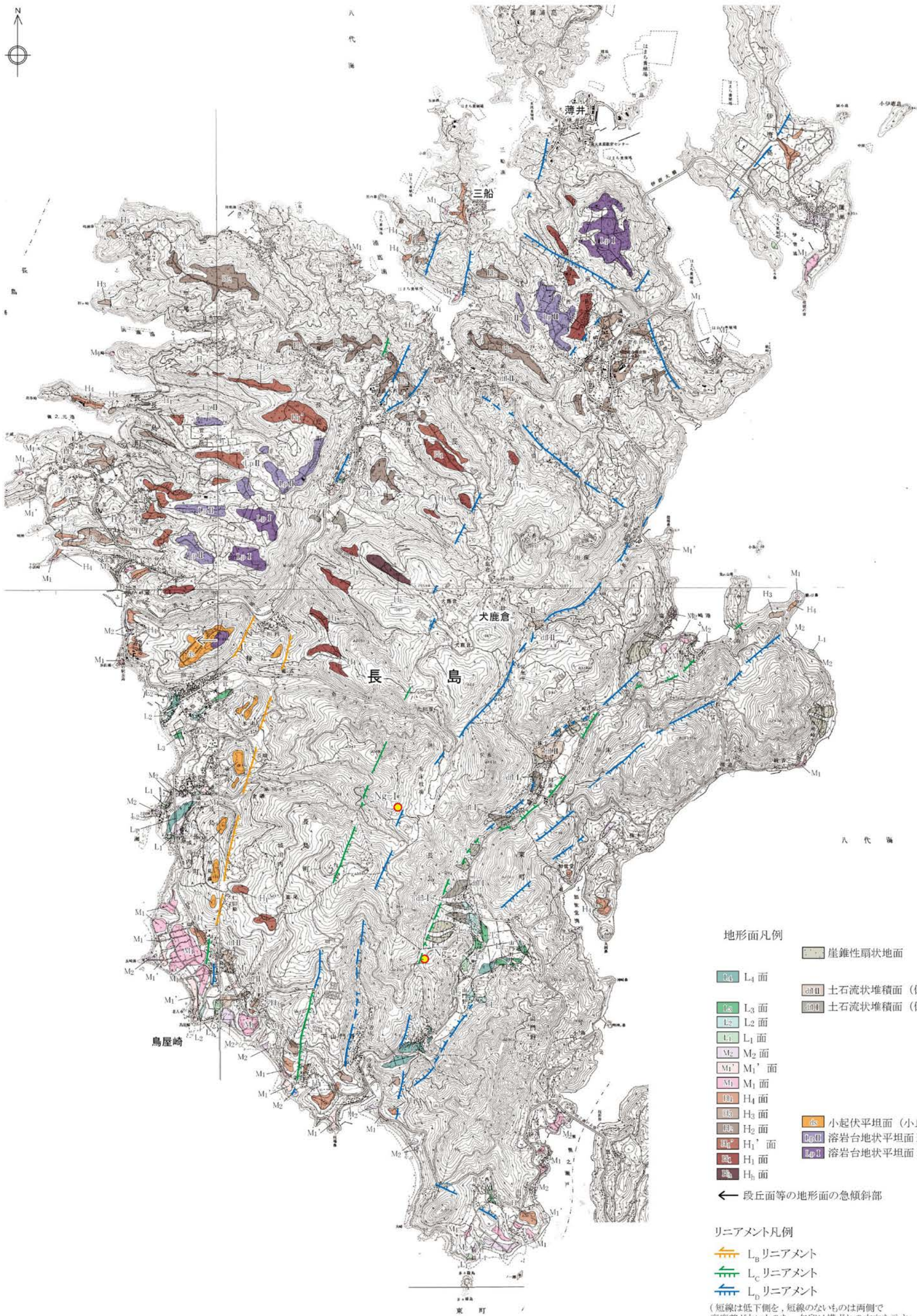
第1.2-110図(2) 露頭スケッチ (Loc.A-2, 阿久根市柵)



北西側の鶴川内層砂・シルト質角礫岩と南東側の同層円礫岩とを境する高角度断層。
断層面は不明瞭であるが、断層面に沿って礫混じり粘土(擾乱部)及び礫の再配列が認められる。

第1.2-110図(3) 露頭スケッチ (Loc.A-3, 出水市大丸)





地形面凡例

- 崖錐性扇状地面
- 土石流状堆積面 (低位Ⅱ面)
- 土石流状堆積面 (低位Ⅰ面)
- L₄ 面
- L₃ 面
- L₂ 面
- L₁ 面
- M₂ 面
- M₁' 面
- M₁ 面
- H₄ 面
- H₃ 面
- H₂ 面
- H₁' 面
- H₁ 面
- H₀ 面
- 小起伏平坦面 (小丘状)
- 溶岩台地状平坦面Ⅱ
- 溶岩台地状平坦面Ⅰ

← 段丘面等の地形面の急傾斜部

リニアメント凡例

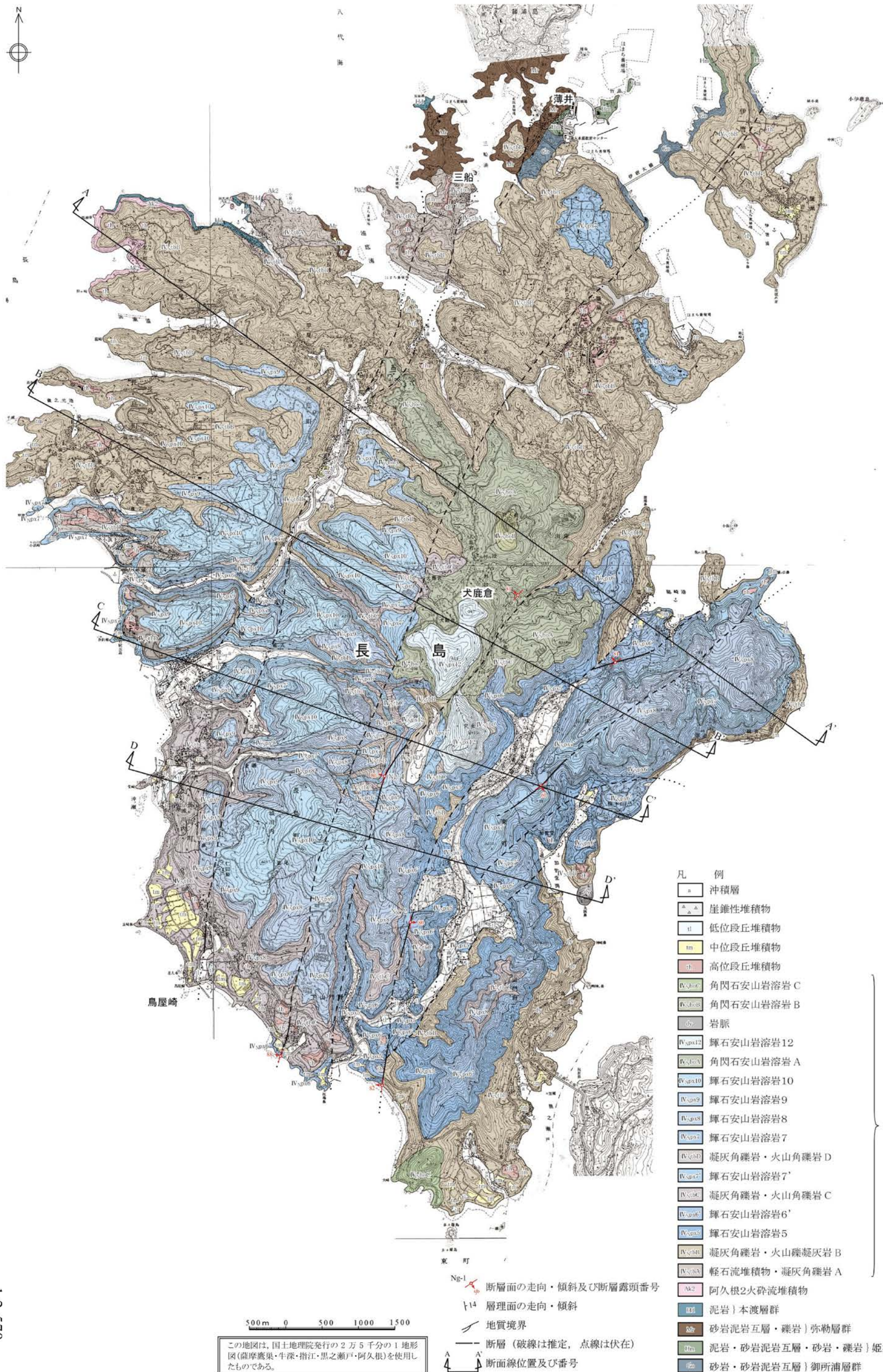
- L_B リニアメント
- L_C リニアメント
- L_D リニアメント

(短線は低下側を、短線のないものは両側で高度差がないものを、矢印は横ずれの方向を示す。)

- Ng-1 露頭位置及び露頭番号

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(薩摩豊集・牛深・指江・黒之瀬戸・阿久根)を使用したものである。

500m 0 500 1000 1500



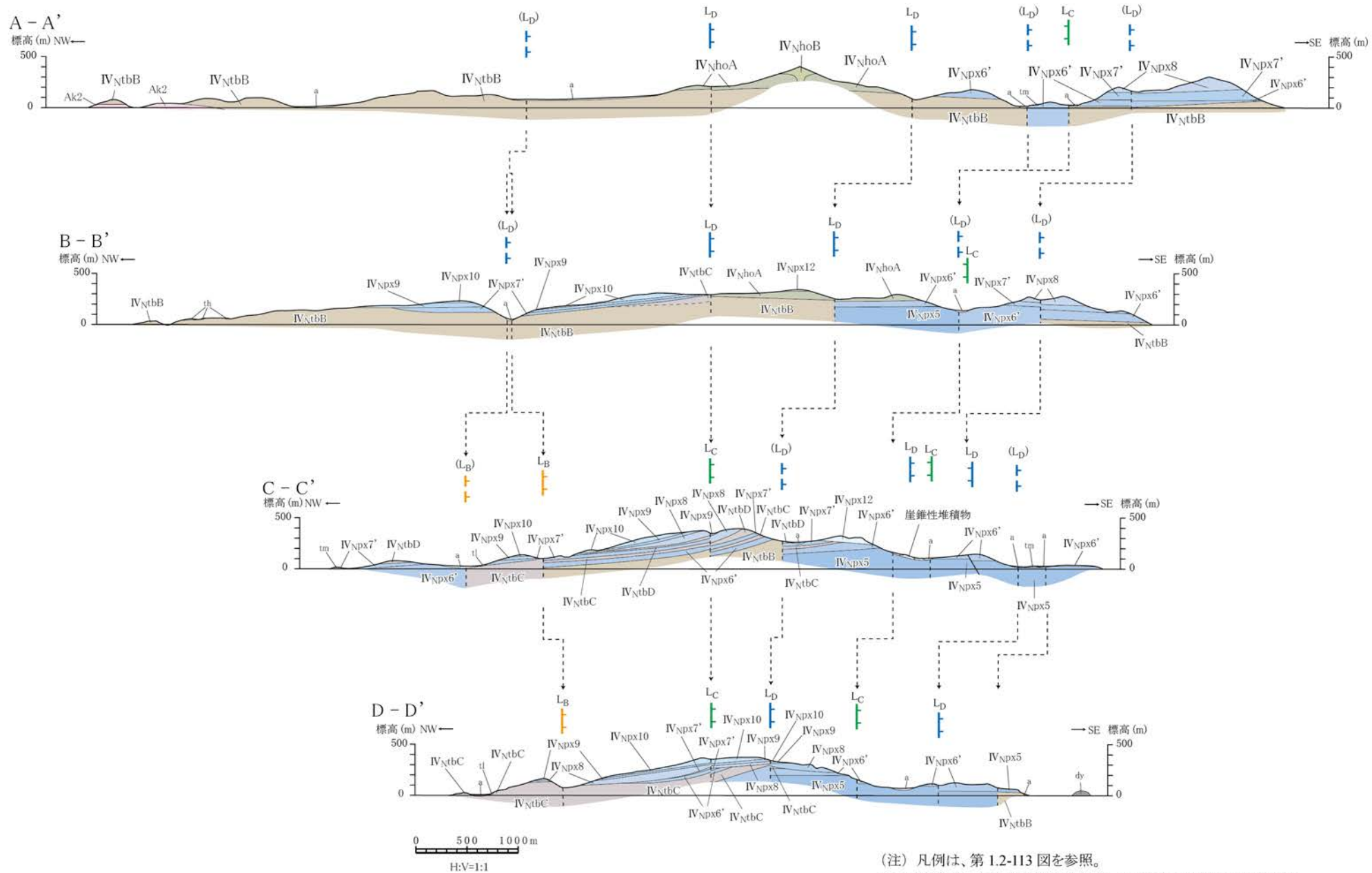
- 凡 例
- 沖積層
 - △ 崖錐性堆積物
 - tl 低位段丘堆積物
 - tm 中位段丘堆積物
 - th 高位段丘堆積物
 - IVsp10c 角閃石安山岩溶岩 C
 - IVsp10b 角閃石安山岩溶岩 B
 - 岩脈
 - IVsp12 輝石安山岩溶岩 12
 - IVsp10a 角閃石安山岩溶岩 A
 - IVsp10 輝石安山岩溶岩 10
 - IVsp9 輝石安山岩溶岩 9
 - IVsp8 輝石安山岩溶岩 8
 - IVsp7 輝石安山岩溶岩 7
 - IVsp6d 凝灰角礫岩・火山角礫岩 D
 - IVsp7' 輝石安山岩溶岩 7'
 - IVsp6c 凝灰角礫岩・火山角礫岩 C
 - IVsp6' 輝石安山岩溶岩 6'
 - IVsp5 輝石安山岩溶岩 5
 - IVsp6b 凝灰角礫岩・火山凝灰岩 B
 - IVsp6a 軽石流堆積物・凝灰角礫岩 A
 - IVsp4 阿久根2火砕流堆積物
 - IVsp3 泥岩 | 本渡層群
 - IVsp2 砂岩泥岩互層・礫岩 | 弥勒層群
 - IVsp1 泥岩・砂岩泥岩互層・砂岩・礫岩 | 姫浦層群
 - IVsp0 砂岩・砂岩泥岩互層 | 御所浦層群
- 長島
火山岩類IV

- Ng-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
- 14 層理面の走向・傾斜
- 地質境界
- 断層 (破線は推定, 点線は伏在)
- 断面線位置及び番号

500m 0 500 1000 1500

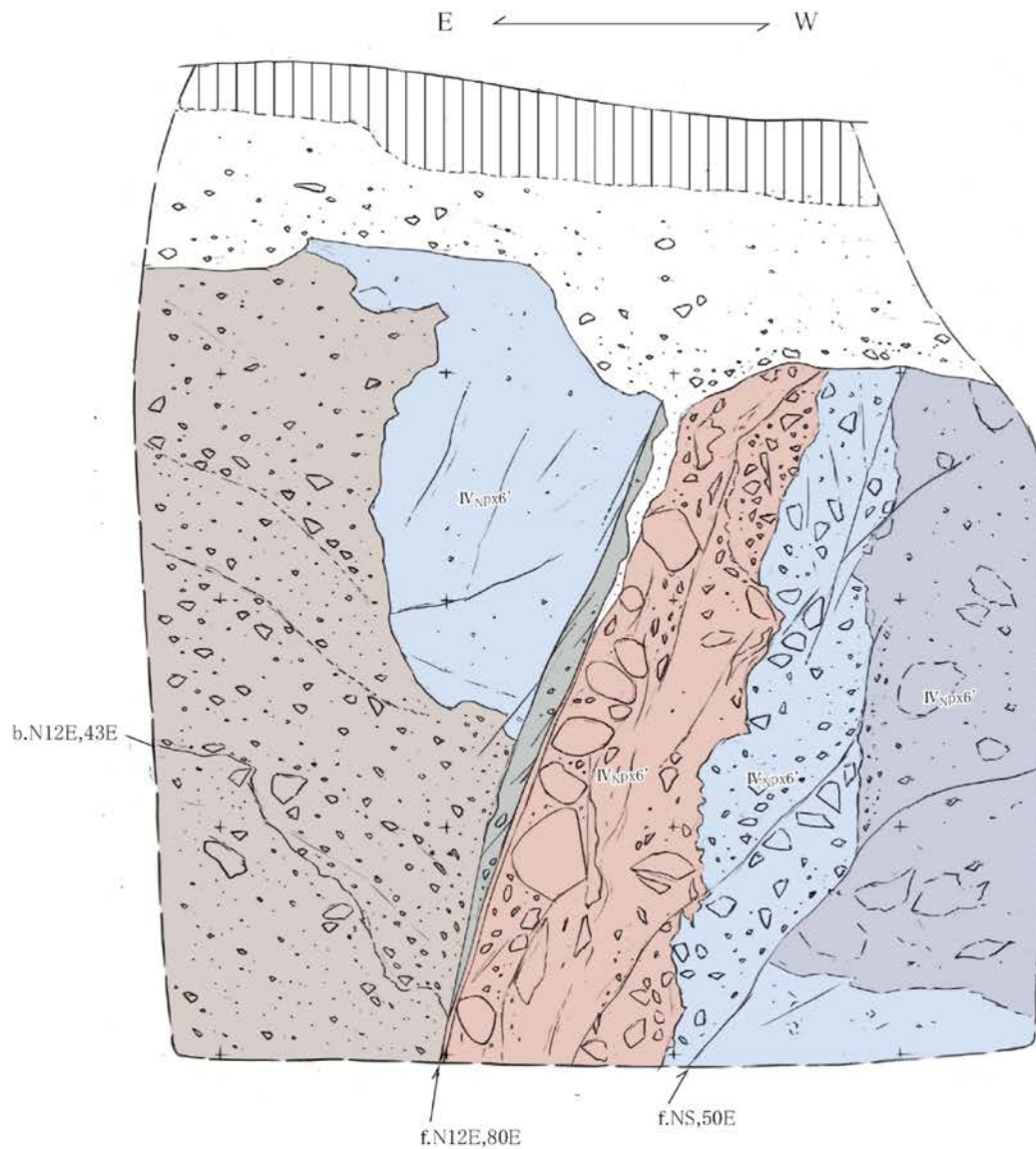
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(薩摩鹿島・牛深・指江・黒之瀬戸・阿久根)を使用したものである。

第1.2-113図 長島西断層・長島断層群周辺の地質図



(注) 凡例は、第 1.2-113 図を参照。
 (注) 破線で示す () 付きの Ld などは、リニアメントの延長位置を示す。

第1.2-114図 長島西断層・長島断層群周辺の地質断面図

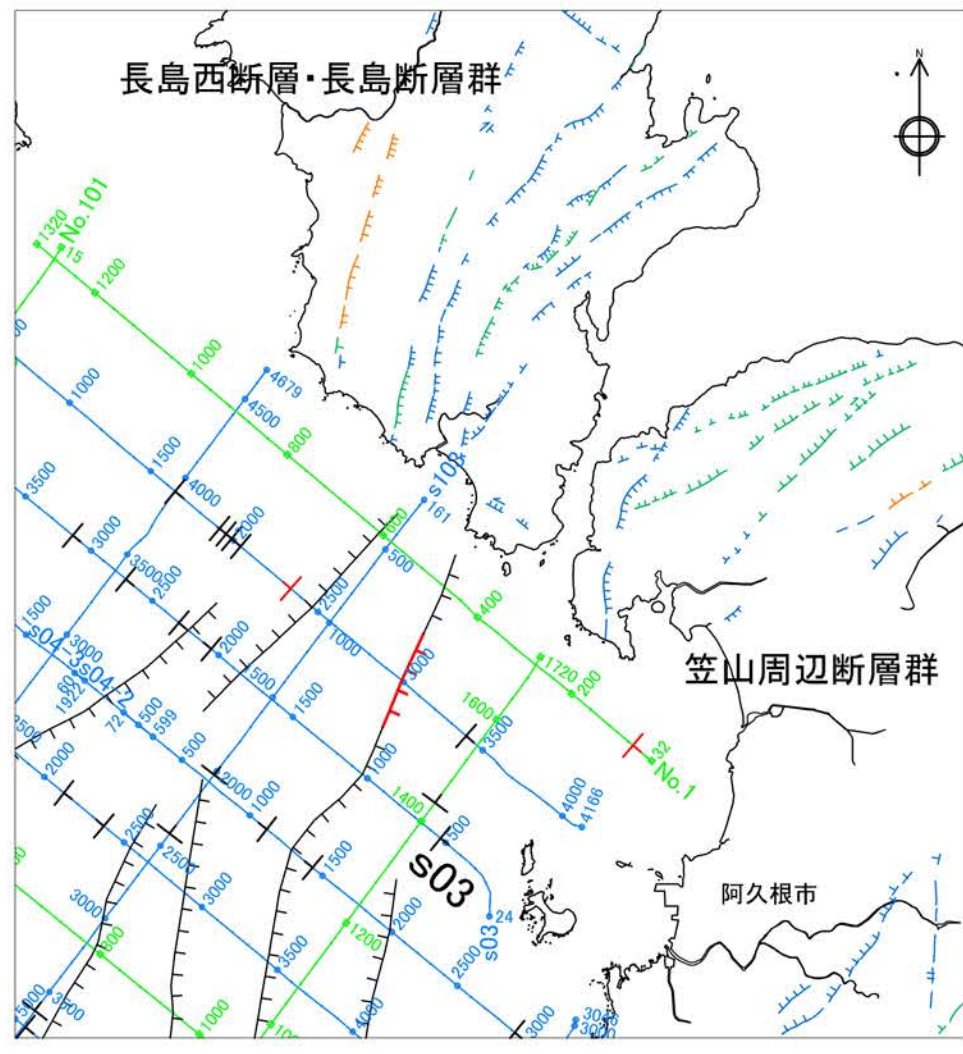


輝石安山岩溶岩6' (長島火山岩類IV) 中の高角度断層。
 断層面は明瞭であるものの、湾曲しており、癒着している。断層面近傍には節理がみられるものの、軟質な破碎部は認められず、固結している。

- 凡例
- 黒色土壌
 - 礫混じり茶褐色土壌
 - 赤紫色変質溶岩
 - 角礫状溶岩
 - 赤褐色変質溶岩
 - 火山礫凝灰岩
 - 角礫破碎部
- f.N12E,80E 断層面の走向・傾斜
 b.N12E,43E 層理面の走向・傾斜



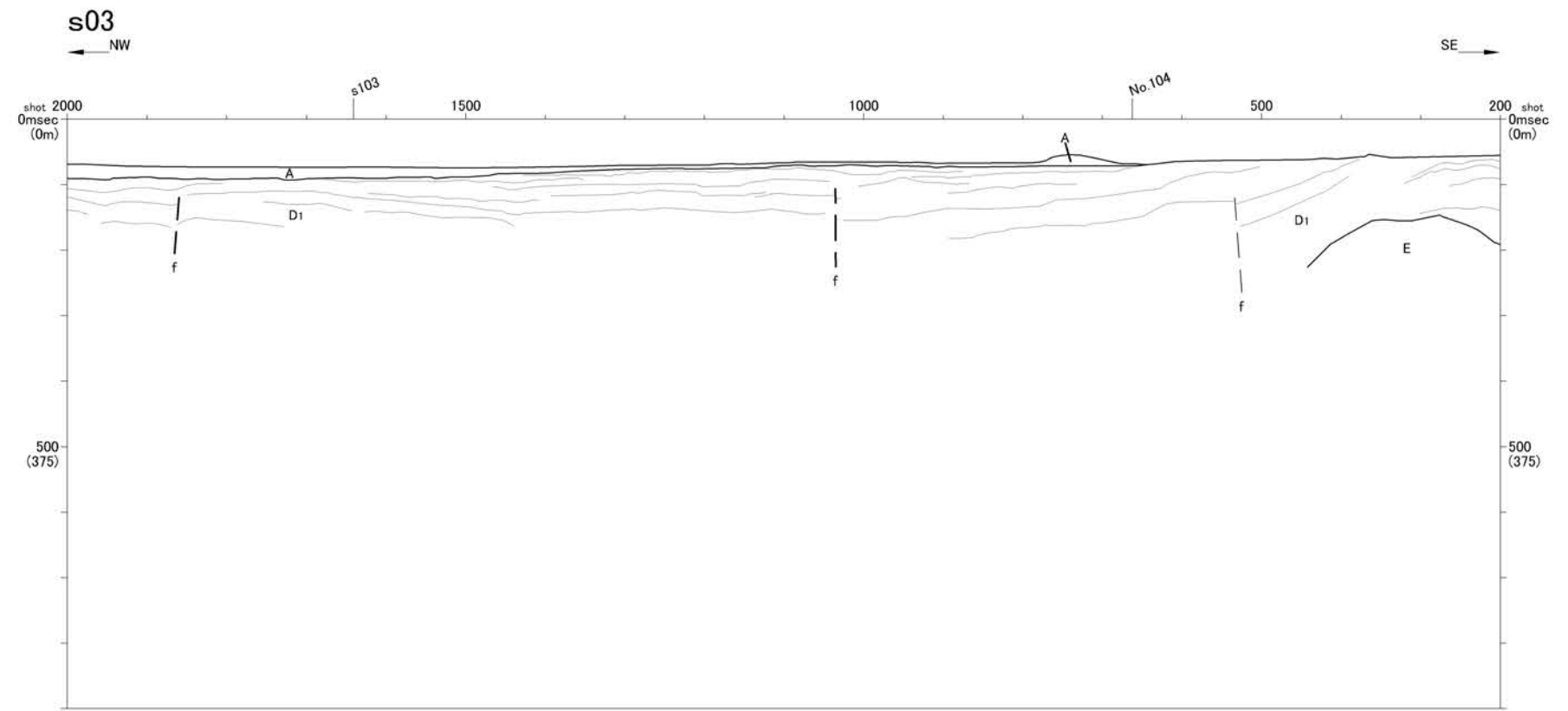
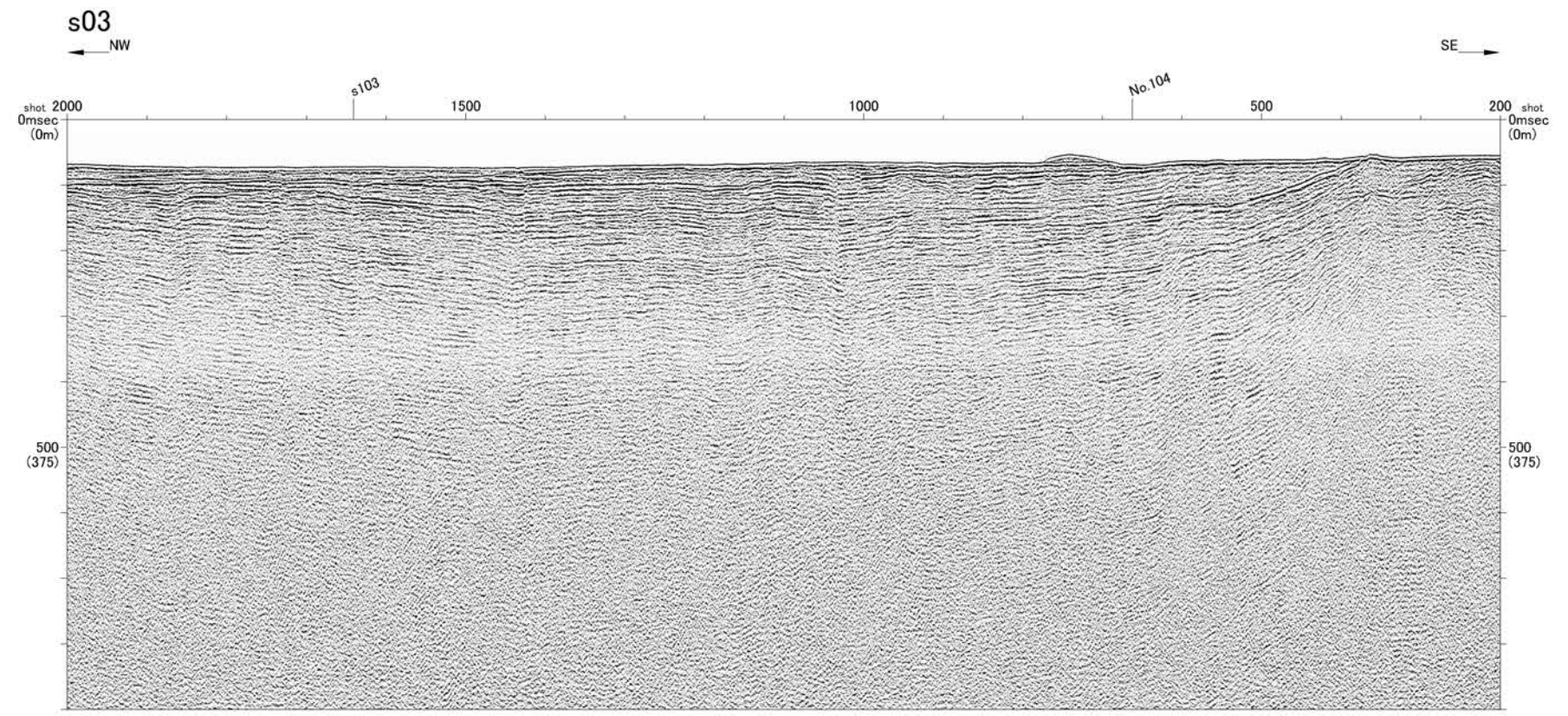
第1.2-115図(2) 露頭スケッチ (Loc.Ng-2, 長島町山門野下)



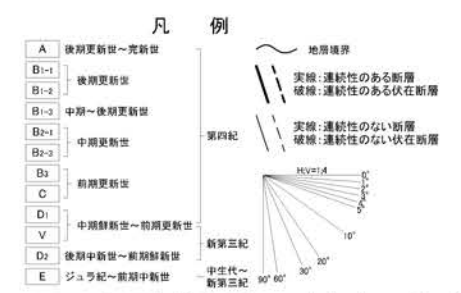
長島西断層・長島断層、笠山周辺断層位置図

凡 例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力株によるマルチチャンネル音波探査測線 (G I ガン、ウォーターガン)
- 九州電力株によるシングルチャンネル音波探査測線 (ウォーターガン、スパーク)
- LB リニアメント
- LC リニアメント
- LD リニアメント

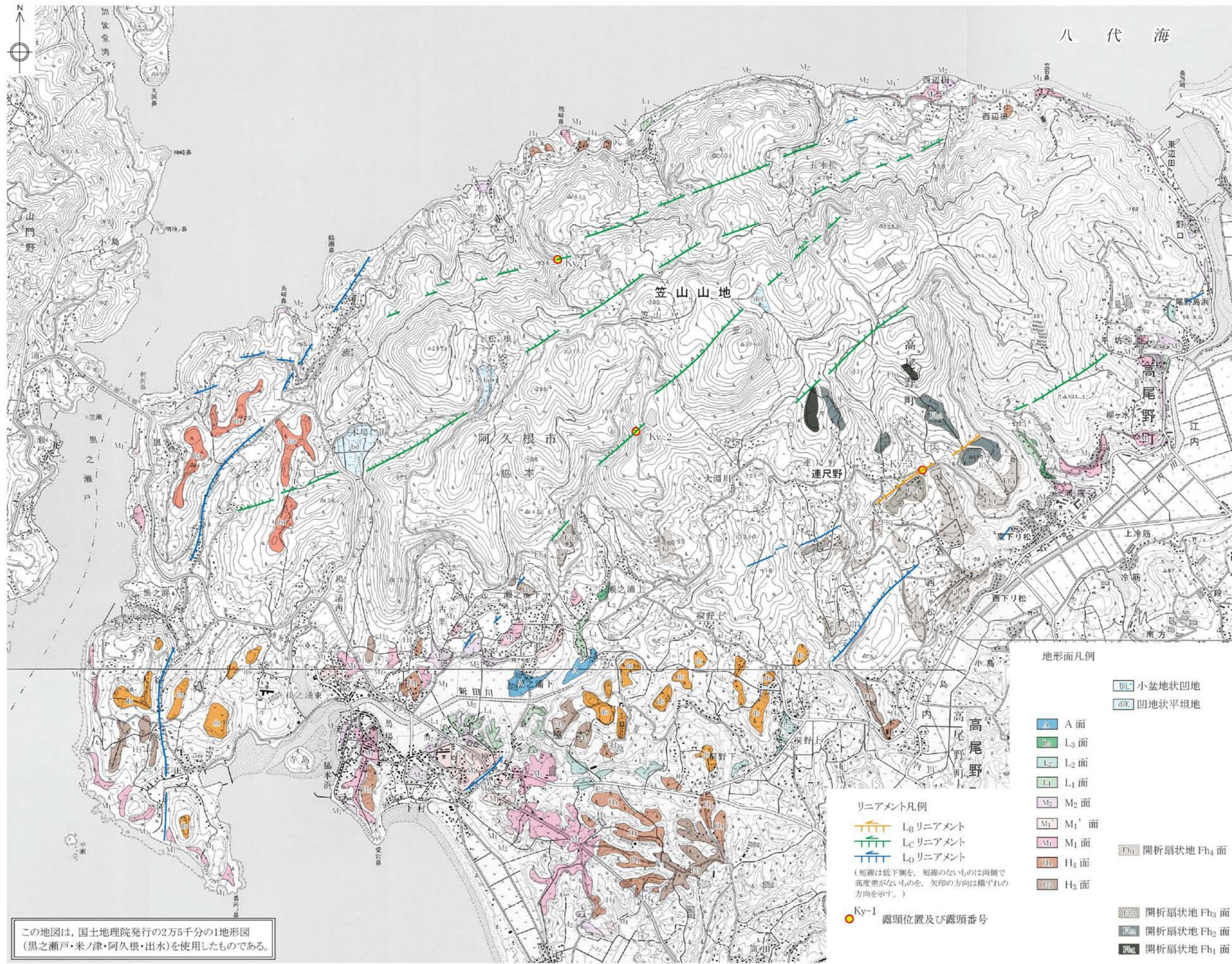


音波探査記録断面図

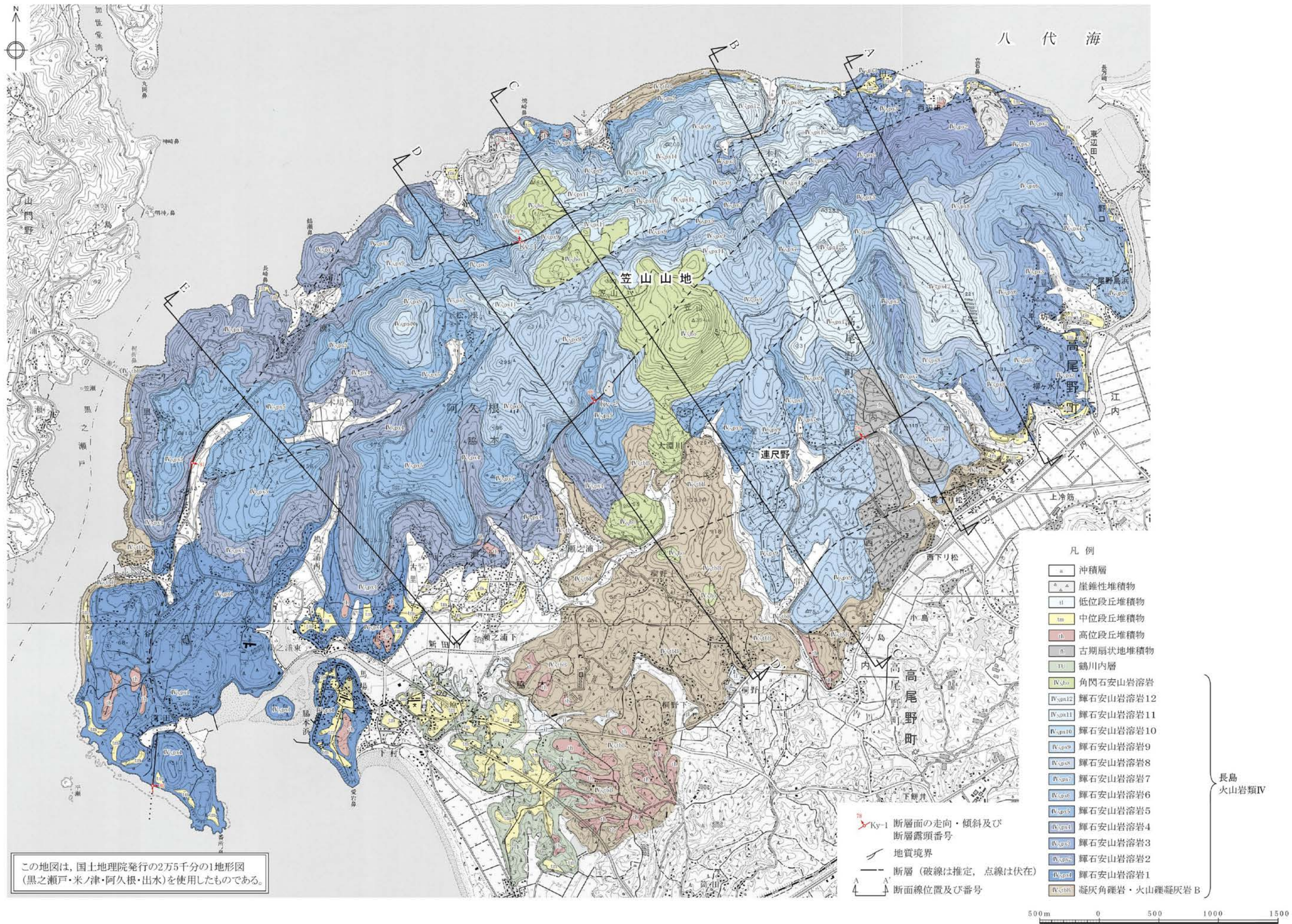


水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。

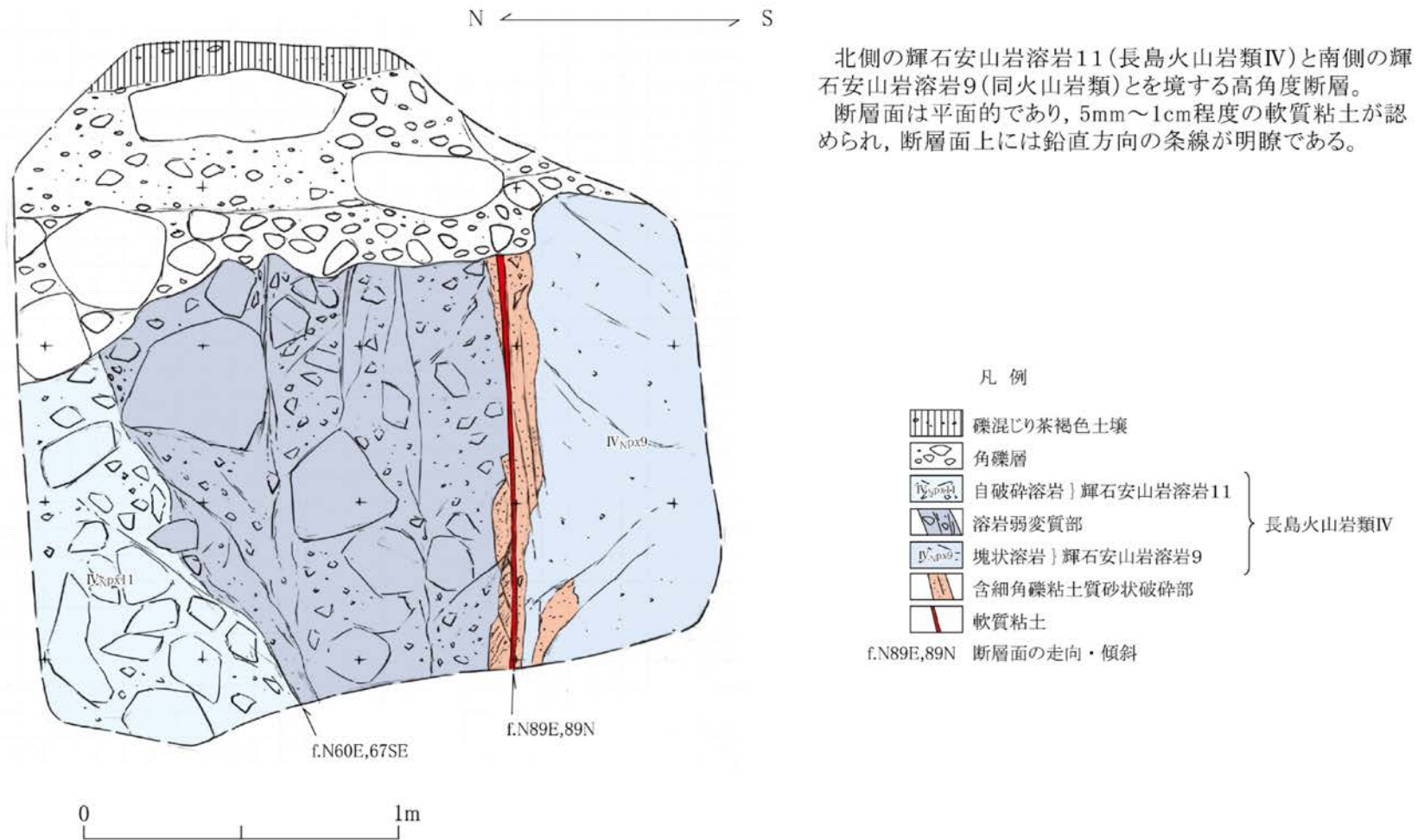
第1.2-116図 長島西断層・長島断層群、笠山周辺断層群海域延長部(s03測線)



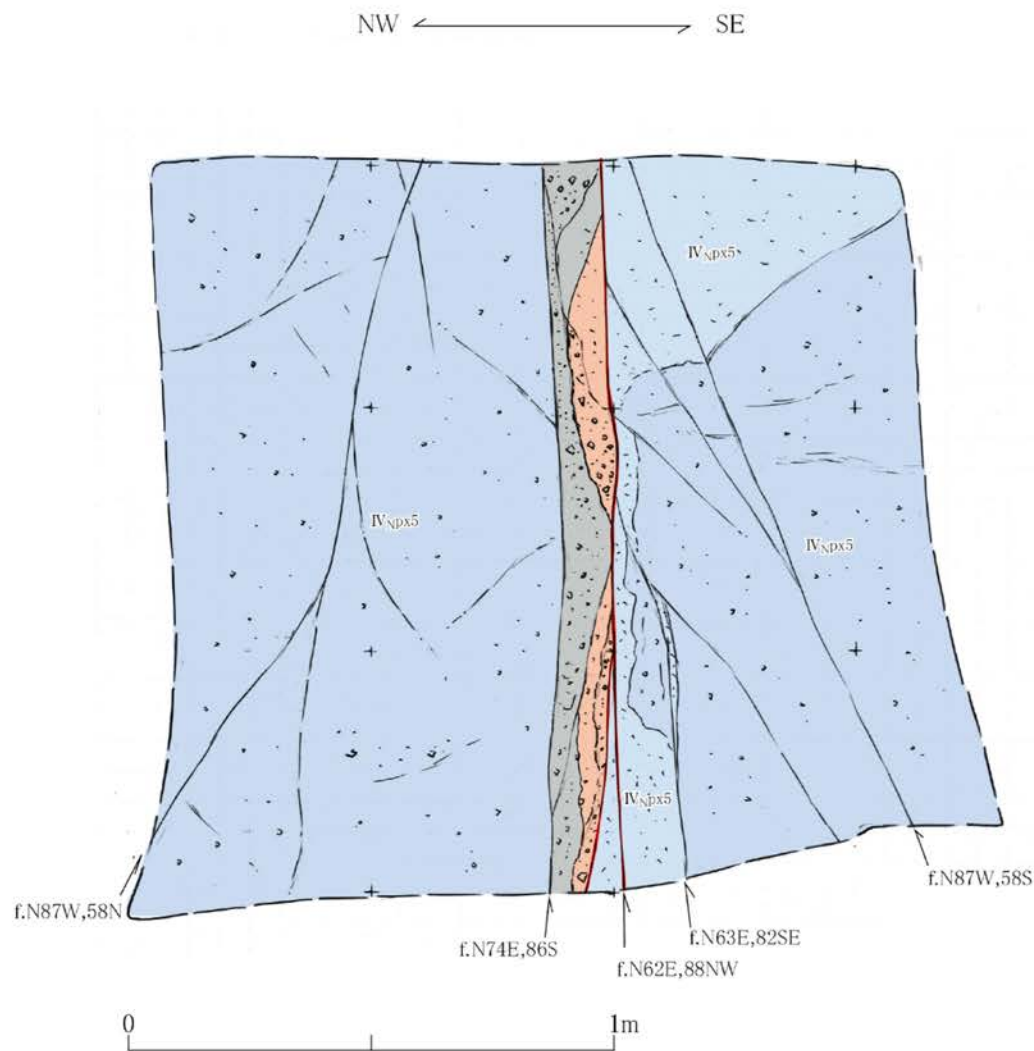
第1.2-117図 笠山周辺断層群周辺の空中写真判読図



第1.2-118図 笠山周辺断層群周辺の地質図



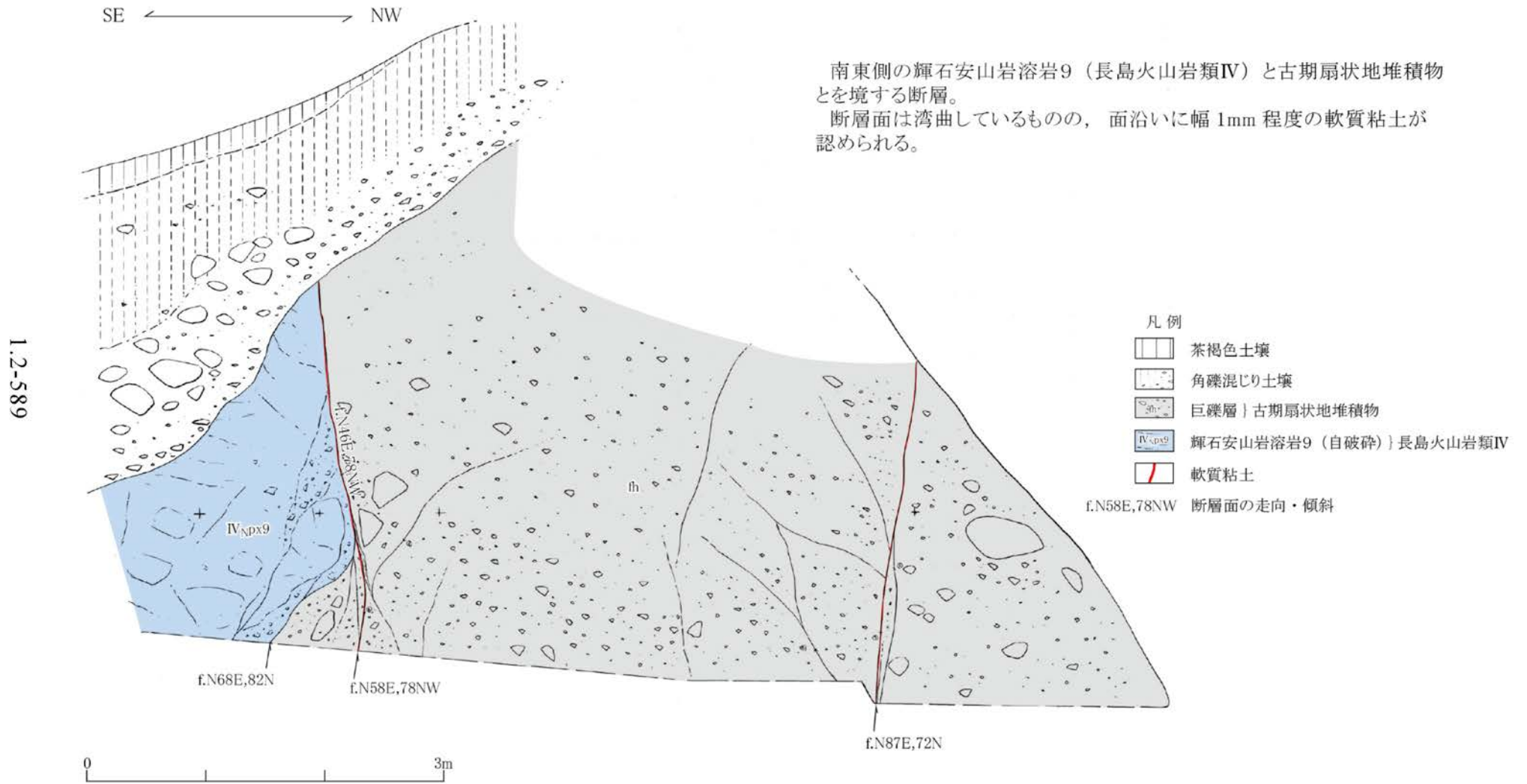
第1.2-120図(1) 露頭スケッチ(Loc.Ky-1, 阿久根市笠山北西)



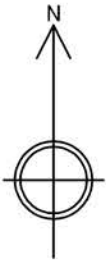
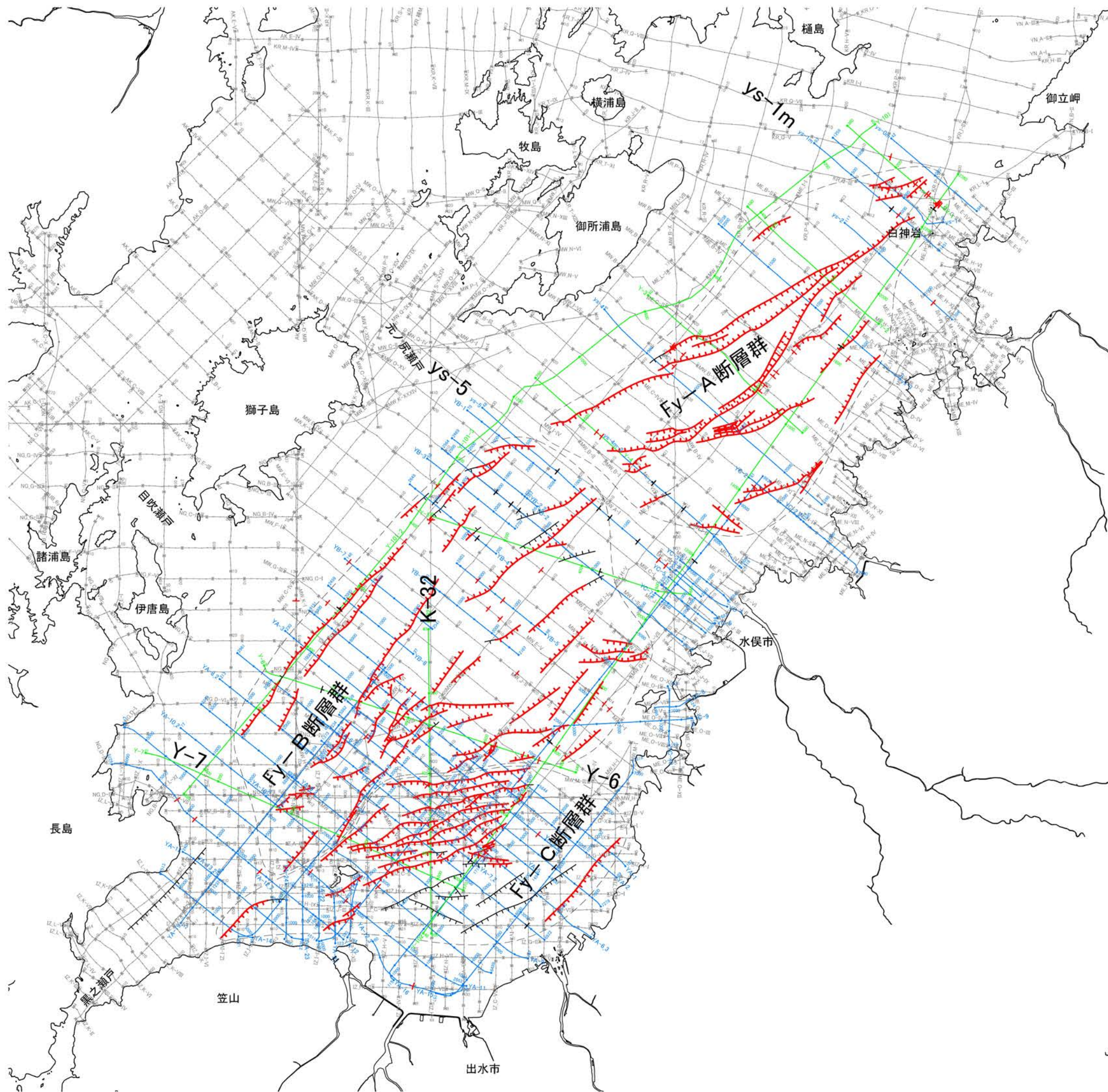
輝石安山岩溶岩5(長島火山岩類IV)中の高角度断層。
断層面は平面的であり、幅1mm程度の軟質粘土が認められる。

- 凡例
- 塊状溶岩
 - 黄褐色～赤褐色変質部
 - 角礫破碎部
 - 粘土質細角礫破碎部
 - 軟質粘土
- f.N62E,88NW 断層面の走向・傾斜

第1.2-120図(2) 露頭スケッチ (Loc.Ky-2, 阿久根市笠山南方)



第1.2-120図(3) 露頭スケッチ (Loc.Ky-3, 出水市連尺野)



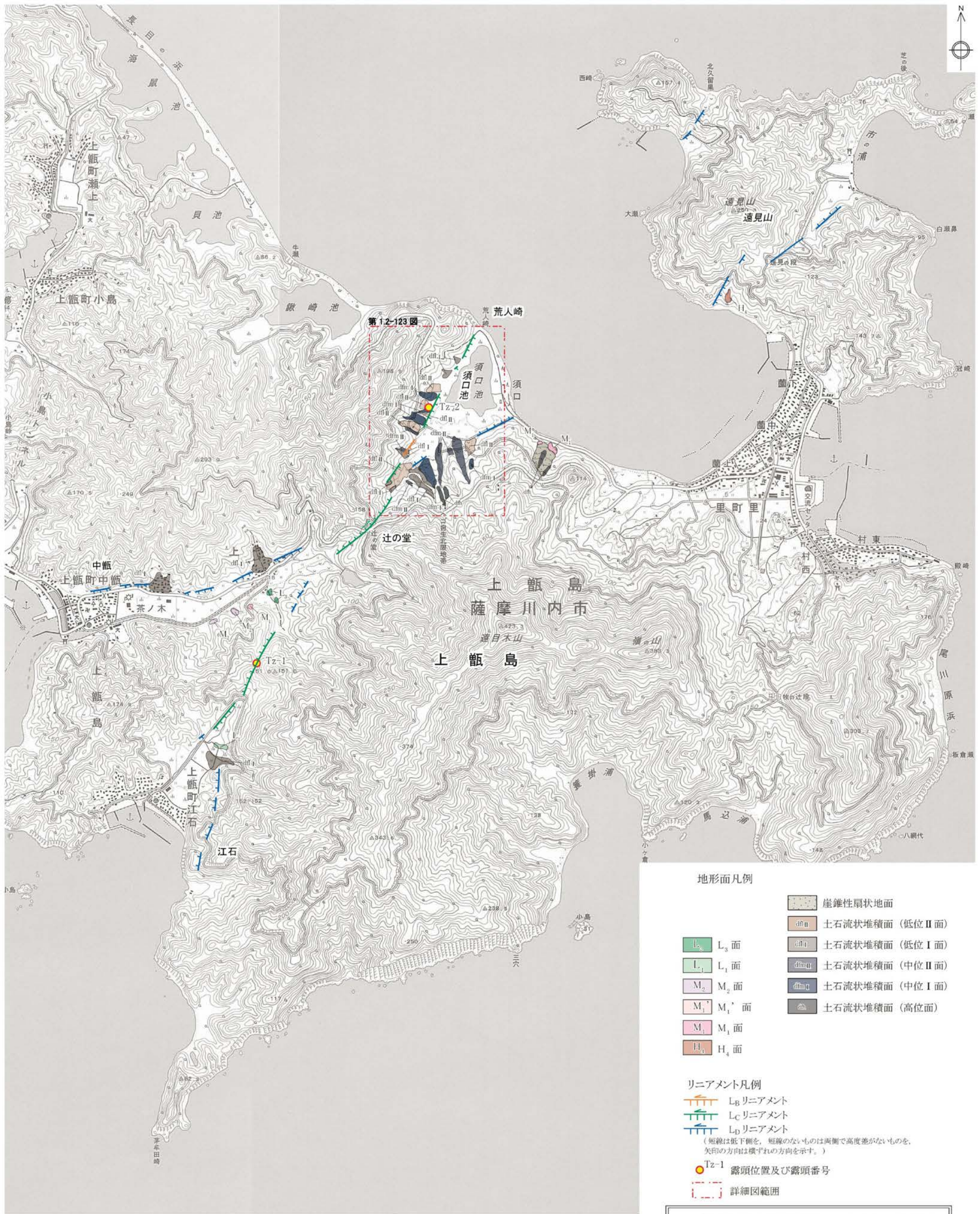
凡 例

- |—|—| 連続性のある断層
- |—|—| 連続性のある伏在断層
- |—|—| 連続性のない断層
- |—|—| 連続性のない伏在断層
- 九州電力による
マルチチャンネル音波探査測線
(G I ガン)
- 九州電力による
シングルチャンネル音波探査測線
(ウォーターガン、スパーク)
- x—x—x 国土地理院による音波探査測線

水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。



第1.2-121図 八代海の断層分布図
1.2-590



地形面凡例

- | | | | |
|--|--------------------|--|-----------------|
| | L ₃ 面 | | 崖錐性扇状地面 |
| | L ₁ 面 | | 土石流状堆積面 (低位II面) |
| | M ₂ 面 | | 土石流状堆積面 (低位I面) |
| | M ₁ ' 面 | | 土石流状堆積面 (中位II面) |
| | M ₁ 面 | | 土石流状堆積面 (中位I面) |
| | H ₄ 面 | | 土石流状堆積面 (高位面) |

リニアメント凡例

- | | |
|--|-----------------------|
| | L _B リニアメント |
| | L _C リニアメント |
| | L _D リニアメント |
- (短線は低下側を、短線のないものは両側で高度差がないものを、矢印の方向は横ずれの方向を示す。)
-
- Tz-1 露頭位置及び露頭番号
-
- 詳細図範囲

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(海鼠池・里・中飯)を使用したものである。

第1.2-122図 辻の堂断層周辺の空中写真判読図